

# 別府市公共施設白書



本庁舎



竹瓦温泉



竹細工伝統産業会館

別府市



## はじめに

日本の社会資本は、高度経済成長期に集中的に整備されましたが、現在これらの老朽化が急速に進行しつつあり、効率的かつ計画的な維持管理、更新が重要な課題となっています。

本市においても昭和40年代からの急激な社会の変化や人口の増加に伴い、道路や上下水道などの社会基盤の整備や学校教育施設、公営住宅、社会教育施設、スポーツ施設などあらゆる分野の施設の整備を進めてきました。

近年では、市民球場、海門寺温泉、地獄蒸し工房鉄輪、保健センター「湯のまちけんこうパーク」など市民生活の利便性の向上や国際観光温泉文化都市としての役割を果たすための施設整備を行ってきたところです。

しかしながら、これらは建築後30年を経過している施設が約6割を占めており、今後、耐震化や老朽化による修繕等が必要となるものが増加していくことが予想されます。また多くの施設が同時期に耐用年数を迎えることから、更新の検討も必要となってきます。

さらに本市においては人口の減少、少子高齢化が顕著であり、加えて社会環境の変化により市民ニーズも多様化していく中で、現在と同じように施設を維持、更新していく費用を捻出していくことは容易なことではありません。

これらの状況を踏まえ、今後の施設のあり方を検討するための基礎資料として各用途別施設の状況をまとめた『別府市公共施設白書』を作成しました。今後、本書を基に調査、分析、評価を深化させ大いに議論を深め、公共施設の中長期的な改修、修繕計画の策定へとつなげていく予定です。

本書が市民の皆さまにとりまして、公共施設の現状についてご理解いただく契機となれば幸いです。

平成25年5月

## 用途別施設一覧（学校、公営住宅を除く）

### 1. 本庁舎等

- 1-1 別府市役所
- 1-2 別府市役所南部出張所（複合施設）
- 1-3 別府市役所亀川出張所
- 1-4 別府市役所朝日出張所
- 1-5 別府市消防署（消防本部）
- 1-6 別府市消防署浜町出張所
- 1-7 別府市消防署亀川出張所
- 1-8 別府市消防署朝日出張所

### 2. 文化

- 2-1 別府市立図書館（複合施設）
- 2-2 別府市浜田温泉資料館
- 2-3 別府市美術館
- 2-4 別府市市民ホール（フィルハーモニアホール）

### 3. スポーツ

- 3-1 別府市総合体育館
- 3-2 市民体育館
- 3-3 西部地区体育館
- 3-4 南部地区体育館（複合施設）
- 3-5 中部地区体育館
- 3-6 朝日大平山地区体育館
- 3-7 野口ふれあい体育館
- 3-8 市民球場
- 3-9 実相寺球場
- 3-10 野口原総合運動場（管理棟）
- 3-11 実相寺サッカー競技場（管理棟）
- 3-12 実相寺多目的グラウンド（実相寺中央公園管理棟）
- 3-13 弓道場・アーチェリー場
- 3-14 公園テニスコート
- 3-15 温水プール
- 3-16 青山プール
- 3-17 セーリング艇庫
- 3-18 ヨット艇庫

### 4. 公民館

- 4-1 別府市中央公民館・市民会館
- 4-2 別府市北部地区公民館
- 4-3 別府市北部地区公民館なでしこ分館
- 4-4 別府市西部地区公民館
- 4-5 別府市中部地区公民館
- 4-6 別府市南部地区公民館（複合施設）
- 4-7 別府市朝日大平山地区公民館
- 4-8 別府市人権啓発センター

### 5. 商工

- 5-1 別府市竹細工伝統産業会館
- 5-2 別府市労働者福祉センター
- 5-3 別府市勤労者研修センター
- 5-4 別府市勤労者体育センター
- 5-5 別府市公設地方卸売市場
- 5-6 別府競輪場
- 5-7 別府市シルバー人材センター

### 6. 福祉

- 6-1 中央保育所
- 6-2 鶴見保育所（複合施設：ほっぺパーク）
- 6-3 内竈保育所（複合施設：すきっぷパーク）
- 6-4 別府市西部児童館（複合施設：ほっぺパーク）
- 6-5 別府市北部児童館（あすなろ館）
- 6-6 別府市南部児童館（複合施設）
- 6-7 別府市西部子育て支援センター（複合施設：ほっぺパーク）
- 6-8 別府市北部子育て支援センター（複合施設：すきっぷパーク）
- 6-9 別府市南部子育て支援センター（複合施設）
- 6-10 別府市保健センター（湯のまち けんこうパーク）
- 6-11 別府市社会福祉会館
- 6-12 別府市身体障害者福祉センター
- 6-13 老人憩の家 友楽荘

### 7. コミュニティー

- 7-1 別府市コミュニティセンター
- 7-2 別府市内竈コミュニティセンター
- 7-3 別府市湯山コミュニティセンター
- 7-4 別府市ふれあい広場・サザンクロス（複合施設）
- 7-5 別府市国際交流会館
- 7-6 別府市立少年自然の家「おじか」
- 7-7 別府市総合教育センター
- 7-8 別府市野口ふれあい交流センター

### 8. くらし・その他

- 8-1 リサイクル情報センター
- 8-2 別府市学校給食共同調理場
- 8-3 南立石緑化植物園 みどりの相談所
- 8-4 別府駅高架下自転車専用駐車場
- 8-5 別府駅西口自転車駐車場
- 8-6 新若草港漁具倉庫
- 8-7 楠港漁具倉庫
- 8-8 清掃事務所
- 8-9 し尿処理場「春木苑」
- 8-10 中央浄化センター

### 9. 観光・温泉

- 9-1 竹瓦温泉
- 9-2 不老泉
- 9-3 田の湯温泉
- 9-4 海門寺温泉
- 9-5 永石温泉
- 9-6 鉄輪むし湯
- 9-7 柴石温泉
- 9-8 堀田温泉
- 9-9 別府海浜砂湯
- 9-10 北浜温泉
- 9-11 浜田温泉
- 9-12 亀陽泉会館
- 9-13 湯都ピア浜脇（複合施設）
- 9-14 地獄蒸し工房鉄輪
- 9-15 別府市営阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場



# 目 次

## 第1章 別府市の概要

第1節	市の位置・地勢・沿革	1
第2節	市の人口状況	3
第3節	市の財政状況	5
第4節	市職員の状況	7

## 第2章 市が保有する財産の状況

第1節	市が保有する建物や土地の状況	9
1.	建築年別延床面積の状況	9
2.	用途別延床面積の状況	10
3.	用途別土地面積の状況	11
第2節	主な施設の耐震化状況	12
1.	建築年別延床面積と耐震化状況	12
2.	用途別耐震診断の実施状況	13

## 第3章 主な施設の現状把握

1.	本庁舎等	15
2.	文化	23
3.	スポーツ	29
4.	公民館	49
5.	商工	59
6.	福祉	69
7.	コミュニティー	85
8.	くらし・その他	95
9.	観光・温泉	105
10.	学校	123
11.	公営住宅	133

参考資料 主な施設の分布図

## 《公共施設白書における注意事項》

用途別施設の状況における各項目に表記される用語及び数字については、以下を参照にしてください。

### 【基本事項】

- ◇ 対象施設は原則100㎡以上の主要な建物とし、道路、橋りょうなどのインフラ施設（大規模な建物は対象としていません。）と公園及び小規模な倉庫や公衆トイレは除いています。
- ◇ 施設については平成24年3月31日現在を対象としていますので、平成23年度中に廃止された施設は含まれていません。
- ◇ 複数年にわたるものや日付を記載しているものを除いた表やグラフは「平成23年度」のデータにより作成しています。
- ◇ 構造について、略号を用いている場合は、次のとおりとなります。  
SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造）、RC（鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）、LGS（軽量鉄骨造）、CB（コンクリートブロック造）、W（木造）
- ◇ 構造・延床面積・建築年・構成施設  
建物が建築された年で記述していますので、施設の開設年と一致しない場合があります。下水道施設など複数の建物（棟）で構成されている施設の場合は、主要な建物の構造・建築年を記述しています。延床面積は、建物（棟）の床面積の合計を記述しています。構成施設は、各施設の主要な施設名を記述しています。
- ◇ 管理形態  
管理形態は、次のように記述しています。
  - ・市が直接運営している施設は「直営」
  - ・指定管理により管理・運営している施設は「指定管理」
  - ・施設の運営を民間企業等に委託している施設は「委託」
- ◇ 施設所管課  
施設を管理している所管課（平成24年3月31日現在）を記述しています。
- ◇ 避難所指定  
収容避難所は「収容」、一時避難場所は「一時」と記述しています。
- ◇ 耐震性  
施設の耐震基準、耐震診断、耐震補強について記述しています。

### 【収入】

- ◇ 使用料等  
施設の使用料、手数料、負担金などの収入です。指定管理者制度を導入している施設は、原則として指定管理団体の収入となるため含めていません。

### 【施設にかかる経費】

施設にかかる経費等の算出は平成23年度決算額を基にしています。ただし、施設によっては予算上、施設単位で算出できない場合があります。このような場合は、延床面積などで按分して算出するなどの処理や端数処理をしていますので決算額とは合致しない場合があります。

※概算数値として記述しています。

- ◇ 人件費  
施設の管理運営にかかる職員の人件費は、次の単価を基に算出しています。  
正規職員（5,867千円）、再任用職員（2,285千円）、非常勤職員（1,560千円）、臨時職員（1,536千円）  
※正規職員の単価は、別府市人事行政の運営等の状況による一人当たり給与費の数値を用いています。  
※概算数値として記述しています。
- ◇ 光熱水費  
施設の電気・ガス・水道・燃料の費用です。
- ◇ 修繕料  
施設にかかる簡易な修繕料です。
- ◇ 役務費  
施設にかかる通信運搬費・手数料・保険料などです。
- ◇ 委託料  
施設にかかる警備委託料や清掃委託料などです。
- ◇ 指定管理料  
指定管理者制度導入施設が、市有施設を期間を定めて管理している団体に支払う管理料です。
- ◇ 工事請負費  
施設にかかる工事費です。
- ◇ その他の支出  
施設にかかる消耗品費、使用料及び賃借料、備品購入費などです。
- ◇ 減価償却費  
減価償却費は、次のとおりで算出しています。  
減価償却費＝再調達価格×償却率

### 【配置図・分布図】

同じ場所に同じ用途の施設がある場合は、○あるいは◇の中に数字を入れ施設数を表しています。

例：幼稚園、小学校、中学校が同じ場所にある場合…③

# 第1章

別府市の概要



## 第1節 市の位置・地勢・沿革

別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に面した大分県の東海岸のほぼ中央に位置し、阿蘇くじゅう国立公園に属する由布・鶴見岳の麓で裾野をなだらかに別府湾へと広げる扇状地特有の地形により、緑豊かな山々や高原と波静かな別府湾に囲まれた美しい景観を誇り、大地から立ちのぼる「湯けむり」は別府を象徴する風景として市民はもちろん観光客からも親しまれています。

市内には、別府八湯と呼ばれる8つの温泉エリアが点在し、毎分8万7千リットルを超える温泉は、日本一の湧出量と源泉数を誇り、医療、浴用などの市民生活はもとより観光、産業などにも幅広く活用されています。また、古くから日本を代表する温泉地として賑わい、年間の観光客数は1,100万人を超える、歴史と文化あふれる国際観光温泉文化都市です。

人口は、県内では大分市につぎ2番目となる12万人を超え、市内には約4,000人の留学生が勉学に励む、一般市民30人に対し1人の留学生が暮らすという日本でも有数の異文化あふれる国際交流都市としても成長を続けています。

市役所所在地	別府市上野口町1番15号			
面積	位置		広ぼう	
	東経	北緯	東西	南北
125.382km <sup>2</sup>	131度29分37秒	33度16分52秒	13km	14km

別府温泉について記されている最古のものは「豊後国風土記」で、その中に、赤湯泉、玖倍理湯井、河直山等々の地名が見られ、河直一帯（現在の鉄輪地区といわれる）に古代から地獄が存在し、豊富な天与の温泉に恵まれていたことがうかがい知れます。

また、奈良時代の「続日本紀」には、速見郡敵見郷、平安時代の「和名抄」には、速見郡朝見郷と記されていますが、これは「アタミ」即ち「熱水」の読みがなまったものといわれ、それぞれの時代に「敵見」、「朝見」の字が当てられたものと解されています。

今日の別府の地名は、荘園時代に新開地の開墾、領有に際して必要とされた免符である「別符」が「別府」と書かれるようになり、これが地名となったものであるとされています。

鎌倉から室町時代にかけては、大友氏の統治下におかれ、戦国時代に大友氏が除国されたのち、江戸時代には、幕府直轄の天領として高松代官の下で統治されました。江戸時代の別府温泉については、貝原益軒の「豊国紀行」などに静かな湯治場として記されています。

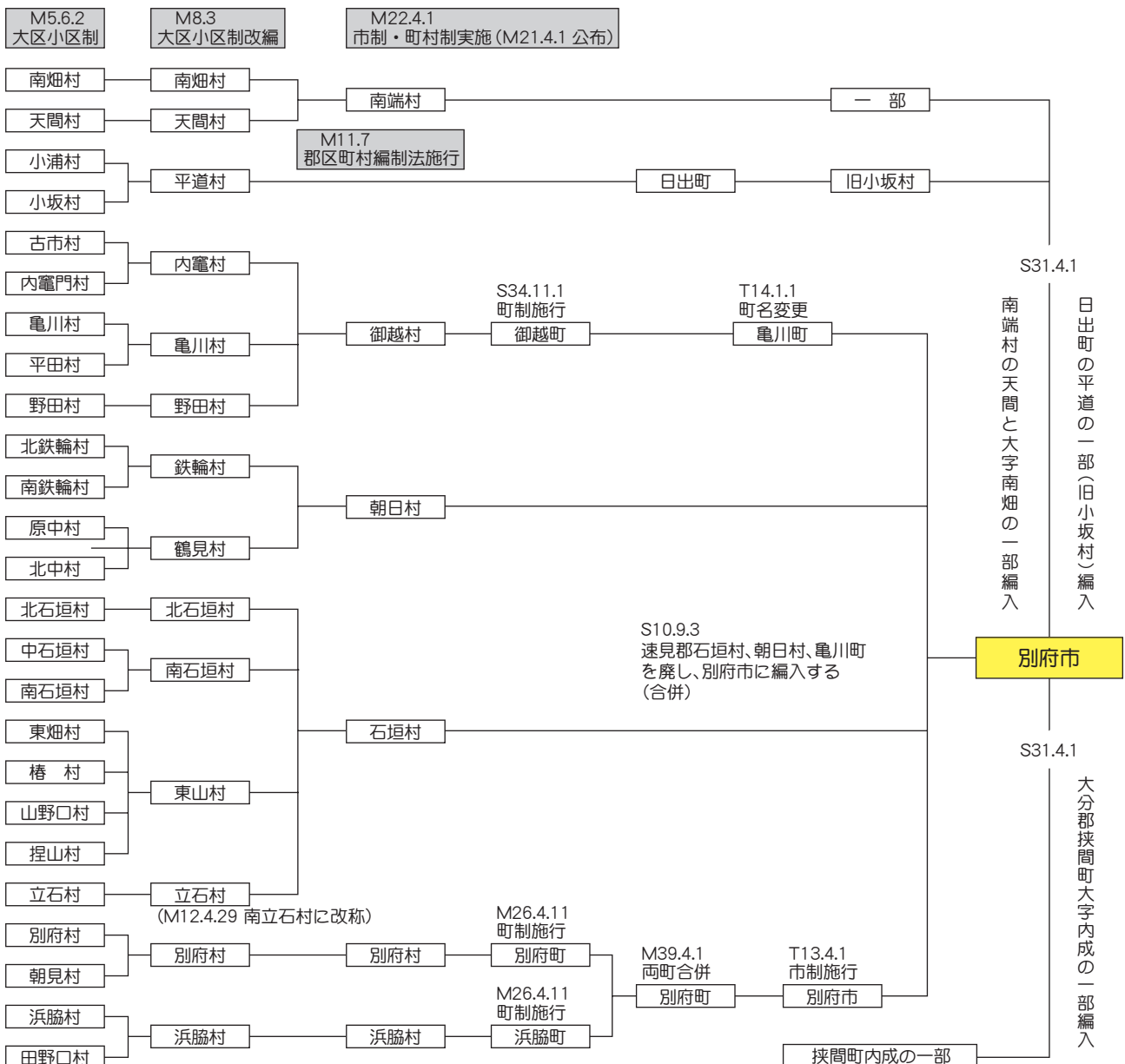
明治時代に入ると、大阪開商社等による関西、四国航路の開設、日豊本線の開通等、交通機関の発達と交通路の整備により大きく発展し、明治39年には浜脇町と別府町の合併により、人口12,308人（大正3年町史）の別府町が誕生、全国的にも湯治場として知られるようになりました。また、大正時代に至っては、眺望の良い海岸一帯に旅館街が形成され始めるとともに、観光施設も整備されて観光地としての性格を加え、大正13年4月1日に、人口36,276人の別府市が誕生し、その後、昭和10年には、隣接する石垣村、朝日村、亀川町を編入し、観光温泉地としての今日の別府市の基盤を確立するに至りました。

幸いにして太平洋戦争の戦災をまぬがれ、豊かな自然と豊富な温泉資源に支えられながら観光温泉地として発展を続けてきましたが、昭和25年に制定された「別府国際観光温泉文化都市建設法」（昭和25年7月18日法律第221号）により、別府市は、国際文化の向上と世界の恒久平和の達成に重要な役割を果たす都市として位置付けられ、以来、別府駅の高架化、国道10号の拡幅、九州横断道路（やまなみハイウェイ）や大分自動車道の開通、宇佐別府道路、国際観光港の整備等々、基幹交通網の整備により、着実に発展を続けながら今日に至っています。

一方、国際観光温泉文化都市として、平成12年には、留学生が学生の半数近くを占める「立命館アジア太平洋大学」が開学し、既存の大学や、姉妹都市、友好都市などとの学術、国際交流を積極的に進めています。また、市政のさらなる飛躍・発展のため、別府の特性を生かした温泉文化の演出、市場開拓など総合観光産業の振興を官民協働で進め、「住んでよし、訪れてよし」の観光と地域づくりを一体とした「ONSENツーリズム」の新しいまちづくりを推進しています。

「ONSEN」は従来の「温泉」と音楽、文化、芸術があふれるまちづくりとしての「音泉」、さらに「ONSEN」を世界共通語にしたいという願いを込めてローマ字を使っています。

### 行政村（町・市）の変遷



(平成24年度別府市の概要、別府市誌、市ホームページ掲載文書より引用・抜粋)

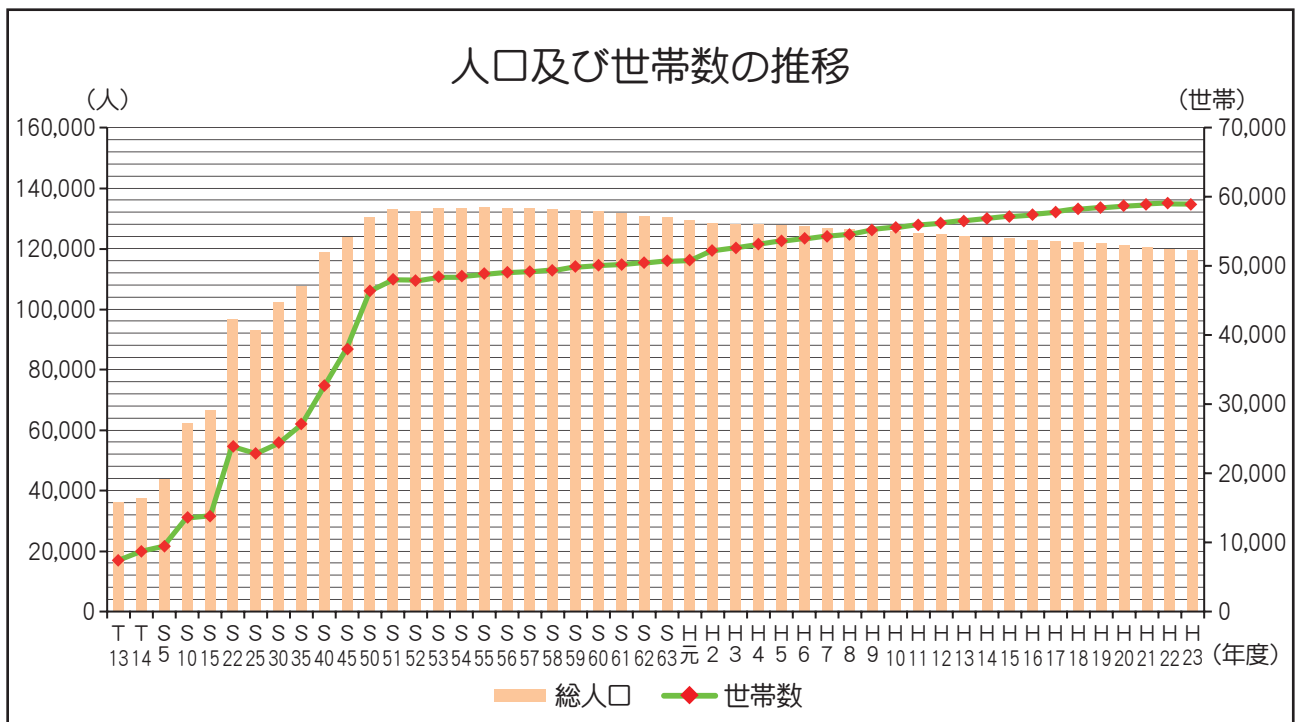


## 第2節 市の人口状況

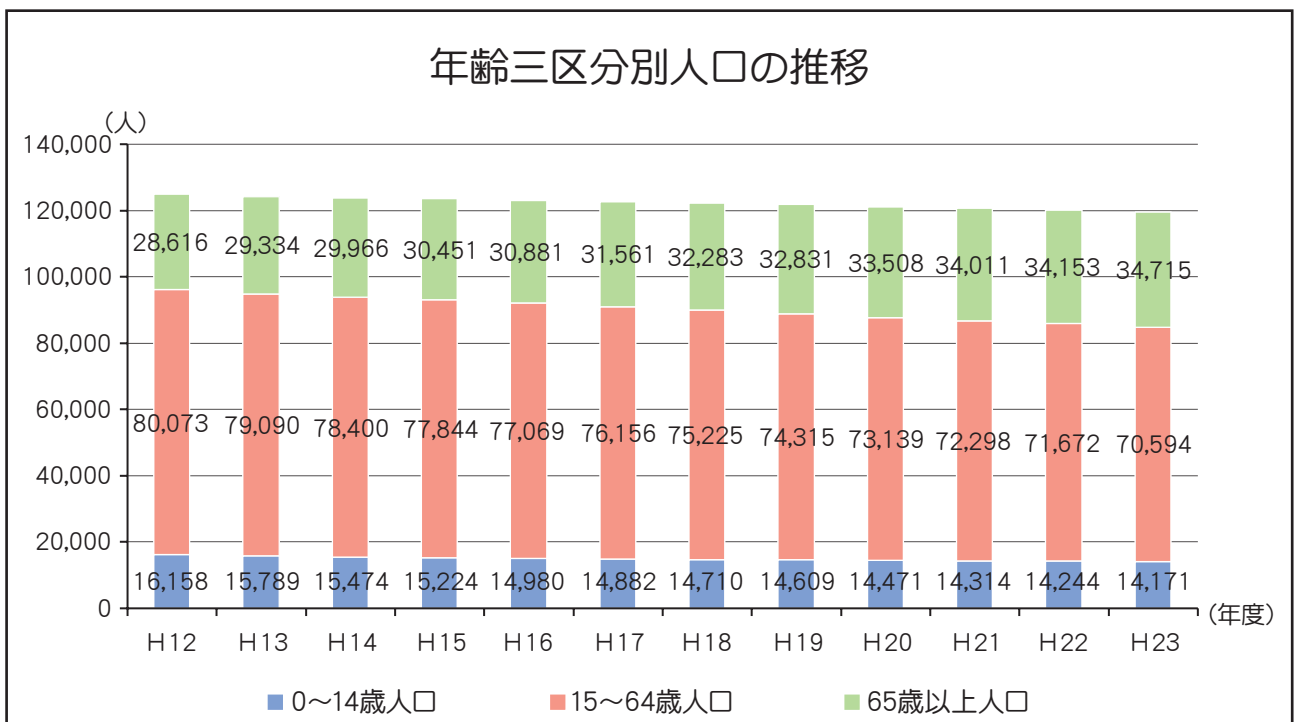
別府市制施行時（大正13年4月1日）の人口は、36,276人でしたが、平成23年度末現在の住民基本台帳登録人口は119,480人であり、約3.3倍となっています。

また、外国人住民人口は、平成13年度末は2,083人でしたが、平成23年度末には4,138人となり、約2倍となっています。

なお、年齢三区分別人口で見ると、0～14歳、15～64歳は年々減少しているのに対して、65歳以上の人口は増加しており、人口構成比の約29%が65歳以上です。

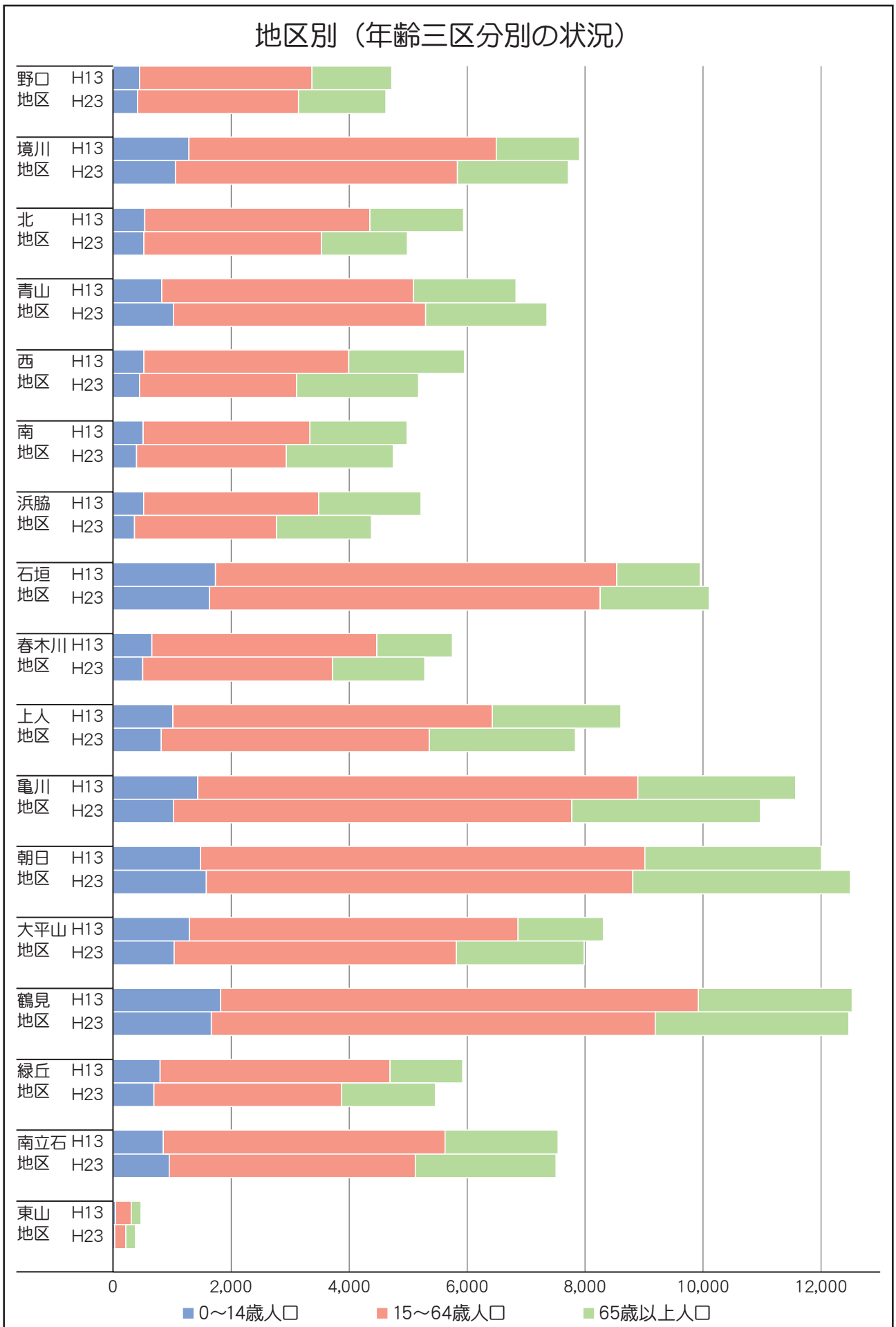


※T13～S45までは、国勢調査人口



※各年度末現在の住民基本台帳登録人口

地区別（年齢三区分別の状況）



※各年度末現在の住民基本台帳登録人口

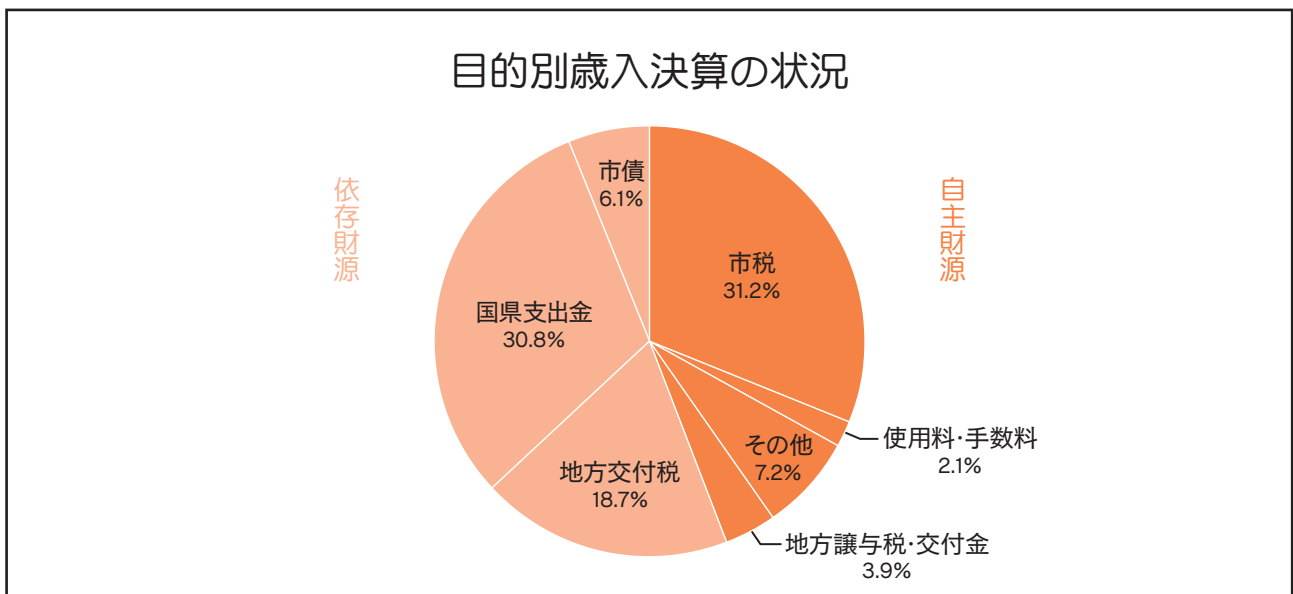
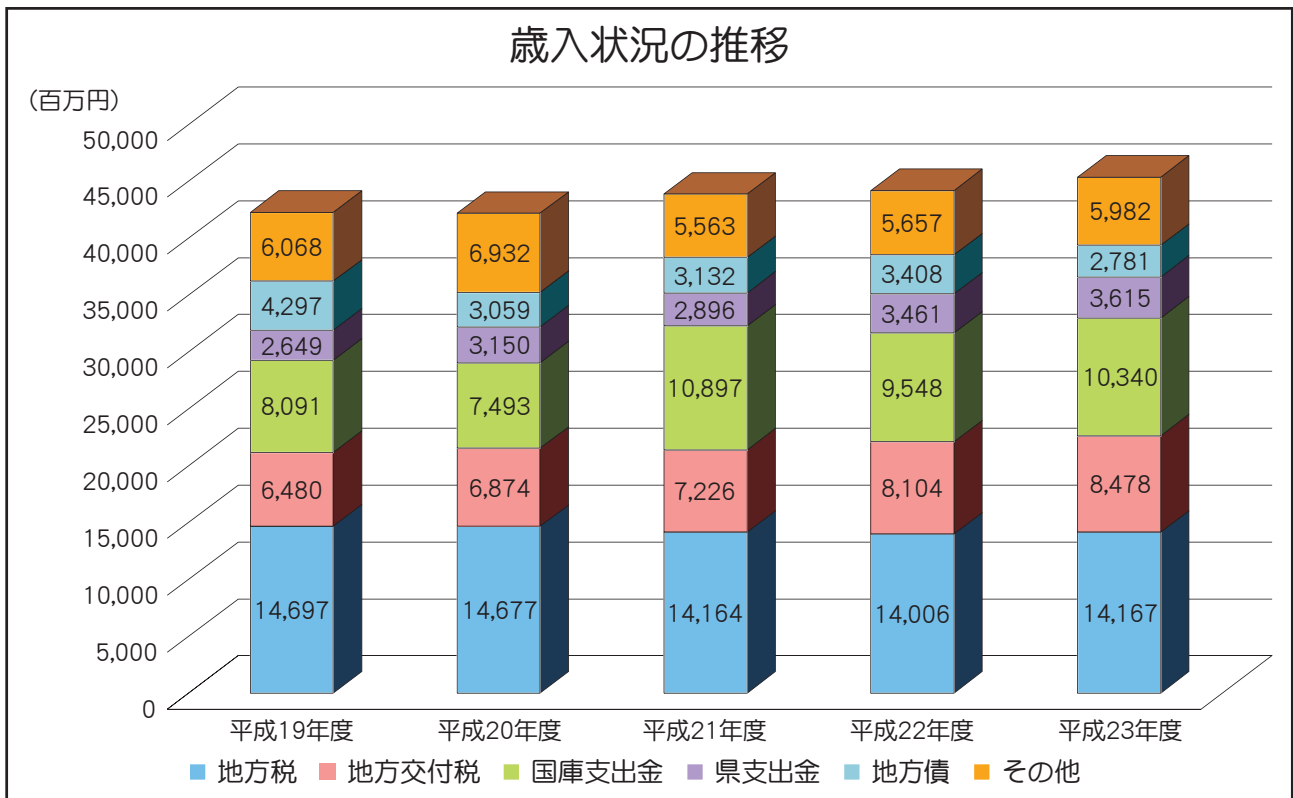
### 第3節 市の財政状況

#### 1. 歳入

市税、使用料及び手数料などの自主財源が歳入総額に占める割合は約4割、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が占める割合は約6割となっており、国の地方財政措置に左右されやすい脆弱な構造であると言えます。

主たる自主財源である市税は、固定資産税や個人市民税の減収に伴い、近年減少傾向にあります。長引くデフレ、円高などにより経済情勢の回復が不透明なことや、人口減少や地価の下落が続いていることから、今後も増加は見込めない状況です。

以上を踏まえると、地方交付税などの財政措置の先行きが不透明であるため、自主財源の更なる確保が課題であり、今後も基金を取り崩しながらの厳しい財政運営が予想されます。



## 2. 歳出

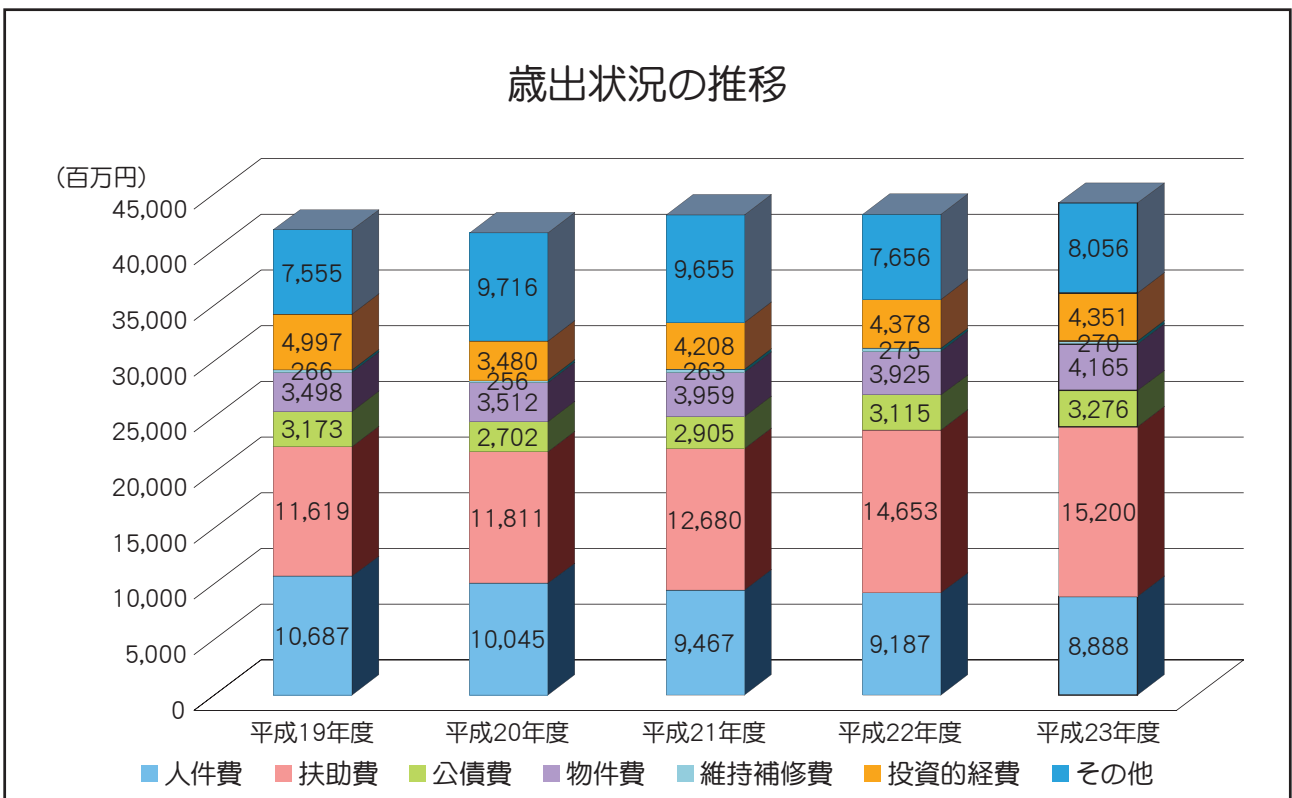
人件費、扶助費及び公債費などの義務的経費が歳出総額に占める割合は約6割です。經常収支比率は92.9%となっており、財政は硬直化した状態であると言えます。

人件費については、平成17年度に策定された定員適正化計画に基づき職員削減が進み、計画策定前と比較して約12億円の減少となっています。

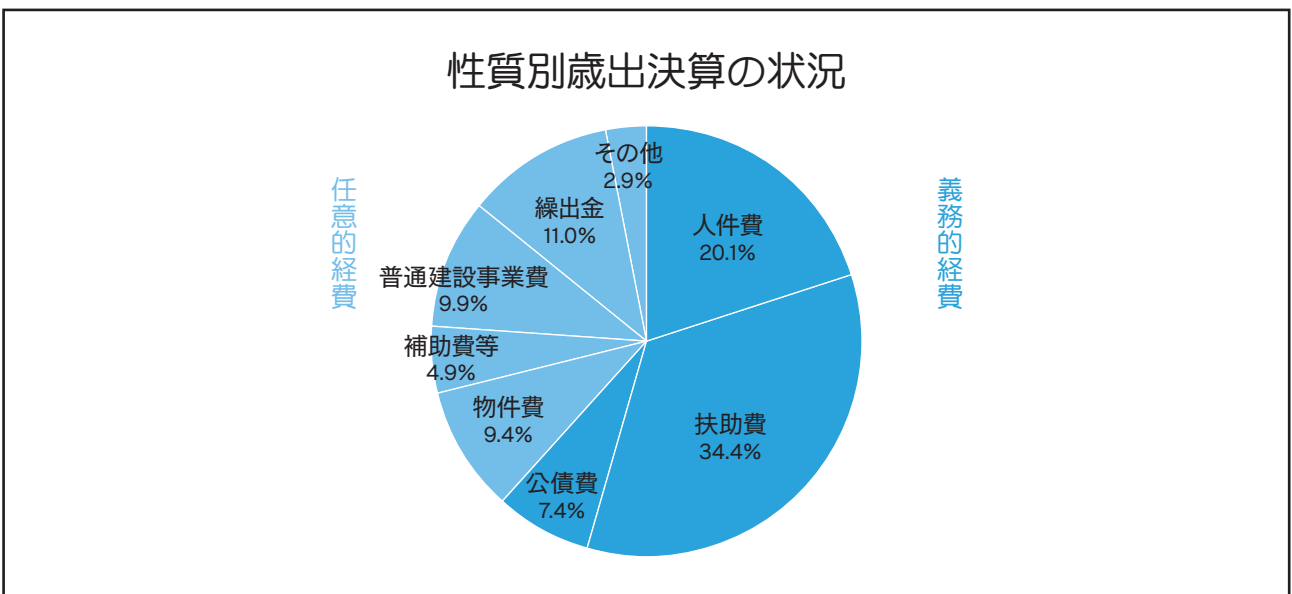
年々増加している扶助費については、生活保護率、高齢化率が全国平均を大きく上回っていることから、今後も更に増加していくと予想されます。

また、公債費については、臨時財政対策債の発行が継続し、地方債現在高も年々増えてきていることから、削減は厳しい状況です。

さらに、今後老朽化した公共施設の一斉更新が必要になるため、多額の財政需要が見込まれます。



※ここに使用している数値は、普通会計を用いています。なお、別府市の場合は、一般会計と公共用地先行取得事業特別会計になります。

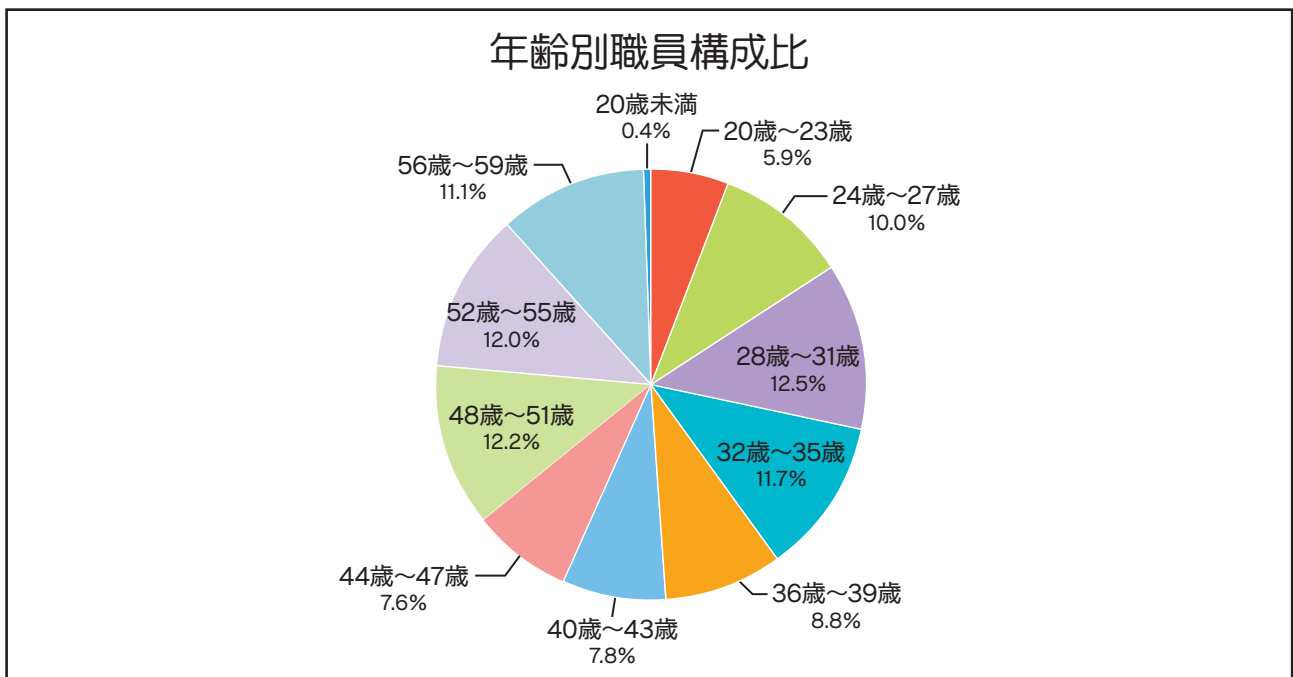
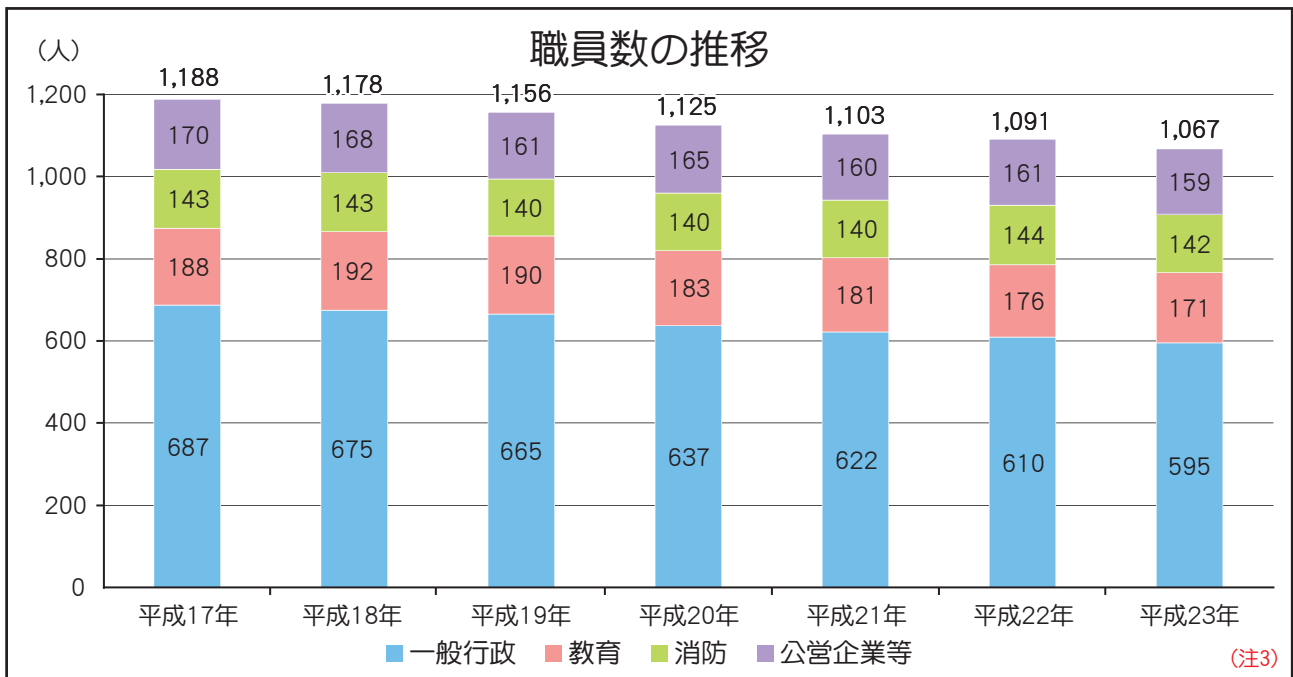


## 第4節 市職員の状況

別府市では、平成17年度に「第1次定員適正化計画」を策定し、職員数の削減に取り組みました。計画の最終年度である平成21年度には、目標であった1,030人を下回る1,008人(注1)まで削減しています。

さらに、平成23年度末には、平成24年4月1日を起点とし平成33年4月1日までの9年間を計画期間とする「第2次定員適正化計画」を策定し、職員数は985人(注2)から856人(129人減)へ削減する方針となっています。

職員数全体としては、削減していく方向ですが、別府市は他都市と比較して少子高齢化傾向が強く、扶助費の伸びが顕著であるため、福祉業務に携わる職員数は一定程度増員していく必要があります。そのため、福祉部門以外の職員数の削減幅が大きくなり、さらに国や県からの権限委譲による事務量の増大も避けられない状況であることから、事務の効率化や退職者の活用などに積極的に取り組む必要があります。



(注1) 平成22年4月1日現在の数値(教育長および水道局職員を除く。)にて記載しています。

(注2) 平成24年4月1日現在の数値(教育長および水道局職員を除く。)にて記載しています。

(注3) 各年4月1日現在の定員管理調査において報告した部門別職員数(教育長および水道局職員を含む。)にて作成しています。





# 第2章

市が保有する  
財産の状況

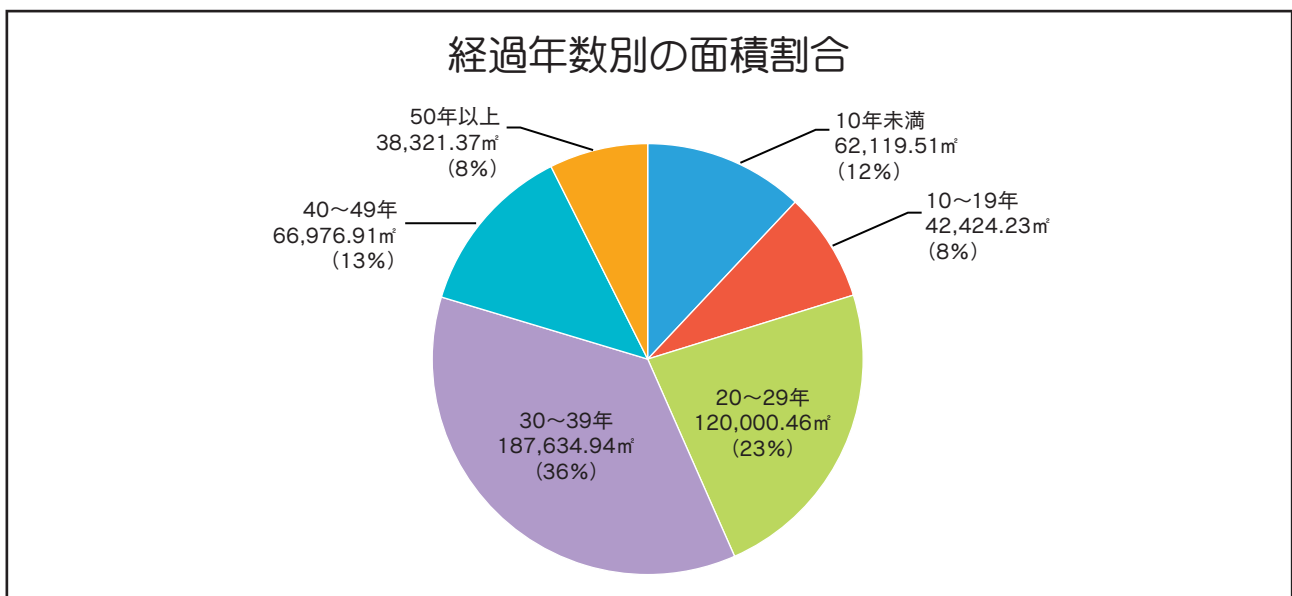
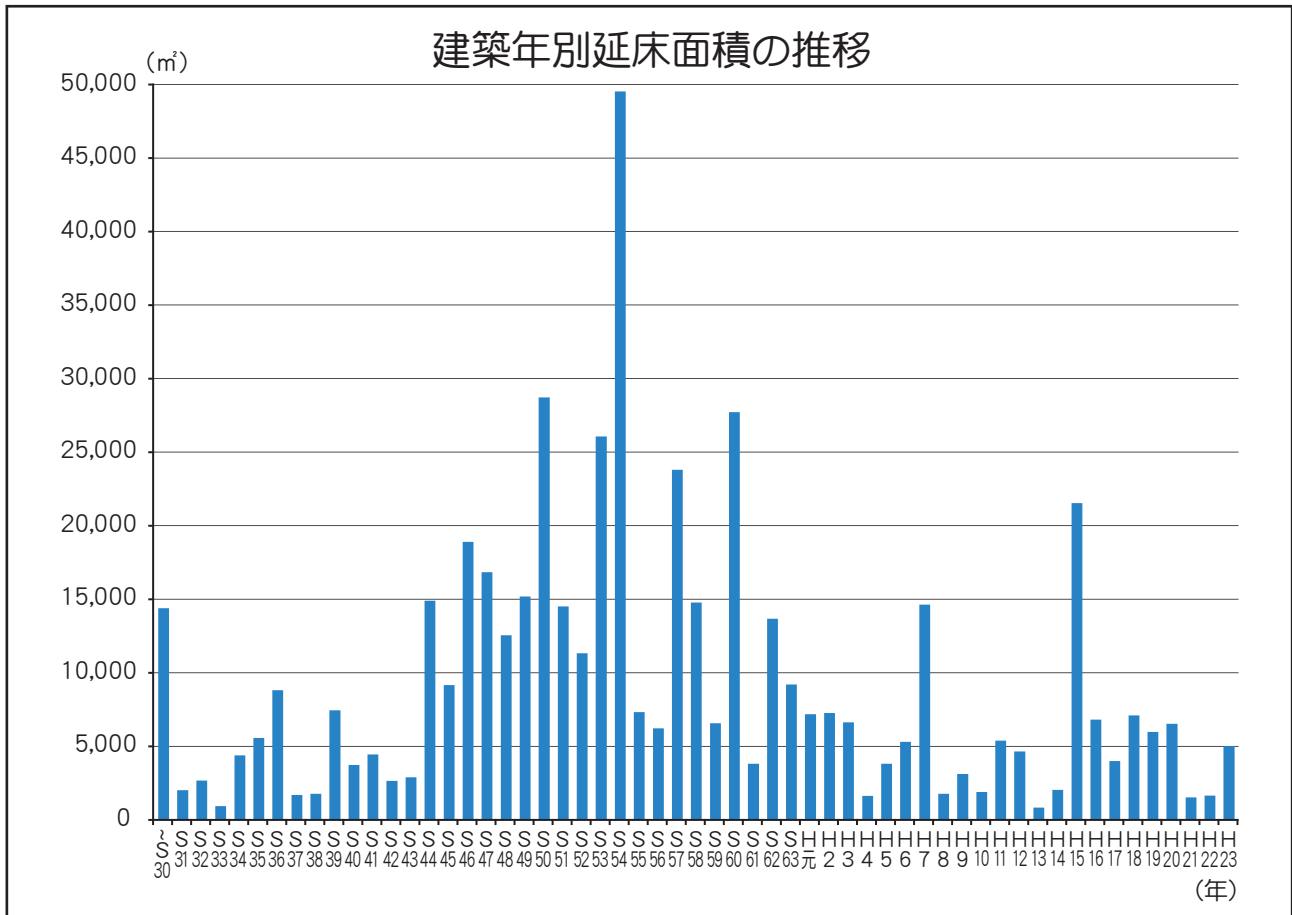


## 第1節 市が保有する建物や土地の状況

### 1. 建築年別延床面積の状況

市が保有する建物の延床面積は、約51.7万㎡です。建築年別で見ると、昭和40年代半ばから昭和50年代に建築された建物が約26.1万㎡となっており、全体の約50%を占めています。

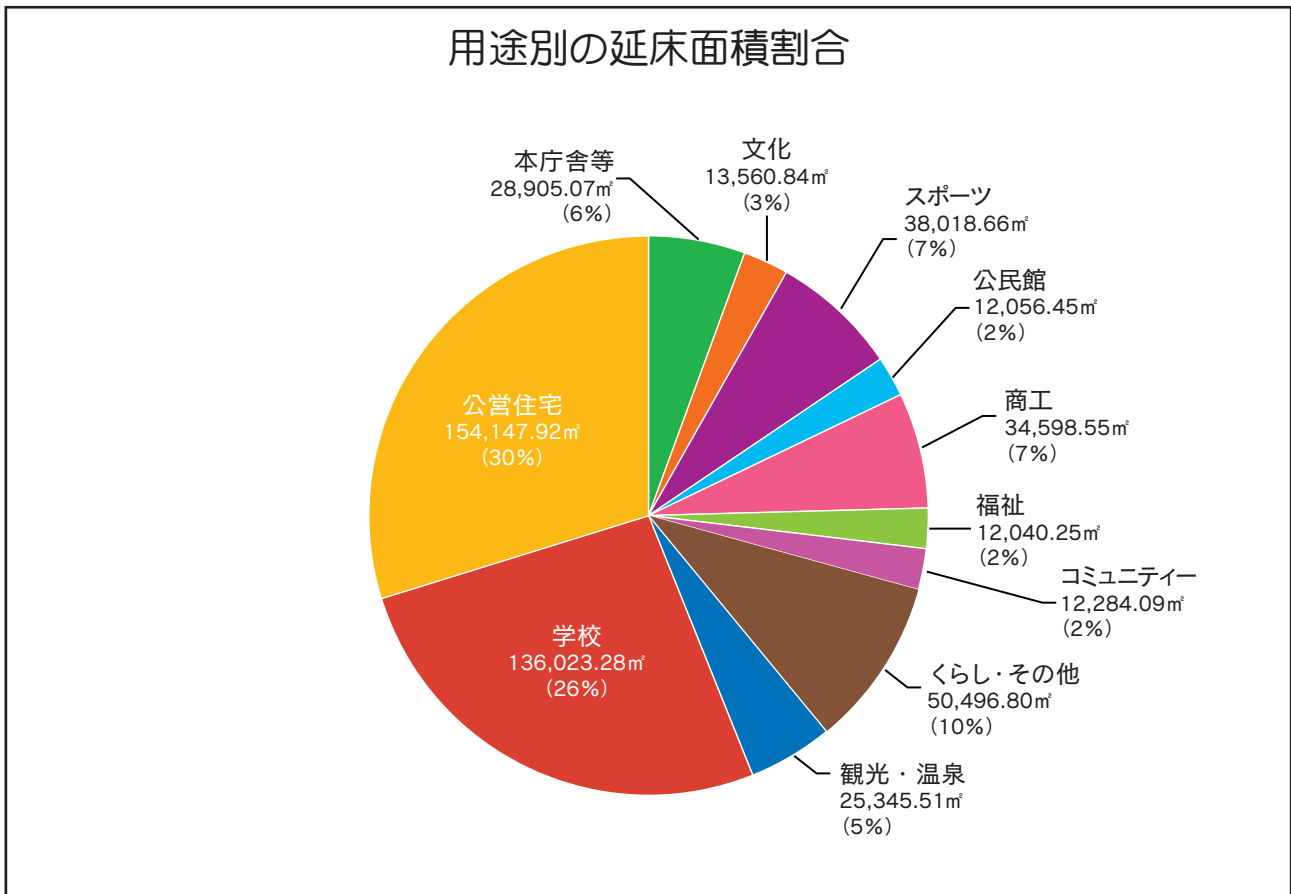
特に、昭和54年は中央浄化センター、少年自然の家おじか、消防本部、市営住宅（3箇所）など約5.0万㎡の建物が建築されています。経過年数別の延床面積で見ると、建築後30年から39年までの建物が約18.8万㎡（36%）で最も割合が高く、建築後40年以上の建物が約10.5万㎡（21%）となっています。



※ここでは、市が保有するすべての建物をグラフ化しています。

2. 用途別延床面積の状況

用途	施設名	延床面積(m <sup>2</sup> )
本庁舎等	市役所本庁舎、消防本部など	28,905.07
文化	図書館、美術館など	13,560.84
スポーツ	総合体育館、市民球場、温水プールなど	38,018.66
公民館	中央公民館、人権啓発センターなど	12,056.45
商工	竹細工伝統産業会館、労働者福祉センターなど	34,598.55
福祉	保育所、児童館、保健センターなど	12,040.25
コミュニティー	コミュニティーセンター、少年自然の家など	12,284.09
くらし・その他	リサイクル情報センター、学校給食共同調理場など	50,496.80
観光・温泉	志高湖野営場、温泉など	25,345.51
学校	幼稚園、小学校、中学校、高等学校	136,023.28
公営住宅	公営住宅	154,147.92
合計		517,477.42

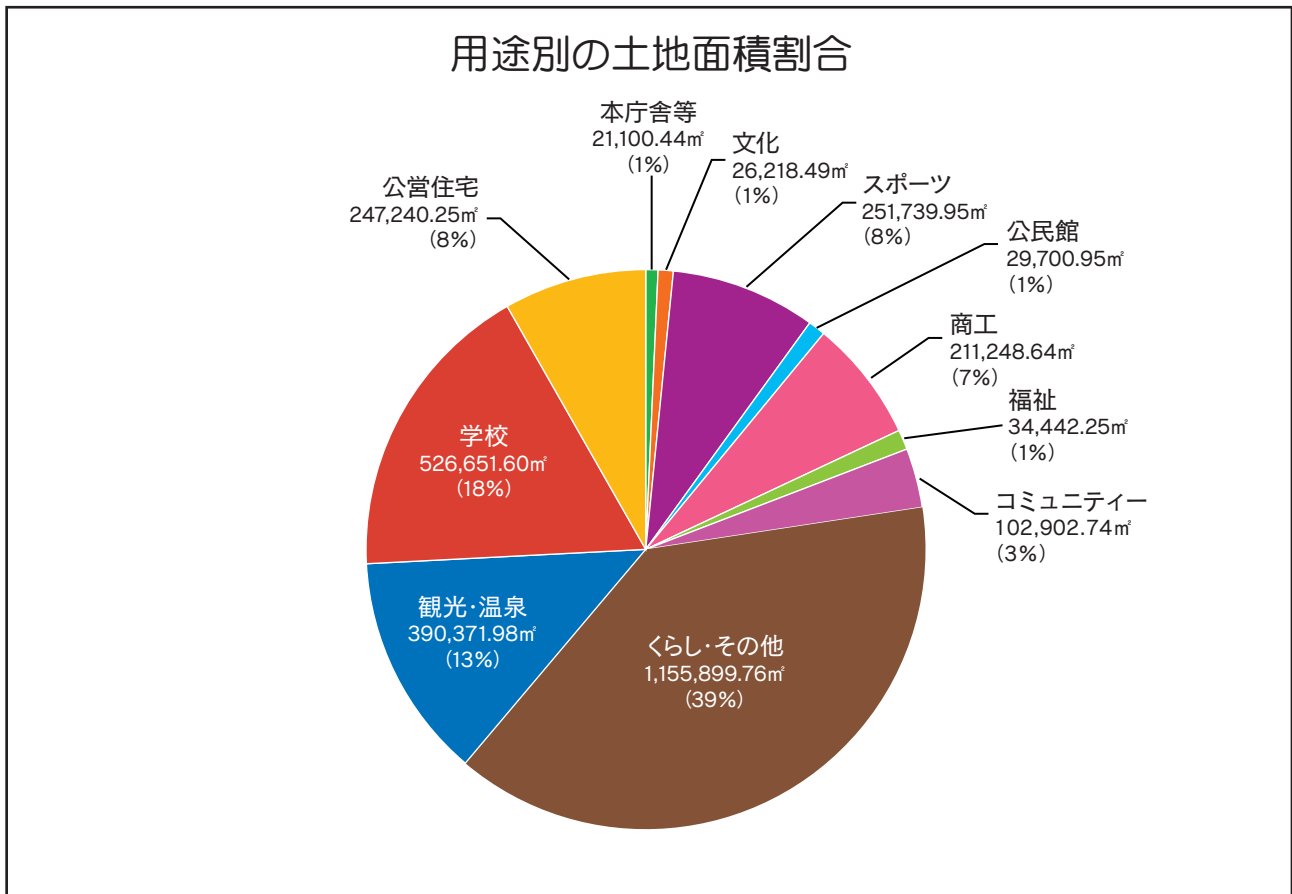


※平成24年11月1日現在

※ここでは、市が保有するすべての建物をグラフ化しています。

3. 用途別土地面積の状況

用途	具体例	面積(m <sup>2</sup> )
本庁舎等	市役所本庁舎、消防本部など	21,100.44
文化	図書館、美術館など	26,218.49
スポーツ	総合体育館、市民球場、温水プールなど	251,739.95
公民館	中央公民館、人権啓発センターなど	29,700.95
商工	竹細工伝統産業会館、労働者福祉センターなど	211,248.64
福祉	保育所、児童館、保健センターなど	34,442.25
コミュニティー	コミュニティーセンター、少年自然の家など	102,902.74
くらし・その他	リサイクル情報センター、公園など	1,155,899.76
観光・温泉	志高湖野営場、温泉など	390,371.98
学校	幼稚園、小学校、中学校、高等学校	526,651.60
公営住宅	公営住宅	247,240.25
合計		2,997,517.05



※平成24年11月1日現在

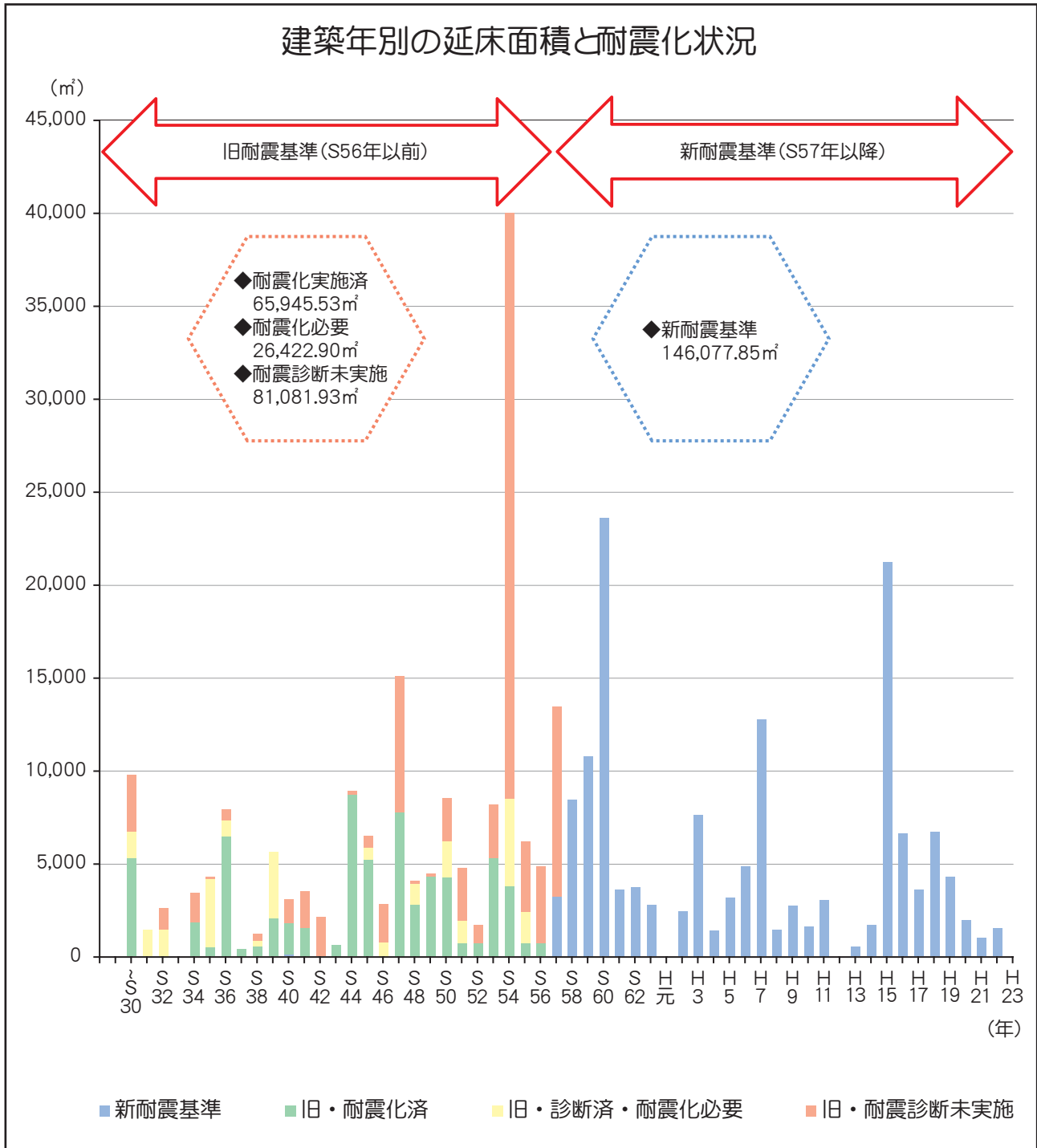
※ここでは、道路施設、山林（保安林を含む）、原野などは除いた土地をグラフ化しています。

## 第2節 主な施設の耐震化状況

### 1. 建築年別延床面積と耐震化状況

主な施設（公営住宅は除く。）全体の延床面積は、約32.0万㎡となっており、そのうち、旧耐震基準で建築された施設の延床面積は、約17.3万㎡で全体の54.3%を占めています。

その中ですでに耐震化を実施している施設の延床面積は、約6.6万㎡（20.6%）であり、耐震診断を実施していない施設の延床面積は約8.1万㎡（25.4%）です。



※ここでは、本白書（公営住宅は除く。）で取り上げている施設をグラフ化しています。

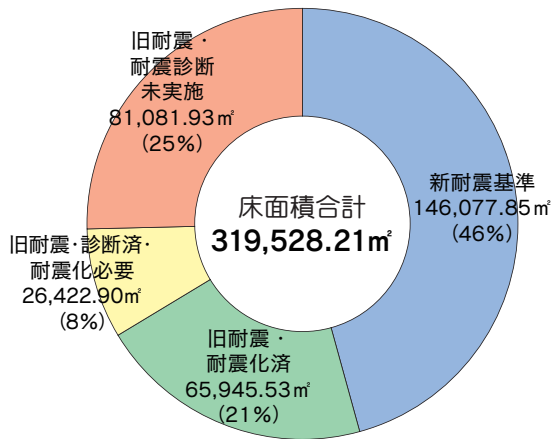


2. 用途別耐震診断の実施状況

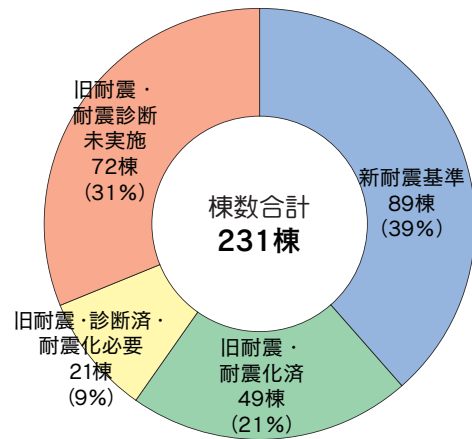
用途	建築年	新耐震基準		旧耐震基準					
				耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
① 本庁舎等	—	4	23,366.32	1	2,839.36	0	0.00	2	557.52
② 文化	—	2	10,169.17	0	0.00	0	0.00	1	3,391.67
③ スポーツ	—	12	32,326.20	1	722.00	0	0.00	4	3,467.57
④ 公民館	—	3	2,545.84	1	242.00	2	3,902.66	2	1,610.42
⑤ 商工	—	10	12,757.74	0	0.00	0	0.00	15	17,483.80
⑥ 福祉	—	4	7,120.22	2	2,063.39	0	0.00	2	1,537.64
⑦ コミュニティー	—	4	5,000.56	2	2,391.39	0	0.00	3	4,286.44
⑧ 暮らし・その他	—	9	6,252.78	1	1,146.00	0	0.00	20	32,895.83
⑨ 観光・温泉	—	10	7,510.40	0	0.00	0	0.00	5	2,836.08
⑩ 学校	—	31	39,028.62	41	56,541.39	19	22,520.24	18	13,014.96
(注)									
合計		89	146,077.85	49	65,945.53	21	26,422.90	72	81,081.93

(注) 公営住宅は壁式構造のため対象外としています。

床面積に対する割合



棟数に対する割合





# 第3章

主な施設の  
現状把握





# 1

## 本庁舎等

- 1-1 別府市役所
- 1-2 別府市役所南部出張所
- 1-3 別府市役所亀川出張所
- 1-4 別府市役所朝日出張所
- 1-5 別府市消防署（消防本部）
- 1-6 別府市消防署浜町出張所
- 1-7 別府市消防署亀川出張所
- 1-8 別府市消防署朝日出張所





# 1. 本庁舎等

## 1-1 別府市役所

所在地	上野口町1番15号
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積	22,001.24㎡
建築年	昭和60年
構成施設	事務室・会議室・議場・駐車場・車庫等
管理形態	直営
施設所管課	総務部財産活用課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



本庁舎は、昭和60年に旧庁舎（千代町）から現在の位置に建築され26年が経過しています。

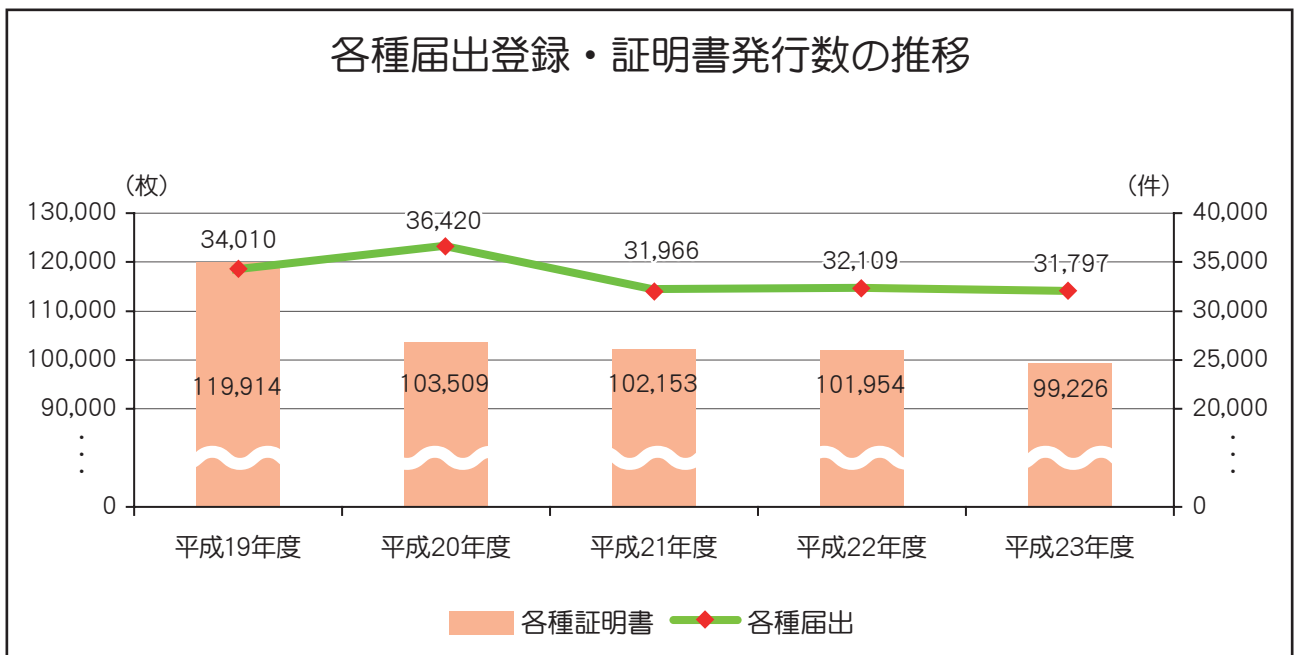
経年による屋上等の建物外部の劣化や、設備の耐用年数の大幅経過による不具合等が目立ち始めたこともあり、施設の長寿命化を図るため、平成23年度に本庁舎中長期及び短期整備計画を策定し、平成25年度より本格的に施設の改修に取り組みます。

本庁舎では、多くの窓口で様々な業務を取り扱っていますが、その中で利用頻度の多い市民課業務についての利用状況を取り上げました。

各種届出件数は、ここ数年は約3.2万件、証明書発行枚数は約10万枚で推移しており、住民票にかかる取り扱いが約40%以上を占めています。

収 入	
使用料等	4,195 千円
施設にかかる経費	
人件費	24,394 千円 正職員(1.1人) 非常勤職員(11.5人)
光熱水費	46,150 千円
修繕料	1,187 千円
役務費	19,484 千円
委託料	71,924 千円
指定管理料	—
工事請負費	24,126 千円
その他の支出	4,932 千円
合計	192,197 千円
減価償却費	99,056 千円(参考値)

各種届出登録・証明書発行数の推移



# 1. 本庁舎等

## 1-2 別府市役所南部出張所（複合施設）

所在地	千代町1番8号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	350.28㎡
建築年	昭和62年
構成施設	窓口・事務室
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部市民課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



南部出張所（図書館・サザンクロス、ベルハイツ住宅棟を含む。）は、本庁舎移転に伴い、南部地区を活性化するために民間資金を導入する土地信託方式で昭和62年に建築されたものです。平成23年度までは借上施設ですが、平成24年度からは市有施設（財産）として管理しています。

収 入	
使用料等	3,675 千円
施設にかかる経費	
人件費	15,466 千円 再任用職員（2.0人） 非常勤職員（6.0人） 臨時職員（1.0人）
光熱水費	2,194 千円
修繕料	0 千円
役務費	250 千円
委託料	3,950 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	39,178 千円
合計	61,038 千円
減価償却費	— (借上施設)

## 1-3 別府市役所亀川出張所

所在地	亀川東町26番6号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	338.95㎡
建築年	昭和34年
構成施設	窓口・事務室
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部市民課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



亀川出張所は、昭和34年に建築され、すでに50年以上が経過し老朽化しています。隣接には、消防署亀川出張所が設置されています。

収 入	
使用料等	4,916 千円
施設にかかる経費	
人件費	24,080 千円 正職員（2.0人） 再任用職員（2.0人） 非常勤職員（4.0人） 臨時職員（1.0人）
光熱水費	841 千円
修繕料	77 千円
役務費	133 千円
委託料	624 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	51 千円
合計	25,806 千円
減価償却費	0 千円（参考値）

# 1. 本庁舎等

## 1-4 別府市役所朝日出張所

所在地	大字鶴見634番地の1
構造	—
延床面積	464.9㎡
建築年	—
構成施設	窓口・事務室・会議室
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部市民課
避難所指定	なし
耐震性	—



朝日出張所は、昭和35年に建築した建物（延床面積：370.35㎡）を、平成19年3月に取り壊して、現在の位置（民間建物の一部を借上げ）に移転しました。

収 入	
使用料等	6,130 千円
施設にかかる経費	
人件費	19,749 千円 正職員（1.0人） 再任用職員（2.0人） 非常勤職員（4.0人） 臨時職員（2.0人）
光熱水費	0 千円
修繕料	53 千円
役員費	132 千円
委託料	250 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	3,774 千円
合計	23,958 千円
減価償却費	— (借上施設)

### 【各出張所の利用状況】

各出張所では、戸籍（婚姻届・出生届など）や住所異動（転入・転出届など）に関する受付、各種証明書の交付、印鑑登録事務のほか、税、保険年金、福祉関連等の多岐にわたる業務を行っています。

利用状況として、主な利用目的である各種届出登録や各種証明書の発行件数は、南部出張所では年平均約2.1万件、亀川出張所は年平均約2.2万件、朝日出張所は年平均約2.6万件となっています。

# 1. 本庁舎等

## 1-5 別府市消防署（消防本部）

所在地	上野口町19番27号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	2,839.36㎡
建築年	昭和54年
構成施設	事務室・待機室・通信指令室・訓練塔等
管理形態	直営
施設所管課	消防本部庶務課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済

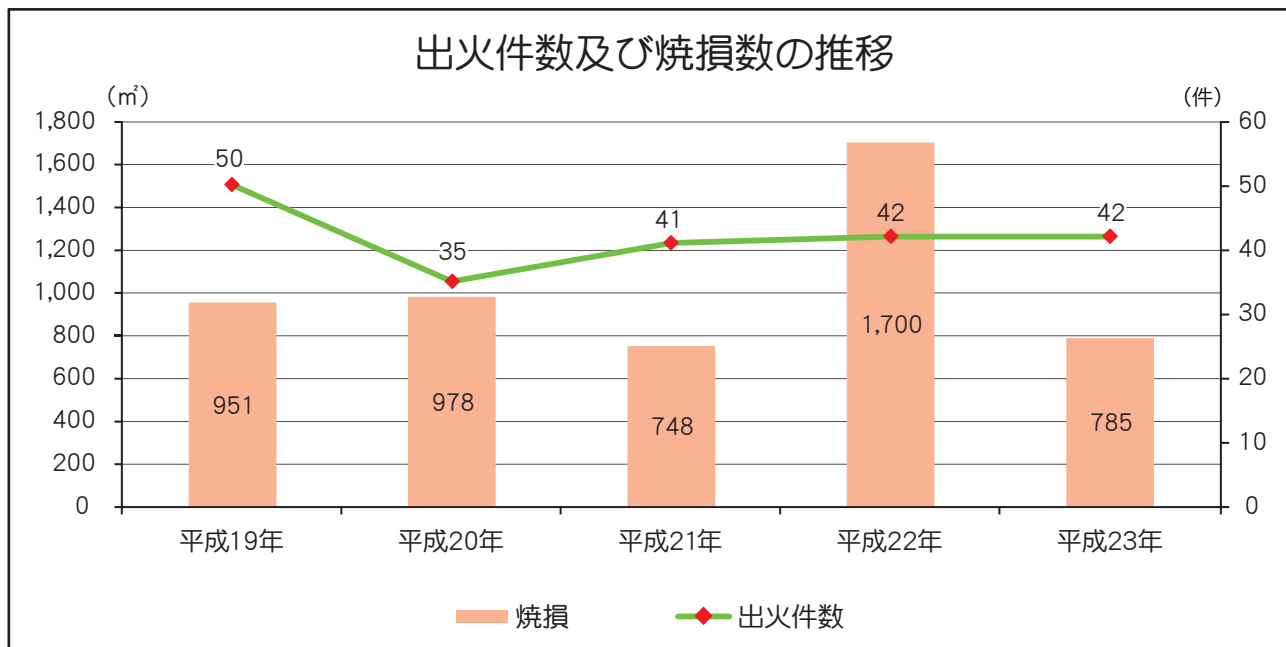


消防署（消防本部）は昭和54年に建築されており、建築後30年以上が経過しています。

平成7年1月の阪神淡路大震災を契機に耐震診断を行い、平成12年度において、庁舎の一部に耐力壁を設けるなどの耐震補強工事を実施していますが、外壁や駐車場内床面などに不具合が生じています。

火災や救助等の災害時に出動し、生命及び財産を保護することを任務としています。また、救急救命講習や防火管理者講習等の講習会も実施しています。

収 入	
使用料等	0 千円
施設にかかる経費	
人件費	299,736 千円 正職員 (47.1人) 非常勤職員 (15.0人)
光熱水費	7,184 千円
修繕料	578 千円
役務費	5,541 千円
委託料	4,580 千円
指定管理料	—
工事請負費	10,760 千円
その他の支出	0 千円
合 計	328,379 千円
減価償却費	10,345 千円 (参考値)





## 1. 本庁舎等

### 1-6 別府市消防署浜町出張所

所在地	浜町8番6号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	670.66㎡
建築年	平成20年
構成施設	車庫・事務室・待機室・仮眠室・会議室等
管理形態	直営
施設所管課	消防本部庶務課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



消防署浜町出張所は、昭和33年に建築されたものを取り壊して、平成20年に新築されました。別府市の南部地域を所管し、旅館やホテルなども多いことから、中高層ビルに対応できるはしご車を配備しています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	59,257千円 正職員(10.1人)
光熱水費	1,642千円
修繕料	132千円
役務費	1,267千円
委託料	1,047千円
指定管理料	—
工事請負費	2,460千円
その他の支出	0千円
合計	65,805千円
減価償却費	2,414千円(参考値)

### 1-7 別府市消防署亀川出張所

所在地	亀川東町26番8号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	218.57㎡
建築年	昭和47年
構成施設	車庫・事務室・待機室・仮眠室
管理形態	直営
施設所管課	消防本部庶務課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



消防署亀川出張所は、昭和47年に建築されており、別府市の北部地域を所管しています。建築後35年以上が経過し、数年後に耐用年数を迎えることから、何らかの対策が必要となっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	59,257千円 正職員(10.1人)
光熱水費	616千円
修繕料	50千円
役務費	475千円
委託料	393千円
指定管理料	—
工事請負費	922千円
その他の支出	0千円
合計	61,713千円
減価償却費	787千円(参考値)

# 1. 本庁舎等

## 1-8 別府市消防署朝日出張所

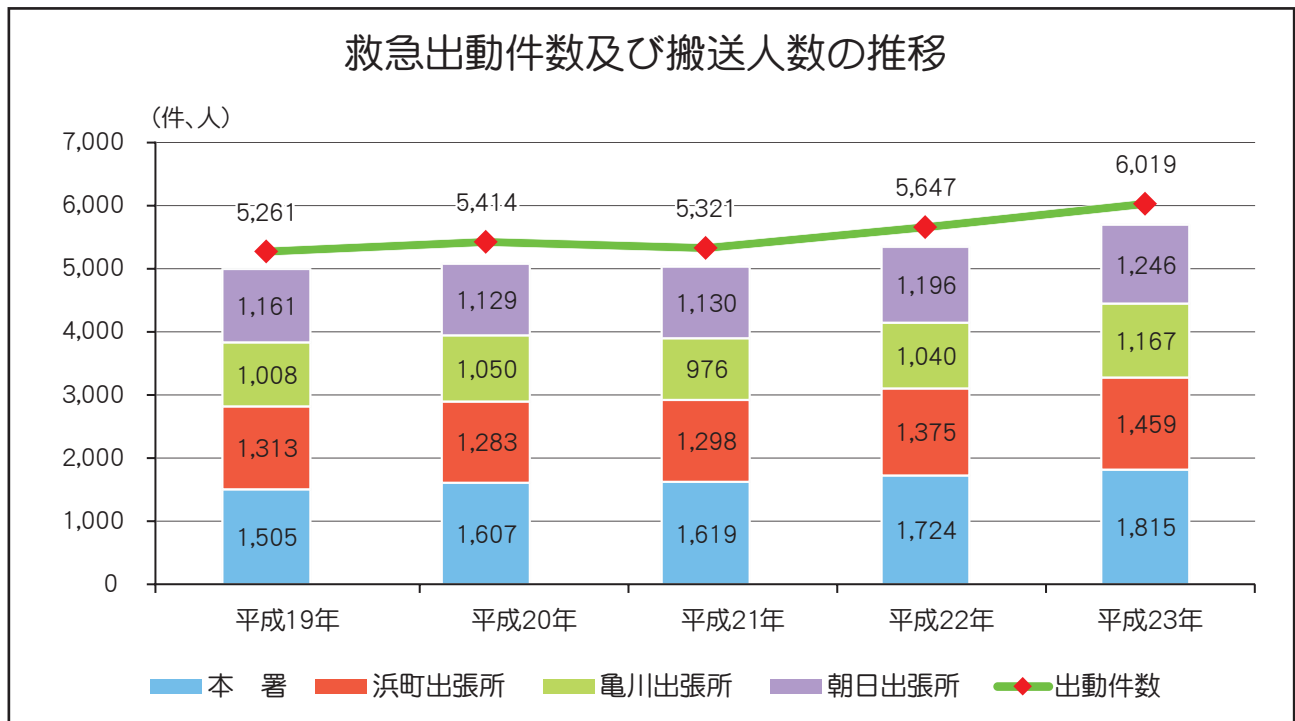
所在地	大字鶴見字宮園969番地の11
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積	344.14㎡
建築年	平成5年
構成施設	車庫・事務室・待機室・仮眠室
管理形態	直営
施設所管課	消防本部庶務課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



消防署朝日出張所は、消防署鉄輪出張所・扇山出張所を廃止し、平成5年に現在の位置に新築されたもので、地域の防災拠点としての機能を担っています。

位置的には、別府市の西部を所管し、山間部や高速道での災害において、いち早く現場に駆けつけます。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	59,257千円 正職員(10.1人)
光熱水費	821千円
修繕料	66千円
役務費	633千円
委託料	523千円
指定管理料	—
工事請負費	1,230千円
その他の支出	0千円
合 計	62,530千円
減価償却費	1,179千円(参考値)



# 1. 本庁舎等

## 耐震診断の実施状況

### 1. 本庁舎等

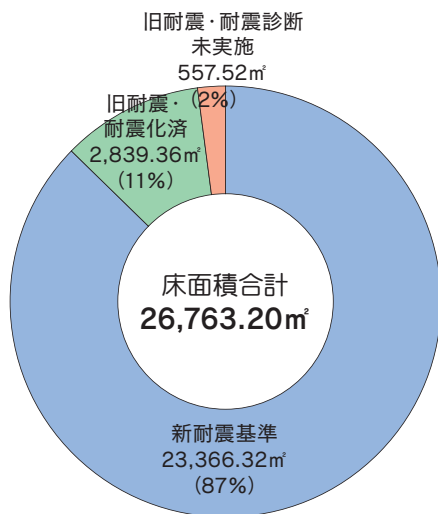
施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準					
				耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
① 別府市役所 (注1)	S60	1	22,001.24						
② 別府市役所南部出張所 (注2)	S62	1	350.28						
③ 別府市役所亀川出張所	S34							1	338.95
④ 別府市消防署 (消防本部)	S54			1	2,839.36				
⑤ 別府市消防署浜町出張所	H20	1	670.66						
⑥ 別府市消防署亀川出張所	S47							1	218.57
⑦ 別府市消防署朝日出張所	H5	1	344.14						
(注3)									
		4	23,366.32	1	2,839.36	0	0.00	2	557.52

(注1) 大型自動車車庫 (169.37㎡) を含みます。

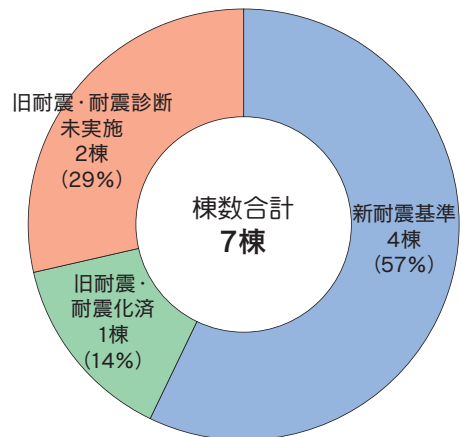
(注2) 複合施設のため、棟数は上記南部出張所で計上し、面積は各施設ごとで計上しています。

(注3) 別府市朝日出張所は民間建物を借上げているため対象施設としません。

床面積に対する割合



棟数に対する割合





施設配置図 1. 本庁舎等





## 文 化

- 2-1 別府市立図書館
- 2-2 別府市浜田温泉資料館
- 2-3 別府市美術館
- 2-4 別府市市民ホール  
(フィルハーモニアホール)



## 2. 文化

### 2-1 別府市立図書館（複合施設）

所在地	千代町1番8号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,353.23㎡
建築年	昭和62年
構成施設	閲覧室・児童室・郷土資料室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



図書館は、市民の教育と文化の発展に寄与することを目的として設置されています。現在の場所は、昭和62年に旧別府市公会堂地下室（現在の中央公民館）から移転したものです。

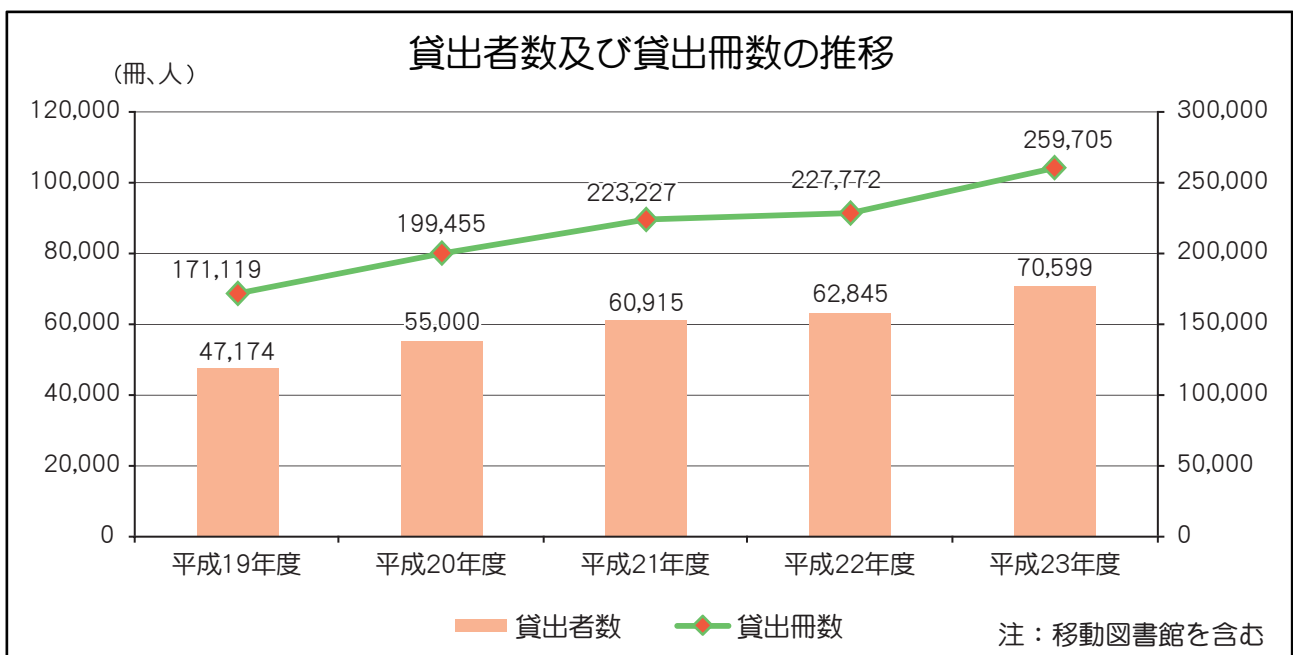
施設については、平成23年度までは借上施設ですが、平成24年度からは市有施設（財産）として管理しています。

利用状況としては、平成19年度に行った蔵書電算化に伴い、登録手続きが簡素化されたことにより、貸出冊数が1人3冊から5冊に増え、利用人数も平成19年度と比べて平成23年度は約1.5倍となっています。蔵書数についても、平成19年度の107,699冊から約1.6倍の169,837冊となっており、県下5番目の多さです。

また、利便性の向上をはかるため平成20年度から予約システムを開始しており、現在では、インターネットからの予約もでき、祝祭日の開館等も行っています。

移動図書館については、小学生の帰宅時間に合わせて貸出時間を繰り下げており、市内11コース30ヶ所を月1回間隔で巡回し、貸出・返却等を行っています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	26,686千円 正職員(1.1人) 非常勤職員(11.0人) 臨時職員(2.0人)
光熱水費	6,734千円
修繕料	103千円
役務費	1,785千円
委託料	0千円
指定管理料	0千円
工事請負費	0千円
その他の支出	23,342千円
合計	58,650千円
減価償却費	— (借上施設)



【平成23年度 開館日数：289日】

## 2. 文化

### 2-2 別府市浜田温泉資料館

所在地	亀川浜田町3番21号
構造	木造
延床面積	158.86㎡
建築年	平成17年
構成施設	資料室・コミュニティフロアー
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新

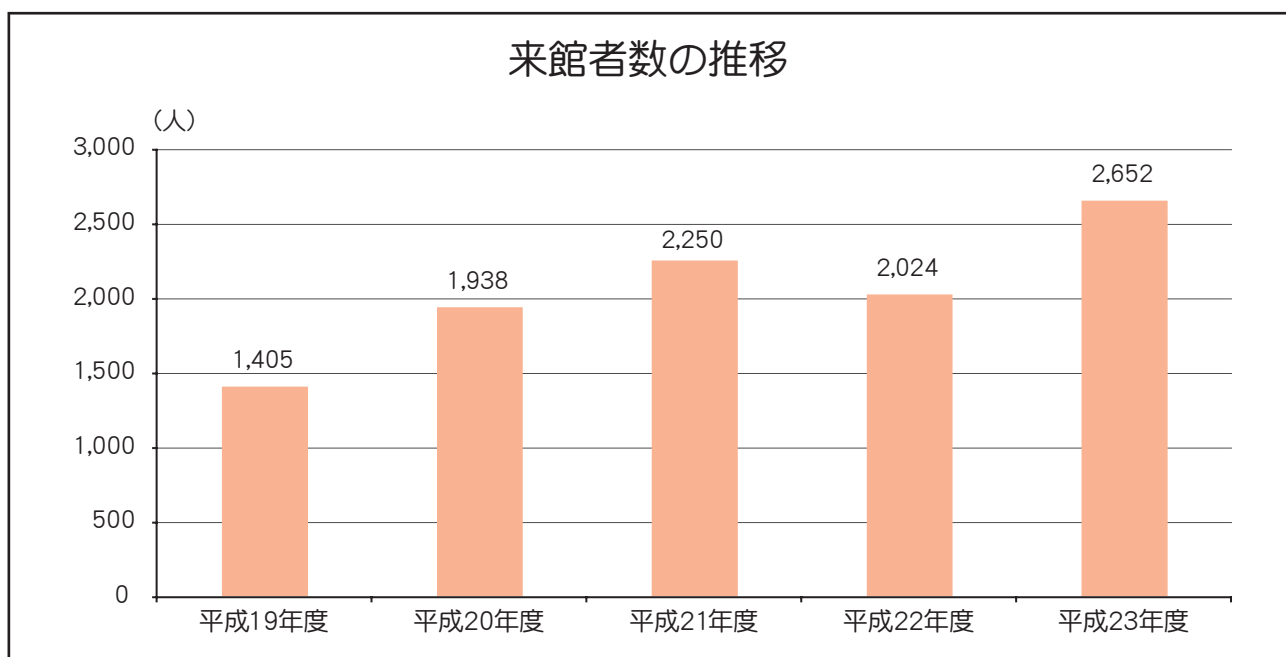


浜田温泉資料館は、温泉文化に関する理解を深め、市民相互の親睦を図ることを目的として平成17年に設置されています。施設は、浜田温泉新築移転（平成14年完成）に伴い、昭和10年に建築された旧浜田温泉を平成15年に解体しましたが、市内の篤志家の寄付により、解体時に保存していた部材を使用して建築されたものです。市内においては、竹瓦温泉と並ぶ昭和初期の温泉建物であり貴重な資料として、平成18年に国の登録有形文化財となっています。

利用状況としては、開館以降、来館者は年々増加しており、平成19年度と比較して平成23年度は約1.9倍の増となっています。また、最近では町歩きのコースになっており、昭和初期の温泉施設を知っていただく貴重な場となっています。

しかし、資料館閉館後に利用できるコミュニティフロアー（事前予約）の利用は、伸び悩んでおり、今後の活用促進が必要です。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	2,737千円 正職員(0.1人) 臨時職員(1.4人)
光熱水費	61千円
修繕料	0千円
役員費	46千円
委託料	94千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	1,867千円
合計	4,805千円
減価償却費	634千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：309日】

## 2. 文化

### 2-3 別府市美術館

所在地	上人ヶ浜町1番1号
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積	3,391.67㎡
建築年	昭和47年
構成施設	展示室・収蔵庫・創作室・研修室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

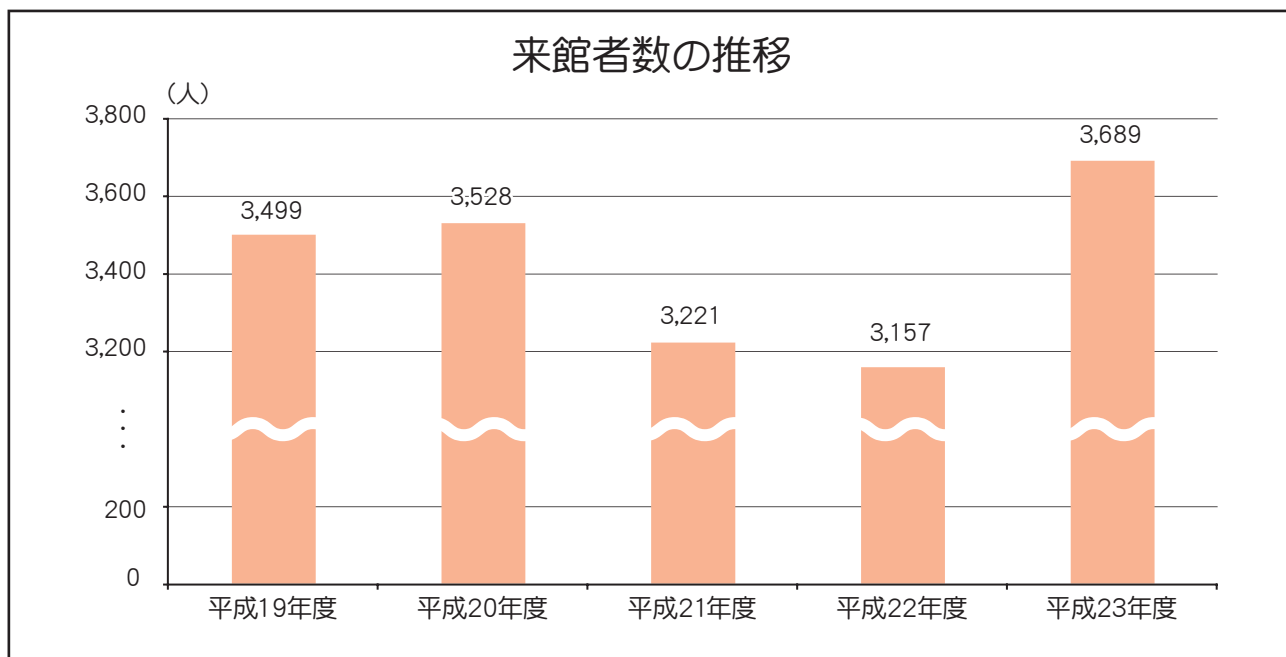


美術館は、美術品及び美術工芸品並びに民俗資料（以下「美術品等」という。）を陳列観覧に供するとともに、美術品等に関する知識及び教養の向上並びに美術工芸の発展に資することを目的として、昭和59年に設置されています。施設は、昭和47年に建設されたホテルを譲り受け、建屋の半分を美術館として改装したものです。施設の状況としては、経年劣化により外壁材の剥離や湿気対策が必要となっています。また、内装等にも不具合があるため、随時修繕工事をするなどの対応をとっています。なお、収蔵品の増加により展示場が不足しています。

収 入	
使用料等	165 千円
施設にかかる経費	
人件費	6,827 千円 正職員 (0.1人) 非常勤職員 (4.0人)
光熱水費	3,180 千円
修繕料	162 千円
役員費	388 千円
委託料	1,255 千円
指定管理料	—
工事請負費	1,229 千円
その他の支出	474 千円
合計	13,515 千円
減価償却費	13,906 千円 (参考値)

利用状況としては、美術館とともに博物館としての展示物もあるため、美術愛好者以外の方にも利用されています。

また、近隣の小学校には社会見学として利用されており、平成22年度は2校160人、平成23年度は5校318人が来館しています。



【平成23年度 開館日数：308日】

## 2. 文化

### 2-4 別府市市民ホール（フィルハーモニアホール）

所在地	山の手町12番1号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	8,657.08㎡
建築年	平成7年
構成施設	市民ホール
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部観光まちづくり課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新

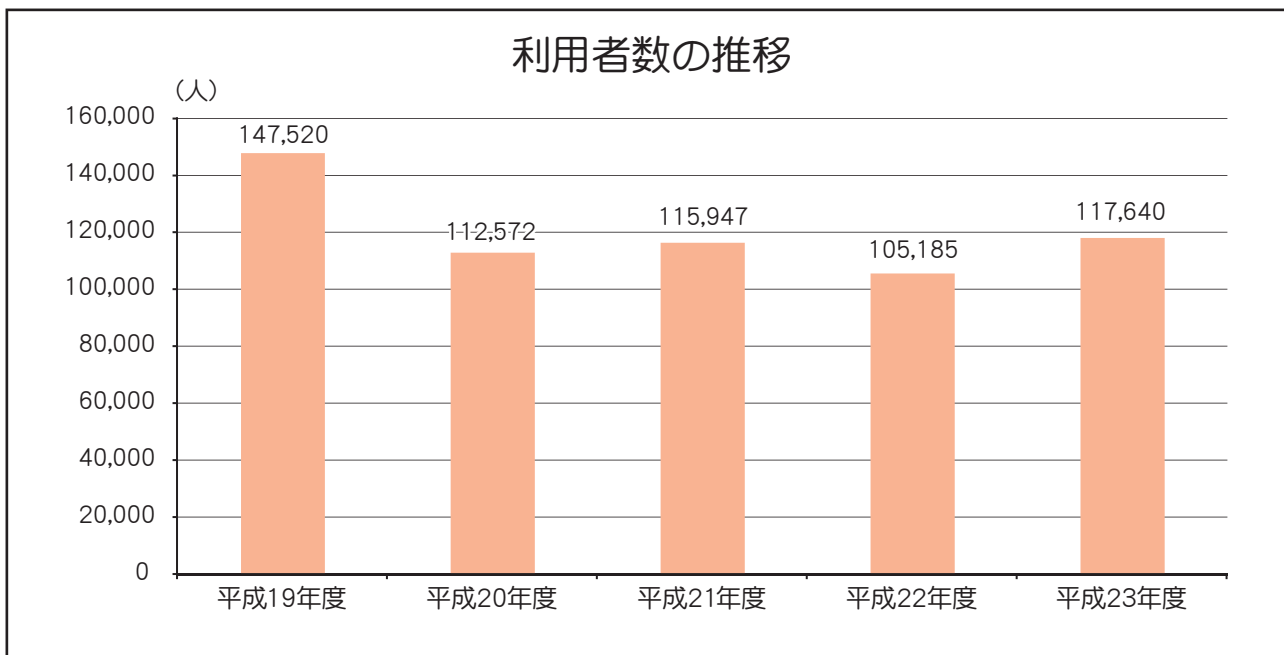


※施設所管課についてはH25年度より“ONSENツーリズム部観光課”に名称が変わります。

市民ホールは、芸術・文化の創造空間を市民に提供することにより、市民の自己実現に寄与し、また、地方からの情報の発信を促すことを目的として設置されています。施設は、別府国際コンベンションセンタービーコンプラザの1階に位置し、日本でも珍しい最大約1,200人収容の馬蹄形ホールとなっています。施設の状況としては、建築から15年以上経過していることから更新時期を迎えており、平成23年度には音響設備等の工事を行っています。

利用状況としては、指定管理者による自主事業として市民参加の「ビーコンプラザ オペレッタ劇場」の開催やコンサート、各種会議、その他市民の集いの場として幅広く利用されています。利用者数は概ね11万人前後で推移しており、利用率は平成23年度で約72%となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	1,760 千円 正職員 (0.3人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役務費	0 千円
委託料	8,715 千円
指定管理料	75,929 千円
工事請負費	9,562 千円
その他の支出	10,786 千円
合 計	106,752 千円
減価償却費	116,283 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

## 2. 文化

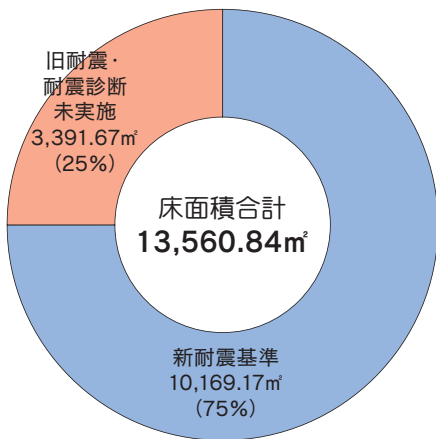
### 耐震診断の実施状況

#### 2. 文化

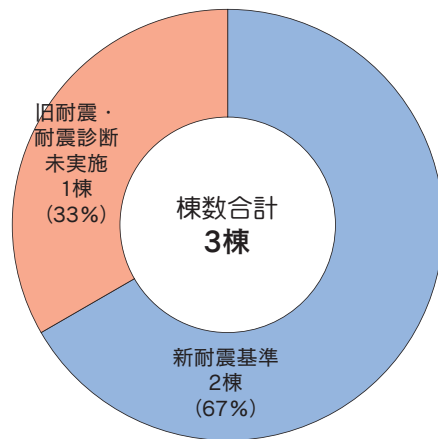
施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準							
		棟数	延べ面積	耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施			
				棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積		
① 別府市立図書館(注)	S62	—	1,353.23								
② 別府市浜田温泉資料館	H17	1	158.86								
③ 別府市美術館	S47								1	3,391.67	
④ 別府市民ホール(フィルハーモニアホール)	H7	1	8,657.08								
		2	10,169.17	0	0.00	0	0.00	1	3,391.67		

(注) 複合施設のため、棟数は「本庁舎等」の南部出張所で計上しています。

床面積に対する割合



棟数に対する割合





施設配置図 2. 文化







# 3

## スポーツ

- 3-1 別府市総合体育館
- 3-2 市民体育館
- 3-3 西部地区体育館
- 3-4 南部地区体育館
- 3-5 中部地区体育館
- 3-6 朝日大平山地区体育館
- 3-7 野口ふれあい体育館
- 3-8 市民球場
- 3-9 実相寺球場
- 3-10 野口原総合運動場（管理棟）
- 3-11 実相寺サッカー競技場  
（管理棟）
- 3-12 実相寺多目的グラウンド  
（実相寺中央公園管理棟）
- 3-13 弓道場・アーチェリー場
- 3-14 公園テニスコート
- 3-15 温水プール
- 3-16 青山プール
- 3-17 セーリング艇庫
- 3-18 ヨット艇庫



### 3. スポーツ

#### 3-1 別府市総合体育館

所在地	青山町8番37号
構造	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積	20,735.97㎡
建築年	平成15年
構成施設	メインアリーナ・サブアリーナ・スポーツ講習室・トレーニング室・ミーティング室・選手控室等
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



体育館や競技場などのスポーツ施設は、市民の健康増進並びに競技力向上の場を提供するとともにスポーツ観光に寄与することを目的として設置されています。

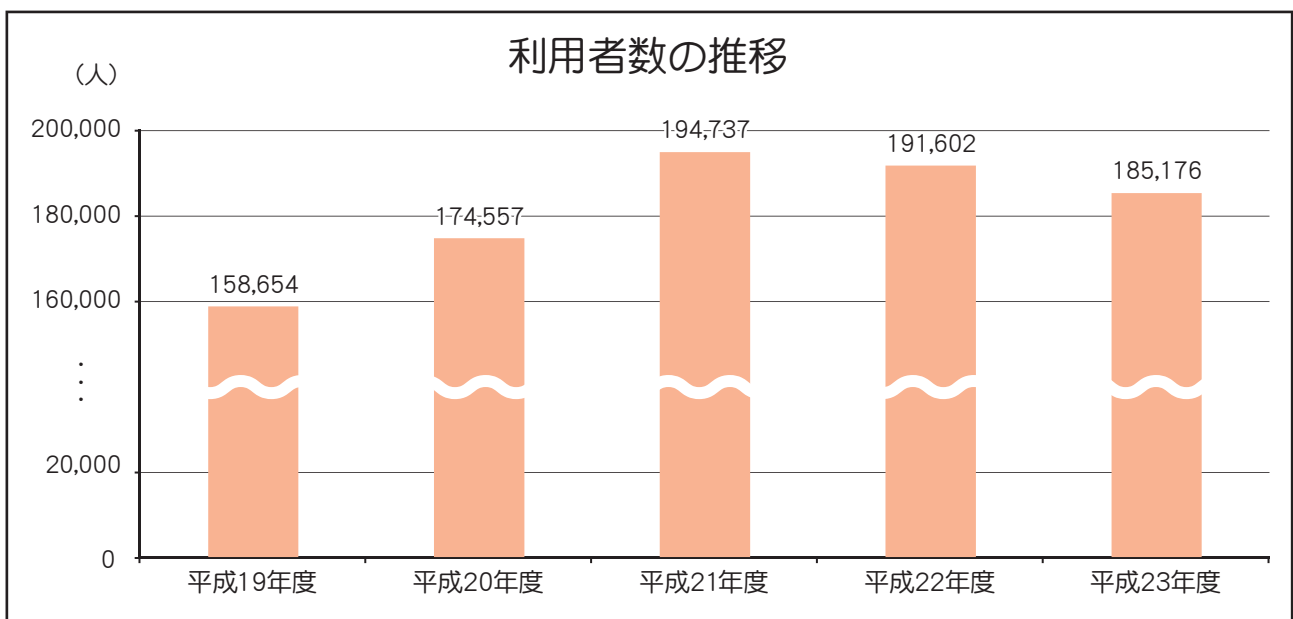
総合体育館は、旧別府球場跡地にスポーツ観光の核施設として平成15年に設置されています。

施設の状況としては、経年劣化により空調設備や電気器具などに不具合が見られるようになっており、簡易な修繕工事が必要となっています。

利用状況としては、団体、個人とも利用頻度は高く、平成21年度以降は19万人前後で推移しています。

平成23年度の団体の施設別利用者数は、メインアリーナが75,179人、サブアリーナが51,430人、会議室が5,812人となっています。また、個人の目的別利用者数は、トレーニングが48,306人、バドミントンが2,600人、卓球が662人、ランニングが1,187人となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	439千円
役務費	0千円
委託料	3,234千円
指定管理料	42,281千円
工事請負費	200千円
その他の支出	0千円
合 計	46,741千円
減価償却費	107,205千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：310日】

### 3. スポーツ

#### 3-2 市民体育館

所在地	大字別府3016番地の1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	2,616.00㎡
建築年	昭和55年
構成施設	アリーナ・柔道場・剣道場・会議室等
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

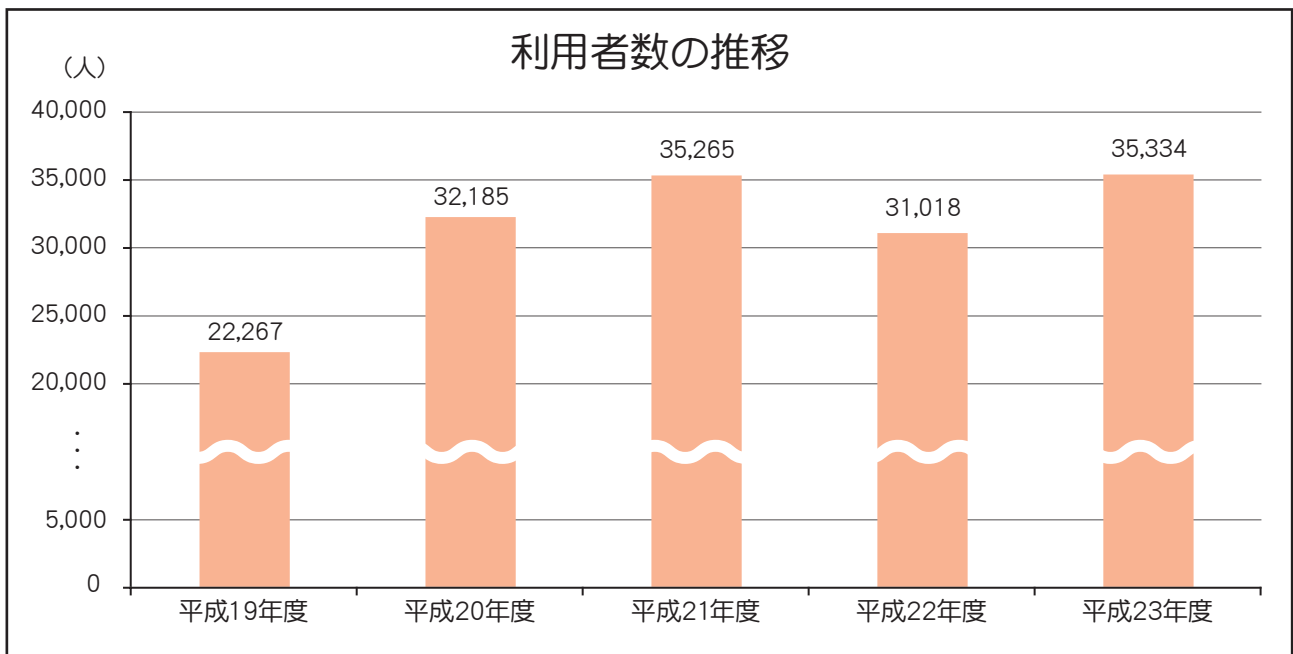


市民体育館は、昭和55年に設置されており、建築後30年以上が経過したため施設全体の老朽化が目立ち、修繕や改修工事が必要となっております。

利用状況としては、午前・午後はミニバレーやフォークダンスなどを行う団体の利用が多くなっており、夕方以降については、社会人サークルによるバレーボール・卓球などに利用されています。

平成19年度は2万人台での利用でしたが、平成20年度以降は3万人台まで増加し、平成23年度は35,334人の利用となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	53千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	20,636千円
工事請負費	105千円
その他の支出	0千円
合 計	21,381千円
減価償却費	10,359千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：360日】

### 3. スポーツ

#### 3-3 西部地区体育館

所在地	大字南立石2139番地の15
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	686.00㎡
建築年	昭和59年
構成施設	ステージ・更衣室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新

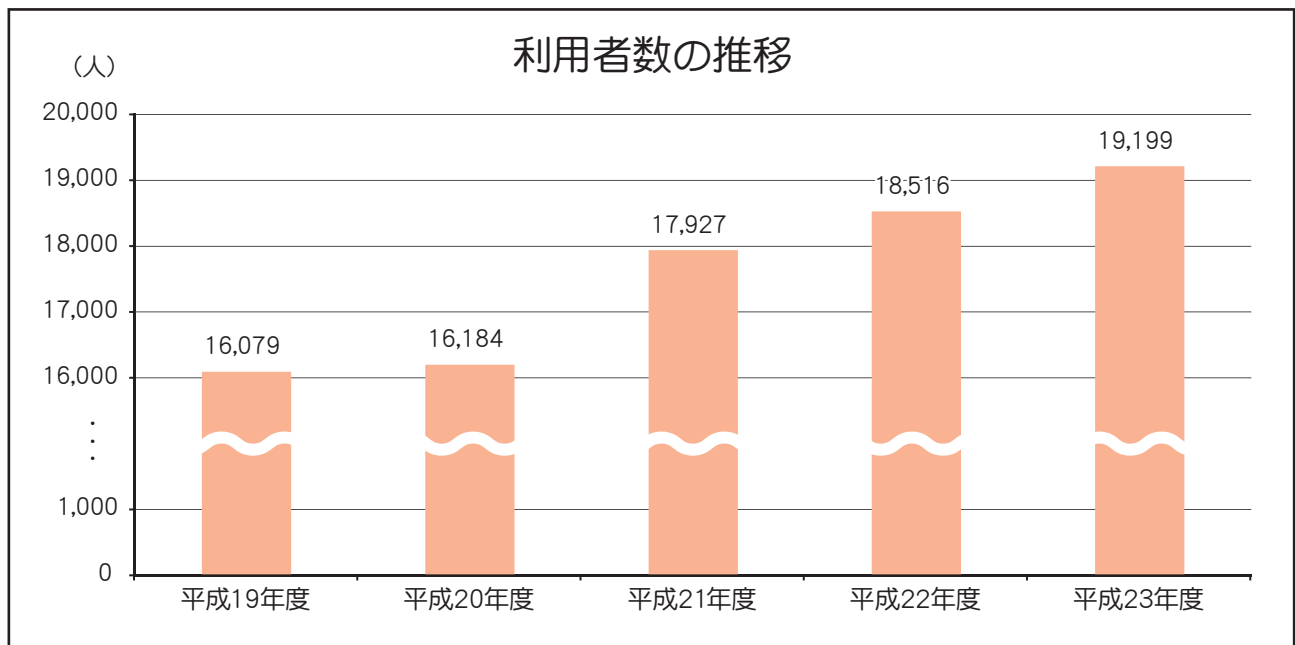


西部地区体育館は、昭和59年に設置されており、建築後27年が経過しています。

これまでに大規模な改修は行われていないため、雨漏りなどの不具合が時々見られ、部分的に防水等の修繕をするなどの対応が必要となっています。平成21年度には雨漏りのため、屋根改修工事を行っています。

利用状況としては、ミニバレー・卓球・剣道・空手などに利用されており、利用者は平成19年度以降増加傾向となっています。また、中学校の部活動の場としても利用されています。

収 入	
使用料等	715 千円
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	100 千円
役務費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	0 千円
合 計	687 千円
減価償却費	2,717 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

### 3. スポーツ

#### 3-4 南部地区体育館（複合施設）

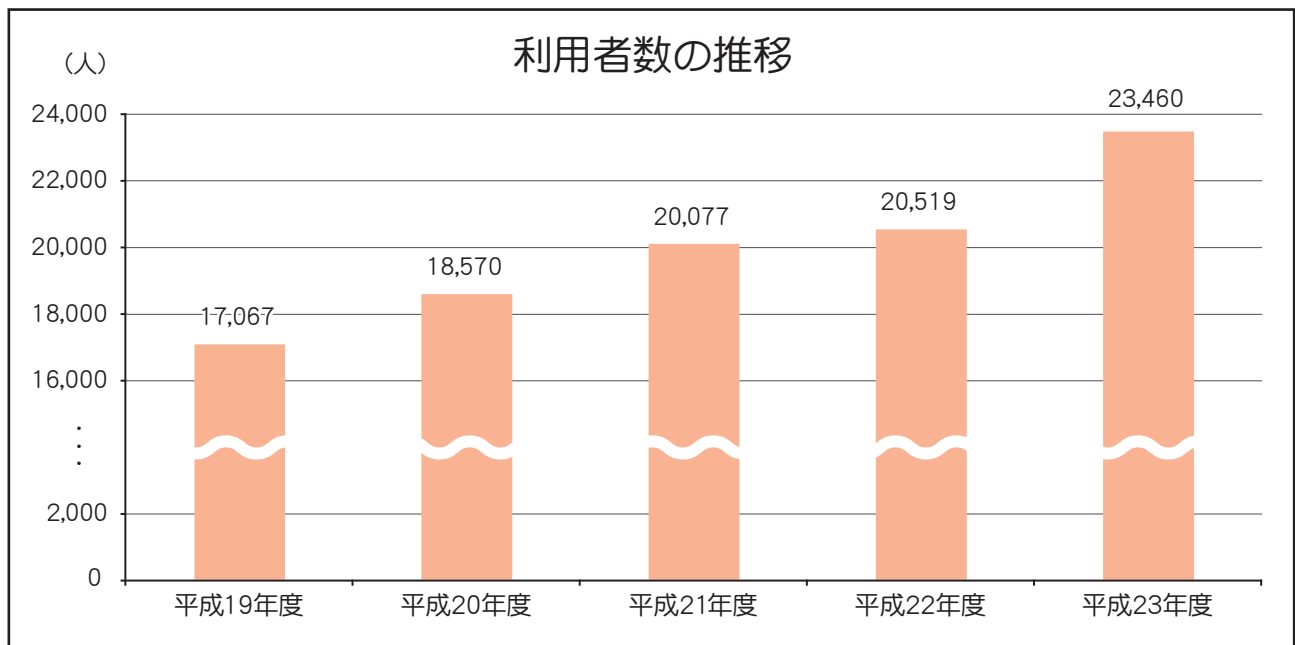
所在地	浜脇一丁目8番20号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,229.92㎡
建築年	平成3年
構成施設	ステージ・更衣室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



南部地区体育館は、湯都ピア浜脇、南部地区公民館を併設した複合施設として、平成3年に設置されています。施設の状況としては、建築後20年が経過し老朽化が進んだため、平成23年度に大規模な屋根改修工事を行っています。

利用状況としては、主に卓球・ミニバレー・バドミントン・子ども太鼓等18団体の定期的な利用が大部分を占めています。利用者は年々増加しており、平成23年度は23,460人の利用となっています。

収 入	
使用料等	616 千円
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	175 千円
役務費	0 千円
委託料	851 千円
指定管理料	—
工事請負費	21,714 千円
その他の支出	0 千円
合 計	23,327 千円
減価償却費	4,870 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

### 3. スポーツ

#### 3-5 中部地区体育館

所在地	大字北石垣1841番地 1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	714.85㎡
建築年	平成4年
構成施設	ステージ・更衣室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新

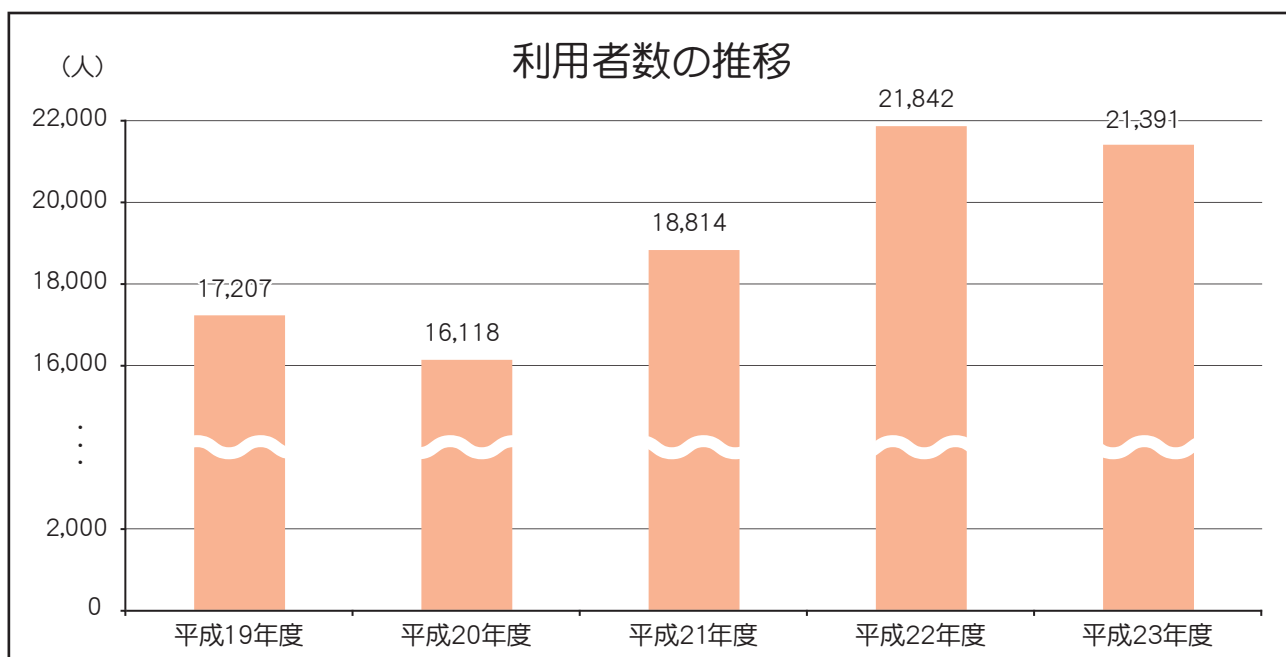


中部地区体育館は、平成4年に設置されています。施設の状況としては、建築後19年が経過し老朽化が進んだため、平成23年度に雨漏りのため屋根改修工事を行っています。

利用状況としては、卓球やミニバレーなどの定期的な利用者によるものが主となっており、26団体の利用となっています。平成21年度までは1.7万人前後の利用でしたが、平成22年度以降は2万人台まで増加し、平成23年度は21,391人の利用となっています。しかし、駐車場スペースが十分でないことから、公民館の講座と重なった場合は対応に苦慮しています。

平成4年の開館から、3地区（石垣・緑丘・境川）対抗のミニバレー大会を開催しており、地域内の親睦を図る場としても利用されています。

収 入	
使用料等	496 千円
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	123 千円
役務費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	—
工事請負費	8,085 千円
その他の支出	0 千円
合 計	8,795 千円
減価償却費	2,831 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】



### 3. スポーツ

#### 3-6 朝日大平山地区体育館

所在地	大字鶴見940番地の1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,759.12㎡
建築年	平成9年
構成施設	ステージ・更衣室・会議室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	あり(収容)
耐震性	●耐震基準：新

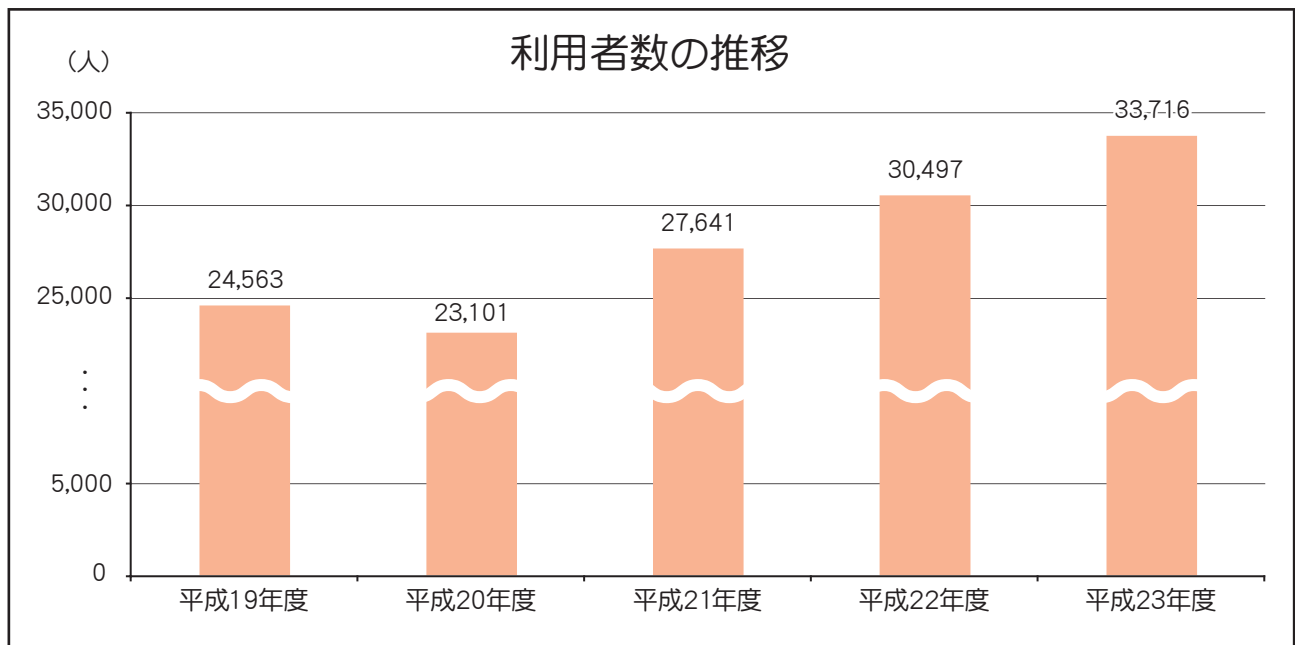


朝日大平山地区体育館は平成9年に設置されており、建築から15年近くが経過しています。2階にあるアリーナも車いすでの利用がしやすいように山手側道路よりスロープを設けており、身障者用トイレも備えています。

利用状況としては、市主催講座や自主講座、スポーツクラブの25団体の定期的な利用が大部分を占めています。また、公民館祭や町内の文化祭の場としても利用されています。

利用者数は、平成20年度まで約2.4万人前後で推移していましたが、22年度以降は増加傾向となっており、平成23年度では33,716人の利用となっています。

収 入	
使用料等	1,722 千円
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	96 千円
役務費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	—
工事請負費	27 千円
その他の支出	0 千円
合計	710 千円
減価償却費	6,966 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】



### 3. スポーツ

#### 3-7 野口ふれあい体育館

所在地	野口元町12番43号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	722.00㎡
建築年	昭和52年
構成施設	ステージ・更衣室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済



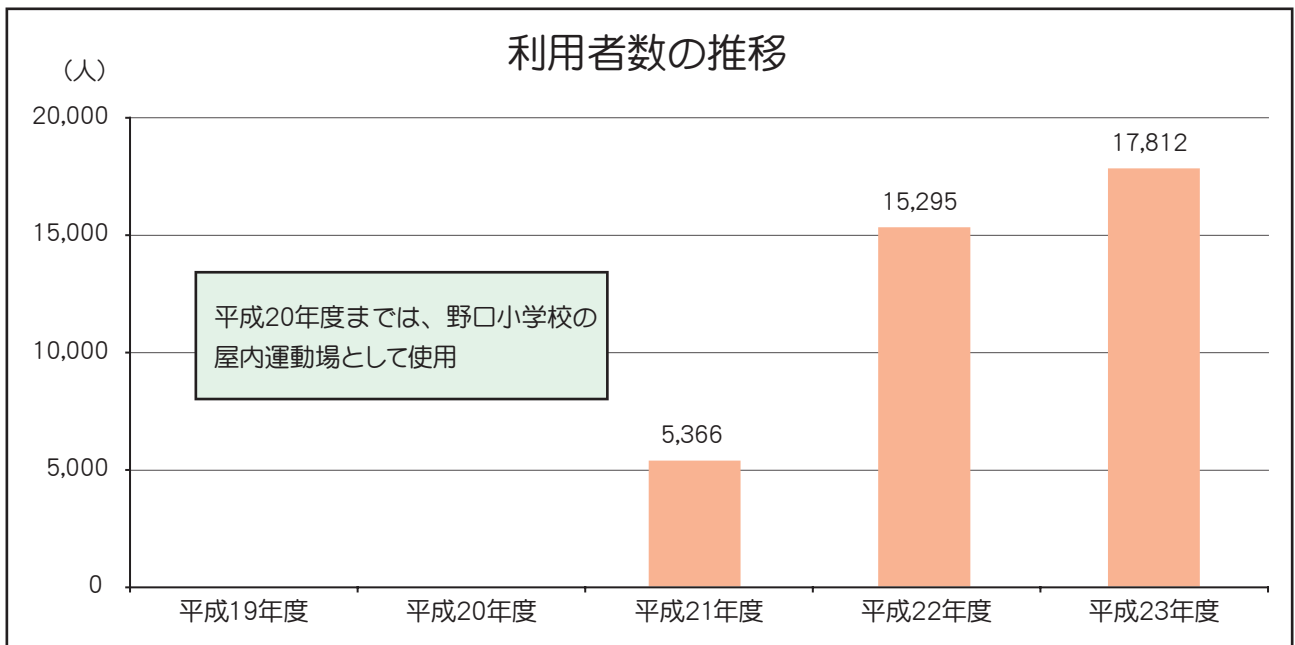
野口ふれあい体育館は、昭和52年に野口小学校の屋内運動場として建築されたものです。

平成21年度に耐震補強を含めたりニューアル工事を行い、体育活動はもとより災害時の避難場所としても利用できるようになっていました。

利用状況としては、市主催講座やバレーボール、フットサル、卓球などの団体が主に利用しています。時間帯でみると、17時～22時までは、ほぼ毎日利用されています。

利用者は、平成21年度から年々増加しており、平成23年度は17,812人の利用となっています。

収 入	
使用料等	455 千円
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役務費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	0 千円
合 計	587 千円
減価償却費	2,859 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

### 3. スポーツ

#### 3-8 市民球場

所在地	大字鶴見3747番地
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,101.47㎡
建築年	平成19年
構成施設	本部役員室・審判控室・次試合選手控室・シャワー室・ロッカー室・放送室・記録室
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



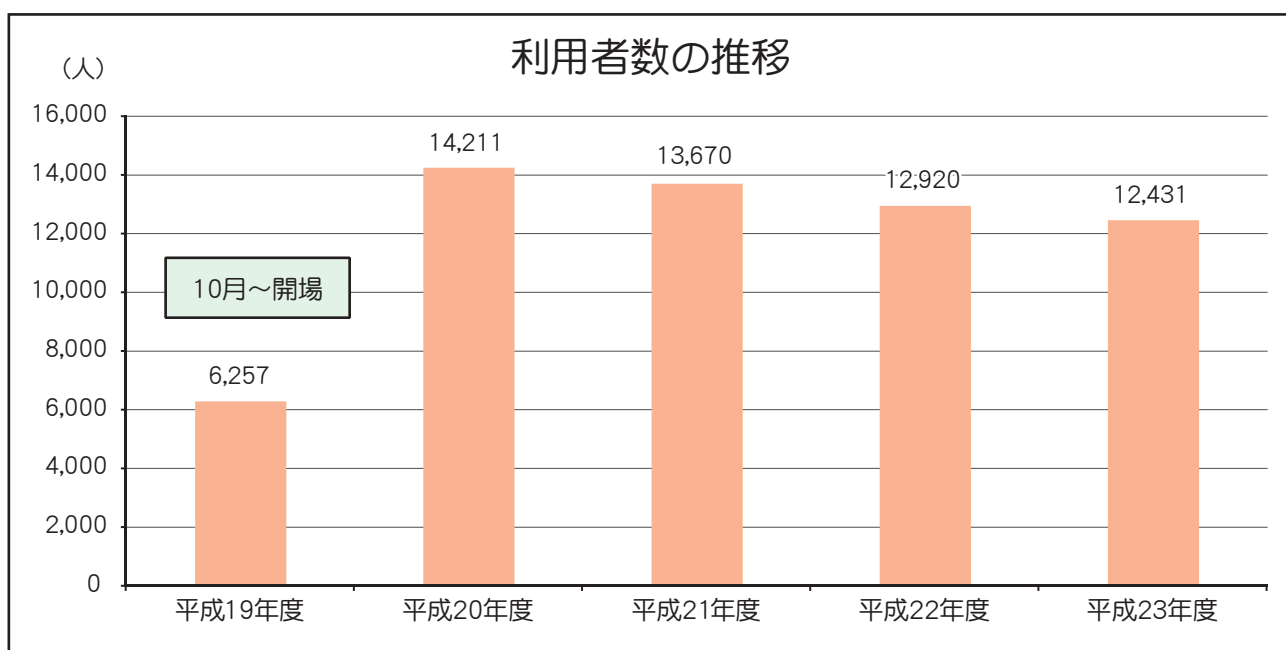
市民球場は、内野には黒土混合土を使用した本格的な硬式野球場として平成19年に設置されています。また、施設内には「稲尾記念館」が設置されており、故稲尾和久氏からの寄贈品等の展示を行なっています。

施設の状況としては、空調設備やガス器具に不具合が見られ、修繕工事をするなどの対応を行っています。また、内野部分の排水が不十分であることや外野の天然芝の管理について対策が必要となっています。

利用状況としては、土日祝日は各種大会での使用が多く、平日の夕方は少年団体による使用が主になっているほか、韓国大学生のキャンプや国内の大学生の合宿の場としても利用されています。

利用者数は、各年度で多少の増減はありますが1.3万人前後で推移しており、利用者別の割合で見ると、小中学生約51%、一般約39%、高校生約10%となっています。また、平成23年6月の1ヶ月間は芝の養生のため使用禁止としています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	28千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	11,000千円
工事請負費	146千円
その他の支出	0千円
合 計	11,761千円
減価償却費	4,610千円(参考値)



【平成23年度 開場日数：360日】

### 3. スポーツ

#### 3-9 実相寺球場

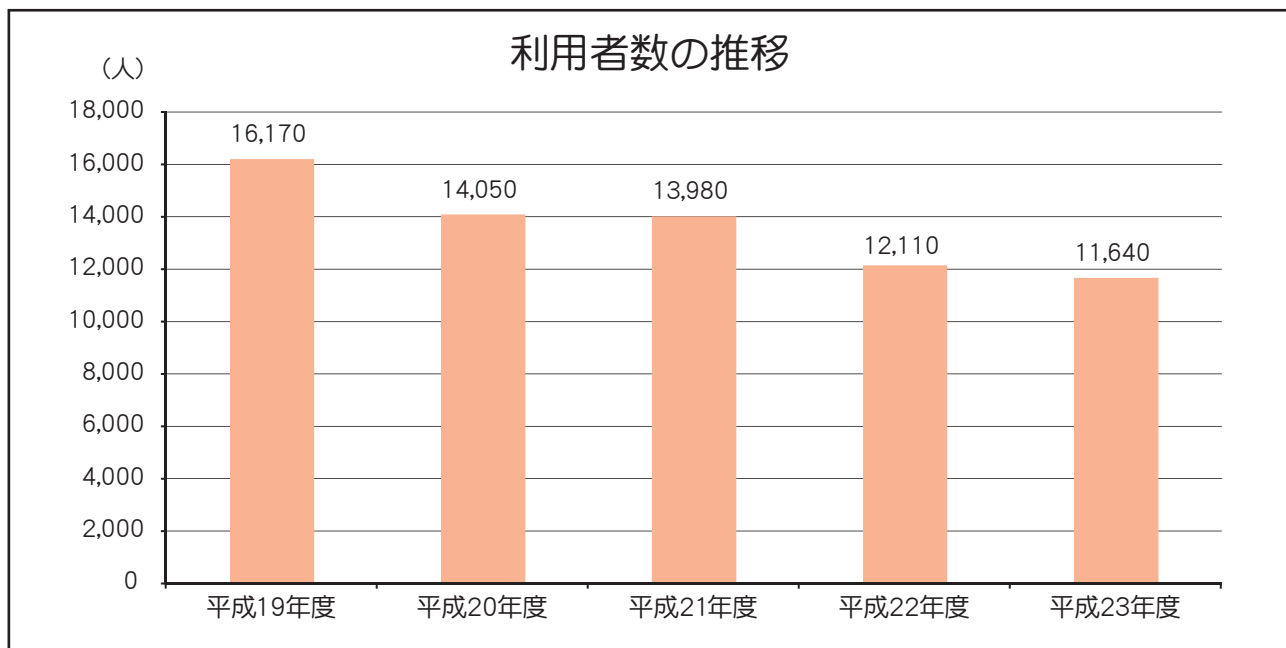
所在地	大字鶴見3708番地
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	160.15㎡
建築年	昭和51年
構成施設	本部席・倉庫
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



実相寺球場は、昭和51年に設置されており、建築後35年を経過しています。施設の状況としては、これまでに外野得点ボードの張替えや防球ネットの設置などを行いました。平成23年度では併設していた相撲練習場を解体し、駐車場の整備を行っています。また、施設の老朽化が目立ち、対策が必要となっています。

利用状況としては、市民球場と同様に土日祝日は各種大会での使用が多く、平日は小中学生による利用が主となっています。利用者数は、平成19年度は16,170人の利用となっていました。年々減少し平成23年度では11,640人となり約4,500人の減少となっています。利用者別の割合でみると、一般約62%、小中学生約38%となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	399千円
指定管理料	2,548千円
工事請負費	17,953千円
その他の支出	0千円
合 計	21,487千円
減価償却費	670千円(参考値)



【平成23年度 開場日数：360日】

### 3. スポーツ

#### 3-10 野口原総合運動場（管理棟）

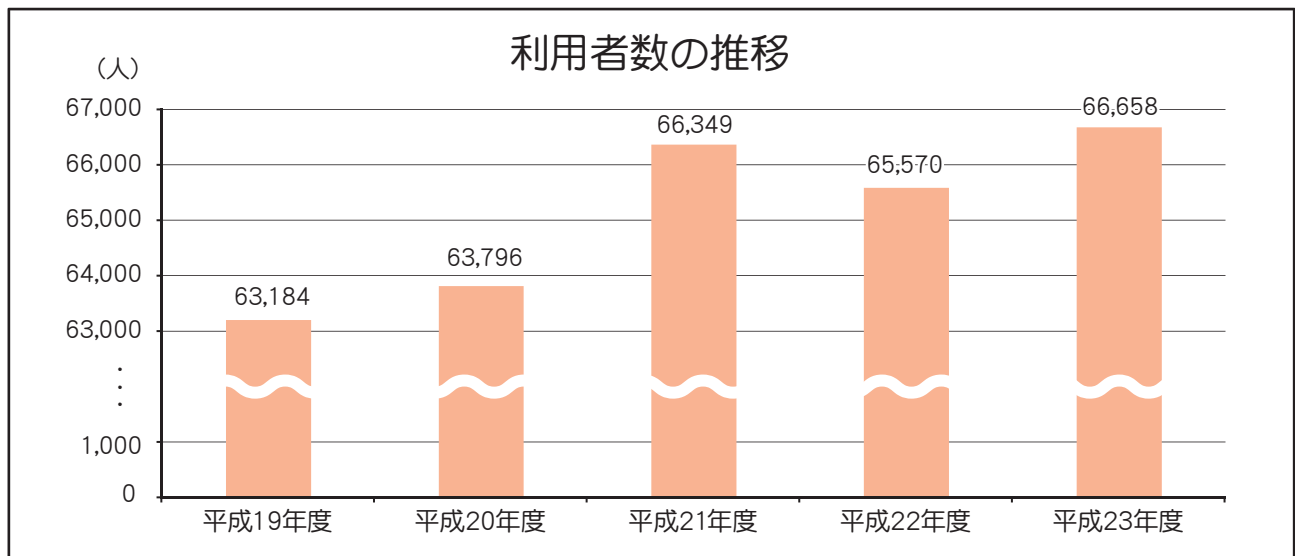
所在地	大字別府3088番地の9
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	473.42㎡
建築年	昭和56年
構成施設	管理棟・陸上競技場・軟式野球場・ソフトボール場等
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



野口原総合運動場は、陸上競技場、ソフトボール場（2面）、軟式野球場（2面）を備えた施設として昭和56年に設置されています。施設の状況としては、経年劣化により管理棟は放送設備の修繕を行い、ソフトボール場については防球ネット及びグラウンド整備の補修工事を行っています。

利用状況としては、ソフトボール場及び軟式野球場は土日祝日の小学生などによる各種大会での利用が多くなっていますが、平日については利用者が少ない状況となっています。陸上競技場は照明設備が整備されているために、夕方からの一般利用者が多く、また中・高校生のクラブ活動の場としても利用されています。利用者については、平成20年度以降は6.3万人台から増加傾向にあり、平成23年度では66,658人の利用となっています。施設別の利用割合では、軟式野球場約36%、陸上競技場（トラック）約32%、ソフトボール場約26%、陸上競技場（フィールド）約6%となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	12千円
役務費	0千円
委託料	6,281千円
指定管理料	21,426千円
工事請負費	1,512千円
その他の支出	0千円
合計	29,818千円
減価償却費	961千円(参考値)



【平成23年度 開場日数：360日】

### 3. スポーツ

#### 3-11 実相寺サッカー競技場（管理棟）

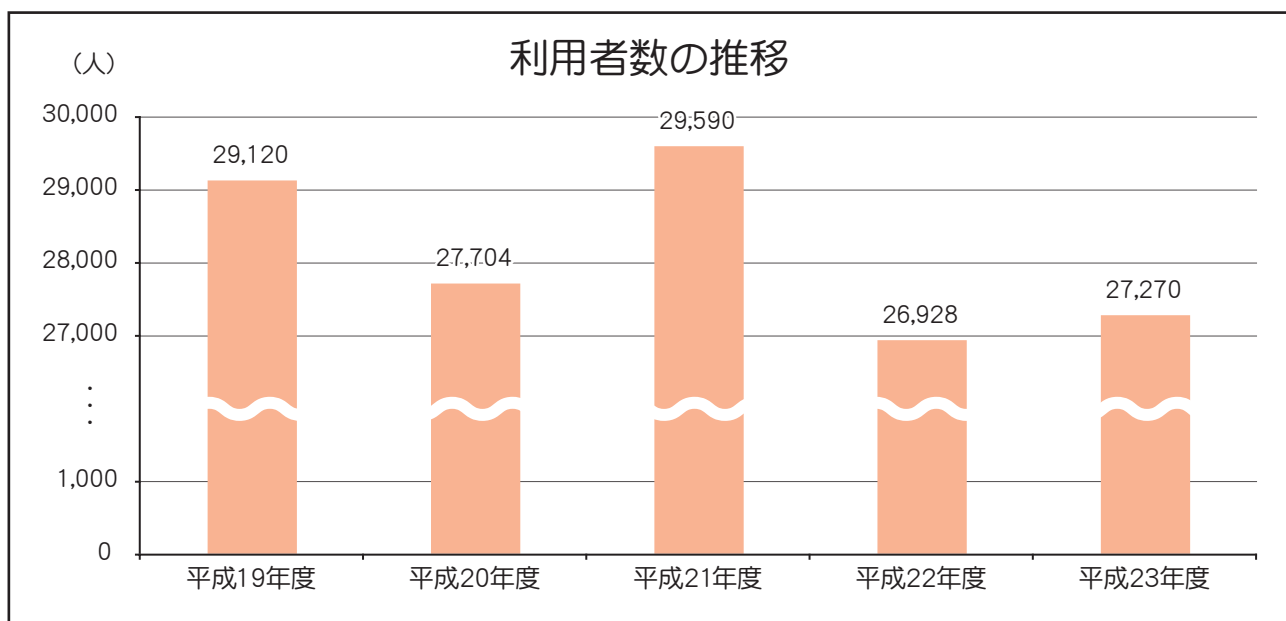
所在地	大字鶴見3705番地
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	512.30㎡
建築年	平成13年
構成施設	天然芝コート・人工芝コート・シャワー室・ミーティングルーム・多目的室・審判員控室等
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



実相寺サッカー競技場は、2002年サッカーワールドカップキャンプ誘致のため、天然芝グラウンドと管理棟を備えた施設として平成13年にリニューアルされました。その後は観光スポーツ誘致を目的に、人工芝グラウンドも整備しています。施設の状況としては、観覧席等の劣化が目立ち始めています。

利用状況としては、天然芝コートについてはJリーグチームのキャンプや練習会場などプロが使用するグラウンドとしてのクオリティーを保ち、大会誘致やスポーツ観光誘致ができる体制づくりを行っているため利用頻度は低くなっています。人工芝コートは、平日の夕方以降については小中学生による利用が多くなっています。利用者数は各年度で多少の増減はあるものの2.8万人前後で推移しており、施設別の利用割合では、人工芝コートが約86%、天然芝コート約14%となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	928千円
指定管理料	25,354千円
工事請負費	2,308千円
その他の支出	8,190千円
合計	37,367千円
減価償却費	1,844千円(参考値)



【平成23年度 開場日数：360日】



### 3. スポーツ

#### 3-12 実相寺多目的グラウンド（実相寺中央公園管理棟）

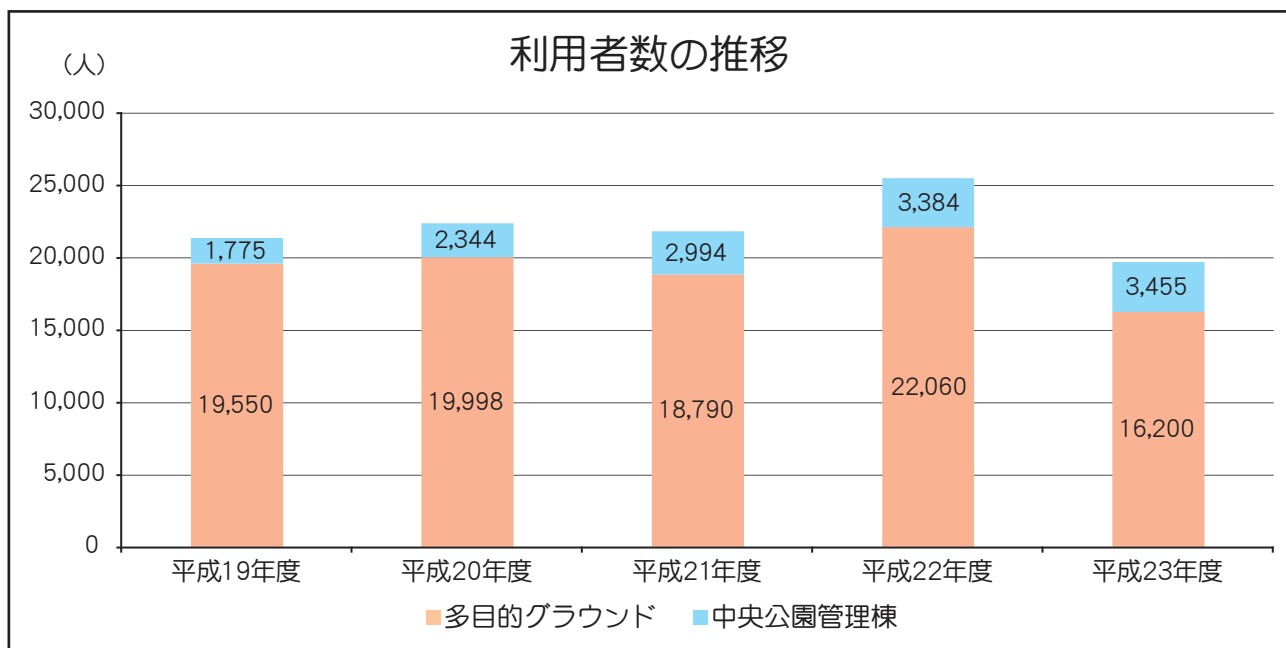
所在地	大字鶴見3763番地
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	357.00㎡
建築年	平成9年
構成施設	多目的グラウンド・会議室・ミーティング室・シャワー室・備蓄倉庫等
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



実相寺多目的グラウンド（実相寺中央公園管理棟）は、ラグビー、サッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフなどのスポーツが多目的に利用できる施設として平成9年に設置されています。多目的グラウンドは雨天時に排水の状態が悪く、天候が回復しても利用ができないことがあります。

利用状況としては、多目的グラウンドについては平日の午前中は町内や宿泊関係でのグラウンドゴルフ、夕方以降は少年サッカー、土日祝日は、各種スポーツの大会が主な利用となっており、中央公園管理棟はサークル活動や児童教室、会議の場として利用されています。多目的グラウンドの利用者数は、平成22年度まで2万人前後で推移していましたが、平成23年度では16,200人となり利用頻度が低くなっています。中央公園管理棟は概ね3千人前後で推移しています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	13,558千円
工事請負費	0千円
その他の支出	0千円
合計	14,145千円
減価償却費	1,285千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：360日】

### 3. スポーツ

#### 3-13 弓道場・アーチェリー場

所在地	大字鶴見3801番地の20
構造	鉄骨造
延床面積	656.00㎡
建築年	平成4年
構成施設	的場・審判席・更衣室等
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



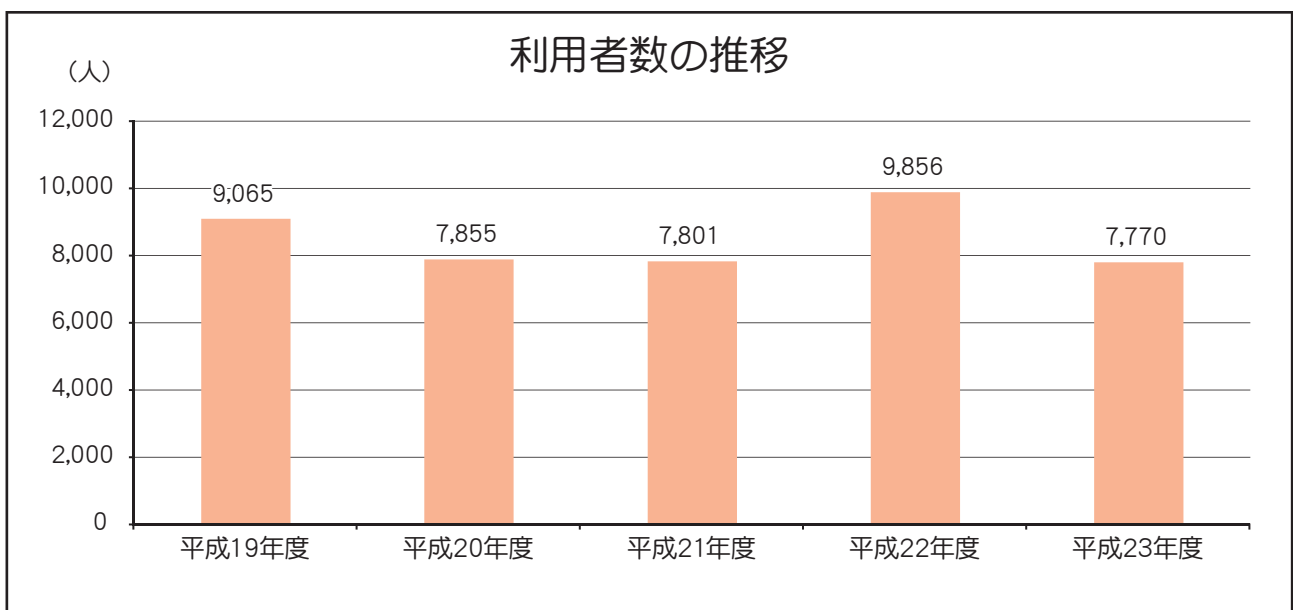
弓道場・アーチェリー場は、平成4年に設置されており、弓道場は射距離28m、アーチェリー場は射距離60mの規模となっています。施設の状況としては、弓道場の床が劣化により不具合が目立つことから平成22年に射場部分のみ張替えを行っていますが、射場以外の床は改修等をしておらず対策が必要となっています。

利用状況としては、初心者教室を開催して新規利用者の拡大や、アーチェリー場が設置されていない近隣市町村の愛好者にも呼びかけを行っていますが、概ね利用者は固定されています。

利用者も昇段審査や講習会などを除き、ほとんどが別府市民の利用となっています。

利用者数は、約8千人前後で推移しています。

収 入	
使用料等	208 千円 使用料収入の20%
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役務費	76 千円
委託料	141 千円
指定管理料	1,038 千円
工事請負費	3,423 千円
その他の支出	0 千円
合 計	5,265 千円
減価償却費	1,515 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：308日】

### 3. スポーツ

#### 3-14 公園テニスコート

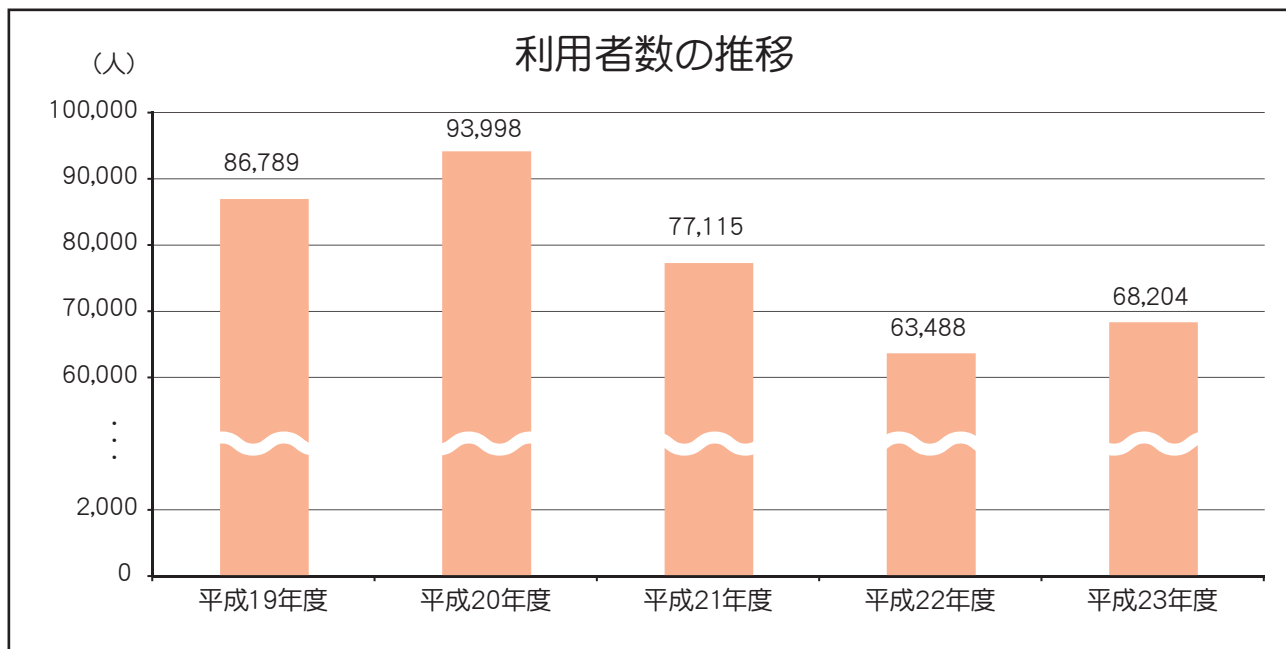
所在地	青山町7番27号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	218.00㎡
建築年	昭和56年
構成施設	オムニコート・アンツーカーコート・管理棟等
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



公園テニスコートは、アンツーカーコート（4面）、オムニコート（4面）、管理棟で構成された施設として昭和56年に設置されています。施設の状況としては管理棟は老朽化が目立つようになっており、修繕等の対応が必要となっています。平成23年度においては雨どい、排水管、止水壁の修繕や、防球フェンス設置工事などを行っています。

利用状況としては、一般利用者、テニスクラブが主催する初級教室（一般者対象）、ジュニア教室、ソフトテニス強化練習などでの利用が主となっています。年間を通じては、一般利用者の割合が少し高めとなっています。利用者数は平成20年度の93,998人をピークに減少傾向となっており、平成23年度は68,204人の利用となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	1,670千円
指定管理料	6,850千円
工事請負費	10,856千円
その他の支出	61千円
合計	20,024千円
減価償却費	785千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：311日】



### 3. スポーツ

#### 3-15 温水プール

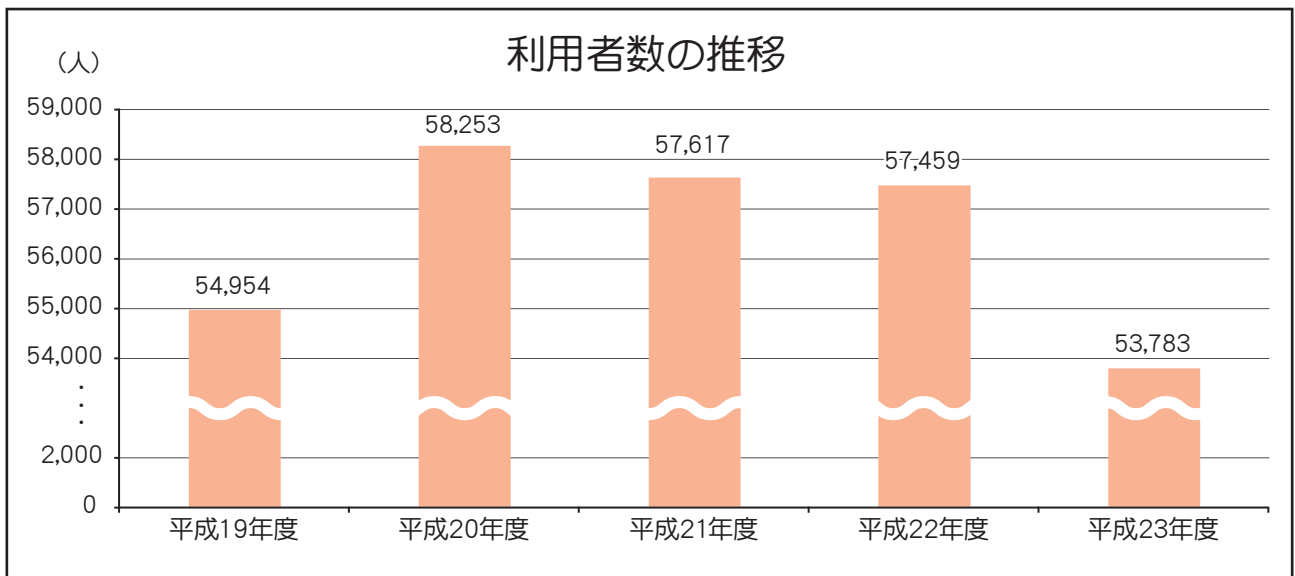
所在地	大字別府3088番地の9
構造	鉄骨造
延床面積	1,214.00㎡
建築年	平成6年
構成施設	25mプール・ジェットプール・パイプバス・サウナ室・更衣室・シャワー室等
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



温水プールは平成6年に設置されており、25mプールに水泳用5コース、歩行用1コース、ジェットプール、パイプバスが利用できるようになっています。また、2階にはリラクゼーション、トレーニング機器も備えています。施設の状況としては建築後17年が経過しているため、施設の老朽化が目立ち修繕改修工事が必要となっています。

利用状況としては、児童から高齢者まで年齢層の幅が広く、また隣接市からの利用者もあり広域にわたって利用されています。利用者数は開設時は8万人程度の利用がありましたが、平成23年度では53,783人となっています。利用者別の割合でみると、一般が約71%、小中高校生が約14%、水泳教室での利用が約15%となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	158千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	20,312千円
工事請負費	6,339千円
その他の支出	0千円
合計	27,396千円
減価償却費	3,278千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：309日】

### 3. スポーツ

#### 3-16 青山プール

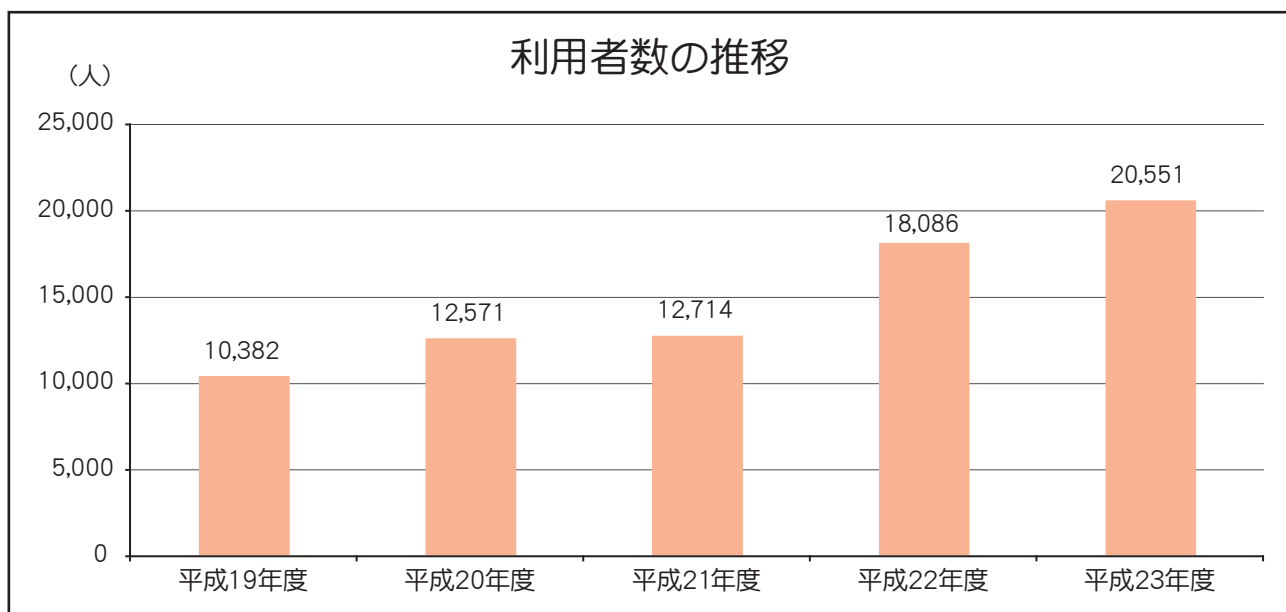
所在地	大字別府3088番地の1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	2,317.30㎡
建築年	平成19年
構成施設	プール(50m・25m・飛込)・会議室・更衣室・シャワー室・多目的室・コンピュータ室等
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



青山プールは、2順目国体開催を機に競技用50mプールと練習用25mプール、飛込プール、観客席(2千人収容)、管理棟を整備し、障がい者でも使用しやすいよう玄関、トイレなどはバリアフリーとなっており、平成19年に設置されています。施設の状況としては、飛込プール底部に亀裂や防水シートに気泡が出ているため修繕等の対策が必要となっています。

利用状況としては、大会開催による利用は6月から10月初旬まで、一般開放は7月下旬から9月初旬までの間で開放しており、夏休みの期間中はクラブチームの合宿等で利用されています。また青山中学校の授業やクラブ活動の場としても利用されています。利用者数は、平成19年度以降増加傾向であり、平成23年度では20,551人の利用となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	105千円
委託料	0千円
指定管理料	20,389千円
工事請負費	0千円
その他の支出	23千円
合計	21,104千円
減価償却費	9,698千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：122日】

### 3. スポーツ

#### 3-17 セーリング艇庫

所在地	北浜一丁目818番394
構造	鉄骨造
延床面積	628.51㎡
建築年	平成19年
構成施設	会議室・階段昇降機・シャワー更衣室等
管理形態	長期独占利用
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



セーリング艇庫は、2 順目国体開催を機に平成19年に設置され、「議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例」により大分県セーリング連盟が長期独占利用しています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役務費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	0 千円
合計	587 千円
減価償却費	1,244 千円 (参考値)

#### 3-18 ヨット艇庫

所在地	北浜一丁目818番386
構造	鉄骨造
延床面積	413.76㎡
建築年	昭和58年
構成施設	倉庫・事務所等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



ヨット艇庫は昭和58年に改築され、大分県セーリング連盟が市の許可を受けて使用しています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役務費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	0 千円
合計	587 千円
減価償却費	819 千円 (参考値)



施設配置図 3. スポーツ







# 4

## 公民館

- 4-1 別府市中央公民館・市民会館
- 4-2 別府市北部地区公民館
- 4-3 別府市北部地区公民館  
なでしこ分館
- 4-4 別府市西部地区公民館
- 4-5 別府市中部地区公民館
- 4-6 別府市南部地区公民館
- 4-7 別府市朝日大平山地区公民館
- 4-8 別府市人権啓発センター





## 4. 公民館

### 4-1 別府市中央公民館・市民会館

所在地	上田の湯町6番37号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	3,902.66㎡
建築年	昭和3年
構成施設	講座室・料理室・会議室・大ホール等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり(収容)
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：未



公民館は、教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、市民の文化の向上及び福祉の増進にかかわる集会等に供することを目的としており、別府市では現在7施設が設置されています。

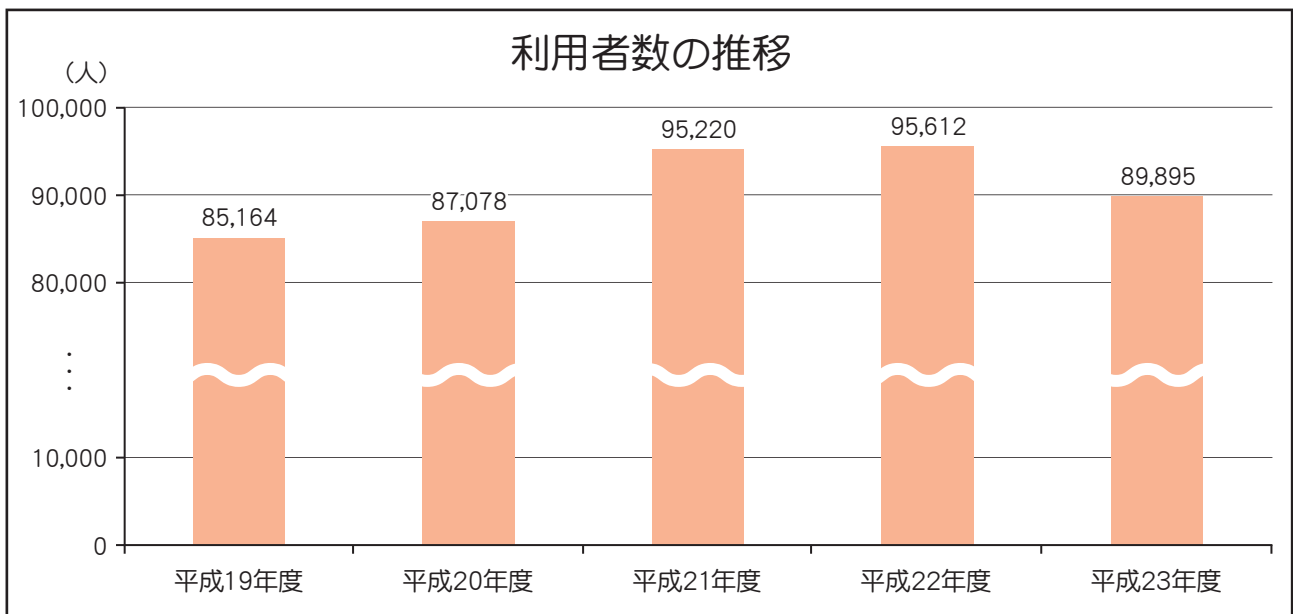
その中でも中央公民館は、昭和3年に旧別府市公会堂として建築された県下屈指の貴重な近代建築です。昭和43年の正面玄関の改修など数回にわたり改修を重ねていますが、老朽化による様々な修繕工事は常時必要となっています。平成19年度には耐震診断を行い、今後は耐震補強を中心に整備する計画となっています。なお、平成6年11月に別府市指定有形文化財となっています。

利用状況としては、社会教育推進の中核機関として家庭教育チャレンジ学級などの市の主催講座の開催、自主講座、サークル活動の場として幅広い分野の方に利用されています。

平成23年度は中央公民館が約3.5万人、市民会館が約4.8万人、市民会館別館が約0.7万人の利用がありました。各年度で利用者数の増減はありますが、3施設で約9万人の利用となっています。

なお、中央公民館では各種証明書の発行業務も行っています。

収 入	
使用料等	5,222 千円
施設にかかる経費	
人件費	18,310 千円 正職員(0.2人) 非常勤職員(10.0人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	5,338 千円
修繕料	248 千円
役務費	470 千円
委託料	7,439 千円
指定管理料	—
工事請負費	910 千円
その他の支出	1,667 千円
合計	34,382 千円
減価償却費	2,746 千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

## 4. 公民館

### 4-2 別府市北部地区公民館

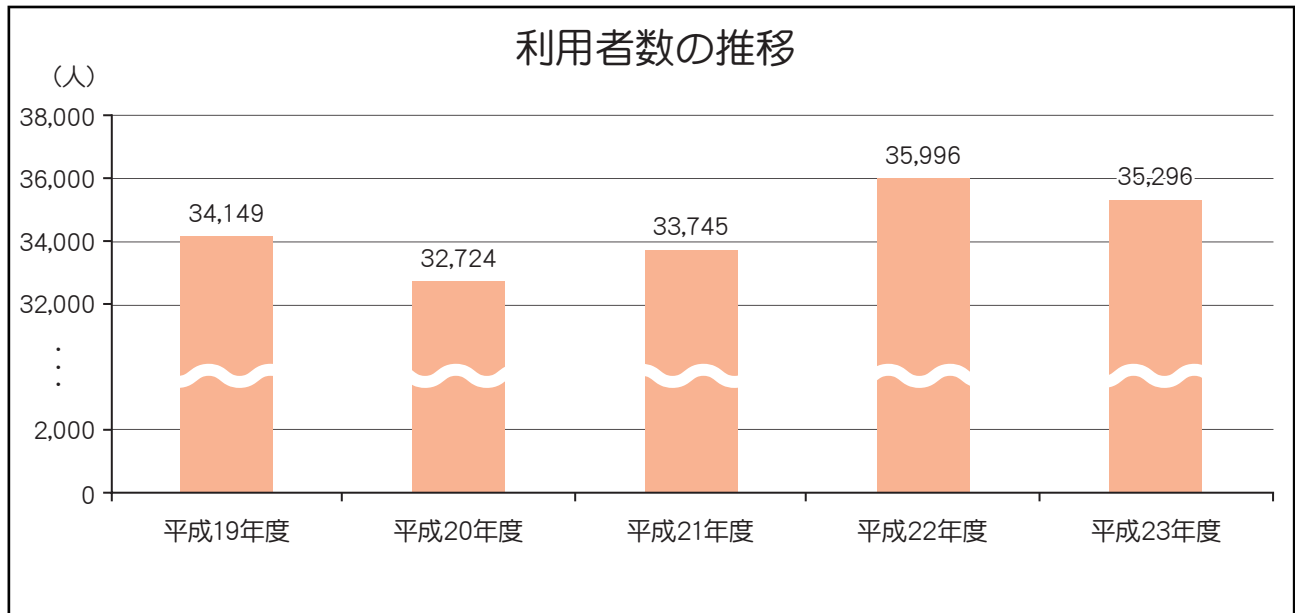
所在地	上人ヶ浜町2191番地の1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	991.50㎡
建築年	昭和55年
構成施設	講座室・研修室・会議室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり(収容)
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



北部地区公民館は、明るく住みよい街づくりを目指し、生涯学習の拠点として昭和55年に設置されています。施設状況としては建築後30年以上が経過していますが、これまでに大規模な改修を実施していないため外壁等の老朽化が著しく内部にも不具合が出ています。また、旧耐震基準の施設であるため耐震診断が必要となっています。

利用状況としては、平成23年度は35,296人の利用となっています。構成施設別の利用状況でみると、集会室が19,798人の56%と利用が高く会議室や講座室は約15%程度となっています。集会室は、スポーツ施設でもあり、健康維持のための講座やサークル活動に利用されているため高齢者の利用が多くなっています。

収 入	
使用料等	1,355 千円
施設にかかる経費	
人件費	11,507 千円 正職員(0.1人) 非常勤職員(7.0人)
光熱水費	967 千円
修繕料	124 千円
役員費	256 千円
委託料	825 千円
指定管理料	—
工事請負費	137 千円
その他の支出	1,076 千円
合計	14,892 千円
減価償却費	2,677 千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

## 4. 公民館

### 4-3 別府市北部地区公民館なでしこ分館

所在地	上人ヶ浜町1番28号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	618.92㎡
建築年	昭和45年
構成施設	料理室・研修室・講座室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



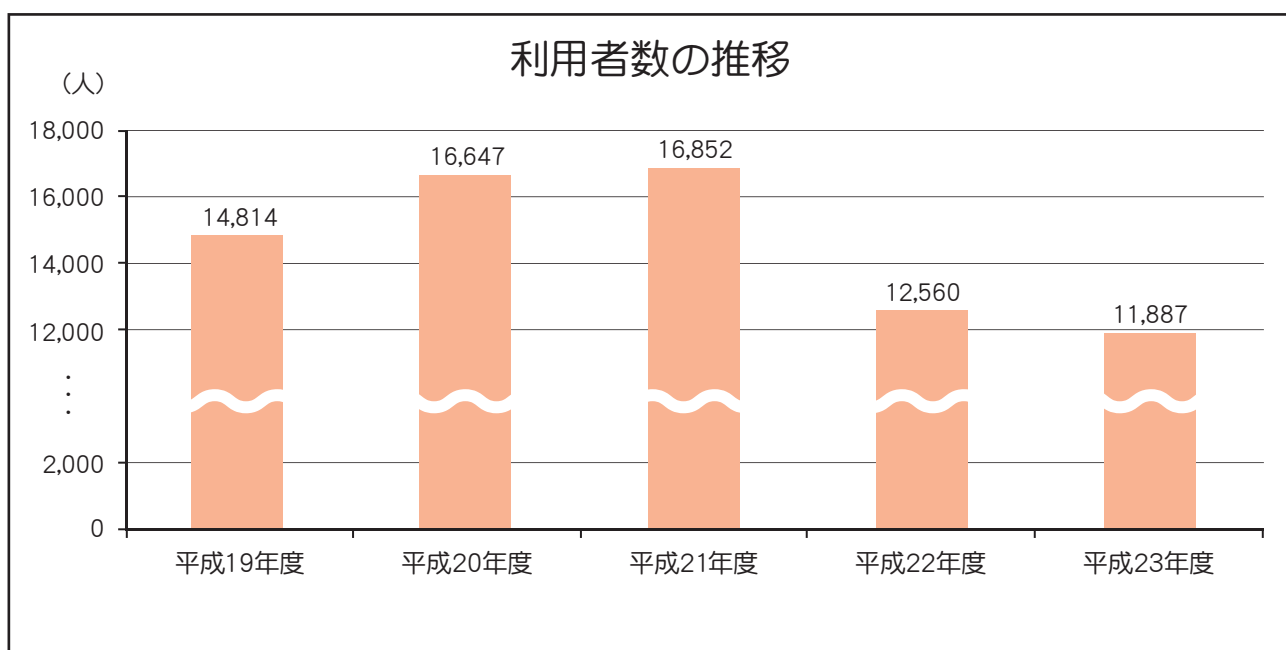
北部地区公民館なでしこ分館は、平成23年度に婦人会館から公民館分館へと位置づけが変わった施設です。施設状況としては、大規模な改修を行っていないため、経年劣化によるクロスの張替えや一部外壁の塗り替え等の簡易修繕は随時必要となっています。また旧耐震基準の建物であることから、安全性を確認するために耐震診断を行う必要があります。

利用状況としては、なでしこリフレッシュ体操、男の料理教室などの市主催講座や和裁、ヨガ、着付けなどの多様な自主講座の場として利用されており、男性の利用者が増加傾向にあります。

利用者数は、平成23年度は11,887人の利用となっており、構成施設別の利用割合でみると、講座室が3,888人の33%と利用が高く、料理室、研修室が15%~18%となっています。

なお、公民館分館へと位置づけが変わったことにより、日曜日の午後と祝祭日、月曜日を閉館することになっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	9,923千円 正職員(0.1人) 非常勤職員(5.0人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	689千円
修繕料	170千円
役員費	247千円
委託料	832千円
指定管理料	—
工事請負費	144千円
その他の支出	3,865千円
合計	15,870千円
減価償却費	1,671千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

## 4. 公民館

### 4-4 別府市西部地区公民館

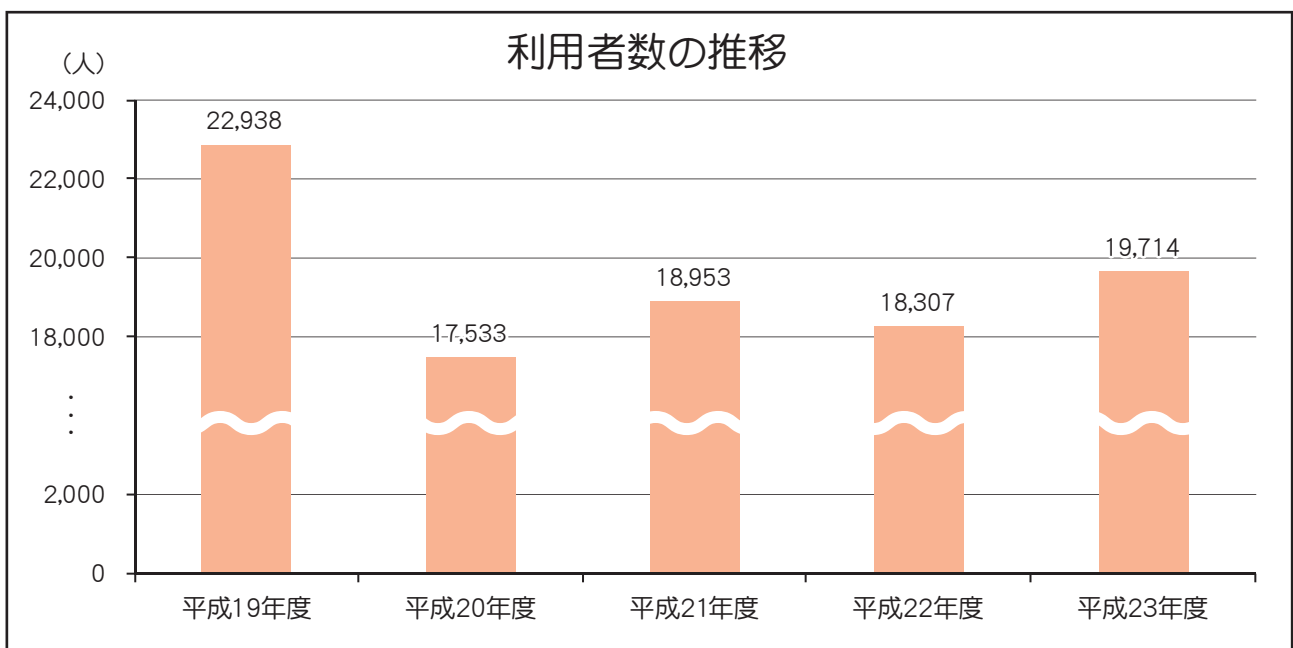
所在地	大字南立石2139番地の15
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	532.00㎡
建築年	昭和58年
構成施設	会議室・料理室・研修室・講座室・図書室・事務所等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



西部地区公民館は、地域の生涯学習の拠点施設として様々な学習機会を提供し、生活文化の振興・社会福祉の増進を図ることを目的として昭和58年に設置されています。施設の状況としては、経年劣化により雨漏りがするため、部分的に防水工事を行うなどの対策を行っています。

利用状況としては、世代間交流「西部あすなる学級」、絵画教室などの市主催講座やカラオケ、詩吟、自力整体教室などの自主講座の場として利用されています。平成23年度は、19,714人の利用となっており、平成20年度以降はほぼ横ばい傾向となっています。構成施設別の利用状況でみると、会議室約49%、講座室約19%、研修室約14%、料理室約6%、その他約12%となっています。料理室は、調理器具の不具合と利用人数に制限あるため、利用は少なめになっています。

収 入	
使用料等	1,133 千円
施設にかかる経費	
人件費	11,483 千円 正職員 (0.1人) 非常勤職員 (6.0人) 臨時職員 (1.0人)
光熱水費	1,066 千円
修繕料	117 千円
役務費	219 千円
委託料	1,440 千円
指定管理料	—
工事請負費	297 千円
その他の支出	936 千円
合 計	15,558 千円
減価償却費	1,436 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】



## 4. 公民館

### 4-5 別府市中部地区公民館

所在地	大字北石垣1839番地の1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	560.00㎡
建築年	昭和61年
構成施設	会議室・調理室・研修室・和室・児童室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



中部地区公民館は、地域の生涯学習の拠点施設として、心身ともに豊かで心の通い合う人づくり地域づくりに寄与することを目的として昭和61年に設置されています。

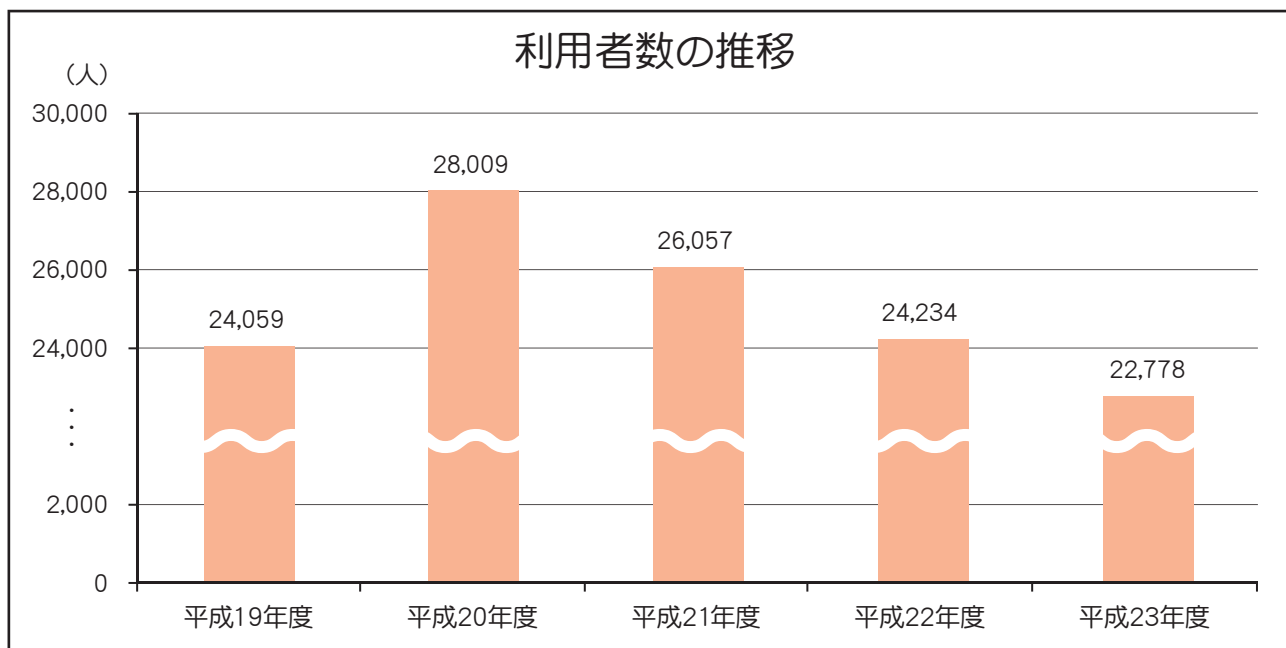
施設の状況としては、平成8年に駐車場舗装工事を行い平成18年には空調設備及び天井アスベスト撤去工事を行っていますが、建築後25年が経過していることにより全体的に老朽化が進んでいます。

利用状況としては、シニア現代セミナー、家庭教育チャレンジ教室などの市主催講座や書道、茶道、太極拳などの自主講座の場として利用されています。平成23年度は22,778人の利用となっており、平成20年

度以降は減少傾向となっています。構成施設別の利用状況でみると、会議室約63%、研究室・和室がそれぞれ約16%、児童室約4%、調理室約1%となっています。

また各種証明書の交付に年間約1,400人が利用しています。

収 入	
使用料等	1,902 千円
施設にかかる経費	
人件費	11,507 千円 正職員 (0.1人) 非常勤職員 (7.0人)
光熱水費	1,074 千円
修繕料	27 千円
役員費	245 千円
委託料	1,212 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	1,024 千円
合 計	15,089 千円
減価償却費	1,512 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

## 4. 公民館

### 4-6 別府市南部地区公民館（複合施設）

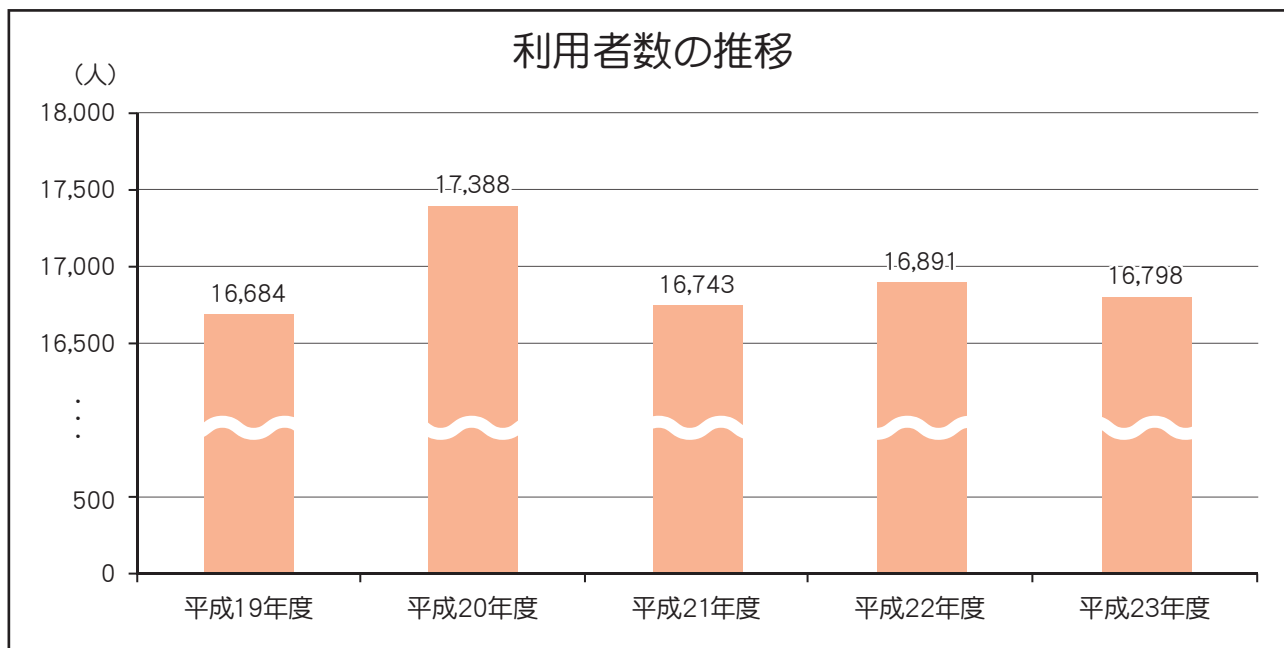
所在地	別府市浜脇一丁目8番20号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	836.27㎡
建築年	平成3年
構成施設	会議室・研修室・文化教室・料理教室・児童室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



南部地区公民館は、魅力ある学習の場を提供し、地域の連携・資質の向上・健康の増進・情操の純化等を図り、潤いのある生活づくりに寄与することを目的として平成3年に設置されています。施設は、浜脇A街区市街地再開発事業で南部地区公民館、湯都ピア浜脇との複合施設として建築されたものです。施設の状況としては、経年劣化による設備関係等に不具合が出ており、簡易修繕を行うなどの対応が必要となっています。

利用状況としては、市主催講座のさわやか健康教室や南部再発見ふらっと南部なつかしの話講座のほか、舞踊やフォークダンス、民謡などの自主講座の場として利用されています。平成23年度は16,798人の利用があり、構成施設別の利用状況でみると、大会議室約47%、研修室約26%、小会議室約12%となっており、文化教室、料理教室の利用が低くなっています。

収 入	
使用料等	1,445 千円
施設にかかる経費	
人件費	9,947 千円 正職員 (0.1人) 非常勤職員 (6.0人)
光熱水費	1,205 千円
修繕料	169 千円
役員費	280 千円
委託料	1,384 千円
指定管理料	—
工事請負費	152 千円
その他の支出	907 千円
合 計	14,044 千円
減価償却費	2,258 千円（参考値）



【平成23年度 開館日数：359日】

## 4. 公民館

### 4-7 別府市朝日大平山地区公民館

所在地	大字鶴見940番地の2
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	617.57㎡
建築年	平成3年
構成施設	会議室・調理室・研修室・児童室・講座室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新

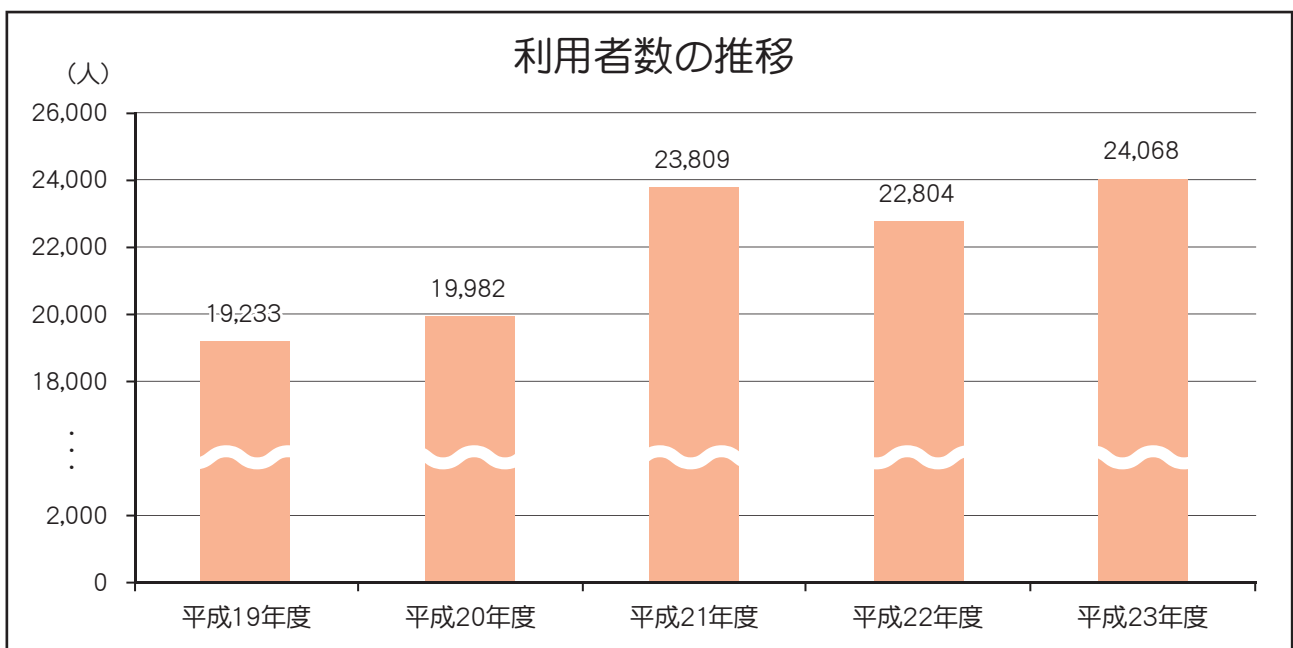


朝日大平山地区公民館は、生涯学習社会形成に向け魅力ある学びの場と健康の場を提供することを目的として平成3年に設置されています。施設の状況としては、経年劣化により空調設備等に不具合が見られるようになっており、簡易な修繕工事等が必要となっています。

利用状況としては高齢者現代セミナー、地域教育力活性化事業「子どもの講座」などの市主催講座や空手、ジュニアピアノ、社交ダンス、英会話教室などの自主講座の場として利用されています。

平成23年度は24,068人の利用があり、平成19年度以降は微増ですが増加傾向となっています。構成施設別の利用状況としては、大会議室約51%、研修室約21%、講座室約20%となっており、児童室、調理室の利用は低くなっています。

収 入	
使用料等	3,081 千円
施設にかかる経費	
人件費	9,947 千円 正職員 (0.1人) 非常勤職員 (6.0人)
光熱水費	1,577 千円
修繕料	70 千円
役員費	252 千円
委託料	1,518 千円
指定管理料	—
工事請負費	288 千円
その他の支出	978 千円
合計	14,630 千円
減価償却費	1,667 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

## 4. 公民館

### 4-8 別府市人権啓発センター

所在地	石垣東十丁目7番5号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	242.00㎡
建築年	昭和54年
構成施設	事務室・受付・多目的室・調理室・会議室
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部人権同和教育啓発課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済



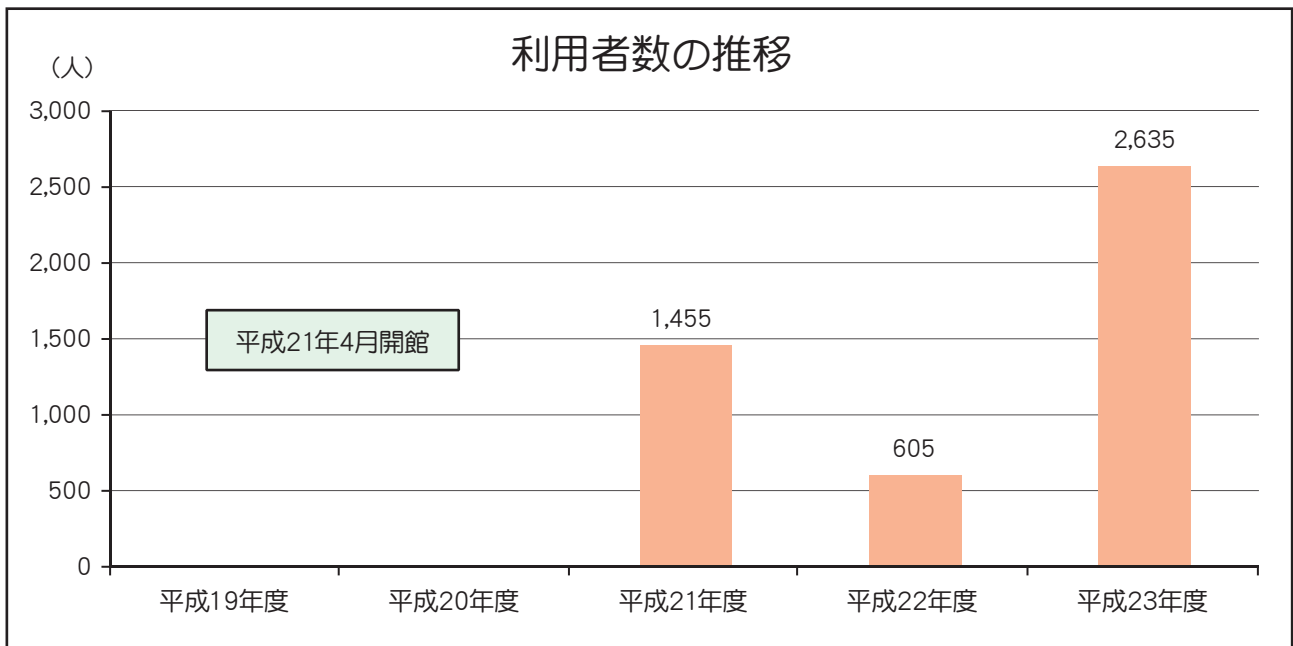
人権啓発センターは、人権教育及び人権啓発の推進を図り、人権が尊重される社会の実現に資することを目的に平成21年に設置されています。施設は旧北石垣集会所として利用していた建物ですが、平成22年に増改築を行い学習施設として活用できるようにミニライブラリーを備えました。

利用状況としては平成23年度は2,635人の利用があり、「人権サークルふれあい」や「人権ミニ講座」等の各種人権講座、子どもたちの学習支援を目的とした学習会を開催するなど、人権教育・啓発を推進する各種団体等の会議や市民の自主活動の場となっています。

また、人権問題についての理解と認識を深めるために視聴覚ソフトや図書等を整備し、企業や市民への貸し出しも行っています。

平成22年度の利用者の減少は、増改築のため6ヶ月間閉館していたためです。

収 入	
使用料等	24 千円
施設にかかる経費	
人件費	8,987 千円 正職員(1.0人) 非常勤職員(2.0人)
光熱水費	429 千円
修繕料	0 千円
役員費	177 千円
委託料	521 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	425 千円
合計	10,539 千円
減価償却費	718 千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：244日】



## 4. 公民館

### 耐震診断の実施状況

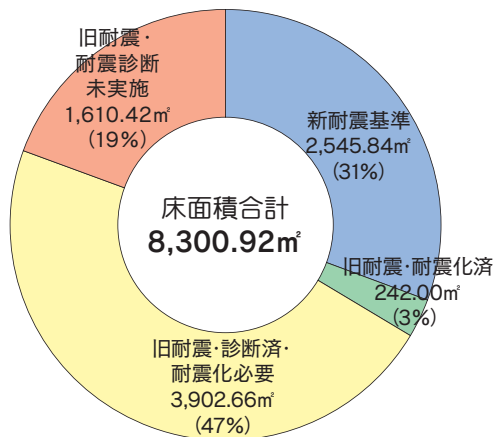
#### 4. 公民館

施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準					
				耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
① 別府市中央公民館・市民会館 (注1)	S3					2	3,902.66		
② 別府市北部地区公民館	S55							1	991.50
③ 別府市北部地区公民館なでしこ分館	S45							1	618.92
④ 別府市西部地区公民館	S58	1	532.00						
⑤ 別府市中部地区公民館	S61	1	560.00						
⑥ 別府市南部地区公民館 (注2)	H3	—	836.27						
⑦ 別府市朝日大平山地区公民館	H3	1	617.57						
⑧ 別府市人権啓発センター	S54			1	242.00				
		3	2,545.84	1	242.00	2	3,902.66	2	1,610.42

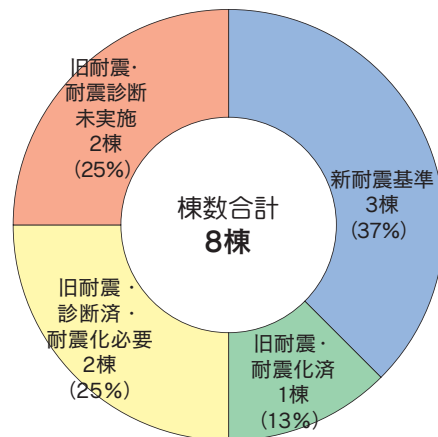
(注1) 別館 (762.82㎡) を含みます。

(注2) 複合施設のため、棟数は「観光・温泉」の湯都ピア浜脇で計上しています。

床面積に対する割合



棟数に対する割合



施設配置図 4. 公民館



4



# 5

## 商 工

- 5-1 別府市竹細工伝統産業会館
- 5-2 別府市労働者福祉センター
- 5-3 別府市勤労者研修センター
- 5-4 別府市勤労者体育センター
- 5-5 別府市公設地方卸売市場
- 5-6 別府競輪場
- 5-7 別府市シルバー人材センター



## 5. 商 工

### 5-1 別府市竹細工伝統産業会館

所在地	大字鶴見3785番地の1
構造	鉄骨造
延床面積	1,268.04㎡
建築年	平成6年
構成施設	研修室・展示室・資料室等
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



竹細工伝統産業会館は、竹細工に関する情報発信や資料、作品の保存展示、後継者の育成を担う拠点施設として、伝統工芸品に指定された竹細工の技術向上、竹産業の振興に寄与することを目的に平成6年に設置されています。

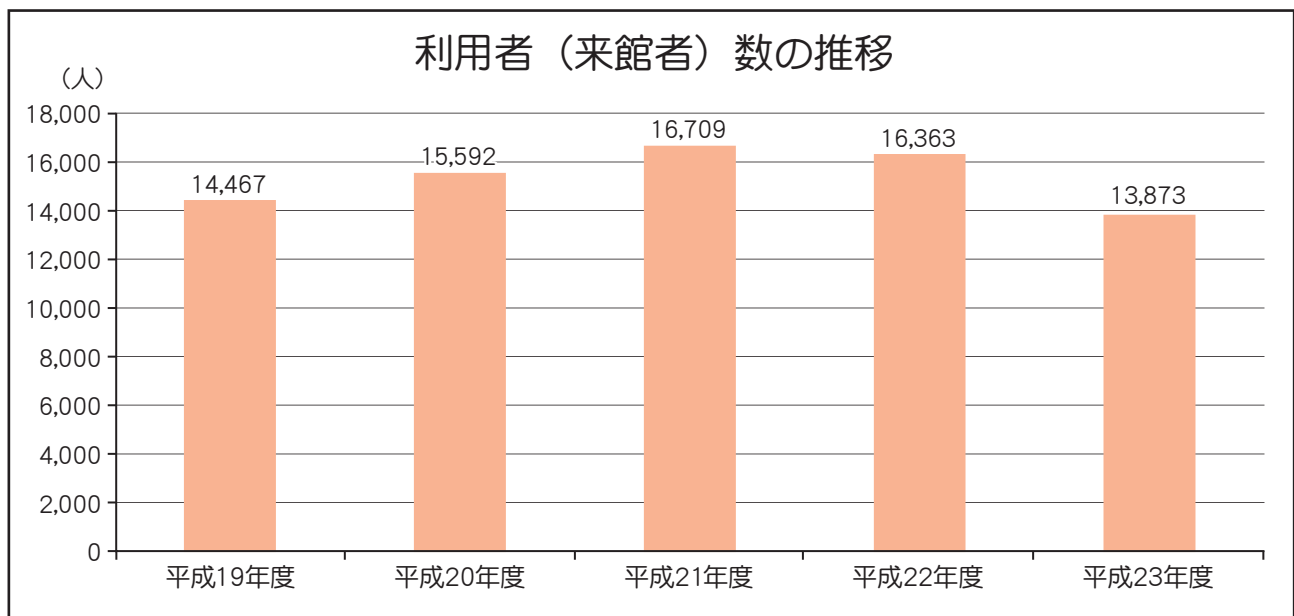
施設の状況としては、建物本体に大きな不具合は見られませんが、付帯設備の劣化等が目立つようになってきています。照明設備の一部や身障者用リフトなど、すでに製造中止となっているものもあるため、今後の対策について検討が必要となっています。

来館者は観光客が中心ですが、小中学生の社会見学としても利用されています。

伝統技術の継承や竹への親しみを深めることを目的に開催している「竹の教室」は人気を博しており、多くの参加があります。

常設展示、各種イベント・展示会を催すなどして、平成23年度は13,873人が来館しています。

収 入	
使用料等	3,247 千円
施設にかかる経費	
人件費	9,536 千円 正職員(0.3人) 非常勤職員(4.0人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	1,885 千円
修繕料	251 千円
役務費	209 千円
委託料	2,313 千円
指定管理料	—
工事請負費	300 千円
その他の支出	2,471 千円
合 計	16,965 千円
減価償却費	3,081 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：308日】

## 5. 商 工

### 5-2 別府市労働者福祉センター

所在地	大字別府字野口原3030番地 1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,562.33㎡
建築年	昭和60年
構成施設	体育室・事務室・会議室・浴室・トレーニング室
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



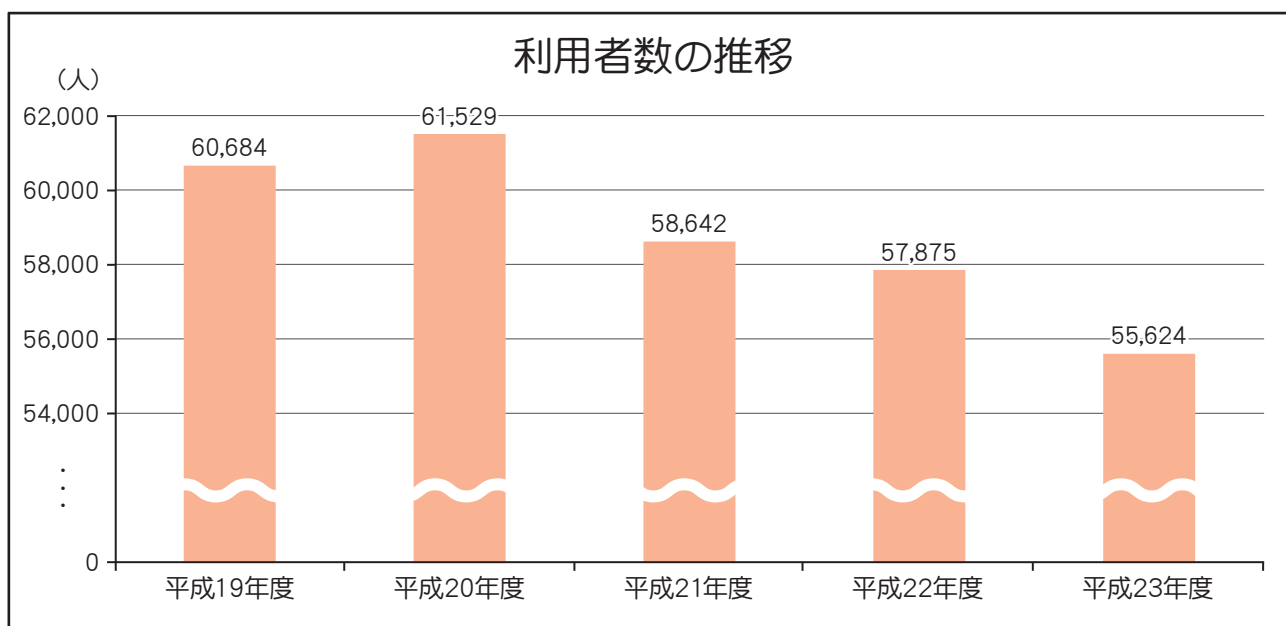
※H25年度から、施設所管課企画部自治振興課にて“別府市男女共同 参画センター「あすべっぴ」”として使用しています。

労働者福祉センターは、県から「大分中高年齢労働者福祉センター」を買い受けたもので、労働者の福祉の増進を図ることを目的として平成16年に設置されています。建築後25年を経ていることから施設全体に不具合が生じており、修繕や工事にて対応することが多くなっています。

また、経年劣化により正面玄関などに不具合が生じていることから、早めの対策が必要となっています。

利用状況としては、平成20年度以降は減少傾向となっており、平成23年度は55,624人の利用となっています。構成施設別の利用割合でみると、体育室が22,041人で約40%、トレーニング室が16,132人で約29%、その他会議室や研究室などが約31%となっており、健康増進及び体力づくりのための利用が約70%を占めています。

収 入	
使用料等	7,636 千円
施設にかかる経費	
人件費	10,533 千円 正職員 (0.2人) 非常勤職員 (6.0人)
光熱水費	2,684 千円
修繕料	708 千円
役員費	182 千円
委託料	2,713 千円
指定管理料	—
工事請負費	384 千円
その他の支出	1,297 千円
合 計	18,501 千円
減価償却費	4,640 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：306日】

## 5. 商 工

### 5-3 別府市勤労者研修センター

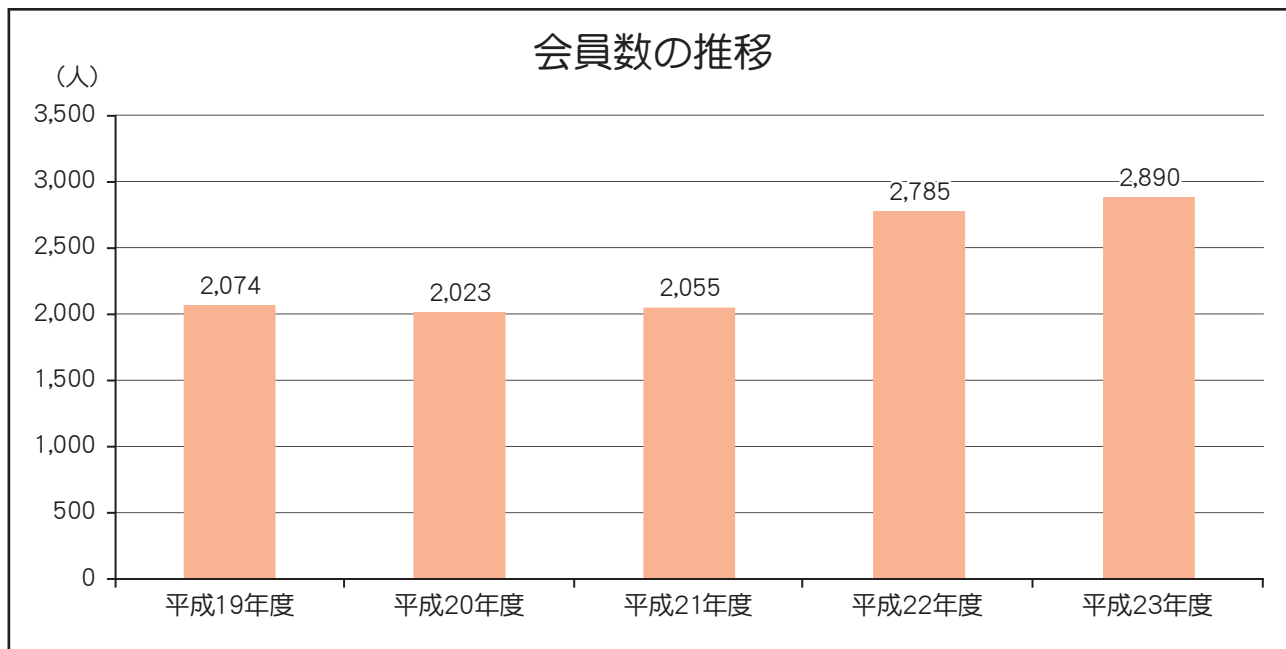
所在地	石垣西五丁目4番55号
構造	木造
延床面積	157.07㎡
建築年	昭和50年
構成施設	会議室
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



勤労者研修センターは、勤労者等の福利厚生増進にかかわる研修、集会等に供することを目的として昭和50年に設置されています。施設の現状としては、経年劣化による雨漏りを改善するために平成21年度に外壁全面塗装工事をし、平成23年度には老朽化した2階部分のサッシ等の補修工事を行っています。一般的に施設の老朽化が見られるので、常時補修が必要となっています。

利用状況としては、主眼を勤労者等の福利厚生のための研修等の場から福利厚生サービスを提供することに替え、「(財)大分県東部勤労者福祉サービスセンター」による中小企業者向けの福利厚生サービスの提供をしています。平成23年3月末現在の加入事業者数は756社、加入会員数2,890人となっています。

収 入	
使用料等	1千円
施設にかかる経費	
人件費	1,173千円 正職員(0.2人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	89千円
指定管理料	—
工事請負費	271千円
その他の支出	0千円
合 計	1,533千円
減価償却費	0千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：243日】



## 5. 商 工

### 5-4 別府市勤労者体育センター

所在地	上野口町19番21号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,253.23㎡
建築年	昭和56年
構成施設	体育室・事務室
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

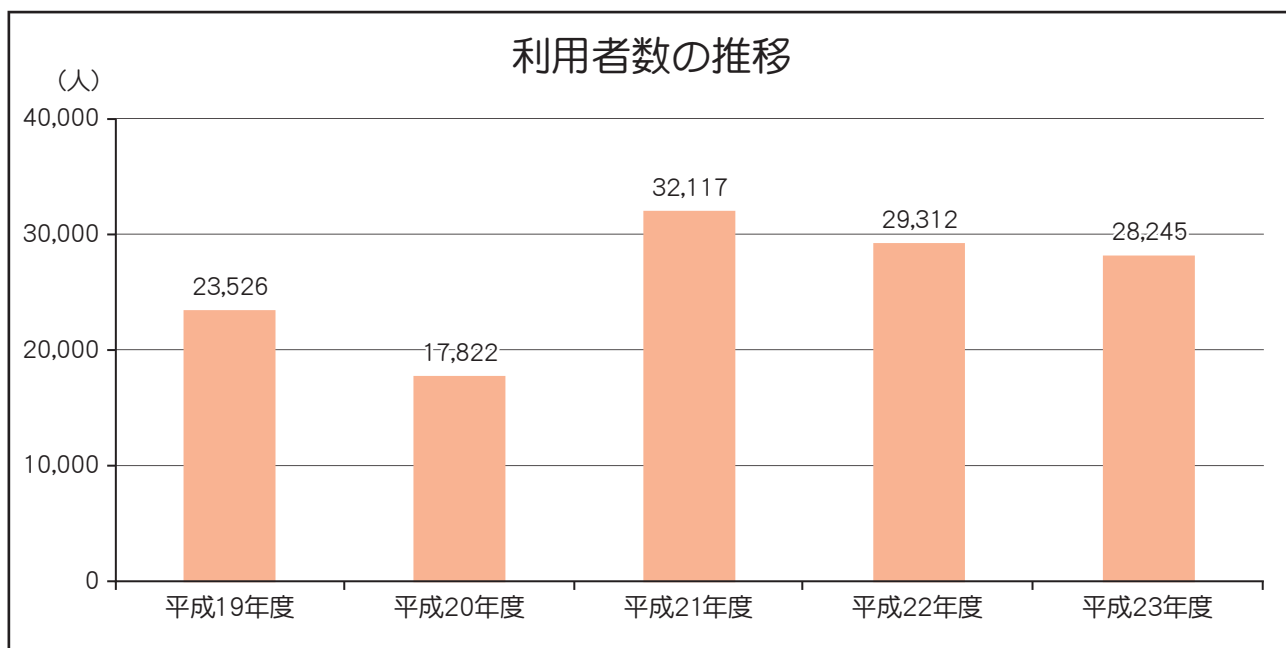


勤労者体育センターは、スポーツ活動等を通じ、体育の振興を図り、もって勤労者の福祉の増進と雇用の安定に資することを目的として、昭和56年に設置されています。施設の現状としては、平成20年度に2階トレーニング室を小体育室に改修しています。また、平成22年度に敷地内の地盤変化に対する地質調査を行ったところ排水路が機能していないことが判明したため、平成23年度に改修工事を行っています。建築後約30年を経ていることから、施設の外壁や照明器具、遮光カーテン等の付属設備等に経年劣化が進んでいます。

利用状況としては、平成20年度まで利用者は減少傾向でしたが、トレーニング室を小体育室に改修したため平成21年度は32,117人の利用と増加しています。平成22年度以降は多少の減小はありますが、約29,000人で推移しています。

当初は、スポーツ活動を通じて勤労者の福祉の増進と雇用の安定を図るために設置されましたが、現状では一般利用者が全体の9割近くを占めており通常の体育施設となっています。

収 入	
使用料等	2,741 千円
施設にかかる経費	
人件費	8,973 千円 正職員 (0.2人) 非常勤職員 (5.0人)
光熱水費	1,309 千円
修繕料	174 千円
役務費	48 千円
委託料	812 千円
指定管理料	—
工事請負費	2,642 千円
その他の支出	288 千円
合 計	14,246 千円
減価償却費	4,963 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：297日】

## 5. 商 工

### 5-5 別府市公設地方卸売市場

所在地	古市町881番地81
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	10,212.00㎡
建築年	昭和57年
構成施設	事務室・会議室・せり場・売店・倉庫等
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部商工課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

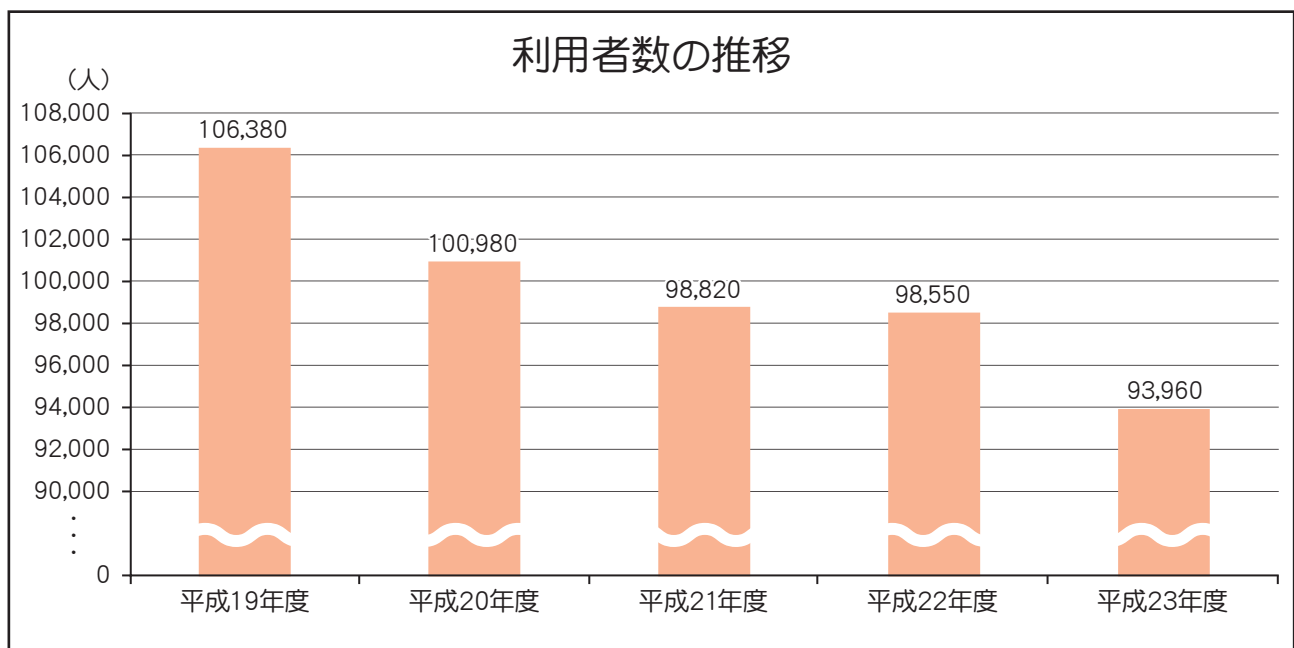


公設地方卸売市場は、生鮮食料品等の取引の適正化及び流通の円滑化を図り、もって地域住民の生活の安定に役立つことを目的として昭和57年に設置されています。施設の状況としては、老朽化による風防テントの損傷や関連店舗等の雨漏り、道路の陥没等により常時修繕工事を行うなどの対応をしています。

利用状況としては、公設地方卸売市場は一般開放していないことにより、利用者は青果部、水産部、花き部のそれぞれの部門に登録している買受人になります。

開設当時は、600人（青果部310人、水産部161人、花き部129人）いた買受人は平成23年度末では348人（青果部145人、水産部81人、花き部122人）となっており、青果部、水産部の計で見ると合わせて245人の減と半分以下まで減少しています。

収 入	
使用料等	31,922 千円
施設にかかる経費	
人件費	9,712 千円 正職員(1.0人) 非常勤職員(1.0人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	9,431 千円
修繕料	792 千円
役員費	282 千円
委託料	9,695 千円
指定管理料	—
工事請負費	7,549 千円
その他の支出	513 千円
合 計	37,974 千円
減価償却費	38,256 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：282日】

## 5. 商工

### 5-6 別府競輪場

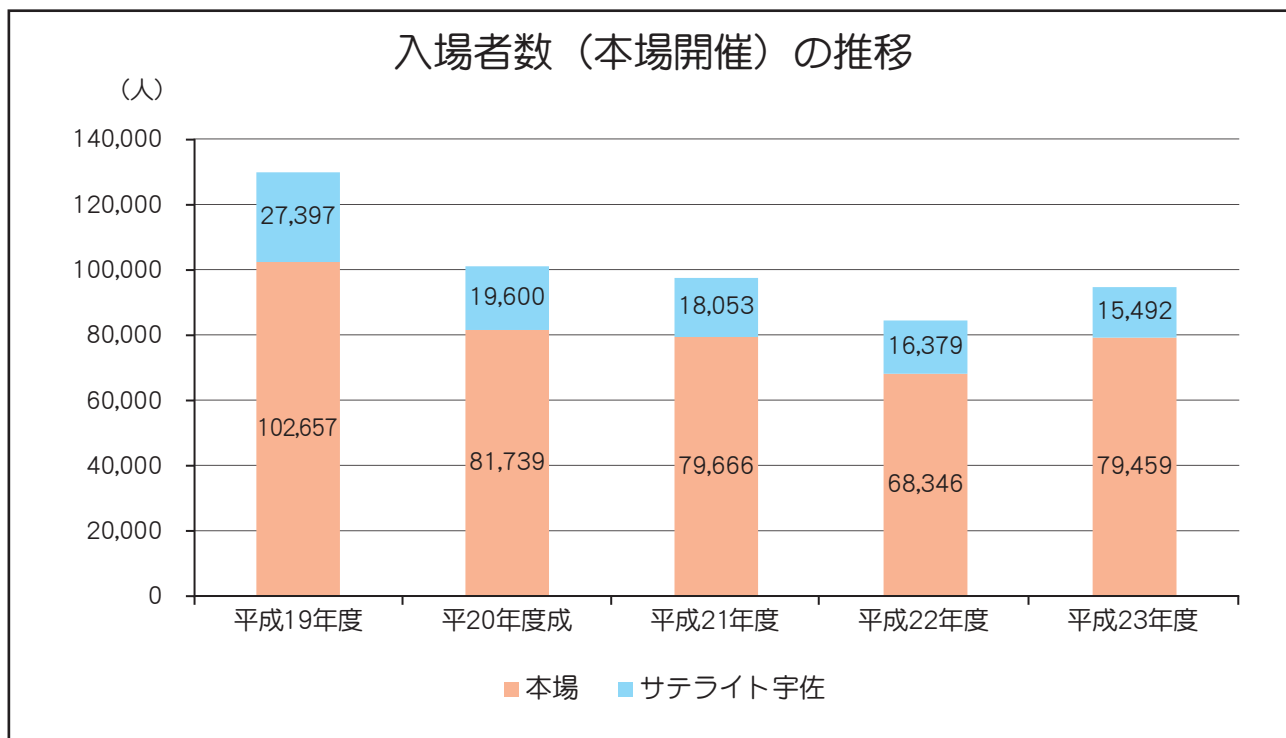
所在地	亀川東町1番36号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	15,220.94㎡
建築年	平成17年
構成施設	スタンド・宿舍・管理棟・ふれあい会館・市民広場等
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部競輪事業課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



別府競輪場は、自転車競技法(昭和23年法律第209号)第1条第1項の規定に基づいて、昭和25年5月に開設されています。施設の状況としては、平成17年から平成18年にかけてメインスタンド・サブスタンドの大規模改修を行っています。また、選手控室・管理棟は建築から40年以上経過しており設備等に不具合が生じていますが、選手宿舍については改築を行っています。

利用状況としては、本場開催時の入場者数は年々減少していましたが、平成23年度では増加の兆しがみられ94,951人の入場者数となっています。ただし、サテライト宇佐の入場者数は減少傾向が続いており、平成19年度より約44%減少しています。

収 入	
使用料等	12,844,743 千円
施設にかかる経費	
人件費	42,829 千円 正職員(7.3人)
光熱水費	62,631 千円
修繕料	3,453 千円
役務費	71,526 千円
委託料	881,234 千円
指定管理料	—
工事請負費	202,913 千円
その他の支出	10,308,816 千円
合 計	11,573,402 千円
減価償却費	60,168 千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：308日（場外発売含みます）】

## 5. 商 工

### 5-7 別府市シルバー人材センター

所在地	新港町85番地
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	567.93㎡
建築年	昭和40年
構成施設	事務所・ワークプラザ
管理形態	—
施設所管課	企画部政策推進課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



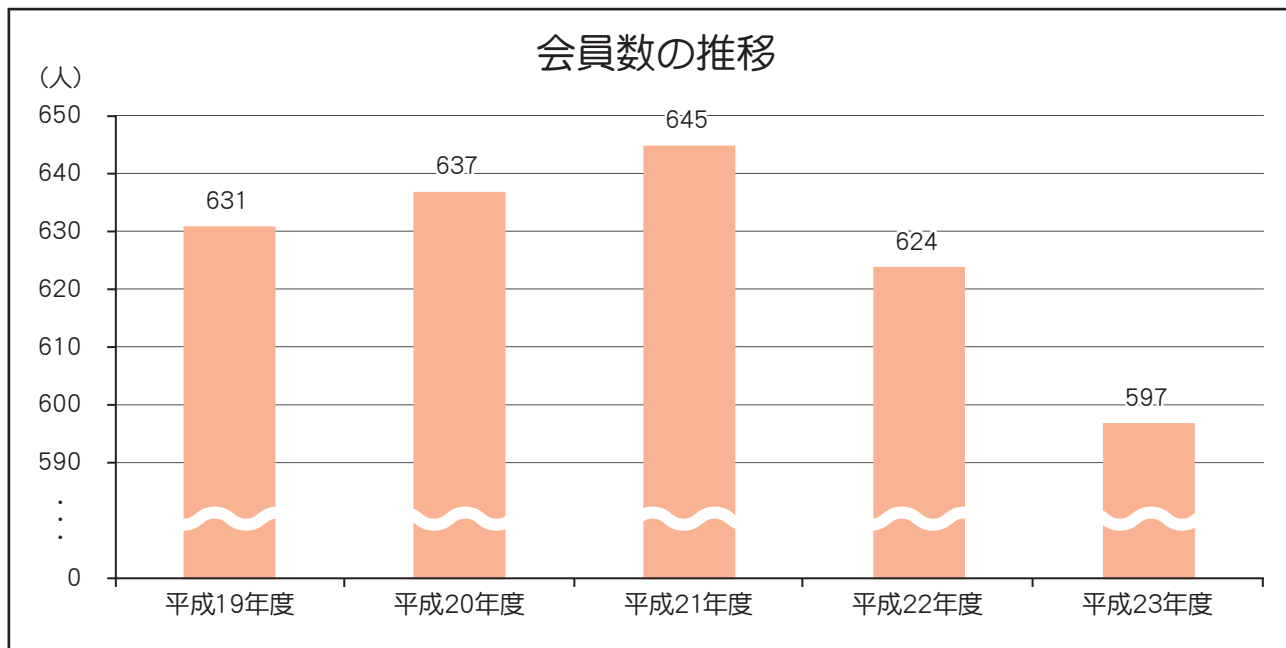
※延床面積については、ワークプラザ132.04㎡（施設所管課：ONSENツーリズム部商工課）を含んでいます。

シルバー人材センターは、市の基金財産等を借り受けた「公益社団法人別府市シルバー人材センター」（平成24年度に公益社団法人に移行）により運営されています。

高齢者を対象に働く場を提供し、知識・経験および技能を生かすとともに「生きがいの充実」、「健康維持」、「働く喜び」、「社会参加」、「福祉の増進」など、地域に密着した活動を行い、地域社会に貢献しています。

作業内容は、大工仕事、植木手入れ、毛筆筆耕、除草・草刈りなど多岐にわたっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	0千円
合 計	587千円
減価償却費	1,886千円(参考値)



## 5. 商工

### 耐震診断の実施状況

#### 5. 商工

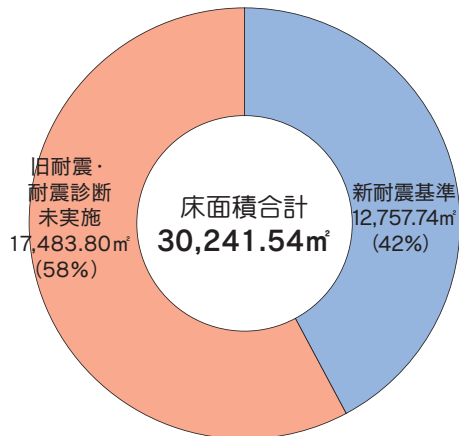
	施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準						
					耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施		
			棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	
①	別府市竹細工伝統産業会館 (注1)	H6	1	1,268.04							
②	別府市労働者福祉センター	S60	1	1,562.33							
③	別府市勤労者研修センター	S50							1	157.07	
④	別府市勤労者体育センター	S56							1	1,253.23	
⑤	別府市公設地方卸売市場	S57							8	10,212.00	
⑥	別府競輪場 (注2)	H17	7	9,795.33					4	5,425.61	
⑦	別府市シルバー人材センター(注3)	S40	1	132.04					1	435.89	
			10	12,757.74	0	0.00	0	0.00	15	17,483.80	

(注1) 研究棟 (293.80㎡) を含みます。

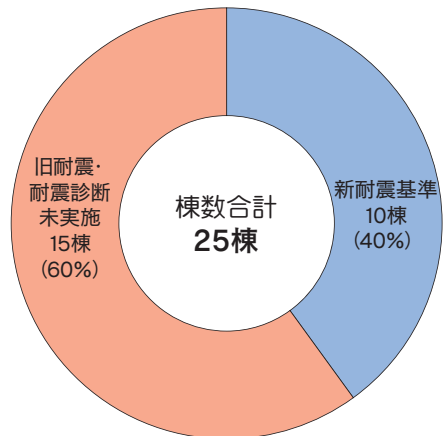
(注2) 別府競輪場ふれあい会館 (129.96㎡)、別府競輪市民広場 (393.80㎡) を含みます。

(注3) ワークプラザ (132.04㎡) を含みます。

床面積に対する割合



棟数に対する割合





施設配置図 5. 商工









# 6

## 福 祉

- 6-1 中央保育所
- 6-2 鶴見保育所
- 6-3 内竈保育所
- 6-4 別府市西部児童館
- 6-5 別府市北部児童館
- 6-6 別府市南部児童館
- 6-7 別府市西部子育て支援センター
- 6-8 別府市北部子育て支援センター
- 6-9 別府市南部子育て支援センター
- 6-10 別府市保健センター
- 6-11 別府市社会福祉会館
- 6-12 別府市身体障害者福祉センター
- 6-13 老人憩の家 友楽荘



## 6. 福祉

### 6-1 中央保育所

所在地	立田町4番30号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	840.60㎡
建築年	昭和53年
構成施設	事務室・保育室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部児童家庭課
避難所指定	あり(収容)
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済



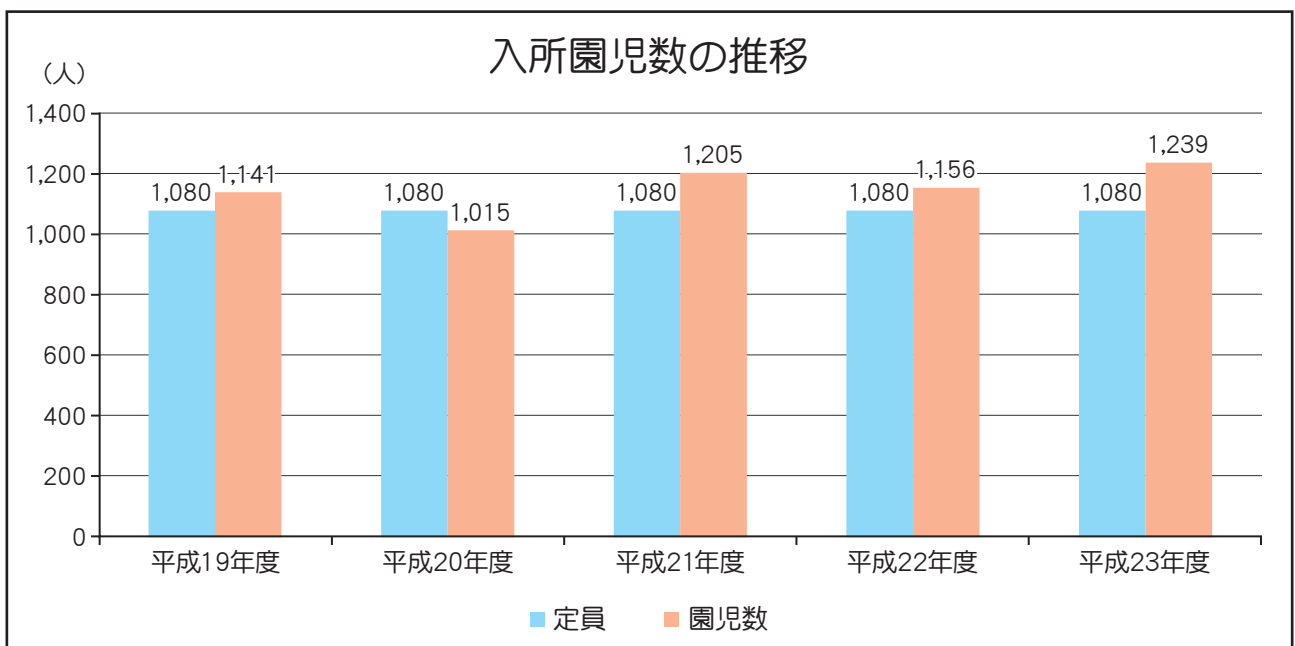
保育所は、保護者が共働きあるいは疾病などの諸事情により、監護すべき乳幼児の保育に欠ける場合に乳幼児を預かり保育することを目的として市内に3施設が設置されています。

中央保育所は、公立保育所で唯一単独で実施されている施設であり、昭和53年に設置されています。1階に3～4歳児の保育室、調理室、事務室があり、2階に0～2歳児の保育室、屋内遊戯場、ウッドデッキの屋外遊戯場があります。また、非常時には2階から外へ避難できるように滑り台を設置しています。平成16年度には、老朽化により耐震補強と大規模改修工事を行っています。

中央保育所の定員数は1,080人/年に対し平成23年度の園児数は1,239人/年となっており、定員に対する入所園児数の割合は114%となっています。

平成20年度の園児数は少なくなっていますが、平成21年度以降については1,150～1,250人/年程度で推移しています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	8,014千円 正職員(1.1人) 非常勤職員(1.0人)
光熱水費	3,448千円
修繕料	166千円
役員費	426千円
委託料	615千円
指定管理料	—
工事請負費	200千円
その他の支出	9,102千円
合計	21,971千円
減価償却費	2,497千円(参考値)



【平成23年度 開所日数：295日】

## 6. 福祉

### 6-2 鶴見保育所（複合施設：ほっぺパーク）

所在地	荘園6組5
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	978.68㎡
建築年	平成17年
構成施設	事務室・保育室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部児童家庭課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新

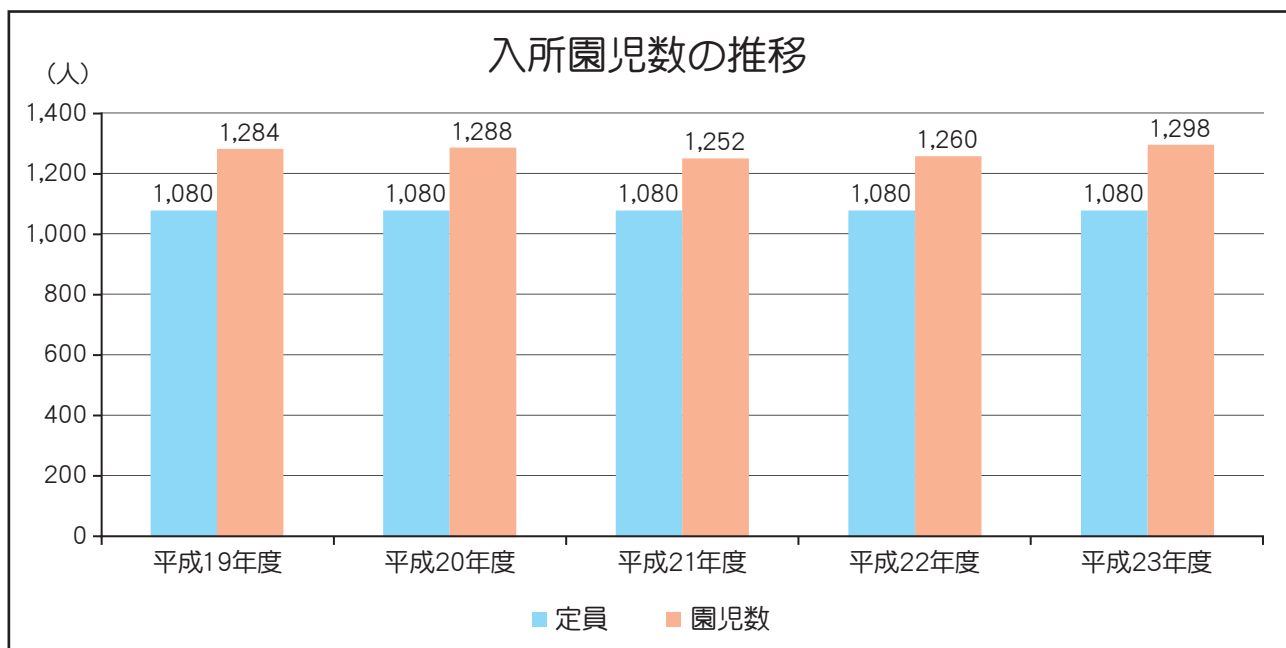


鶴見保育所は、西部児童館、西部子育て支援センター（ファミリー・サポート・センターを含む。）との複合施設として平成17年に設置されています。乳幼児から年長児童までを対象にした子育ての情報提供の場として、育児相談、サークル活動等を行い、地域の子育て家庭の育児支援を目的としています。

それぞれの施設がもつ機能や特色を生かしながら、子ども達が楽しく過ごす生活の場として、あるいは子育ての悩みを解決するほか異年齢児や3世代が交流する開放的な空間の場として利用されています。

鶴見保育所の定員数は、1,080人/年に対し平成23年度の園児数は1,298人/年となっており、定員に対する入所園児数の割合は120%となっています。平成21年度に入所園児数が微減となりましたが、平成21年度以降は年々増加傾向です。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	8,014千円 正職員（1.1人） 非常勤職員（1.0人）
光熱水費	3,525千円
修繕料	233千円
役務費	361千円
委託料	1,121千円
指定管理料	—
工事請負費	109千円
その他の支出	9,499千円
合計	22,862千円
減価償却費	2,907千円（参考値）



【平成23年度 開所日数：295日】

## 6. 福祉

### 6-3 内竈保育所（複合施設：すきっぷパーク）

所在地	大字内竈字片上1256番8
構造	鉄骨造
延床面積	668.13㎡
建築年	平成21年
構成施設	事務室・保育室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部児童家庭課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新

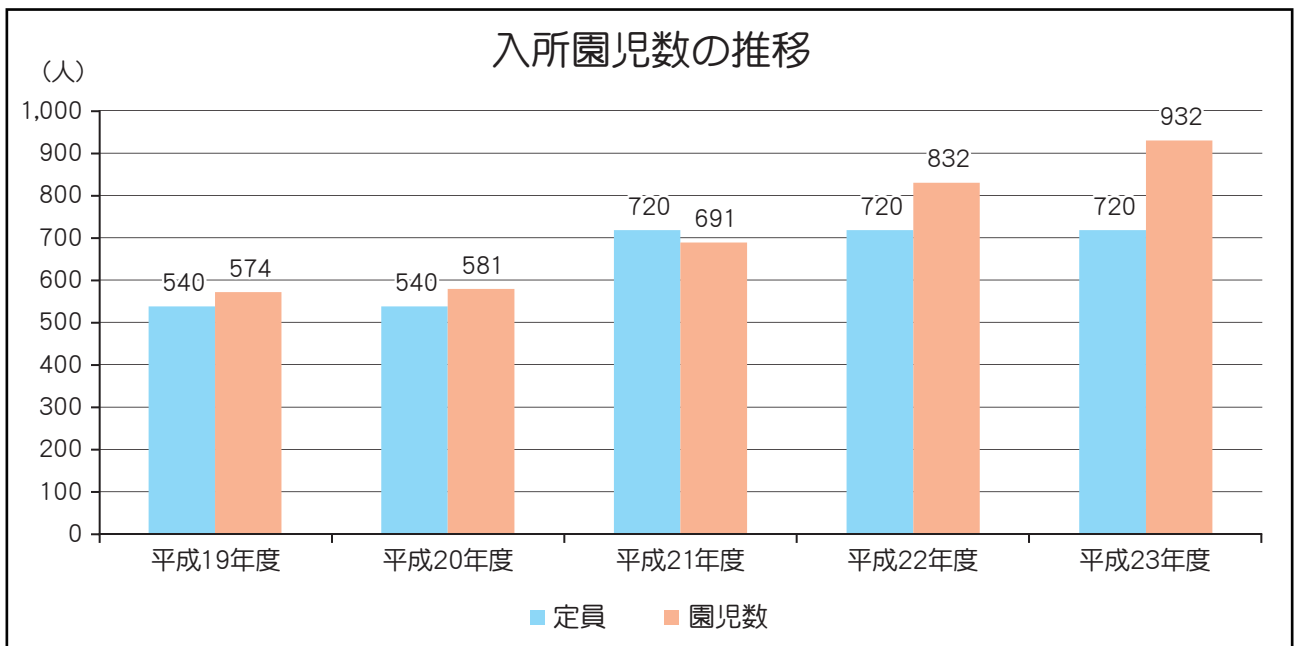


内竈保育所は、北部子育て支援センター（どれみ）との複合施設であり、内装には木をふんだんに使用し温かみのある場を表現し、皆がやさしさを感じる「こころとからだにやさしい施設（バリアフリー）」を理念として平成21年に設置されています。

子育て支援のための総合的な複合施設としての多機能化を図り、それぞれの施設の特徴を生かしながらお互いの機能を共有し、子どもや子育て家庭にとって居心地の良い空間を提供するとともに、子ども達の健やかな成長をやさしく包み込む環境に配慮しています。

内竈保育所の定員数は、720人/年に対し平成23年度の園児数は932人/年となっており、定員に対する入所園児数の割合は129%となっています。また、平成21年度の開所以降、年々増加傾向となっています。

収 入	
使用料等	1千円
施設にかかる経費	
人件費	5,080千円 正職員(0.6人) 非常勤職員(1.0人)
光熱水費	3,668千円
修繕料	20千円
役員費	339千円
委託料	526千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	7,285千円
合計	16,918千円
減価償却費	1,604千円（参考値）



【平成23年度 入所日数：295日】

## 6. 福祉

### 6-4 別府市西部児童館（複合施設：ほっぺパーク）

所在地	荘園6組5
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	683.97㎡
建築年	平成17年
構成施設	事務室・図書室・遊戯室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部児童家庭課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



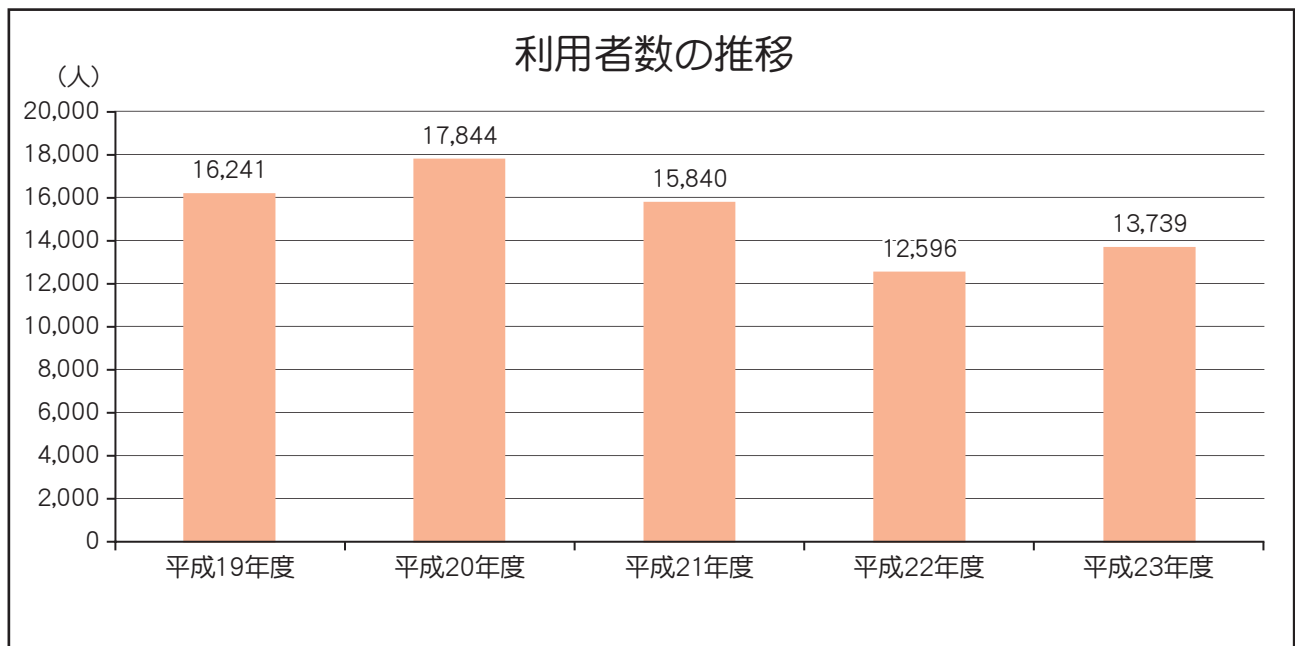
児童館は、児童に健全な遊びを与えその健康を増進し情操を豊かにするとともに、児童健全育成に携わる団体等の地域組織活動の育成助成を図ることを目的に設置されています。

西部児童館は、鶴見保育所と西部子育て支援センター（ファミリー・サポート・センターを含む。）との複合施設として平成17年に建築され、児童が楽しく過ごす生活の場として利用されています。

利用状況としては、平成23年度は前年度より約1,100人の増加となり利用者は13,739人となっています。明るく開放的な空間の中で、まるで展望台のように海を見下ろすことができる図書兼学習室が設けられ、読書や勉強をはじめパソコンや遊具で遊ぶことができます。

また、子どもたちの自主性を育成する「わくわく工作」や親子で楽しく運動できる「3B体操」などのイベントを毎月開催しています。

収 入	
使用料等	92 千円
施設にかかる経費	
人件費	5,056 千円 正職員 (0.6人) 臨時職員 (1.0人)
光熱水費	2,560 千円
修繕料	12 千円
役務費	255 千円
委託料	1,395 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	1,272 千円
合 計	10,550 千円
減価償却費	2,031 千円（参考値）



【平成23年度 開館日数：305日】



## 6. 福祉

### 6-5 別府市北部児童館（あすなる館）

所在地	平田町14番24号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,294.23㎡
建築年	平成16年
構成施設	事務室・図書室・遊戯室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部児童家庭課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	—



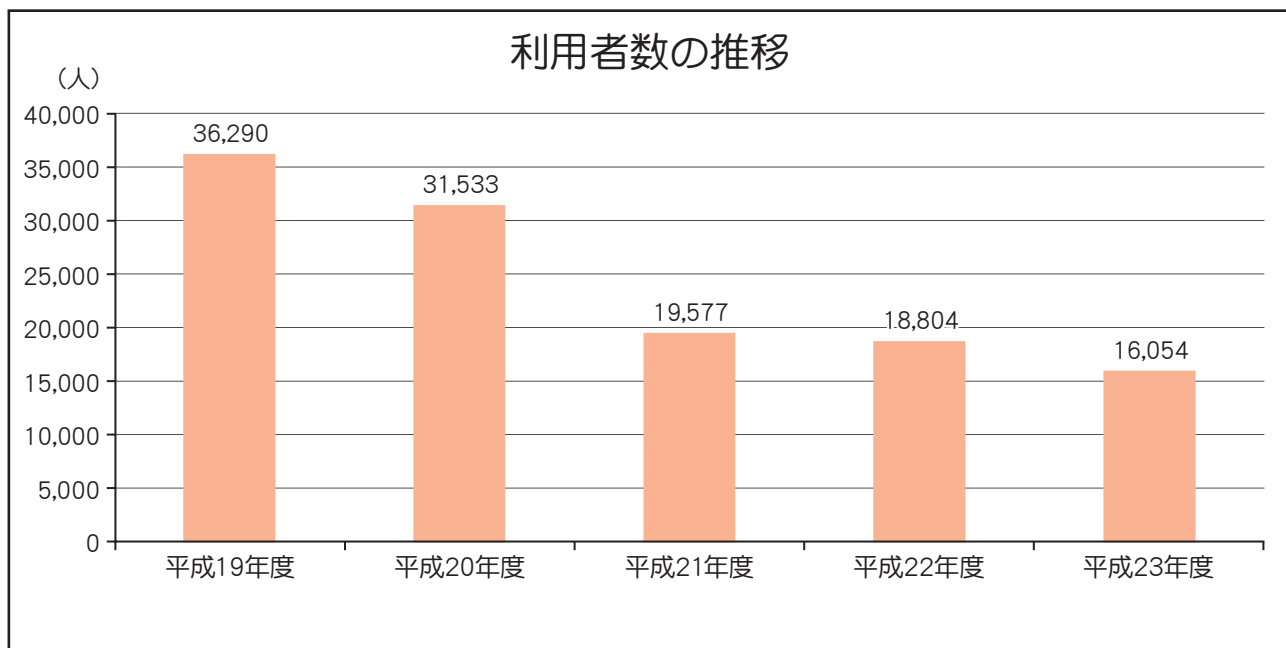
北部児童館は、別府市社会福祉協議会が建築した建物の1階部分を借り受けており、小学生以上の児童が家庭的な雰囲気の中で様々な体験が楽しくできる場を提供することを目的として、平成16年に設置されています。

施設そのものは、別府市社会福祉協議会が管理しています。

利用状況としては、平成23年度の利用者数は16,054人でありここ数年減少傾向となっています。これは隣接地区の複合施設である「すきっぷパーク」に利用者が移ったことによると考えられます。

館内では、パソコン、卓球、ままごと遊びも自由にでき、図書室には0歳から大人までが楽しめる書籍が備わり、「書き方教室」や「楽しい折り紙」といったイベントを毎月開催しています。広い庭では一輪車、竹馬、バドミントンなどができます。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	7,990千円 正職員(1.1人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役員費	93千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	912千円
合計	8,995千円
減価償却費	— (借上施設)



【平成23年度 開館日数：305日】



## 6. 福祉

### 6-6 別府市南部児童館（複合施設）

所在地	末広町1番3号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	603.34㎡
建築年	昭和3年
構成施設	事務室・図書室・遊戯室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部児童家庭課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済

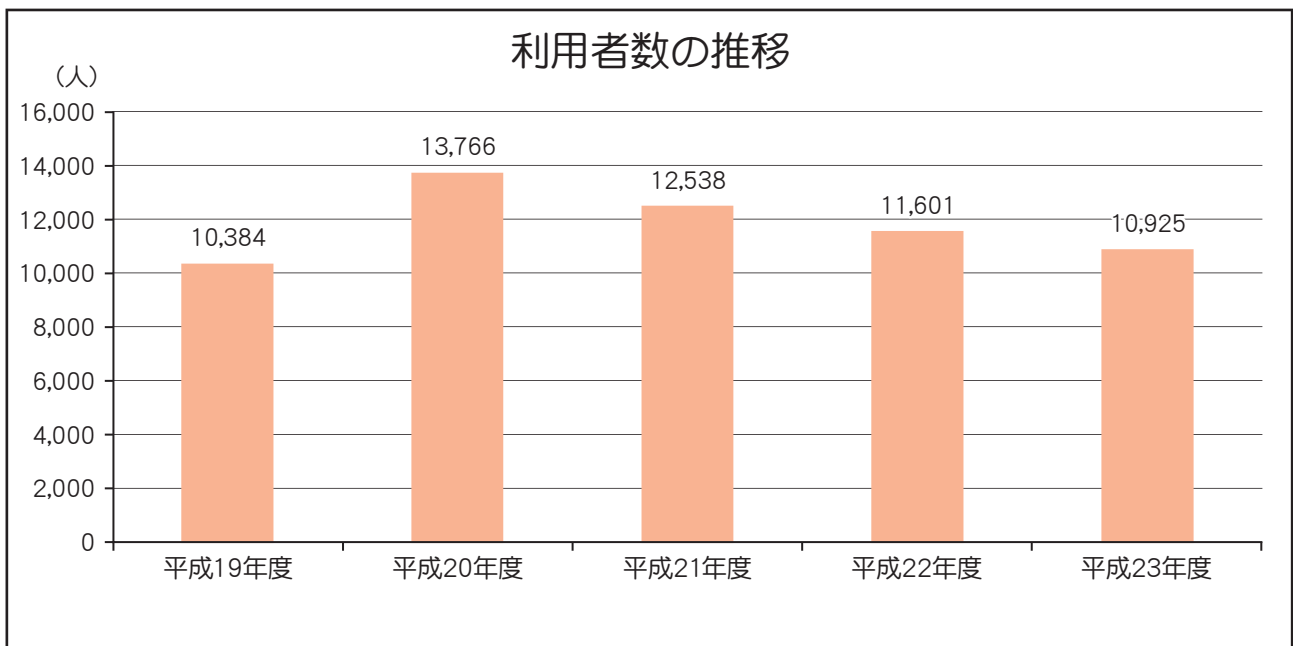


南部児童館は、南部子育て支援センター（わらべ）との複合施設となっています。建物は、旧逓信省別府電報電話局として昭和3年に建築されたものを買取り、これまでに市庁舎別館、水道局分室、南部出張所として利用されていたものです。建築後60年以上経過し老朽化していたことにより、平成2年に耐震診断を行い、平成3年に改修工事を行っています。南部児童館は、この建物の2階部分を使用しており、児童が安心してのびのびと活動ができる場として利用されています。

なお、この建物は平成10年に文化庁の登録有形文化財となっています。

利用状況としては、平成23年度の利用者数は10,925人であり、ここ数年減少傾向となっています。図書室兼学習室で読書や勉強をしたり、パソコン、卓球、バドミントン、一輪車、竹馬などで自由に遊ぶこともできます。また、「手作り制作」「楽器演奏」「生け花」など様々なイベントを毎月開催するとともに、児童館まつりをはじめ地域でのお祭りへの参加など、乳幼児・高齢者・地域との交流を図っています。

収 入	
使用料等	46 千円
施設にかかる経費	
人件費	5,056 千円 正職員 (0.6人) 臨時職員 (1.0人)
光熱水費	1,804 千円
修繕料	258 千円
役員費	245 千円
委託料	730 千円
指定管理料	—
工事請負費	116 千円
その他の支出	702 千円
合計	8,911 千円
減価償却費	0 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：305日】

## 6. 福祉

### 6-7 別府市西部子育て支援センター（複合施設：ほっぺパーク）

所在地	荘園6組5
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	207.93㎡
建築年	平成17年
構成施設	事務室・ミーティング室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部児童家庭課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



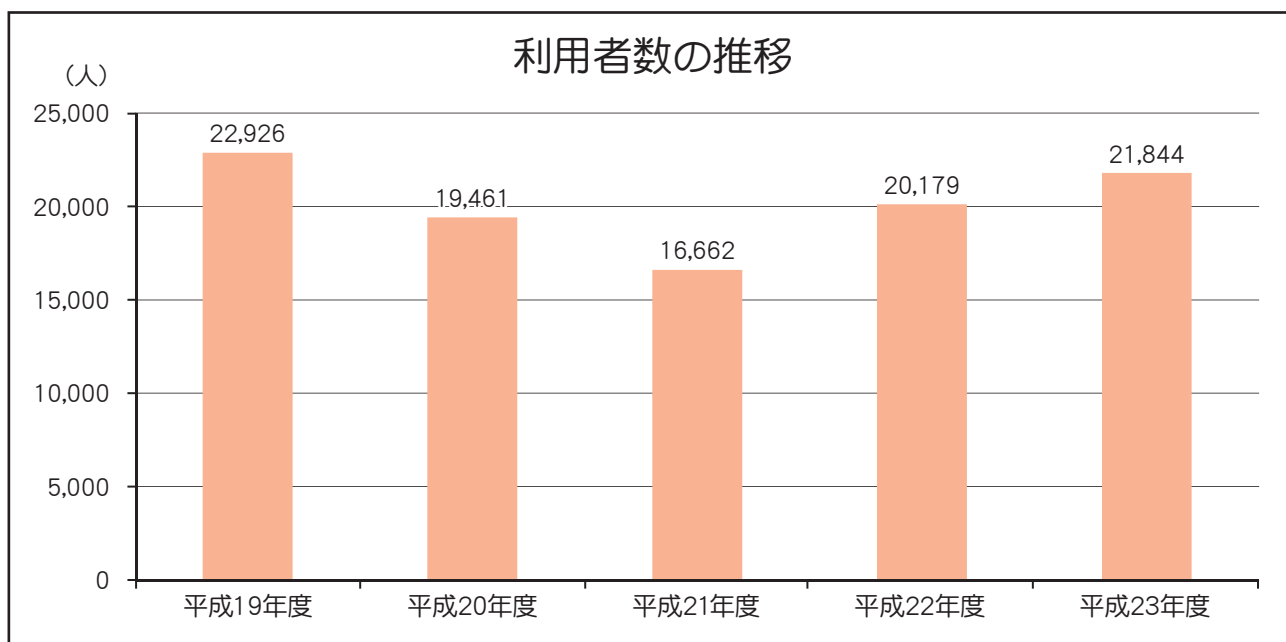
子育て支援センターは、子育ての情報提供の場として、育児相談、サークル活動等を行い、地域の子育て家庭の育児支援を行うことを目的に設置されています。

西部子育て支援センター（べるね）は、鶴見保育所、西部児童館との複合施設として平成17年に建築されています。子育て支援センターを核としてそれぞれの施設がもつ機能や特色を生かしながら、子どもたちが楽しく過ごす生活の場として、あるいは子育ての悩みを解決したり、異年齢児や3世代が交流する開放的な空間として利用されています。

利用状況としては、平成23年度の利用者数は21,844人であり、ここ数年増加傾向となっています。明るく広い空間で児童館の併設による施設共有ができ、広いホールで遊んだり、保育士による遊びの支援やおしゃべりタイム、パパサークル支援、保健師の健康講話、月1回から2回の栄養士の離乳食やおやつ指導など、それぞれの専門分野での支援を行っています。また「ベビーマッサージ」「親子リズム遊び」といった各種イベントを毎月開催しています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	3,520千円 正職員(0.6人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	92千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	878千円
合 計	4,490千円
減価償却費	618千円(参考値)

※別府市ファミリー・サポート・センター分を含みます。



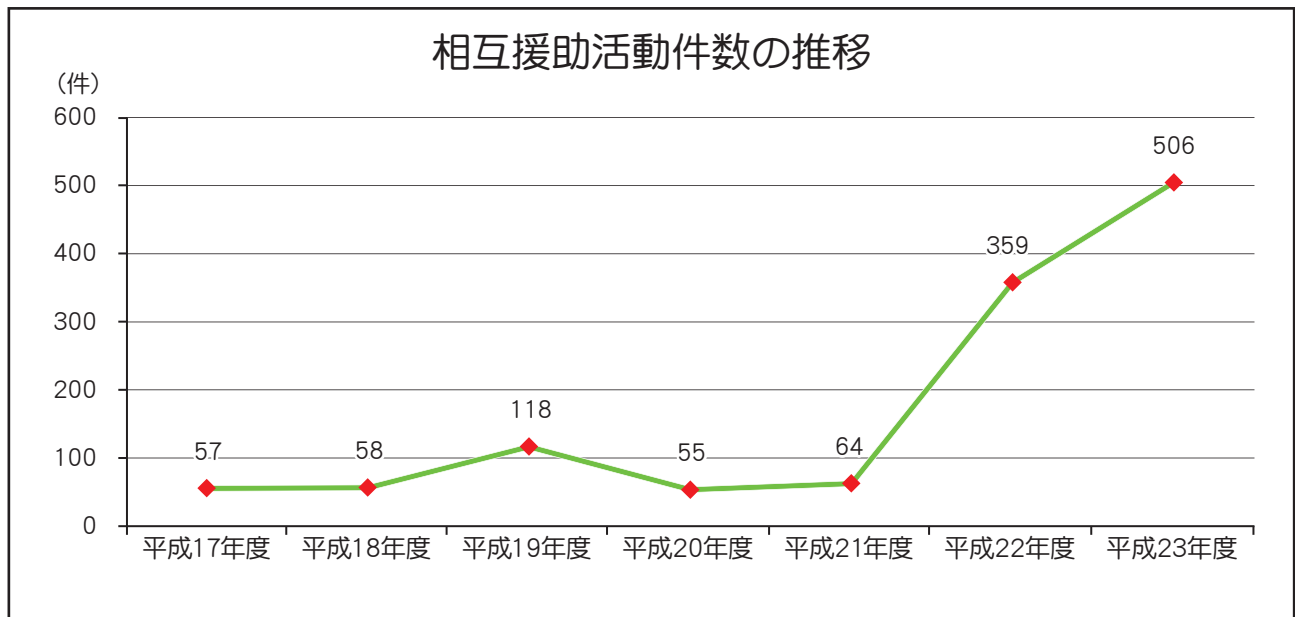
【平成23年度 開館日数：305日】

## 6. 福祉

### 6-7 別府市西部子育て支援センター（複合施設：ほっぺパーク）

ファミリー・サポート・センターとは、「子育ての手助けをして欲しい人（おねがい会員）」と「子育ての手助けをする人（まかせて会員）」が会員同士で子育てを支援し合う制度です。

利用状況としては、年間60件程度（平成19年度は除く。）の利用でありましたが、会員登録者数の増加により、平成22年度は359件、平成23年度は506件の利用となり平成21年度の約8倍の利用となっています。



## 6. 福祉

### 6-8 別府市北部子育て支援センター（複合施設：すきっぷパーク）

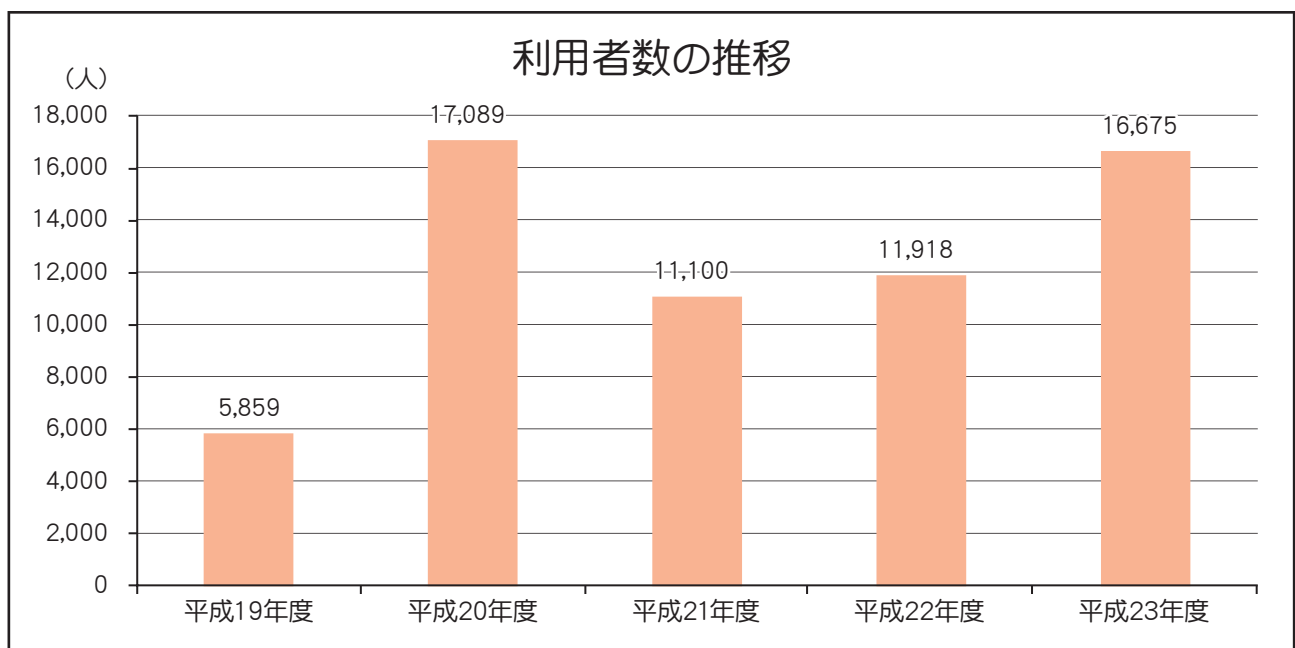
所在地	大字内竈字片上1256番
構造	鉄骨造
延床面積	312.88㎡
建築年	平成21年
構成施設	事務室・ミーティング室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部児童家庭課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



北部子育て支援センター（どれみ）は、内竈保育所との複合施設となっており、内装に木をふんだんに使用することにより温かみのある場を表現し、皆がやさしさを感じる「こころとからだにやさしい施設（バリアフリー）」を理念として平成21年に設置されています。

利用状況としては、平成23年度は前年度より4,757人の増加となり利用者数は16,675人となっています。施設内では、ままごとや絵本、滑り台やおもちゃで遊ぶことができ、自由参加の活動として、乳児教室、お誕生会、お話ひろば、三世代交流ふれあい活動や料理教室、子育て講座など多種開催しています。さらに就学前児童が登録して1年間活動する育児サークルもあり、乳幼児向けの絵本の貸出もできます。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	5,056千円 正職員(0.6人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役員費	92千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	379千円
合 計	5,527千円
減価償却費	929千円（参考値）



【平成23年度 開館日数：295日】

## 6. 福祉

### 6-9 別府市南部子育て支援センター（複合施設）

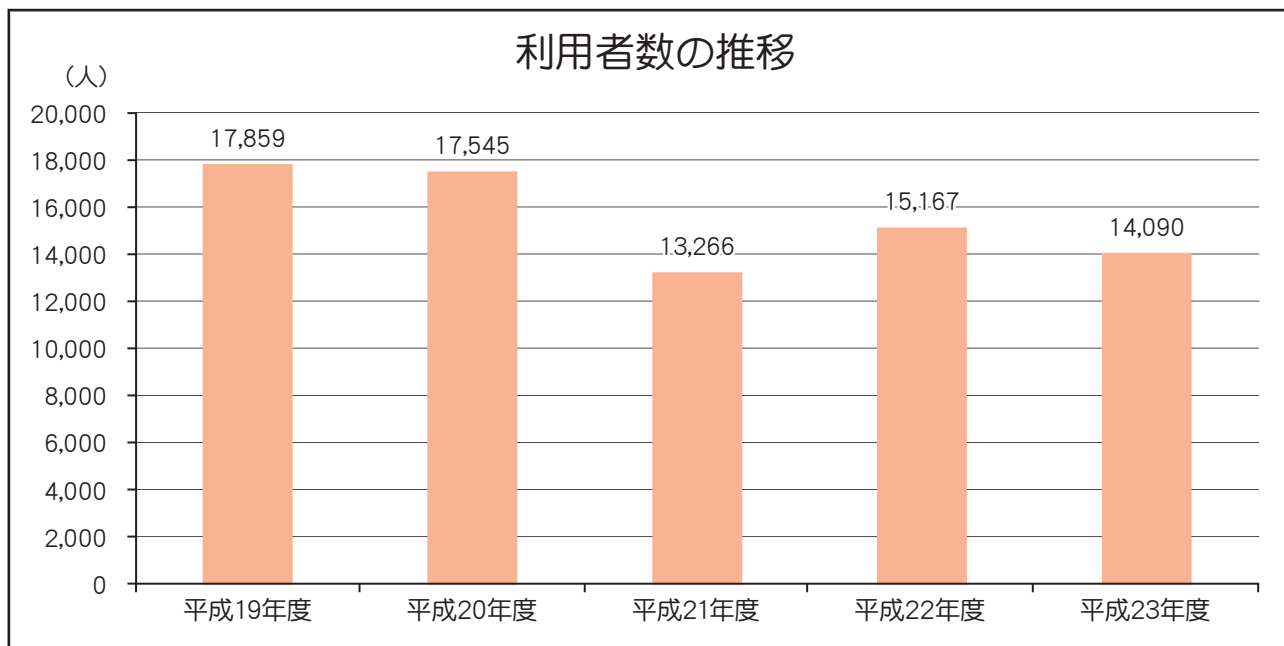
所在地	末広町1番3号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	619.45㎡
建築年	昭和3年
構成施設	事務室・ミーティング室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部児童家庭課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済



南部子育て支援センター（わらべ）は、南部児童館との複合施設となっています。構成施設としては、乳幼児と保護者が利用できる遊戯室、絵本の部屋、静養室があり、施設全体も半オープン式の造りとなっているため全体が見えながらも落ち着いて過ごせるようになっています。

利用状況としては、平成23年度は前年度より1,077人の減少となり、利用者数は14,090人となっています。施設内では、ままごとや絵本、おもちゃ遊びができ、また広いホールでボール遊びなどを行っています。また、年齢別サークルを開き、親子でふれあったり、同年齢の子どもを持つ保護者同士で交流できる場を提供しています。また、「リズムマッサージ」「パペットキッズ」といった各種イベントを毎月開催しています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	3,520千円 正職員(0.6人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	92千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	370千円
合 計	3,982千円
減価償却費	—



【平成23年度 開館日数：305日】



## 6. 福祉

### 6-10 別府市保健センター（湯のまち けんこうパーク）

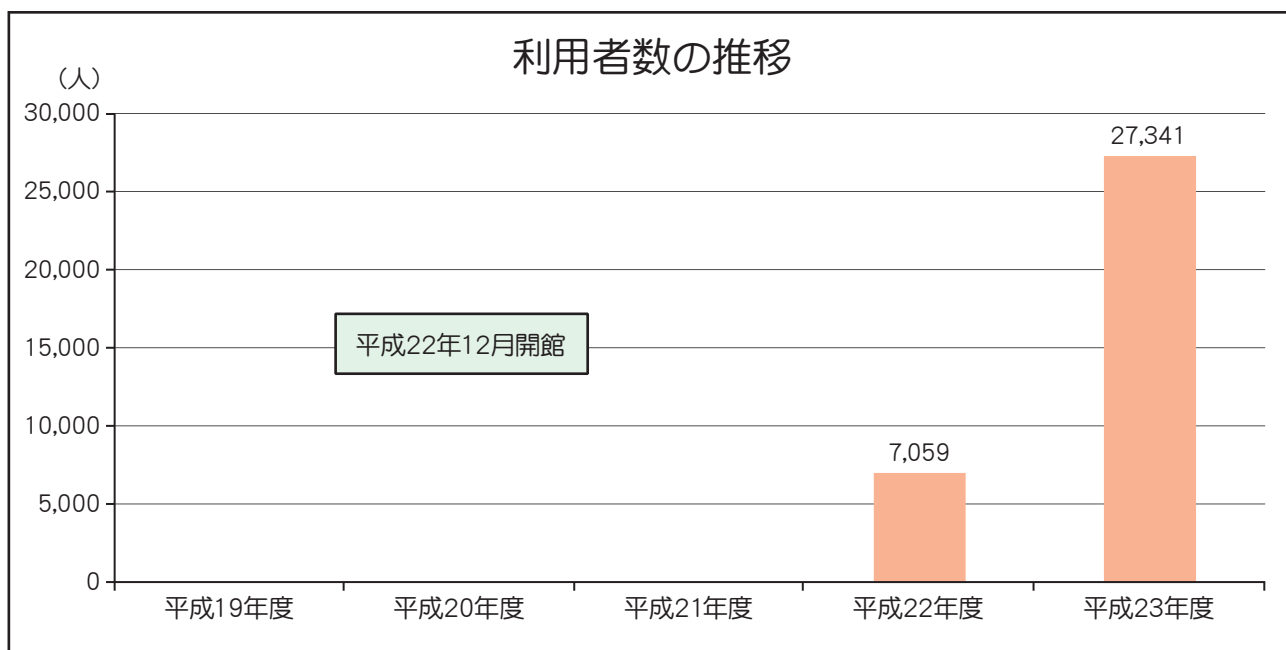
所在地	西野口町15番33号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	2,112.14㎡
建築年	平成11年
構成施設	会議室兼運動室・調理実習室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部健康づくり推進課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



別府市保健センターは、市民の健康の保持及び増進を図ることを目的として平成22年に設置されています。施設そのものは、平成11年に建築された防衛省共済組合の保養所を買い取り、乳幼児から高齢者までを対象に、健康相談、各種健康診査、健康料理教室などの保健センターとしての機能をはじめ、夜間子ども診療や休日歯科診療といった診療も行える施設として大規模な改修工事をしたものです。

利用状況としては、平成23年度は27,341人の利用があり、そのうち乳幼児健診での利用が約23%を占めており、続いて母子教育、健康診査がそれぞれ約10%となっています。また、夜間子ども診療（乳幼児から中学生までが対象）も5,500人の利用があり、1日当たりによると約15人の利用となっています。

収 入	
使用料等	2,014 千円
施設にかかる経費	
人件費	118,339 千円 正職員 (17.0人) 非常勤職員 (7.0人) 臨時職員 (5.0人)
光熱水費	2,947 千円
修繕料	6 千円
役務費	644 千円
委託料	3,947 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	1,178 千円
合 計	127,061 千円
減価償却費	6,822 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：245日】

## 6. 福祉

### 6-11 別府市社会福祉会館

所在地	上田の湯町15番40号
構造	木造
延床面積	2,156.49㎡
建築年	平成6年
構成施設	多目的大広間・中会議室・小会議室・作法室（和室）
管理形態	指定管理
施設所管課	福祉保健部社会福祉課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



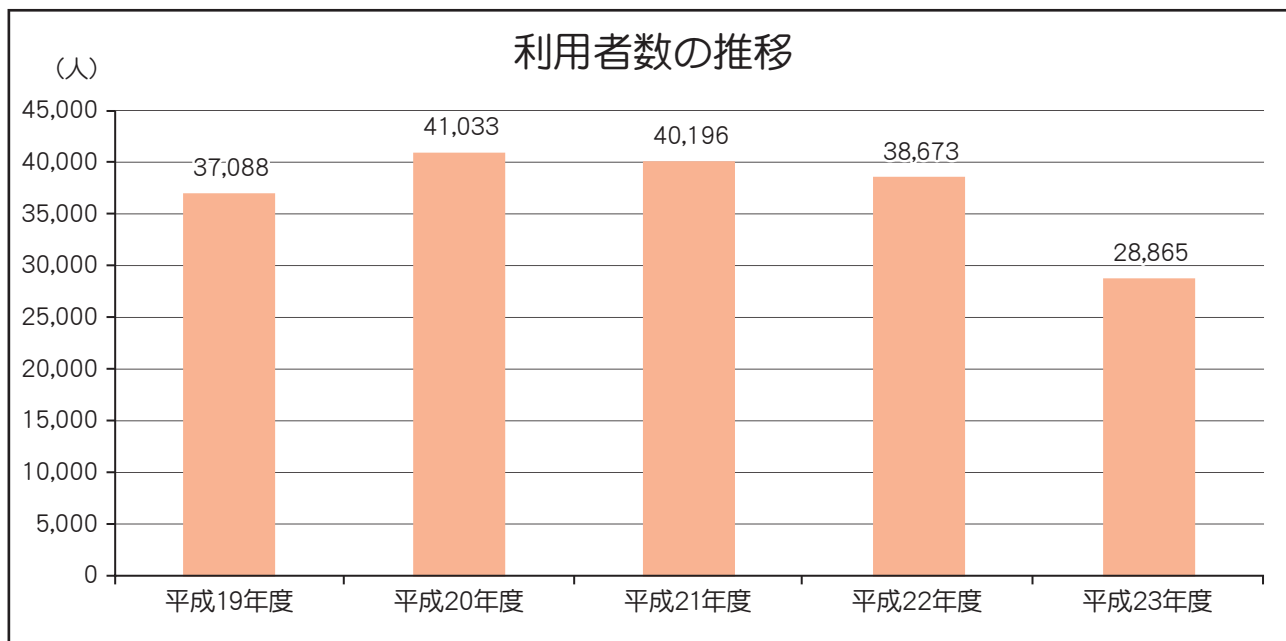
社会福祉会館は、福祉関係者並びに市民の福祉の増進及び教養、文化活動の場として広く市民福祉の向上に寄与することを目的に平成6年に設置されています。

建物は、木造瓦葺平屋建の純和風建築であり外観は今のところ目立った傷みはありませんが、建築後17年を経過していることから設備の更新時期を迎えています。

利用状況としては、平成20年度に約4.1万人の利用がありました。平成23年度では約2.9万人と約1.2万人の減少となっています。減少の要因としては、平成22年12月に保健センターがオープンしたことで乳幼児の検診等の利用がなくなったことが考えられます。

構成施設別の利用割合は、多目的大広間約50%、中会議室約24%、小会議室約17%、作法室約9%となっています。

収 入	
使用料等	2,348 千円
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役員費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	14,240 千円
工事請負費	367 千円
その他の支出	119 千円
合計	15,313 千円
減価償却費	3,579 千円（参考値）



【平成23年度 開館日数：308日】



## 6. 福祉

### 6-12 別府市身体障害者福祉センター

所在地	大字鶴見4310番地の2
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,423.27㎡
建築年	昭和50年
構成施設	体育室・訓練室・会議室
管理形態	指定管理
施設所管課	福祉保健部障害福祉課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



身体障害者福祉センターは、身体障がい者の機能回復、体力の向上と広く市民のレクリエーション活動に供することにより、市民福祉の増進を図ることを目的に昭和50年に設置されています。

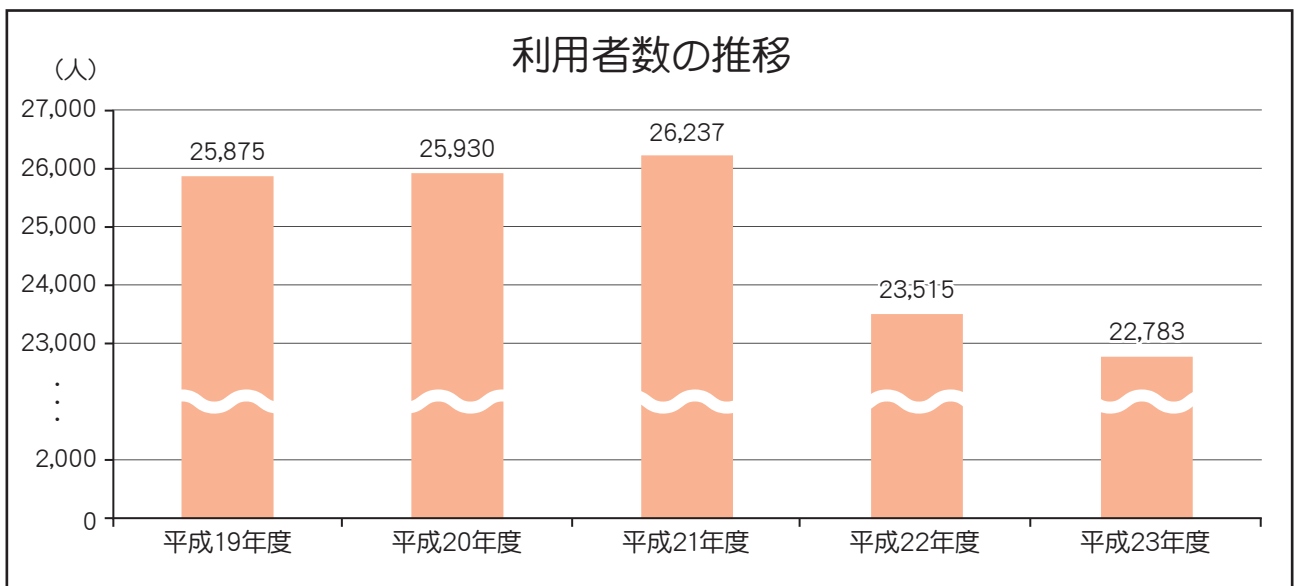
建築後36年が経過していますがこれまでに大規模な改修は実施しておらず、構造部分の一部改修として機能回復センター部分の屋根の塗装や体育館事務室の屋上防水などを実施しています。

なお、旧耐震基準の建物であることから地震等に対する安全性を確認するために、耐震診断を実施する必要があります。

利用者の状況としては減少傾向にあり、平成23年度の利用者22,783人のうち障がい者の利用は6,155人で、利用者の約27%を占めています。

構成施設別の利用割合は、体育室約55%、訓練室約35%、会議室約10%となっています。また、稼働率としては、体育室約83%、訓練室約22%、会議室約25%となっており、体育室は日曜日の17時から22時までの時間帯を除き稼働率が50%を超えて利用されています。訓練室の稼働率が低くなっているのは、卓球台を常時5台設置しているためです。また、会議室は施設の設定目的や形態が運動に向いていることから、利用者も少なく稼働率も低くなっています。

収 入	
使用料等	1,783 千円
施設にかかる経費	
人件費	587 千円 正職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役員費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	5,935 千円
工事請負費	143 千円
その他の支出	0 千円
合 計	6,665 千円
減価償却費	5,160 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：308日】

## 6. 福祉

### 6-13 老人憩の家 友楽荘

所在地	上人ヶ浜町1番28号
構造	木造
延床面積	114.37㎡
建築年	昭和46年
構成施設	和室・湯沸室
管理形態	直営
施設所管課	福祉保健部高齢者福祉課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



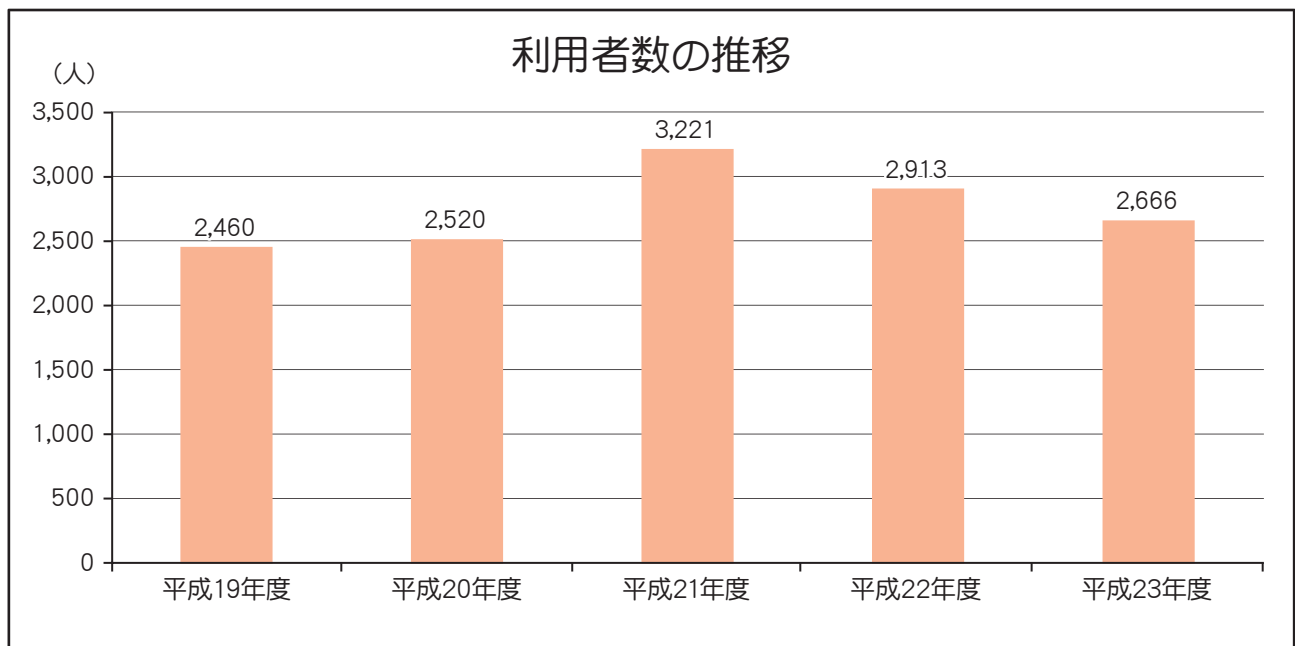
老人憩の家 友楽荘は、高齢者の健康で明るい生活を目指し文化教養の向上、余暇の充実を図りコミュニケーションの場を提供することを目的に昭和46年に設置されています。木造構造のため、平成20年度にシロアリ駆除、平成22年度には柱腐朽部分の取替えや段差解消スロープの設置工事等を実施しています。

利用状況については、平成23年度の利用者数は2,666人（月平均222人）、利用件数は238件（月平均19件）となっています。また過去5年間の平均は、利用者数2,756人、利用件数246件となっています。

利用内容でみると、老人クラブに関係する利用が約60%、文化サークル等での利用が約35%、その他の利用が約5%で老人クラブの会議や主催する教室が大半を占めています。

和室大広間が主たる施設であるため利用できる活動に制限があり、会議や文化的活動又は静的運動などが中心になっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	1,173千円 正職員(0.2人)
光熱水費	145千円
修繕料	35千円
役務費	0千円
委託料	392千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	8千円
合計	1,753千円
減価償却費	0千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：294日】

## 6. 福祉

### 耐震診断の実施状況

#### 6. 福祉

施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準					
				耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
① 中央保育所	S53			1	840.60				
② 鶴見保育所（複合施設）（注1）	H17	1	1,870.58						
③ 内竈保育所（複合施設）（注2）	H21	1	981.01						
④ 別府市南部児童館（複合施設）（注3）	S 3			1	1,222.79				
⑤ 別府市保健センター	H11	1	2,112.14						
⑥ 別府市社会福祉会館	H 6	1	2,156.49						
⑦ 別府市身体障害者福祉センター	S50							1	1,423.27
⑧ 老人憩の家友楽荘	S46							1	114.37
（注4）									
		4	7,120.22	2	2,063.39	0	0.00	2	1,537.64

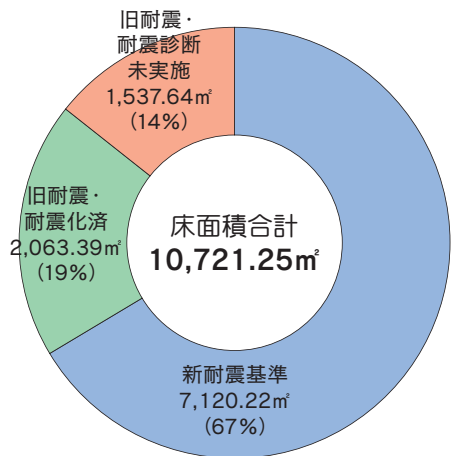
（注1） 別府市西部児童館（683.97㎡）・別府市西部子育て支援センター（207.93㎡）を含みます。

（注2） 別府市北部子育て支援センター（312.88㎡）を含みます。

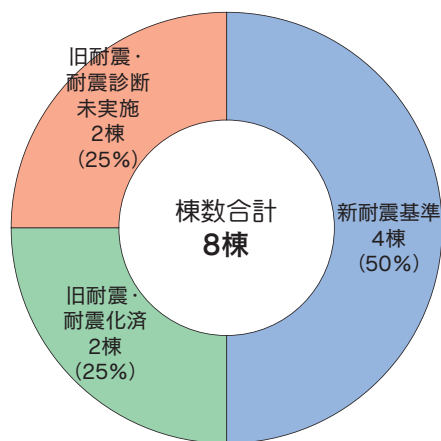
（注3） 別府市南部子育て支援センター（619.45㎡）を含みます。

（注4） 別府市北部児童館は借上施設のため上記施設に含めません。

床面積に対する割合



棟数に対する割合



施設配置図 6. 福祉





# 7

## コミュニティ

- 7-1 別府市コミュニティセンター
- 7-2 別府市内竈コミュニティセンター
- 7-3 別府市湯山コミュニティセンター
- 7-4 別府市ふれあい広場・サザンクロス
- 7-5 別府市国際交流会館
- 7-6 別府市立少年自然の家「おじか」
- 7-7 別府市総合教育センター
- 7-8 別府市野口ふれあい交流センター



## 7. コミュニティー

### 7-1 別府市コミュニティーセンター

所在地	上野口町29番13号
構造	木造
延床面積	1,260.42㎡
建築年	平成7年
構成施設	多目的ホール・浴場・休憩室・相撲練習場・事務室
管理形態	指定管理
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



別府市コミュニティーセンターは、江戸時代の建築様式を取り入れ過去の文化や歴史を継承しながら市民相互の親睦を図るとともに、文化向上に寄与することを目的として平成7年に設置されています。

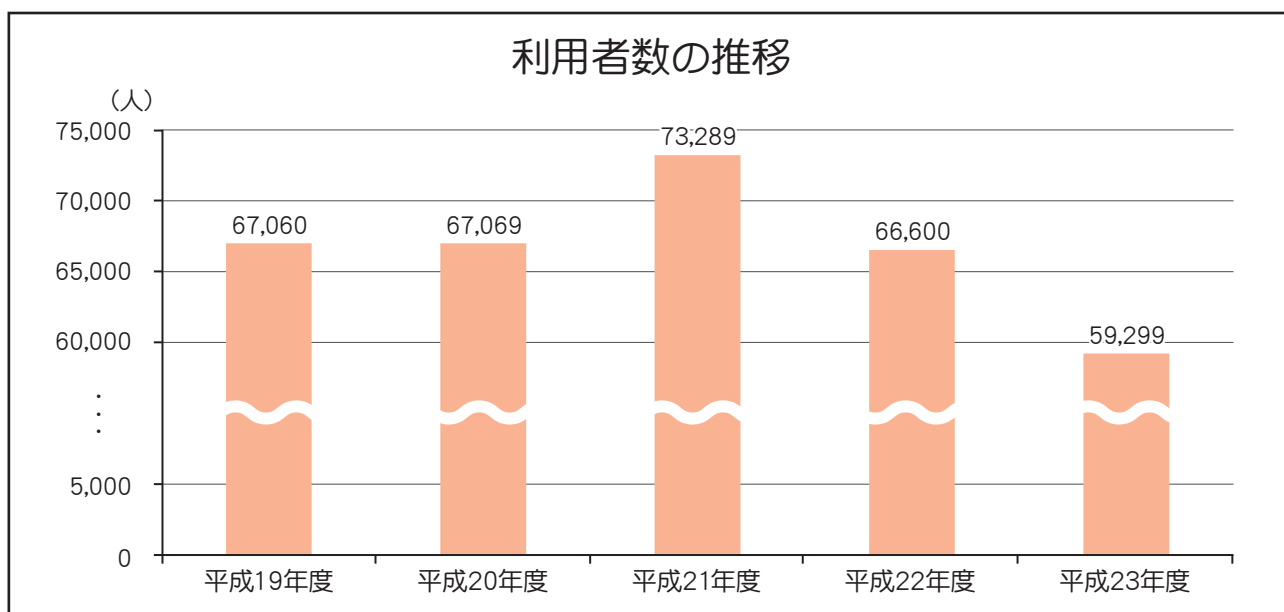
施設の状況としては、舞台や可動式柵席をもつ多目的ホールや温泉施設、相撲練習場を備えた木造建築となっています。

平成18年度からは、指定管理者制度を導入して、施設の管理及び運営は指定管理者で行っています。

利用状況としては、平成23年度は多目的ホール冷暖房設備改修工事のため閉館期間があったことにより59,299人となっています。

構成施設別の利用状況でみると、浴場46,133人（約78%）、多目的ホール5,838人（約10%）、談話室4,777人（約8%）、その他（約4%）となっており、相撲練習場の利用が低くなっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	11千円
指定管理料	11,000千円
工事請負費	12,207千円
その他の支出	1,107千円
合 計	24,912千円
減価償却費	5,650千円（参考値）



【平成23年度 開館日数：309日】



## 7. コミュニティー

### 7-2 別府市内竈コミュニティセンター

所在地	大字内竈字川原田1496番1 外
構造	鉄骨造
延床面積	197.00㎡
建築年	平成8年
構成施設	多目的ホール・研修室・多目的広場等
管理形態	指定管理
施設所管課	総務部財産活用課
避難所指定	あり(一時)
耐震性	●耐震基準：新

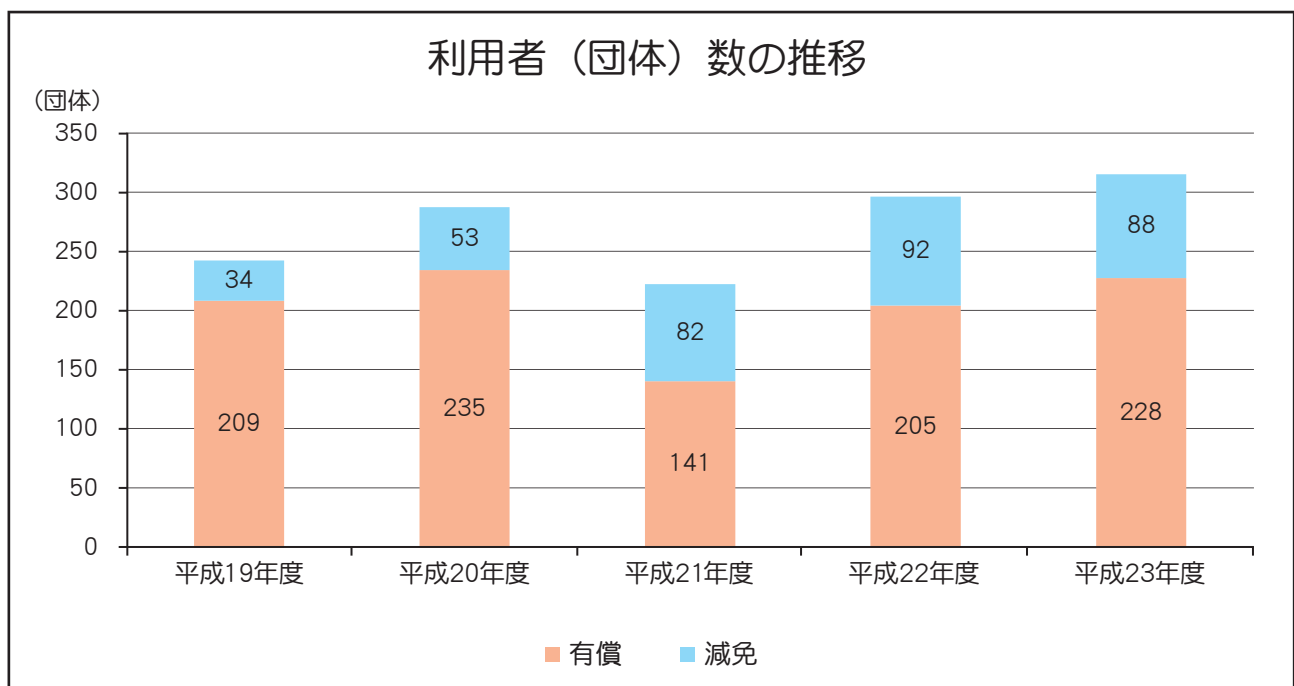


内竈コミュニティセンター（内竈多目的広場含む。）は、文化活動、体育活動その他の地域活動を通じて地域のまちづくり、人づくりを促進することによって地域振興を図ることを目的として平成8年に設置されています。施設状況としては、建築後15年経過していますが、今のところ目立った不具合等は見受けられません。平成23年度に女子トイレを和式から洋式に取替える工事を行っています。

平成18年度から指定管理者制度を導入して、施設の管理及び運営は指定管理者で行っています。

利用状況については、指定管理者になっている自治会の利用がほとんどであり、多目的ホールが和室となっていることが影響して利用率が低くなっていますが、ここ2年間は300前後の団体によりサークル活動等の場として利用されています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	0千円
工事請負費	121千円
その他の支出	0千円
合 計	708千円
減価償却費	473千円(参考値)



## 7. コミュニティー

### 7-3 別府市湯山コミュニティセンター

所在地	大字野田字天神原953番1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	153.22㎡
建築年	昭和56年
構成施設	集会所・会議室
管理形態	長期独占利用
施設所管課	総務部財産活用課
避難所指定	あり（一時）
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



湯山コミュニティセンターは、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律の主旨に則り、十文字原演習場周辺地域住民等の福祉増進に供することを目的として昭和56年に設置されています。施設の状態としては、建築後30年経過しているため老朽化が進んでいます。これまで雨漏りにより屋根防水工事を行うなどの対策をしていますが、最近では室内の付属設備に不具合が多く見られるようになり修繕工事が必要となっています。

利用状況については、「議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例」により周辺地区に長期独占利用されており、防衛施設周辺の地域の方や自治会の集会、会議の場として広く利用されています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	56千円
役務費	32千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	197千円
その他の支出	381千円
合 計	1,253千円
減価償却費	455千円(参考値)

## 7. コミュニティー

### 7-4 別府市ふれあい広場・サザンクロス（複合施設）

所在地	千代町1番8号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,481.86㎡
建築年	昭和62年
構成施設	パソコン教室・視聴覚教室・和室・会議室・研修室(3)・事務室
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり(収容)
耐震性	●耐震基準：新

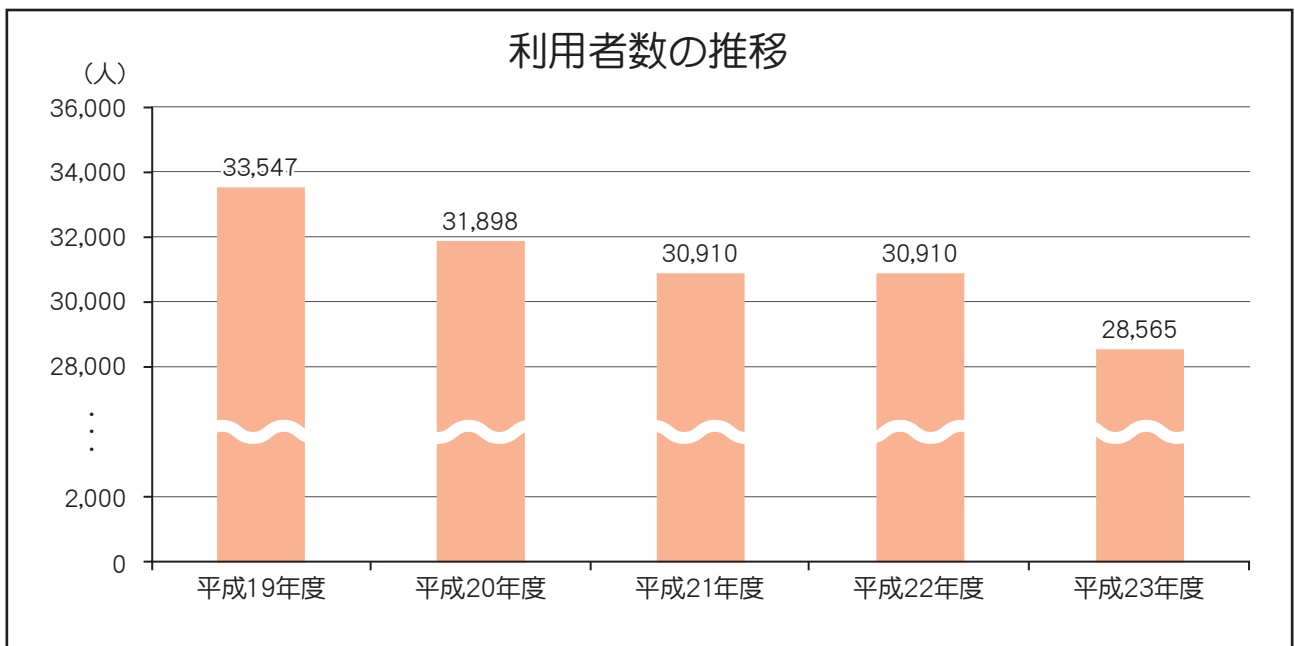


ふれあい広場・サザンクロスは、市民の文化活動及び生涯学習を推進することを目的として昭和62年に設置されています。平成23年度までは借上施設ですが、平成24年度からは市有施設（財産）として管理しています。経年劣化により音響設備に不具合があることから改善を検討する必要があります。

利用状況としては、平成23年度は28,565人の利用があり、主な利用者は自主講座となっています。施設別の利用割合で見ると、視聴覚室約31%、会議室約27%、研修室約32%、講座室約10%となっています。体操教室やヨガなどを講座室で開催しているため、他の施設と比べると、講座室の利用が多くなっています。

また、定期的な映画上映と毎年1月にサザンクロス発表会、夏休みなどの長期の休みには「子ども映画劇場」として子供向けの映画を上映しています。

収 入	
使用料等	1,080 千円
施設にかかる経費	
人件費	18,934 千円 正職員(1.1人) 非常勤職員(8.0人)
光熱水費	3,809 千円
修繕料	0 千円
役員費	198 千円
委託料	1,295 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	3,909 千円
合計	28,145 千円
減価償却費	— (借上施設)



【平成23年度 開館日数：347日】

## 7. コミュニティー

### 7-5 別府市国際交流会館

所在地	上人ヶ浜町2番12号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	2,061.28㎡
建築年	平成7年
構成施設	講座室・和室・多目的ホール・事務室・宿舍
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSEN'ツーリズム部文化国際課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



国際交流会館は、県内の大学、高等専門学校又は専修学校に在学する留学生に宿泊施設を提供するとともに、市民と留学生の交流スペースを設けることにより、文化活動を通じた国際交流を推進することを目的に平成7年に設置されました。

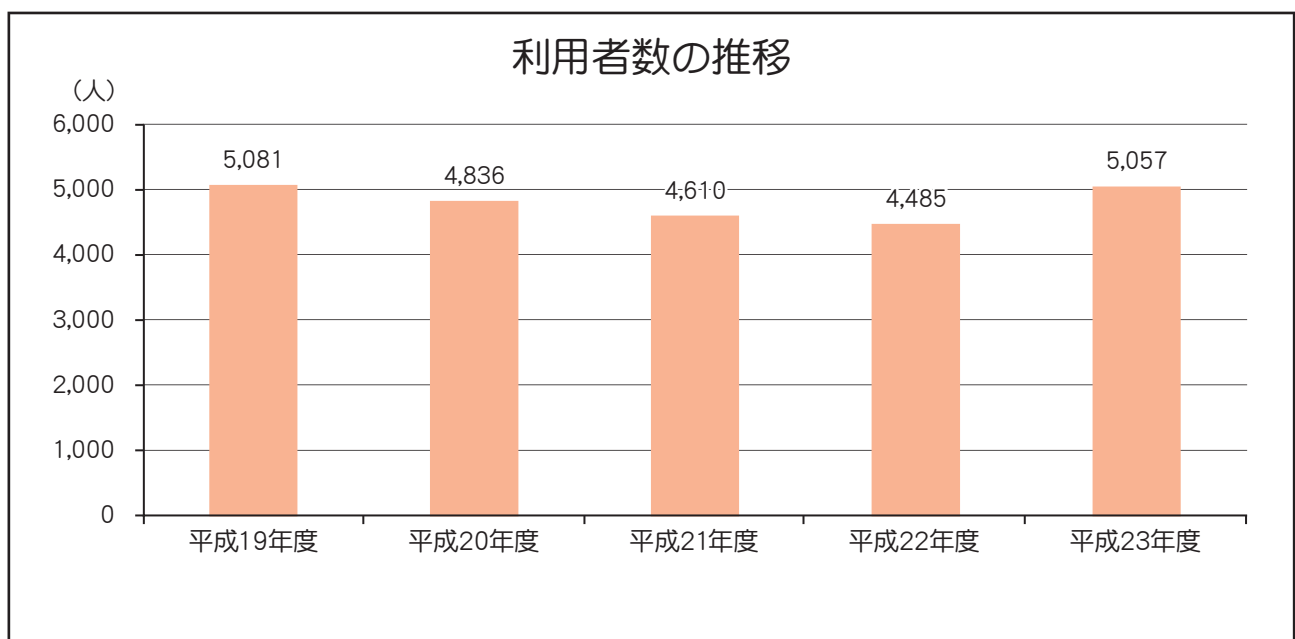
建築後16年が経過し、軽微な設備の修繕や交換等が同時期に発生していますが、今のところ大規模改修は必要としていません。

平成18年度から指定管理制度を導入し、施設の管理及び運営は学校法人別府大学が行っています。

利用状況としては、1階部分の講座室（3室）の利用が多くなっており、全体の80%を占めています。多目的ホール、和室の利用が少ないのは、多数の参加者や高齢者の参加が見込まれる場合でも、駐車場スペースが十分に確保できていないことが原因の一つと考えられます。

また、2階から4階までが留学生の宿舍（53室）になっており、入居状況としてはこれまで近隣のアパート・マンションの供給過剰により空室も目立っていましたが、住環境の改善等に取り組んだ結果、徐々に改善されてきています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	352千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	0千円
工事請負費	0千円
その他の支出	0千円
合計	352千円
減価償却費	7,421千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：366日】



## 7. コミュニティー

### 7-6 別府市立少年自然の家「おじか」

所在地	大字別府4374番地
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	3,562.80㎡
建築年	昭和54年
構成施設	宿泊棟・食堂・集会室・ロッジ・ミーティング室・事務室
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

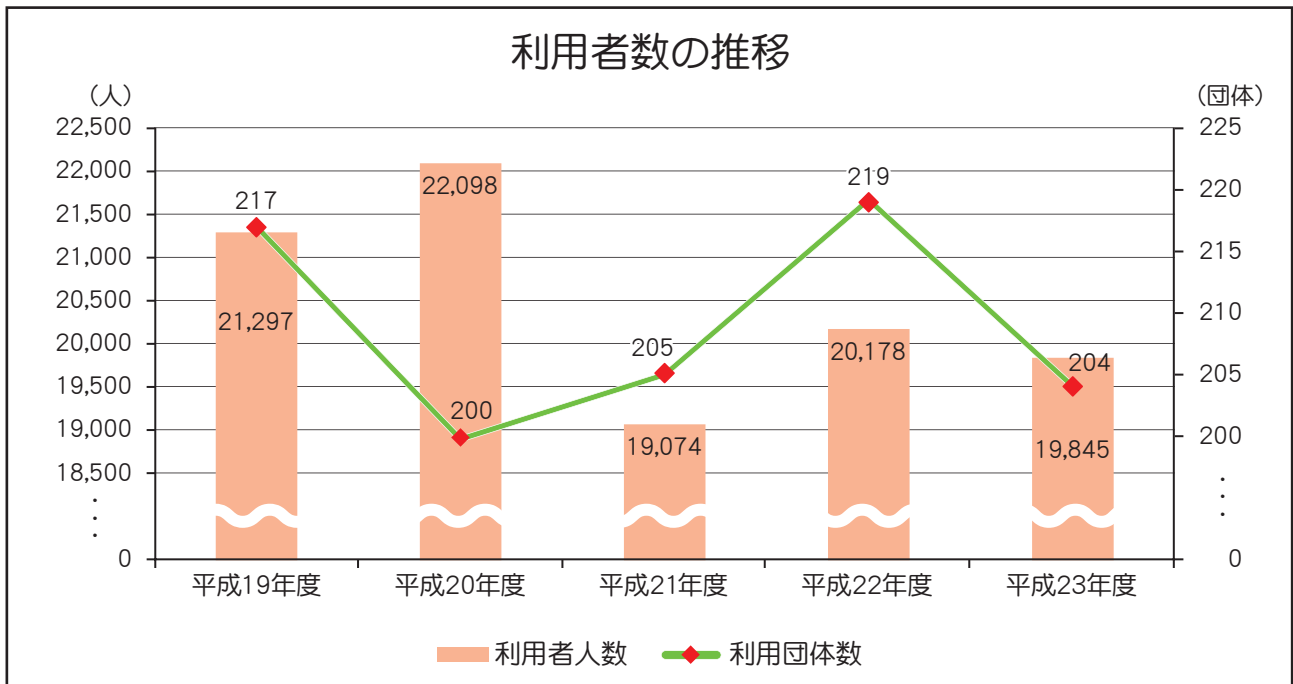


少年自然の家「おじか」は、自然環境の中で少年の心身の健全な育成を図り、社会教育の振興に資することを目的として昭和54年に設置されています。施設の状況としては、建築後32年が経過し暖房施設に不具合が見られるので、平成23年度より3ヶ年計画で改修工事を行うこととしています。平成23年度については、宿泊棟2階の暖房設備の改修工事を行っています。

利用状況としては、児童生徒数の減少が著しい中、約2万人の利用で推移しています。これは、約200団体の受入れを継続できたことによるもので、利用日数も200日を超えています。

5年間の平均で見ると、利用者約20,500人、利用団体約210団体、利用日数にすると214日となっています。団体別の利用状況では、幼稚園・小学校・中学校が約56%、高校・大学が約7%、少年団体約24%、保育園等その他約5%、主催事業が約8%となっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	33,415千円 正職員(4.1人) 非常勤職員(6.0人)
光熱水費	2,952千円
修繕料	483千円
役員費	869千円
委託料	7,568千円
指定管理料	—
工事請負費	9,378千円
その他の支出	1,639千円
合 計	56,304千円
減価償却費	14,910千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：211日】

## 7. コミュニティー

### 7-7 別府市総合教育センター

所在地	上田の湯町6番37号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	570.42㎡
建築年	昭和36年
構成施設	事務室・相談室・会議室・図書室等
管理形態	直営
施設所管課	学校教育課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



総合教育センターは、教育の充実及び振興並びに青少年の健全な育成を図ることを目的に平成17年に設置されました。施設は、昭和36年に建築されたもので旧図書館などとして利用されていました。

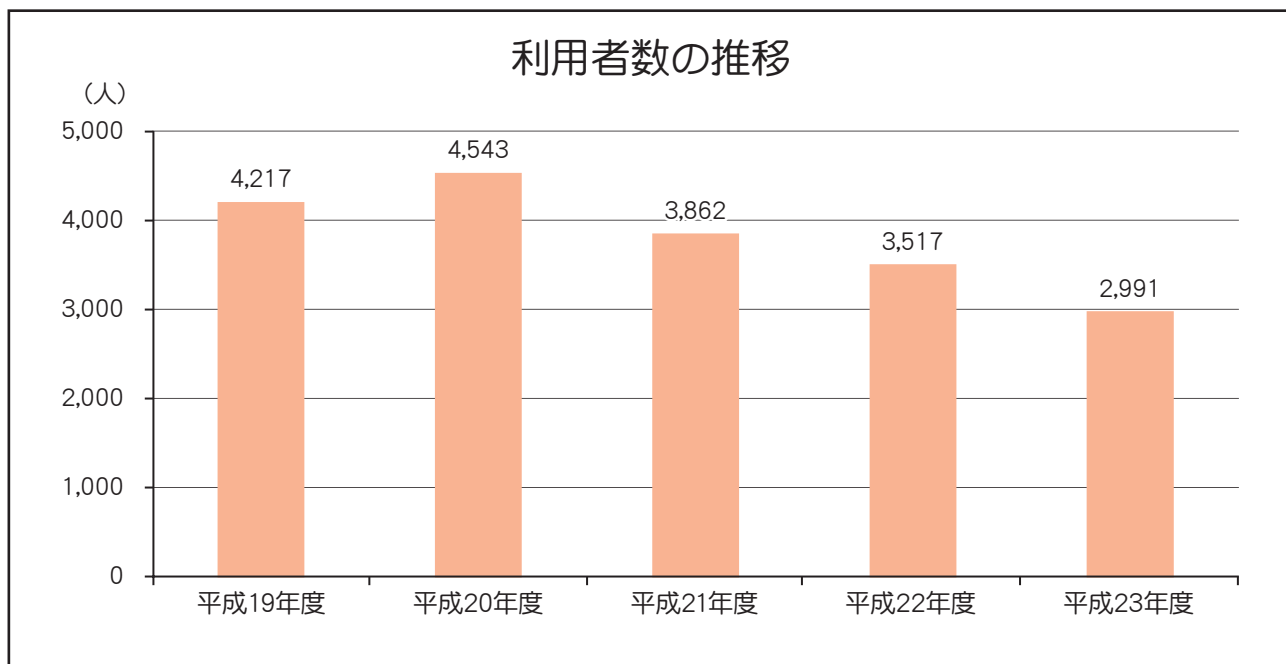
建築後50年を経過しており、耐用年数も過ぎていることから空調機などの設備に不具合が生じ、修繕を行うなどの対応をしています。

利用状況としては、市内学校関係者の研修・会議、教育相談、教科書貸出・閲覧等の場として、平成22年度までは年3千人を超える利用で推移していましたが、平成23年度は減少となりました。

減少の要因として、研修は学校での開催が増加したこと、会議は他の公共施設が利用可能となったこと等が考えられます。

施設別の利用状況でみると、大会議室が約68%、相談室が約16%、図書室その他が約16%となっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	46,098千円 正職員(6.0人) 非常勤職員(6.0人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	716千円
修繕料	83千円
役務費	371千円
委託料	373千円
指定管理料	0千円
工事請負費	0千円
その他の支出	1,774千円
合計	49,415千円
減価償却費	0千円(参考値)



※平成19年度～21年度は、ふれあいルームでの利用人数も含まれています。【平成23年度 開館日数：271日】

## 7. コミュニティー

### 7-8 別府市野口ふれあい交流センター

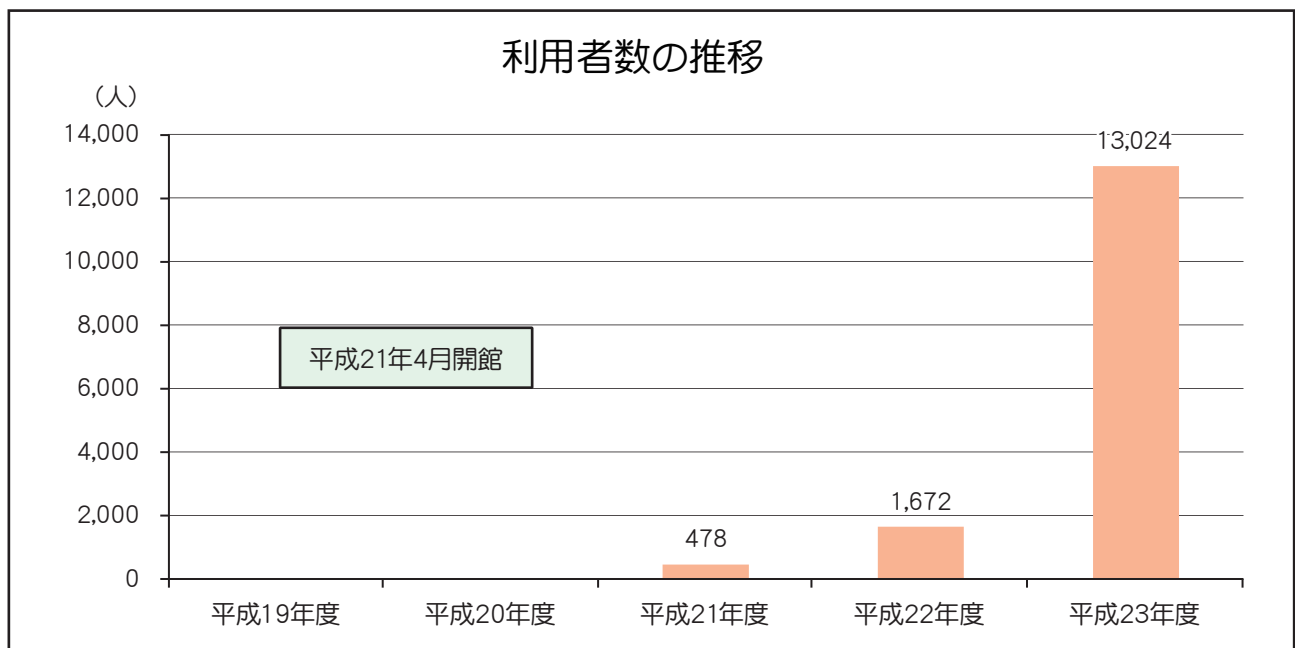
所在地	野口元町12番43号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	2,391.39㎡
建築年	昭和34年
構成施設	集会室・学習室・図書室・研修室・料理室・歴史文化展示室・保管室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり(収容)
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済



野口ふれあい交流センターは、文化活動、体育活動その他地域における活動を通じて、地域のまちづくり及び人づくりを促進することによって地域振興を図ることを目的として平成21年に設置されています。施設そのものは、昭和34年に建築された旧野口小学校であり、平成21年度に北館及び体育館、平成22年度は南館の耐震補強を含めたりリニューアル工事を行っています。

利用状況としては、平成21、22年度は工事のためほとんど利用できませんでしたが、平成23年度は13,024人の利用となっています。主な利用としては、集会室・研修室では、ヨガ・ダンス・詩吟等の団体が利用しています。また、展示会を開催することのできる研修室では、生花・日本画の展示会としても利用されています。

収 入	
使用料等	485 千円
施設にかかる経費	
人件費	9,560 千円 正職員(0.3人) 非常勤職員(5.0人)
光熱水費	1,689 千円
修繕料	548 千円
役員費	86 千円
委託料	2,290 千円
指定管理料	—
工事請負費	4,496 千円
その他の支出	4,923 千円
合計	23,592 千円
減価償却費	0 千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】



## 7. コミュニティー

### 耐震診断の実施状況

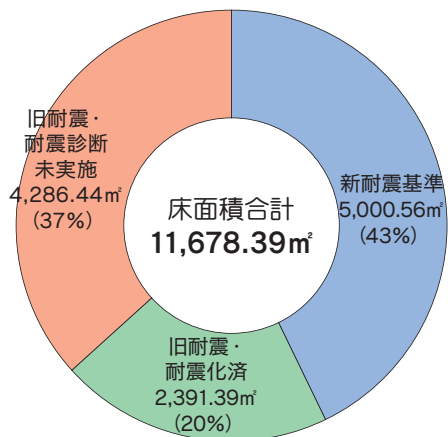
#### 7. コミュニティー

	施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準							
					耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施			
			棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積		
①	別府市コミュニティセンター (注1)	H7	2	1,260.42								
②	別府市内電コミュニティセンター	H8	1	197.00								
③	別府市湯山コミュニティセンター	S56								1	153.22	
④	別府市ふれあい広場・サザンクロス (注2)	S62	—	1,481.86								
⑤	別府市国際交流会館	H7	1	2,061.28								
⑥	別府市少年自然の家「おじか」	S54								1	3,562.80	
⑦	別府市総合教育センター	S36								1	570.42	
⑧	別府市野口ふれあい交流センター	S34			2	2,391.39						
			4	5,000.56	2	2,391.39	0	0.00	3	4,286.44		

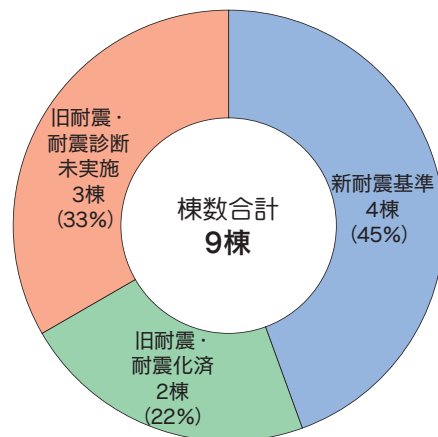
(注1) 相撲合宿練習場 (1棟211.41㎡) を含みます。

(注2) 複合施設のため、棟数は「本庁舎等」の南部出張所にて計上しています。

床面積に対する割合



棟数に対する割合





施設配置図 7. コミュニティー



# 8

## くらし・その他

- 8-1 リサイクル情報センター
- 8-2 別府市学校給食共同調理場
- 8-3 南立石緑化植物園 みどりの相談所
- 8-4 別府駅高架下自転車専用駐車場
- 8-5 別府駅西口自転車駐車場
- 8-6 新若草漁具倉庫
- 8-7 楠港漁具倉庫
- 8-8 清掃事務所
- 8-9 し尿処理場「春木苑」
- 8-10 中央浄化センター



## 8. くらし・その他

### 8-1 リサイクル情報センター

所在地	上野口町19番22号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	635.04㎡
建築年	昭和54年
構成施設	窓口・事務室・展示ルーム・リユースコーナー・和室・学習ルーム
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部環境課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



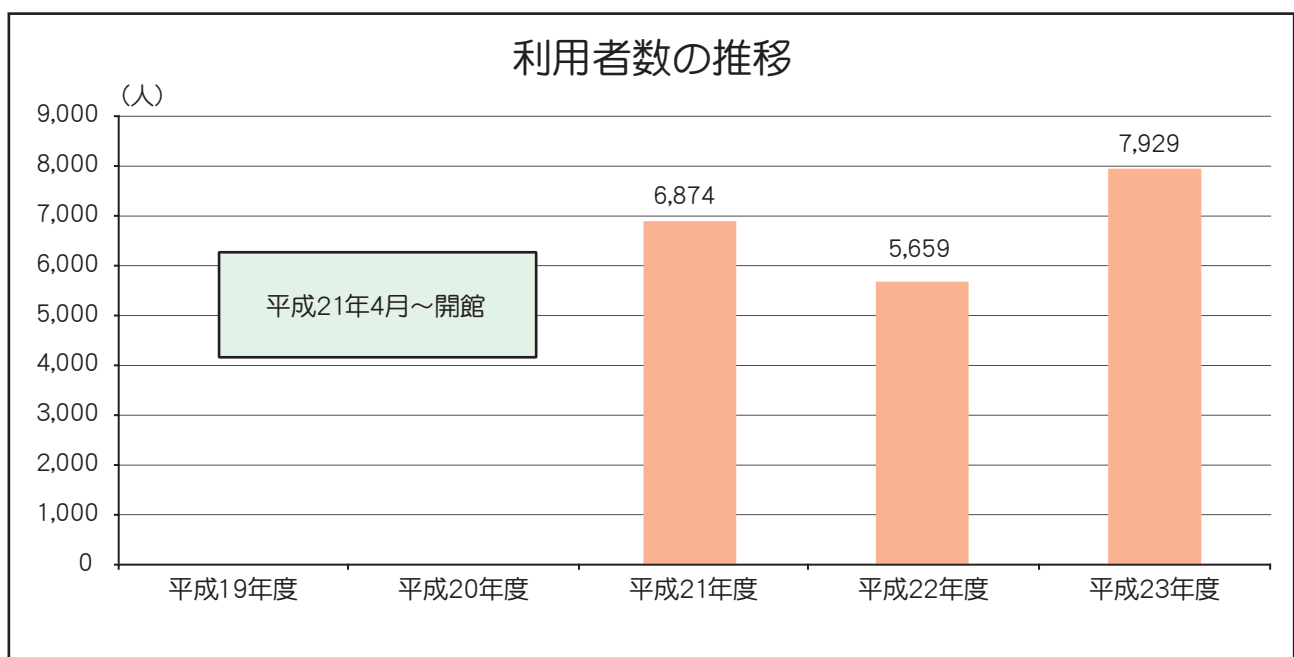
リサイクル情報センターは、ごみの減量及びリサイクルに関する情報の提供等を行うことにより、リサイクル社会の推進に寄与することを目的に平成21年に設置されています。

施設そのものは、昭和54年に建築された旧勤労青少年ホームを利用しているため、建築後30年以上経過しています。平成23年度においては、地盤沈下により排水枅が傾いたため側溝整備等を含めての工事を実施しています。

利用状況としては、不用になった衣類や書籍等を展示・提供する「リユースコーナー」の利用が多くなっています。また、リサイクル品抽選会対象品を展示する「展示ルーム」には、毎回、自転車や家具等30点程度の出展数に対し約1,000人近くの応募があり、市民に好評です。

なお、環境学習の一環として小学4年生時に行われる社会見学の受け入れを行っており、平成23年度は7校の利用がありました。

収 入	
使用料等	48千円
施設にかかる経費	
人件費	14,854千円 正職員(2.0人) 非常勤職員(2.0人)
光熱水費	96千円
修繕料	340千円
役員費	162千円
委託料	716千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	126千円
合計	16,294千円
減価償却費	2,286千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：244日】

## 8. くらし・その他

### 8-2 別府市学校給食共同調理場

所在地	大字別府3088番地の127
構造	鉄骨造
延床面積	3,338.00㎡
建築年	昭和47年
構成施設	事務室・調理室・洗浄室・研修室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



※延床面積には、単独調理場が含まれています。

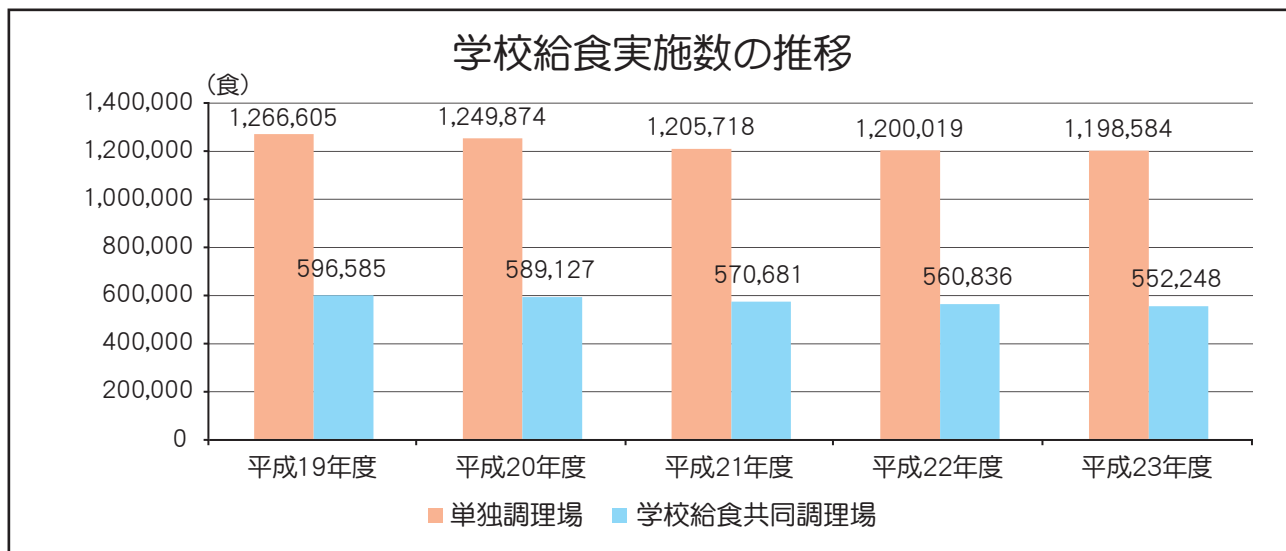
学校給食共同調理場は、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものとして、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的とし、昭和47年に設置されています。

施設の状況としては、建築後39年が経過し、外壁や内装、付属設備に不具合が目立ってきており簡易な修繕工事が常時必要となっています。

共同調理場では、中学校8校（東山中学校は、幼稚園・小学校含む。）の学校給食を調理しており、平成23年度では552,248食となっています。また、単独調理場については、小学校（幼稚園含む。）14校にそれぞれ設置され、安心安全な給食作りに努めています。

年間給食回数の平均は、幼稚園180回、小学校189回、中学校190回となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	47,525 千円 再任用職員 (1.0人) 非常勤職員 (29.0人)
光熱水費	5,136 千円
修繕料	1,596 千円
役員費	574 千円
委託料	2,023 千円
指定管理料	—
工事請負費	1,110 千円
その他の支出	9,048 千円
合 計	67,012 千円
減価償却費	0 千円 (参考値)



#### 【単独調理場】

学校名	建築年	構造	延床面積	学校名	建築年	構造	延床面積
境川小学校	昭和35年	RC	83.00㎡	上人小学校	昭和44年	S	115.00㎡
西小学校	昭和48年	S	140.00㎡	鶴見小学校	昭和49年	S	140.00㎡
南立石小学校	昭和44年	RC	63.00㎡	春木川小学校	昭和50年	S	140.00㎡
亀川小学校	昭和41年	RC	95.00㎡	緑丘小学校	昭和53年	S	143.00㎡
朝日小学校	昭和47年	RC	105.00㎡	大平山小学校	昭和54年	S	143.00㎡
石垣小学校	昭和41年	RC	180.00㎡	南小学校	平成16年	RC	161.00㎡
青山小学校	平成2年	S	168.00㎡	別府中央小学校	昭和59年	RC	399.00㎡



## 8. くらし・その他

### 8-3 南立石緑化植物園 みどりの相談所

所在地	大字南立石1880番地 1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	857.51㎡
建築年	昭和53年
構成施設	事務室・会議室
管理形態	直営（一部管理委託）
施設所管課	建設部公園緑地課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

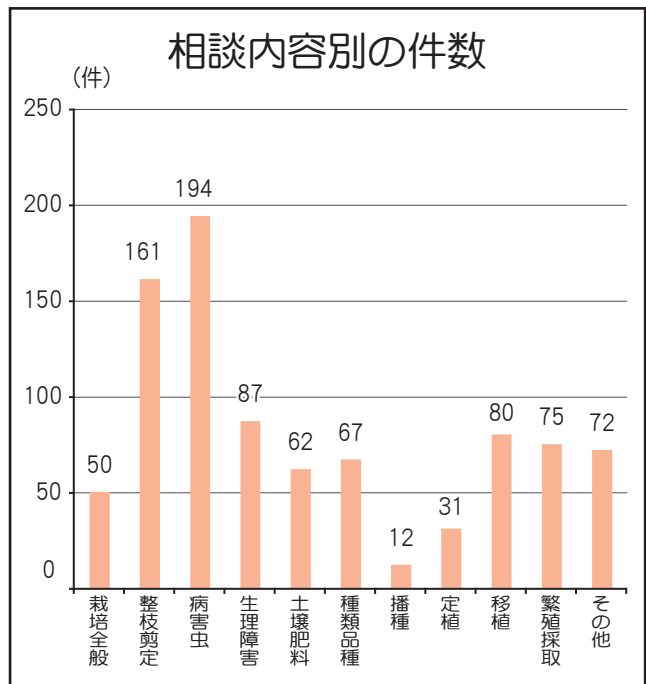
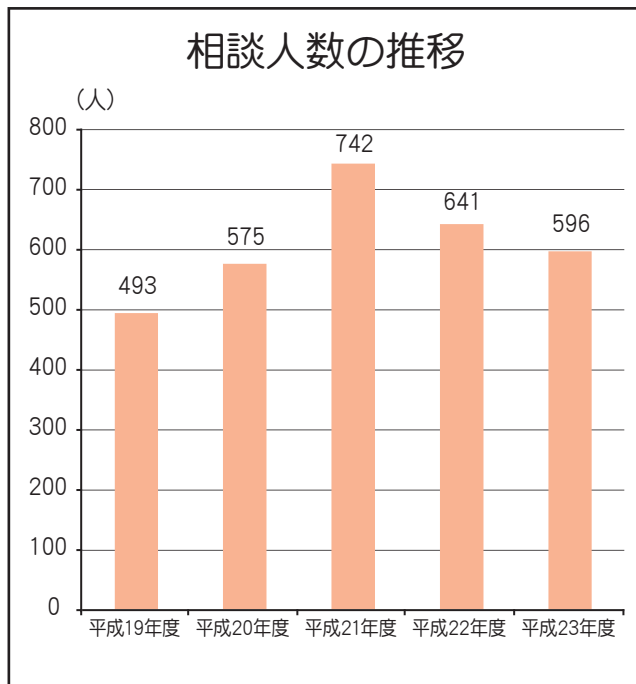


みどりの相談所は、市民が明るく健康的な社会生活を営むための一助として植物に関する知識を習得しながら、植物を身近な存在として日常生活の中に取り入れていくことを目的として昭和53年に設置されています。

建築後30年以上が経過し、老朽化が目立つことから平成18、19年度に屋根の改修などを行っています。今後は耐震診断等も行っていく必要があります。

利用状況としては、平成23年度の相談者数は596人（相談件数891件）、園芸教室の参加者数は348人となっております。相談の内訳は、来所による相談者が197人、電話による相談者が399人で、年間約600人前後で推移しています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	4,680 千円 非常勤職員（3.0人）
光熱水費	309 千円
修繕料	0 千円
役務費	59 千円
委託料	765 千円
指定管理料	—
工事請負費	526 千円
その他の支出	39 千円
合 計	6,378 千円
減価償却費	2,547 千円（参考値）



【平成23年度 開館日数：244日】

## 8. くらし・その他

### 8-4 別府駅高架下自転車専用駐車場

所在地	駅前本町10番5号
構造	鉄骨造
延床面積	630.44㎡
建築年	平成20年
構成施設	平面駐輪場・1階駐輪場・2階駐輪場
管理形態	直営（一部管理委託）
施設所管課	建設部道路河川課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



自転車専用駐車場及び自転車駐車場は、通勤・通学等の拠点であるJR別府駅の利便性の向上と駅周辺歩道等における放置自転車解消により歩行者の通行及び環境美化に寄与することを目的として平成20年に設置されています。駐車可能台数は、別府駅高架下が388台、西口が123台となっています。利用状況は、両駐車場とも年間を通じて90%程度は利用されている一方、駐車場内における放置自転車が年間40~70台となっており、定期的な回収が必要となっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	740千円 正職員(0.1人) 臨時職員(0.1人)
光熱水費	62千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	845千円
指定管理料	—
工事請負費	2,992千円
その他の支出	1,182千円
合計	5,821千円
減価償却費	1,248千円(参考値)

### 8-5 別府駅西口自転車駐車場

所在地	田の湯町1943番地の12
構造	鉄骨造
延床面積	242.69㎡
建築年	平成20年
構成施設	1階駐輪場・2階駐輪場
管理形態	直営（一部管理委託）
施設所管課	建設部道路河川課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	740千円 正職員(0.1人) 臨時職員(0.1人)
光熱水費	62千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	798千円
指定管理料	—
工事請負費	2,992千円
その他の支出	861千円
合計	5,453千円
減価償却費	481千円(参考値)

## 8. くらし・その他

### 8-6 新若草港漁具倉庫

所在地	京町818-473
構造	鉄骨造
延床面積	240.00㎡
建築年	平成19年
構成施設	倉庫
管理形態	委託
施設所管課	建設部都市政策課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



※施設所管課については、平成25年度より“建設部都市整備課”に変わります。

新若草港漁具倉庫及び楠港漁具倉庫は、ふ頭用地に漁業関連施設として整備することになり、平成5年に建築されました。その後、新若草港漁具倉庫が平成19年、楠港漁具倉庫が平成20年にそれぞれ現在の場所に新築移転されました。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	0千円
合計	587千円
減価償却費	475千円(参考値)

### 8-7 楠港漁具倉庫

所在地	楠町382-6
構造	鉄骨造
延床面積	415.14㎡
建築年	平成20年
構成施設	倉庫
管理形態	委託
施設所管課	建設部都市政策課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



※施設所管課については、平成25年度より“建設部都市整備課”に変わります。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	0千円
合計	587千円
減価償却費	822千円(参考値)

## 8. くらし・その他

### 8-8 清掃事務所

所在地	大字内電字冷川3611番地
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	2,612.74㎡
建築年	平成5年
構成施設	管理棟・車庫・倉庫
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部環境課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新

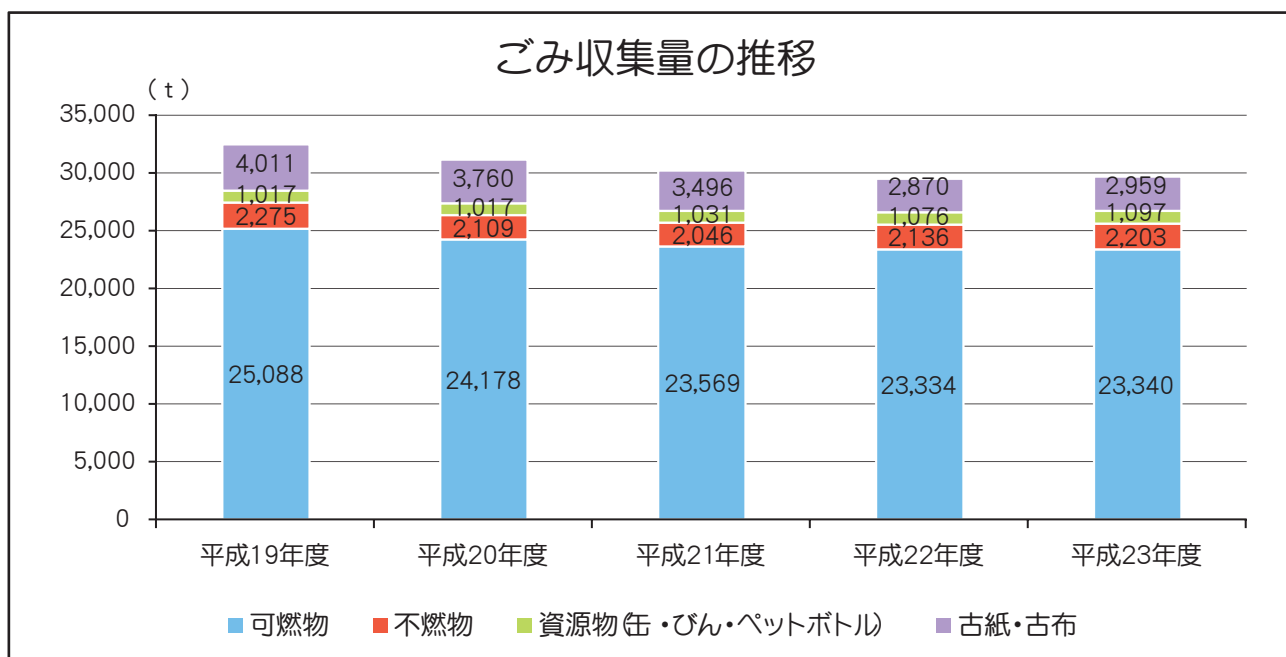


清掃事務所は、平成5年に上野口町（現別府市コミュニティセンター敷地）から現在の位置に新築移転されました。建築後18年が経過しているため、外壁のひび割れや空調設備、ボイラー等に不具合が多数生じており、毎年、計画的に修繕するなどの対応をしています。

清掃車両33台（平成23年度末現在）を保有し、可燃物、不燃物、資源物（缶・びん・ペットボトル）のごみ収集業務を行っています。収集量としては、可燃物が一日当たり約63.7 t、不燃物が約6 t、資源物が約3.3 tとなっています。

可燃物については、市民によるごみ減量の取り組みの結果、減量傾向となっており、資源物の収集内訳としては、ペットボトル約42%、びん類約36%、缶類約22%となっています。

収 入	
使用料等	325 千円
施設にかかる経費	
人件費	32,455 千円 正職員 (5.0人) 非常勤職員 (2.0人)
光熱水費	4,065 千円
修繕料	258 千円
役務費	325 千円
委託料	2,346 千円
指定管理料	—
工事請負費	1,642 千円
その他の支出	759 千円
合 計	41,850 千円
減価償却費	9,060 千円 (参考値)





## 8. くらし・その他

### 8-9 し尿処理場「春木苑」

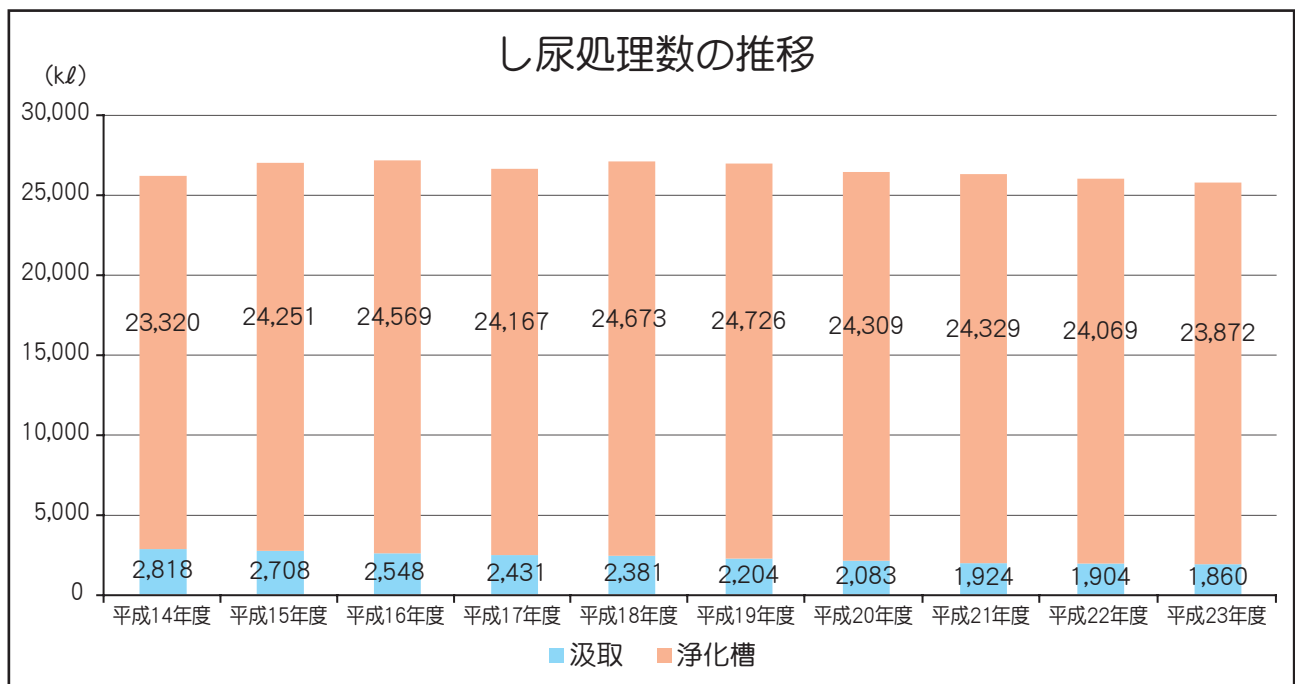
所在地	大字北石垣字祝保1200
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,146.00㎡
建築年	昭和44年
構成施設	管理棟・消化槽・曝気槽
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部環境課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済



し尿処理場「春木苑」は、市内全域の下水道を除く生し尿及び浄化槽汚泥の処理を目的に昭和44年に設置されています。平成17年度に施設の精密機能検査を実施したところ、消化槽及び曝気槽は15年程度の耐用年数が残っていることが判明したため、平成19年度に管理棟の耐震補強と外壁改修工事をし、平成20年度に曝気槽の内部改修工事を行い施設の長寿命化を図っています。

施設の処理能力は、1日当たり100kℓのし尿及び浄化槽汚泥の投入が可能となっていますが、平成23年度の投入実績では、生し尿1,860kℓ、浄化槽汚泥23,872kℓであり、1日当たり約90kℓが投入されています。生し尿は年々減少傾向ですが、浄化槽汚泥は下水道整備の進捗率が低下している状況の中、横ばいとなっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	51,616千円 正職員(8.0人) 非常勤職員(3.0人)
光熱水費	132,294千円
修繕料	437千円
役員費	402千円
委託料	12,456千円
指定管理料	—
工事請負費	3,737千円
その他の支出	932千円
合計	201,874千円
減価償却費	1,411千円(参考値)



【平成23年度 稼働日数：286日】

## 8. くらし・その他

### 8-10 中央浄化センター

所在地	亀川東町1363番地46
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	30,177.05㎡
建築年	昭和54年
構成施設	事務室・会議室・電気室・機械室・中継ポンプ場
管理形態	直営
施設所管課	建設部下水道課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



※延床面積には、中継ポンプ場が含まれています。

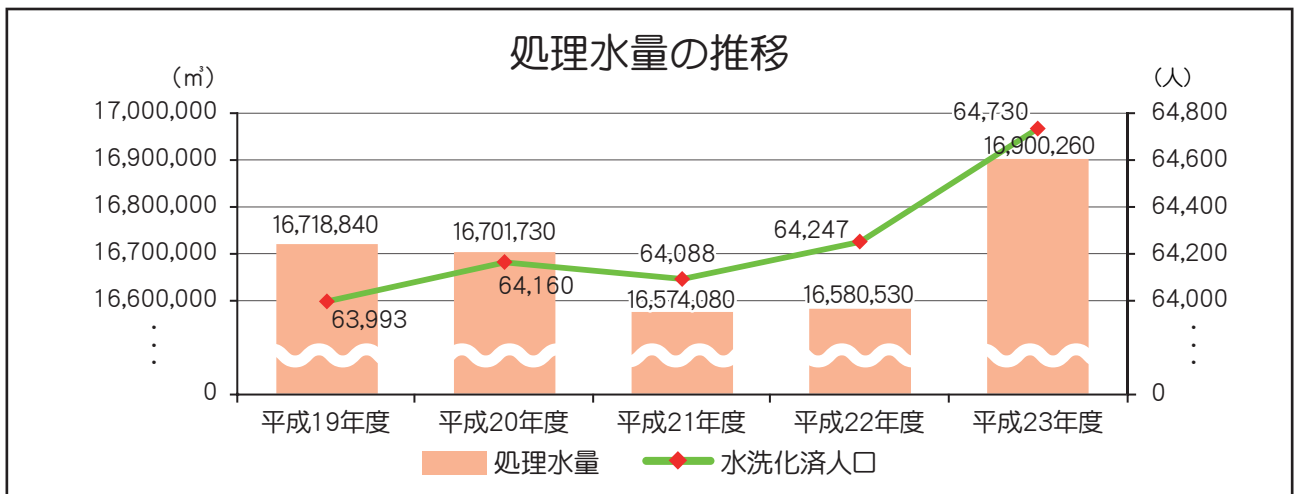
中央浄化センターは、快適で安全な生活環境の向上を図り、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上と生活環境整備事業の一環として、約4年半の歳月をかけ77,787㎡の海岸を埋め立て、公共下水道の終末処理場として、昭和54年に建設されました。

建築後30年を経過し老朽化していることにより、下水道長寿命化計画に基づき、改築更新計画を策定し、平成22年度から計画を実施しています。また、市内5箇所にある中継ポンプ場についてもすべて建築後30年を経過しており、何らかの対策が必要となっています。

稼働状況としては、事業の全体計画では、人口で107,200人、生活排水量で1日に100,000㎡を処理することを目標に、当初は、23,500㎡の処理能力で稼働し、昭和57年には47,000㎡に、そして現在は60,000㎡の処理能力を有するまでになりました。

また、施設は小学校などの社会見学を含め、年間約15団体600名の見学者を受け入れています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	26,988千円 正職員(4.6人)
光熱水費	78,033千円
修繕料	560千円
役務費	2,609千円
委託料	238,744千円
指定管理料	—
工事請負費	167,396千円
その他の支出	26,005千円
合 計	540,335千円
減価償却費	126,291千円(参考値)



#### 【中継ポンプ場一覧】

施設名	建築年	構造	延床面積
亀川汚水中継ポンプ場	昭和56年	鉄筋コンクリート造	1,144.82㎡
北浜汚水中継ポンプ場	昭和52年	鉄筋コンクリート造	946.22㎡
汐見汚水中継ポンプ場	昭和56年	鉄筋コンクリート造	428.97㎡
春木汚水中継ポンプ場	昭和53年	鉄筋コンクリート造	1,142.48㎡
山田汚水中継ポンプ場	昭和56年	鉄筋コンクリート造	435.49㎡

## 8. くらし・その他

### 耐震診断の実施状況

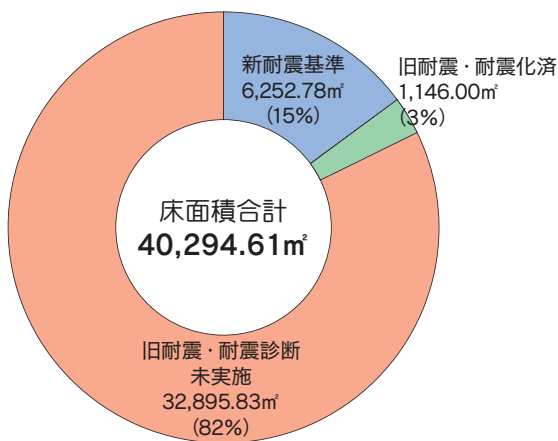
#### 8. くらし・その他

施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準					
				耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
① リサイクル情報センター	S54							1	635.04
② 別府市学校給食共同調理場 (注1)	S47	2	728.00					8	2,610.00
③ 南立石緑化植物園みどりの相談所	S53							1	857.51
④ 別府駅高架下自転車専用駐車場	H20	1	630.44						
⑤ 別府駅西口自転車駐車場	H20	1	242.69						
⑥ 新若草港漁具倉庫	H19	1	240.00						
⑦ 楠港漁具倉庫	H20	1	415.14						
⑧ 清掃事務所	H 5	2	2,612.74						
⑨ し尿処理場「春木苑」	S44			1	1,146.00				
⑩ 中央浄化センター (注2)	S54	1	1,383.77					10	28,793.28
		9	6,252.78	1	1,146.00	0	0.00	20	32,895.83

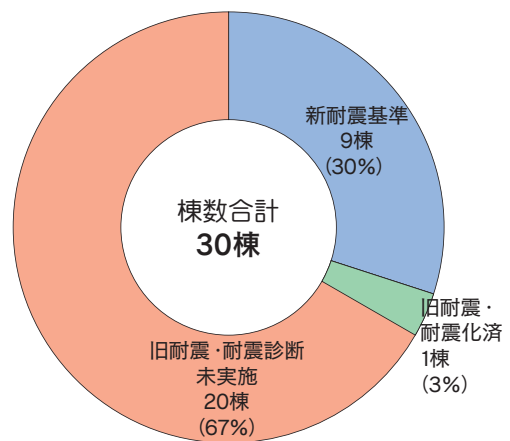
(注1) 各学校にある単独調理場 (2,075㎡) を含みません。(棟数は別棟分9棟を計上しています。)

(注2) 汚水中継ポンプ場 (5棟4,097.98㎡) を含みません。

床面積に対する割合



棟数に対する割合





施設配置図 8. <らし・その他





# 9

## 観光・温泉

- 9-1 竹瓦温泉
- 9-2 不老泉
- 9-3 田の湯温泉
- 9-4 海門寺温泉
- 9-5 永石温泉
- 9-6 鉄輪むし湯
- 9-7 柴石温泉
- 9-8 堀田温泉
- 9-9 別府海浜砂湯
- 9-10 北浜温泉
- 9-11 浜田温泉
- 9-12 亀陽泉会館
- 9-13 湯都ピア浜脇
- 9-14 地獄蒸し工房鉄輪
- 9-15 別府市営阿蘇くじゅう国立公園  
志高湖野営場



## 9. 観光・温泉

### 9-1 竹瓦温泉

所在地	元町16番23号
構造	木造
延床面積	711.31㎡
建築年	昭和13年
構成施設	普通浴・砂湯・休憩所・受付・集会所
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



別府市が所有する泉源のうち34孔を給湯事業として利用しており、市営温泉として17施設が設置（1施設は休業中）され、これらのうち建築後40年以上経過しているものが3施設あります。

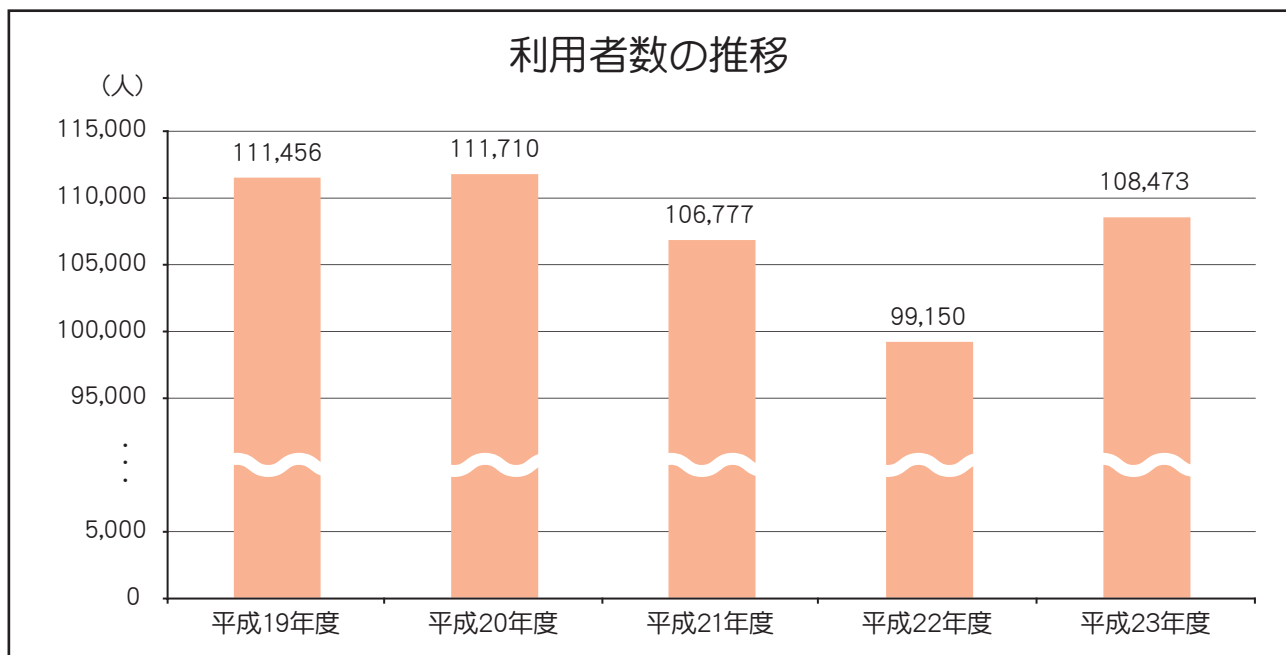
なお、指定管理者制度を導入して、施設の管理及び運営は指定管理者で行っています。

竹瓦温泉は、別府温泉のシンボリックな浴場であり、豪華な唐破風造の木造建築で昭和13年に建築されています。施設の状況としては、建築後70年以上が経過しているため修繕工事が常時必要となっており、耐震を確認するために耐震診断を行う必要があります。

また、この建物は、平成16年に国の登録有形文化財に指定されています。

利用状況としては、国内観光客はもとより外国人観光客にも人気の高い温泉施設となっています。平成22年度は、近隣にある海門寺温泉のリニューアルの影響を受けているためか利用者が減少していますが、平成23年度は108,473人の利用となっており、リニューアル前の水準に戻っています。

収 入	
使用料等	6,512 千円
施設にかかる経費	
人件費	2,070 千円 正職員 (0.3人) 非常勤職員 (0.1人) 臨時職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	37 千円
役員費	0 千円
委託料	65 千円
指定管理料	3,200 千円
工事請負費	1,059 千円
その他の支出	0 千円
合 計	6,431 千円
減価償却費	—



【平成23年度 開館日数：普通浴365日、砂湯354日】

## 9. 観光・温泉

### 9-2 不老泉

所在地	中央町7番16号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,149.87㎡
建築年	昭和32年
構成施設	浴場・受付・休憩所・集会所・ホール
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

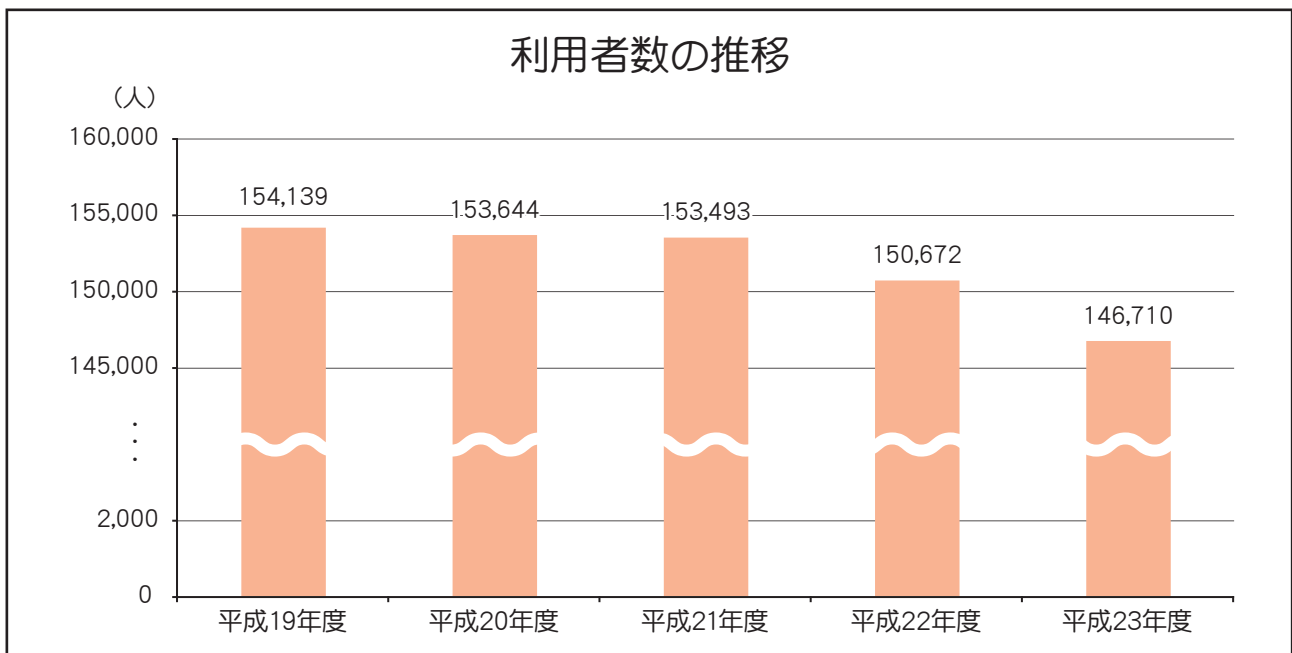


不老泉は、昭和32年に設置された3階建ての温泉施設で、3階にはホールを備えています。

施設の状況としては、建築後50年以上が経過しているため不具合箇所も多く、修繕工事が必要となっています。

利用状況としては、JR別府駅にほど近いことと、浴槽も比較的大きいことにより観光客にも利用しやすくなっています。平成21年度までは約15.3万人の利用者がありましたが、施設の老朽化と近隣にある海門寺温泉がリニューアルしたことが影響しているためか、平成23年度は146,710人の利用となっています。

収 入	
使用料等	7,154千円
施設にかかる経費	
人件費	1,483千円 正職員(0.2人) 非常勤職員(0.1人) 臨時職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	147千円
役務費	0千円
委託料	399千円
指定管理料	5,399千円
工事請負費	967千円
その他の支出	0千円
合計	8,395千円
減価償却費	—



【平成23年度 開館日数：365日】

## 9. 観光・温泉

### 9-3 田の湯温泉

所在地	田の湯町4番23号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	100.60㎡
建築年	平成11年
構成施設	浴場・受付
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新

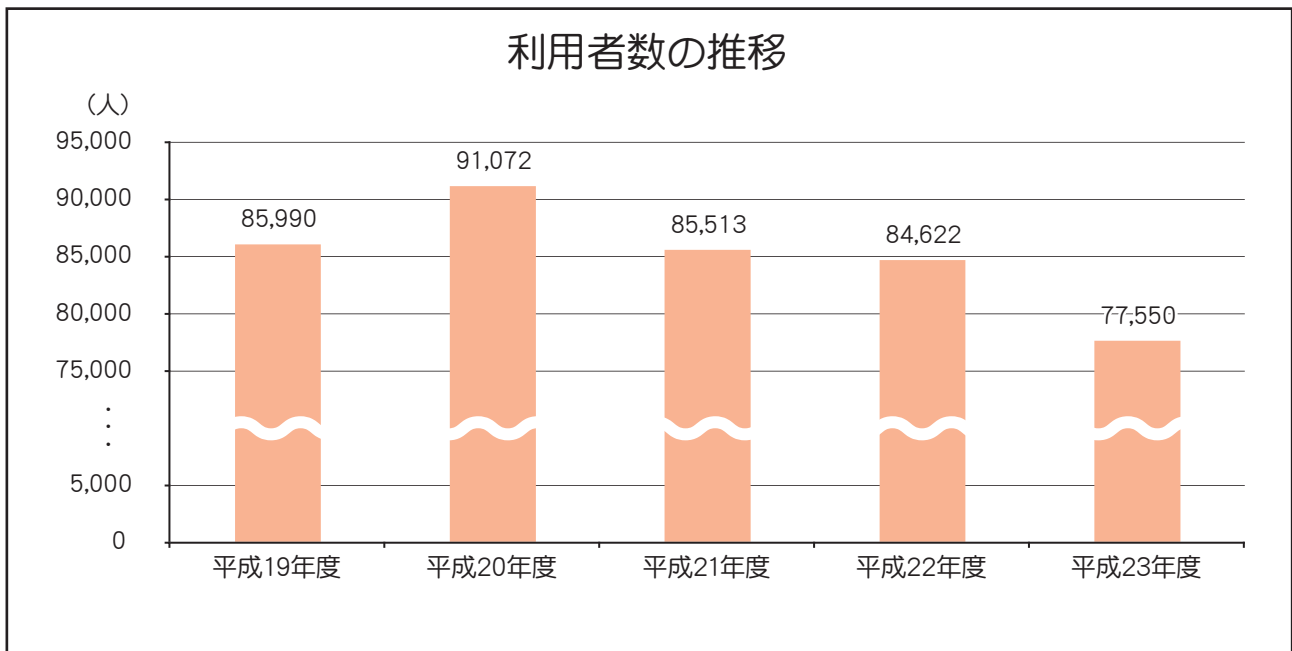


田の湯温泉は、平成11年にJR別府駅の西側に建築された左右対称のユニークな意匠を凝らした建物であり、市営温泉の中でも比較的コンパクトな温泉施設となっています。

施設の状況としては、建築後12年が経過していますが、今のところ目立った不具合は見られません。

利用状況としては、駐車場が整備されていないにも関わらず、概ね年間8.5万人の利用者で推移していましたが、平成23年度は約8千人減少し77,550人となっています。減少の要因としては、竹瓦温泉、不老泉と同様に近隣にある海門寺温泉のリニューアルが影響しているものと考えられます。

収 入	
使用料等	3,094 千円
施設にかかる経費	
人件費	2,070 千円 正職員 (0.3人) 非常勤職員 (0.1人) 臨時職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役務費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	3,059 千円
工事請負費	98 千円
その他の支出	0 千円
合 計	5,227 千円
減価償却費	343 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：365日】



## 9. 観光・温泉

### 9-4 海門寺温泉

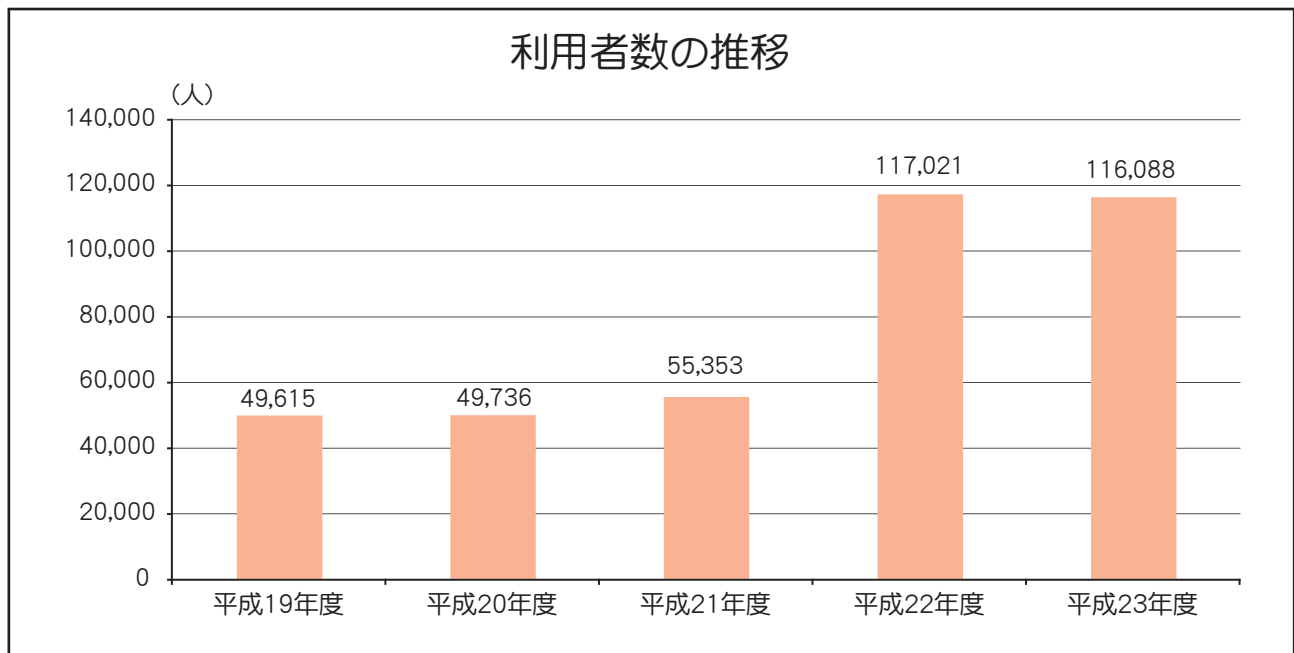
所在地	北浜二丁目3番2号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	247.01㎡
建築年	平成22年
構成施設	浴場・受付・休憩室・集会室
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



海門寺温泉は、旧建物に隣接して新しく建て替えたものであり、段差のないバリアフリー設計で平成22年に建築されています。施設状況としては、あつ湯、ぬる湯、温水シャワー、多目的トイレを備えており、利用しやすい温泉施設となっています。

利用状況としては、JR別府駅にも近く、あつ湯(44℃)とぬる湯(42℃)と区切りをつけた浴槽は、地元利用者及び観光客からも好評であり、集会室は各種グループなどに利用されています。利用者は、平成21年度までは約5万人で推移していたものが、平成22年度のリニューアル以降は2倍を超える11万人以上の利用となっています。

収 入	
使用料等	6,084 千円
施設にかかる経費	
人件費	2,070 千円 正職員 (0.3人) 非常勤職員 (0.1人) 臨時職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	48 千円
役務費	0 千円
委託料	114 千円
指定管理料	5,579 千円
工事請負費	320 千円
その他の支出	99 千円
合 計	8,230 千円
減価償却費	842 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：364日】

## 9. 観光・温泉

### 9-5 永石温泉

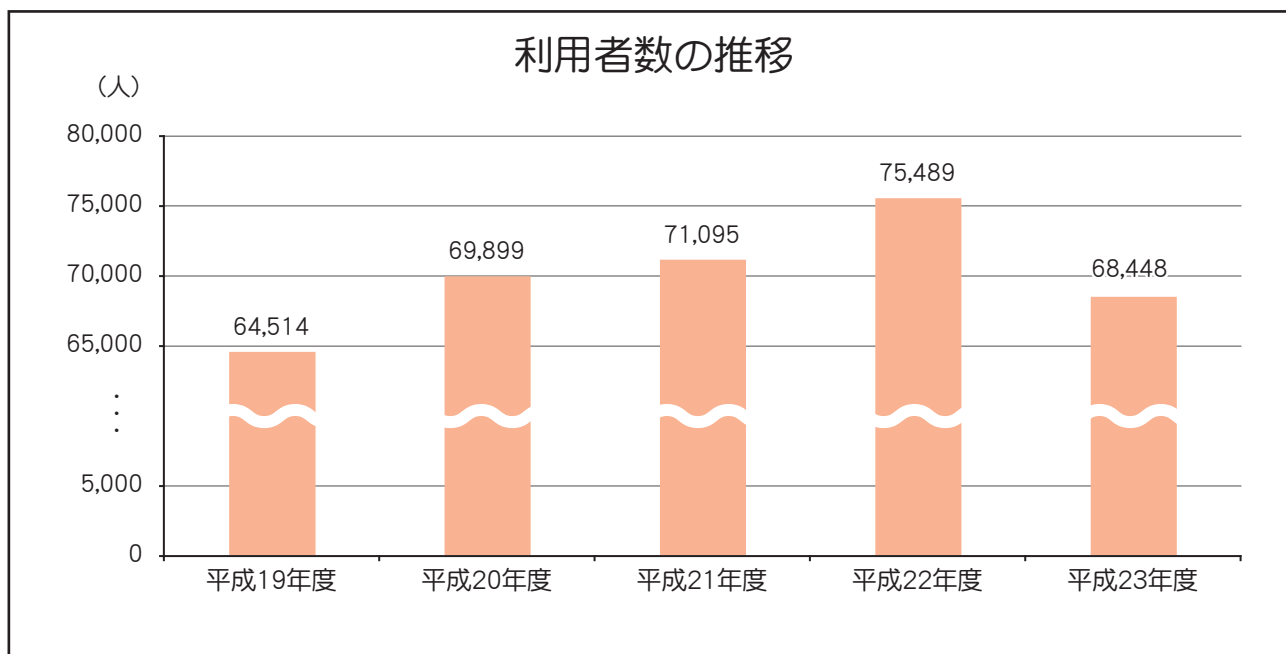
所在地	南町2番2号
構造	木造
延床面積	101.55㎡
建築年	昭和16年
構成施設	浴場・受付・休憩室
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



永石温泉は、平成3年に改築され、別府市の友好都市である中国烟台市の石で作った湯あがり空間（ポケットパーク）を整備しており、浴槽は半地下式で脱衣場から階段で洗い場に降りて行く古くからの造りとなっています。施設状況としては、改築から20年が経過しており、平成23年度において、仕切り壁や出入口の補修工事等を行っています。

利用状況としては、浴槽がコンパクトな造りとなっているために、地元客を中心に年間6万人から7万人の間で推移しています。

収 入	
使用料等	2,741 千円
施設にかかる経費	
人件費	2,070 千円 正職員 (0.3人) 非常勤職員 (0.1人) 臨時職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役務費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	30,959 千円
工事請負費	338 千円
その他の支出	0 千円
合 計	33,367 千円
減価償却費	444 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：364日】

## 9. 観光・温泉

### 9-6 鉄輪むし湯

所在地	大字鉄輪717番地外
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	285.30㎡
建築年	平成18年
構成施設	1階：むし湯・普通浴・休憩所・受付・足蒸し 2階：観光交流センター・事務室
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新

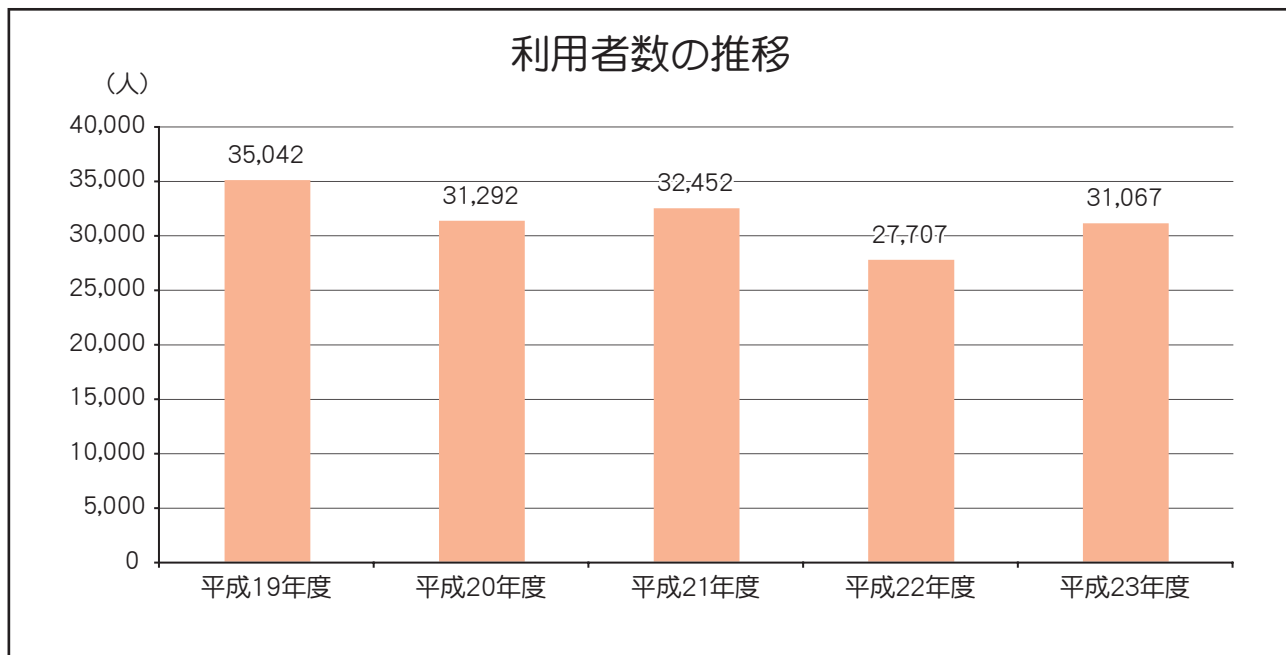


鉄輪むし湯は、平成18年の改築により、これまで混浴であった石室（蒸し釜）は男女別となっています。内部は、温泉の噴気で熱せられた床の上に石菘（せきしょう）という薬草を敷きつめ、素晴らしい香りとともに入浴ができるようになっています。施設状況としては、今のところ目立った不具合は見受けられません。

利用状況としては、むし湯は利用時間が長くなるために、他の温泉施設と比べると利用者は少ない傾向となり、平成23年度は31,067人の利用となっています。

全体的には、各年度とも約3万人前後で推移しています。

収 入	
使用料等	16,844 千円
施設にかかる経費	
人件費	2,070 千円 正職員 (0.3人) 非常勤職員 (0.1人) 臨時職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	84 千円
役務費	0 千円
委託料	130 千円
指定管理料	18,699 千円
工事請負費	0 千円
その他の支出	73 千円
合 計	21,056 千円
減価償却費	995 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：352日】

## 9. 観光・温泉

### 9-7 柴石温泉

所在地	大字野田844番地外
構造	木造
延床面積	435.15㎡
建築年	平成8年
構成施設	普通浴・家族湯・露天風呂・むし湯・休憩室・事務室・管理人室
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新

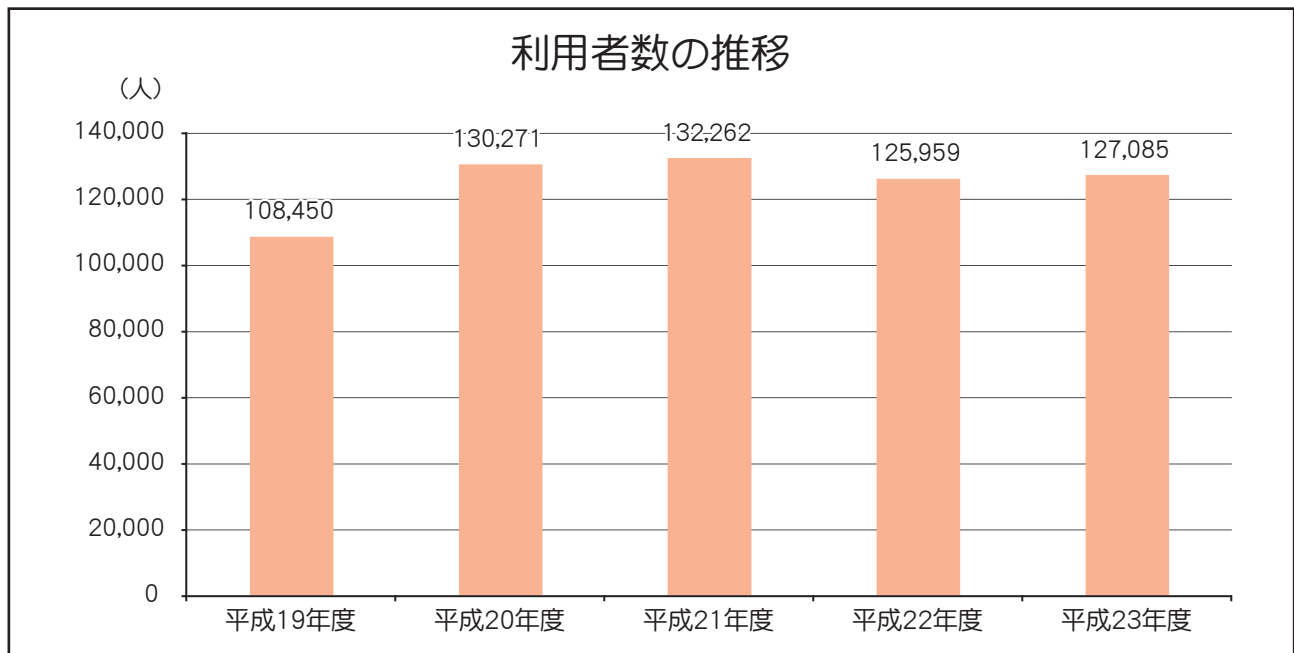


柴石温泉は、自然景観に恵まれた温泉地として平成8年に改築されています。鉄輪・明礬とともに国民保養温泉地、国民保健温泉地に指定されており、森林遊歩道も整備されています。

施設状況としては、建築から15年が経過しているため給排水設備等に不具合が見られるようになり、平成23年度においては蒸し湯改修工事、泉源孔の修復工事、ポンプの取替えなどを行っています。

利用状況としては、高低差のある地形を利用し、あつ湯、ぬる湯、露天風呂、むし湯、家族湯が整備されているため、多くの世代に利用されています。泉源の不調で利用者が減った時期もありましたが、近年は13万人前後で横ばい傾向であり、平成23年度は127,085人の利用となっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	2,070千円 正職員(0.3人) 非常勤職員(0.1人) 臨時職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	352千円
役務費	0千円
委託料	723千円
指定管理料	7,140千円
工事請負費	5,180千円
その他の支出	0千円
合 計	15,465千円
減価償却費	1,884千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：354日】

## 9. 観光・温泉

### 9-8 堀田温泉

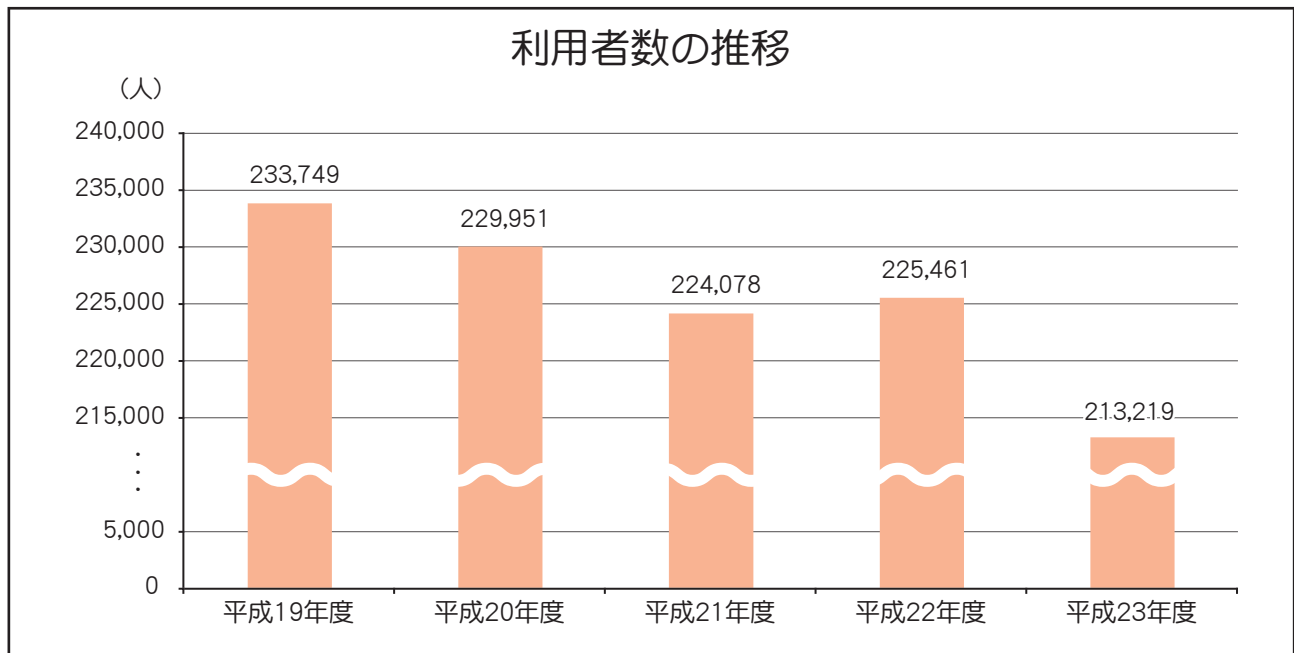
所在地	大字南立石字堀田566番地2外
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	454.26㎡
建築年	平成15年
構成施設	普通浴・露天風呂・休憩室・事務室・管理人室
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	あり（一時）
耐震性	●耐震基準：新



堀田温泉は、採光のよい開放的な内湯に加え、植栽や岩組みによる季節感のある露天風呂を配した温泉施設として平成15年に設置されています。施設の状態としては付帯設備等に不具合が目立ち始めており、平成23年度において事務室の空調機や浄化槽のモーター取替え、露天風呂の手摺設置工事などを行っています。

利用状況としては、高速道のインターチェンジにも近く駐車場も整備されているため、観光客の利用も多くなっています。平成23年度は約1.2万人減少していますが、213,219人と人気の高い施設となっています。

収 入	
使用料等	20,430 千円
施設にかかる経費	
人件費	1,483 千円 正職員 (0.2人) 非常勤職員 (0.1人) 臨時職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	100 千円
役員費	0 千円
委託料	163 千円
指定管理料	13,765 千円
工事請負費	1,992 千円
その他の支出	0 千円
合 計	17,503 千円
減価償却費	1,549 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：354日】



## 9. 観光・温泉

### 9-9 別府海浜砂場

所在地	大字北石垣字雁屋沢津804番地7外
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	146.58㎡
建築年	平成14年
構成施設	砂湯・普通浴・足湯・休憩室・事務所
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新

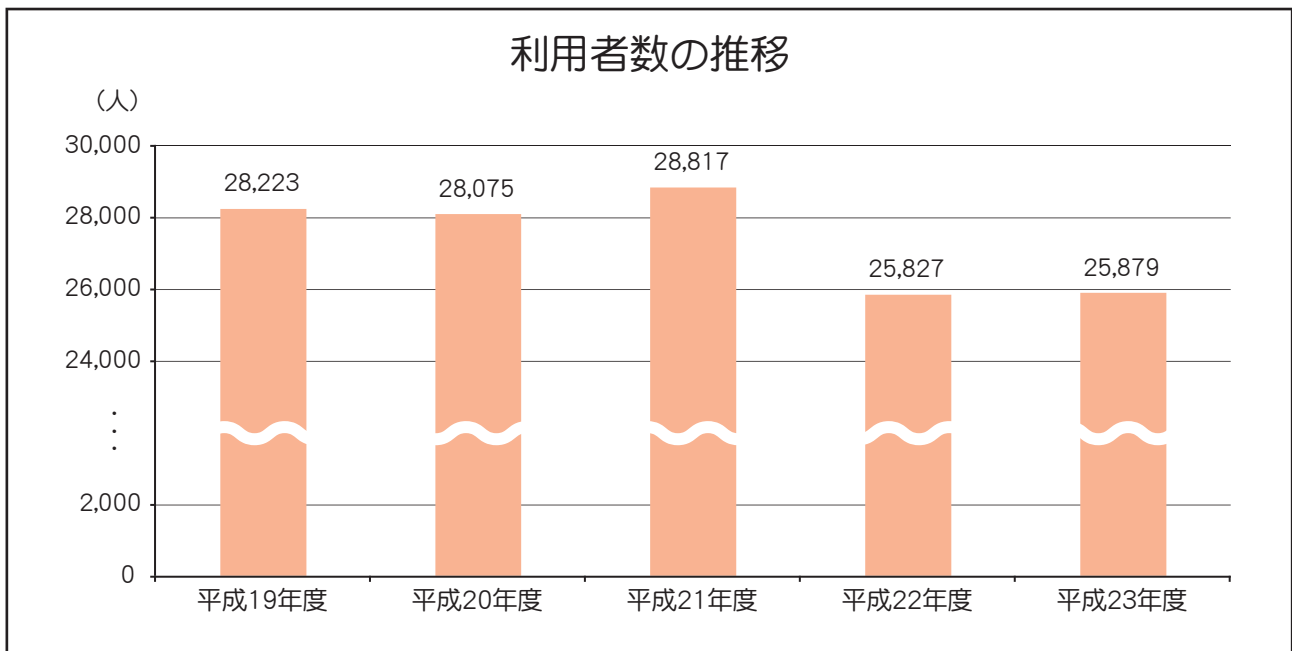


平成14年に改築された別府海浜砂湯は、緑に囲まれた砂浜に可動式のテント屋根を設置しているため、雨天の場合でも濡れずに砂湯に入ることができる温泉施設となっています。

施設状況としては、可動式テント等に不具合が出てきたことにより、平成23年度にテントの改修や砂湯底部の砂吸防止材の入れ替えを行っています。

利用状況としては、市内で唯一自然の海岸線が残る砂湯として多くの方に利用されています。平成21年度までは約2.8万人の利用で横ばいでしたが、平成22年度以降は約2千人減少し約2.6万人の利用となっています。

収 入	
使用料等	7,341 千円
施設にかかる経費	
人件費	2,070 千円 正職員 (0.2人) 非常勤職員 (0.1人) 臨時職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	73 千円
役員費	0 千円
委託料	0 千円
指定管理料	0 千円
工事請負費	6,086 千円
その他の支出	1,309 千円
合 計	9,538 千円
減価償却費	500 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：317日】



## 9. 観光・温泉

### 9-10 北浜温泉

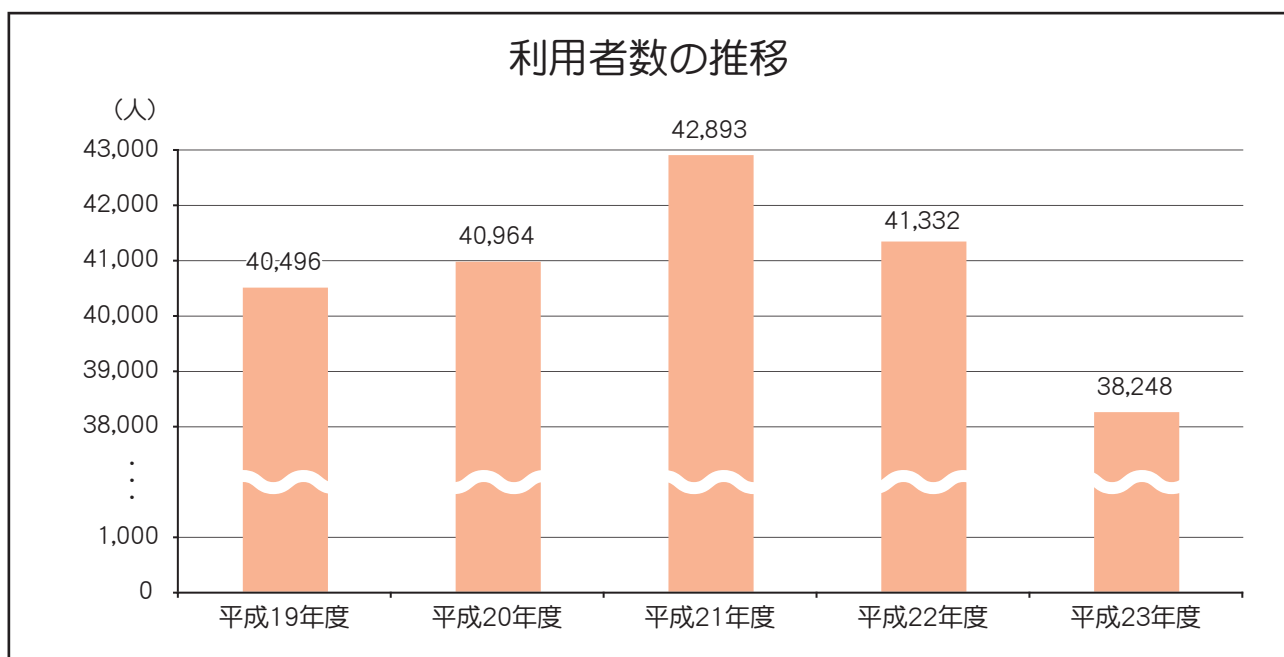
所在地	京町11番1号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	953.18㎡
建築年	平成7年
構成施設	普通浴・露天風呂・屋外健康浴・休憩室・事務室
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSEN'ツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



北浜温泉は、ジャグジーや蒸し風呂、露天風呂、打たせ湯などバラエティに富んだ内湯と、水着を着用して入浴する屋外健康浴が整備された、市民の健康づくりを担う温泉施設として平成7年に建築されています。施設状況としては、様々なタイプの浴槽を備えているために、配管や機器の管理費や大きな浴槽の温度管理のための光熱水費の割合が多くなっています。

利用状況としては、ラテン語で浴場を意味する「テルマス」の愛称がついており、大型温泉施設として多くの方に利用されています。平成22年度までは4万人以上の利用がありましたが、平成23年度は約3千人ほど減少し、38,248人の利用となっています。特に、土日祝日の利用者が減少しています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	1,483千円 正職員(0.2人) 非常勤職員(0.1人) 臨時職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	578千円
指定管理料	28,000千円
工事請負費	3,251千円
その他の支出	46千円
合 計	33,358千円
減価償却費	3,250千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：312日】

## 9. 観光・温泉

### 9-11 浜田温泉

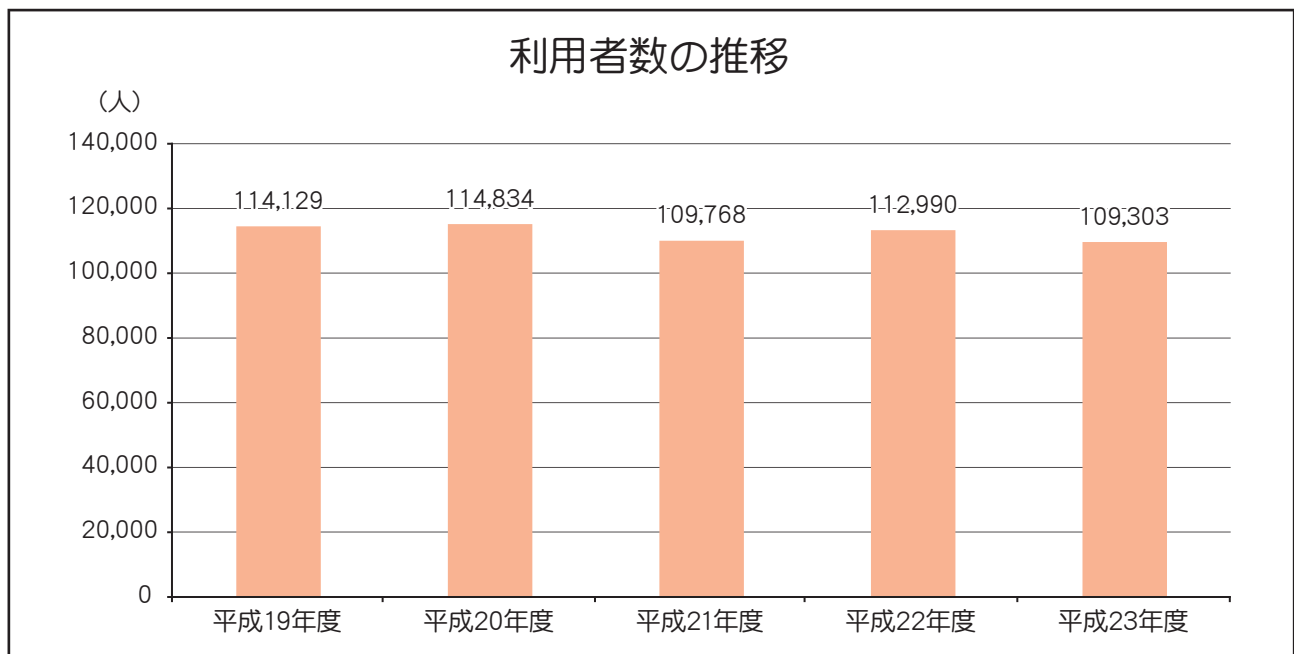
所在地	亀川浜田町991番6
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	147.00㎡
建築年	平成14年
構成施設	浴場・受付
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



浜田温泉は平成14年に新築移転されており、市営温泉では本格的にバリアフリーに取り組んだ温泉施設となっています。施設の状況としては、建築から9年が経過しており、軽微な不具合が見られるようになっています。

利用状況としては、各年度で多少の増減はありますが、約11万人前後の利用で横ばい傾向となっています。

収 入	
使用料等	6,249 千円
施設にかかる経費	
人件費	1,483 千円 正職員 (0.2人) 非常勤職員 (0.1人) 臨時職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役務費	0 千円
委託料	60 千円
指定管理料	4,760 千円
工事請負費	99 千円
その他の支出	0 千円
合 計	6,402 千円
減価償却費	501 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：363日】

## 9. 観光・温泉

### 9-12 亀陽泉会館

所在地	亀川中央町10番25号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	563.68㎡
建築年	昭和40年
構成施設	浴場・店舗・会議室
管理形態	長期独占利用
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

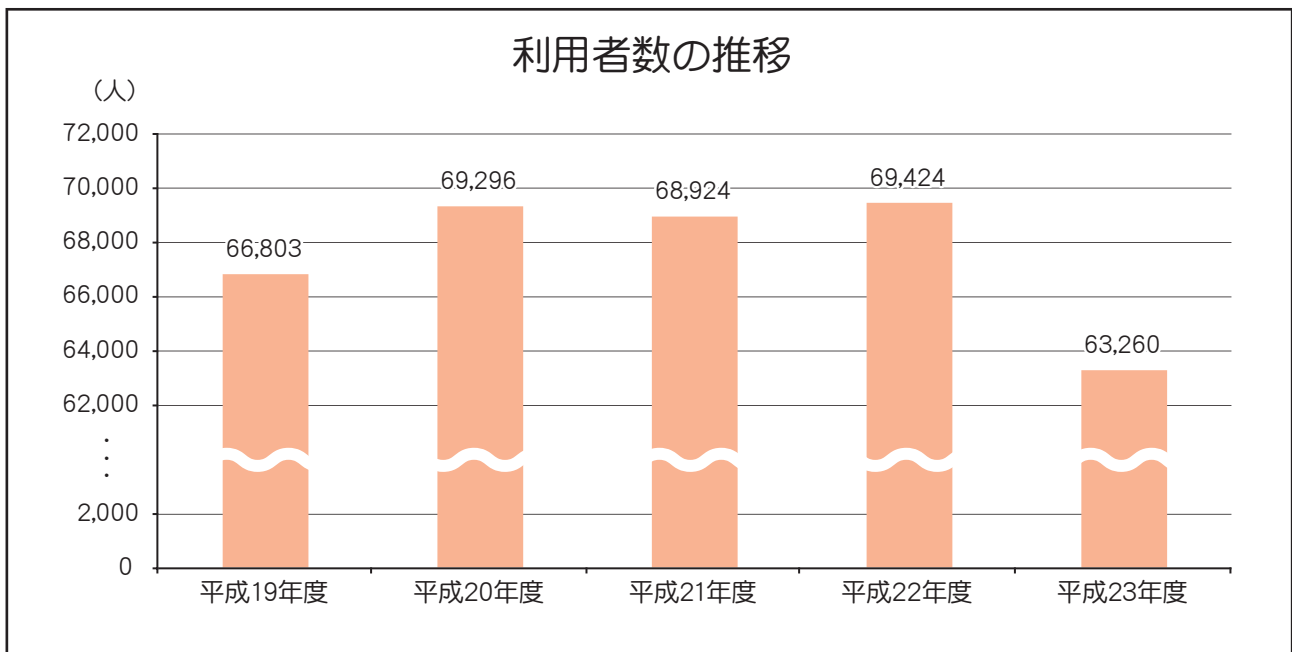


亀陽泉会館は、亀川地域の発展に資するという目的のために、温泉及び休憩室、貸店舗を備えた温泉施設として昭和40年に設置されています。施設の状態としては、建築から45年以上経過しており、老朽化が激しく耐用年数も数年後に迎えます。

利用状況については、「議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例」により周辺地区に長期独占利用されており、自治会の集会などに広く利用されています。

なお、1階の貸店舗には理容店など3店舗が入居し営業を行っています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	896千円 正職員(0.1人) 非常勤職員(0.1人) 臨時職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	113千円
その他の支出	0千円
合計	1,009千円
減価償却費	1,922千円(参考値)



## 9. 観光・温泉

### 9-13 湯都ピア浜脇（複合施設）

所在地	浜脇一丁目8番20号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	4,425.46㎡
建築年	平成3年
構成施設	多目的浴場・トレーニング室・休憩室・集会所・普通浴・受付・事務室・地下駐車場
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部温泉課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



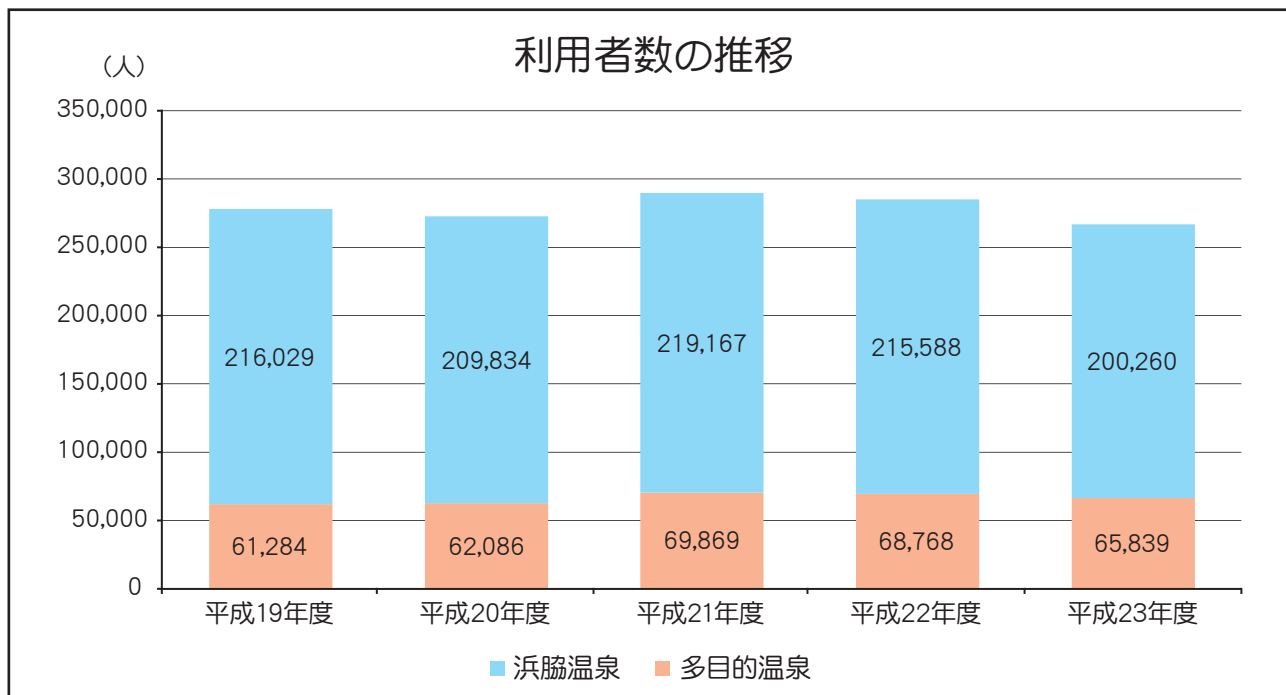
湯都ピア浜脇は、ヨーロッパのクアハウスをモデルとして8つの浴槽のあるバーデゾーンや各種運動機器を備えたトレーニング室で構成される多目的温泉と一般的な市営温泉である浜脇温泉、地区公民館や体育館を併設する複合施設として平成3年に設置されています。

施設の状況としては、建築後20年以上経過しているため、付帯設備などに不具合が多く見られるようになり、軽微な修繕改修が必要となっています。

利用状況としては、浜脇温泉は堀田温泉と同様に駐車場も整備されていることから利用者が多くなっており、各年度20万人を超える利用となっています。

多目的温泉は、各年度で多少の増減はあるものの利用者は約6.5万人となっています。

収 入	
使用料等	10,674 千円
施設にかかる経費	
人件費	1,483 千円 正職員 (0.2人) 非常勤職員 (0.1人) 臨時職員 (0.1人)
光熱水費	0 千円
修繕料	734 千円
役務費	0 千円
委託料	60 千円
指定管理料	46,700 千円
工事請負費	2,194 千円
その他の支出	2,824 千円
合 計	53,995 千円
減価償却費	122,287 千円 (参考値)



【平成23年度 多目的温泉 開館日数：318日】

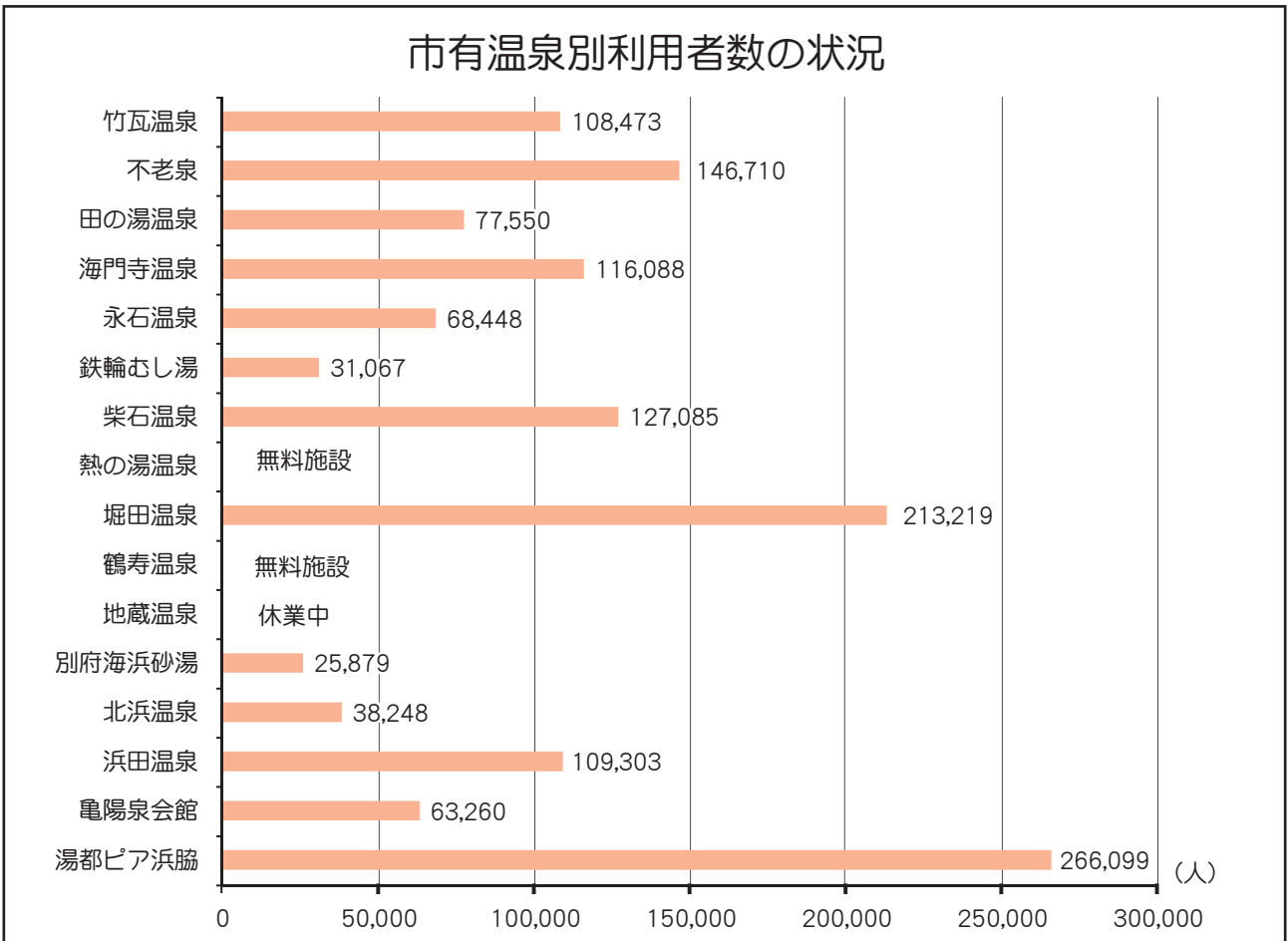
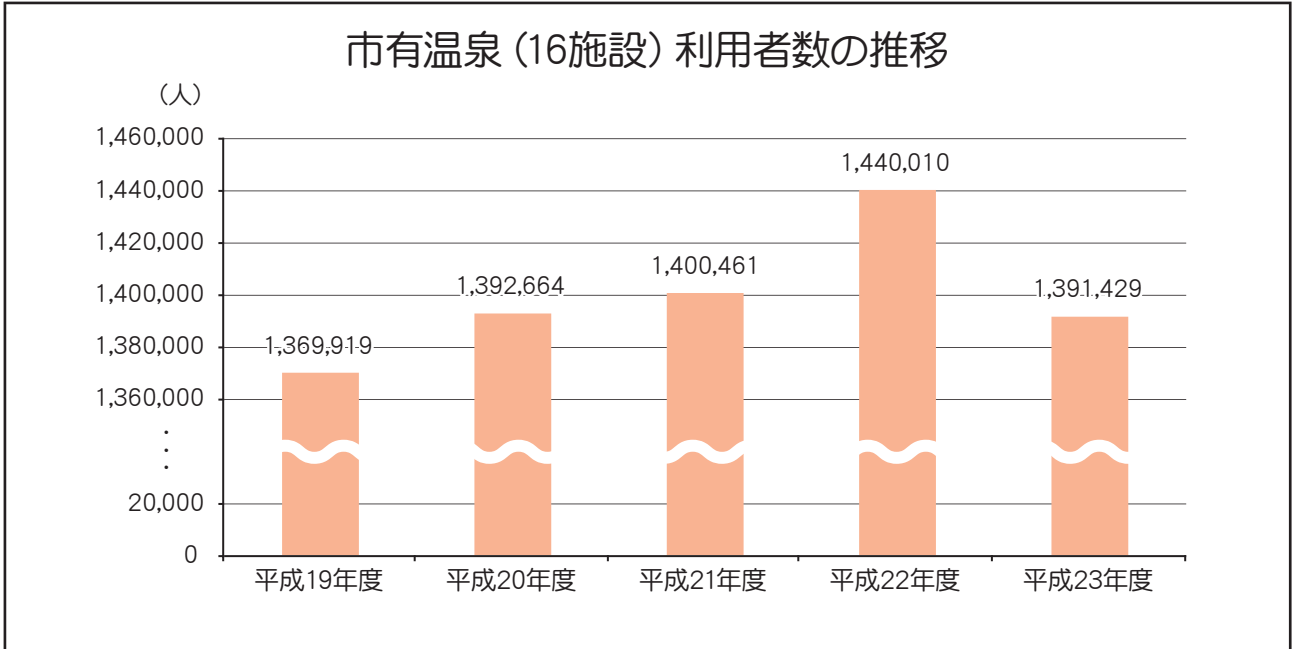
【平成23年度 浜脇温泉 開館日数：364日】

## 9. 観光・温泉

### 温泉施設全体の状況

市有温泉施設全体で見ると、高速道路無料化などの影響により平成22年度にピークの144万人の利用者がありました。東日本大震災後、観光客の入り込みが落ち込んだ時期があり、平成23年度では約5万人弱の減少となっています。

しかし、平成23年度後半より徐々に利用状況が回復する傾向にあります。



※熱の湯温泉、鶴寿温泉は無料施設につき集計データはありません。地藏温泉は休業中です。



## 9. 観光・温泉

### 9-14 地獄蒸し工房鉄輪

所在地	大字鉄輪字向ノ原293番地4
構造	木造
延床面積	315.86㎡
建築年	平成22年
構成施設	地獄蒸し釜・足湯・足蒸し等
管理形態	直営
施設所管課	ONSENツーリズム部観光まちづくり課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



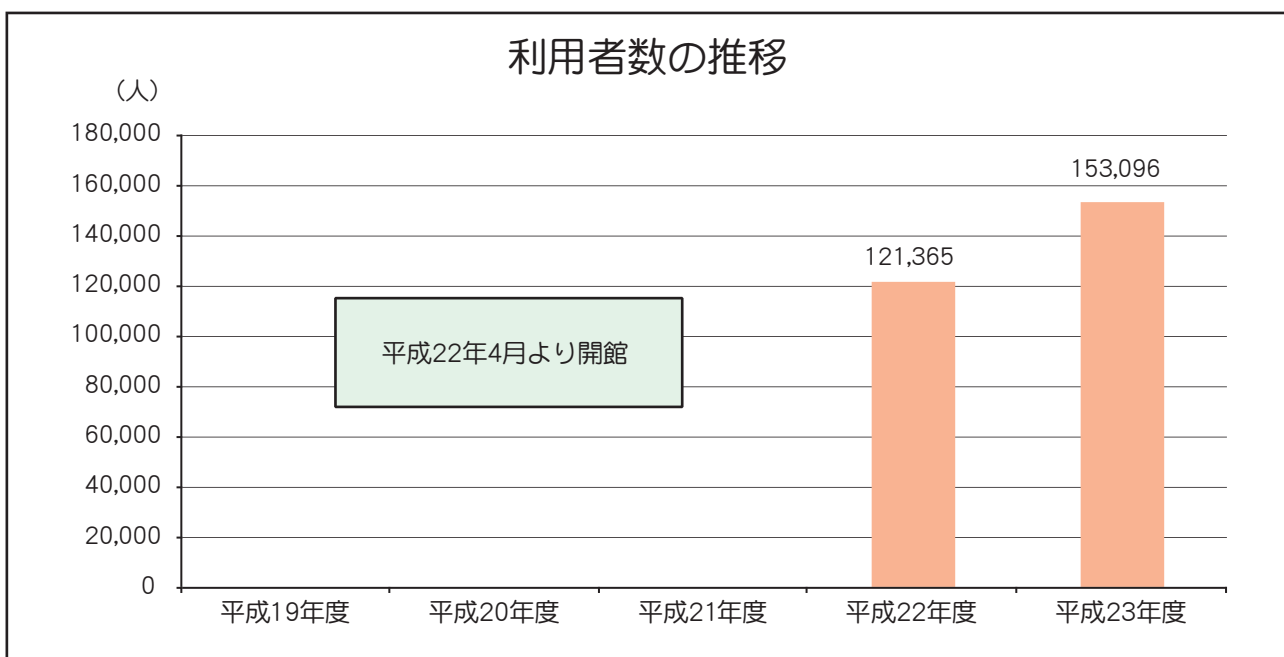
※施設所管課についてはH25年度より“ONSENツーリズム部観光課”に名称が変わります。

地獄蒸し工房鉄輪は、古くから伝わる温泉蒸気を利用した料理方法の体験を通じ、市民相互や市民と観光客等の交流推進を図ることを目的として平成22年に設置されています。施設の状況としては、天然の温泉蒸気を利用していることから他の施設より設備の傷み具合が早くなっており、簡易な修繕が必要となっています。

利用状況としては、地獄蒸し釜は江戸期頃から用いられていた調理法「地獄蒸し料理」が体験できることで人気が高くなっており、多くの観光客に利用されています。足蒸し・足湯の利用も多く、賑わいのある施設となっています。

利用者数も開館以来順調に増加しており、平成23年度では15万人台となり、前年度より約3.2万人の増加となっています。

収 入	
使用料等	12,493 千円
施設にかかる経費	
人件費	1,760 千円 正職員 (0.3人)
光熱水費	2,362 千円
修繕料	727 千円
役務費	230 千円
委託料	17,903 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	2,447 千円
合 計	25,429 千円
減価償却費	2,010 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：353日】



## 9. 観光・温泉

### 9-15 別府市営阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場

所在地	大字別府字志高4380番地 1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	309.67㎡
建築年	昭和53年
構成施設	休憩所
管理形態	指定管理
施設所管課	ONSENツーリズム部観光まちづくり課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

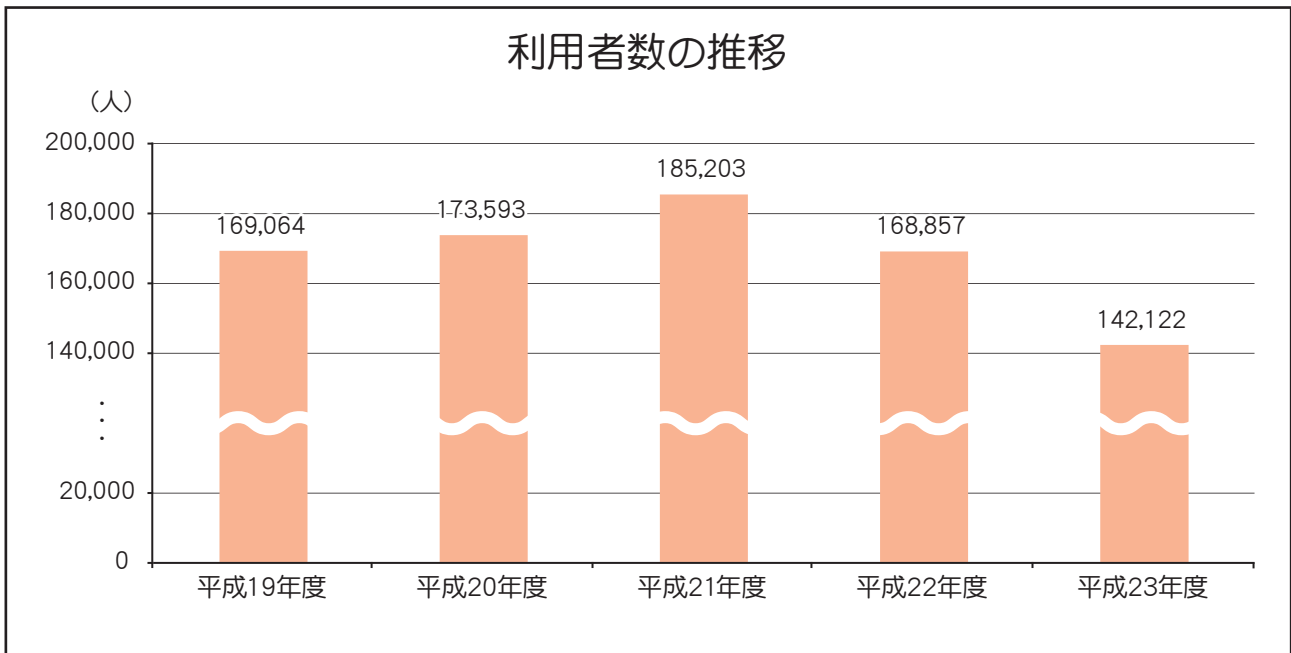


※施設所管課についてはH25年度より“ONSENツーリズム部観光課”に名称が変わります。

志高湖野営場は、市民や観光客が自然に親しむ憩いの場として、奥別府観光の核として、また別府観光の浮揚を図ることを目的として設置されています。施設の状況としては、休憩所は建築後30年以上経過しており、老朽化も著しくなっています。観光施設として安全性の確認をするために耐震診断などを行う必要があります。

利用状況としては、春期、夏期、秋期は月1～2万人台の利用がありますが、冬期については、標高が高いことから気候の影響を受け利用が非常に少なくなっています。利用者数は、平成21年度までは増加傾向となっており18万人台の利用がありましたが、平成22年度以降は減少傾向となり、平成23年度は142,122人と平成21年度に比べ約4万人の減少となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	1,173 千円 正職員 (0.2人)
光熱水費	0 千円
修繕料	0 千円
役務費	0 千円
委託料	1,350 千円
指定管理料	11,900 千円
工事請負費	14,700 千円
その他の支出	1,472 千円
合計	30,595 千円
減価償却費	1,296 千円 (参考値)



【平成23年度 開場日数：366日】

## 9. 観光・温泉

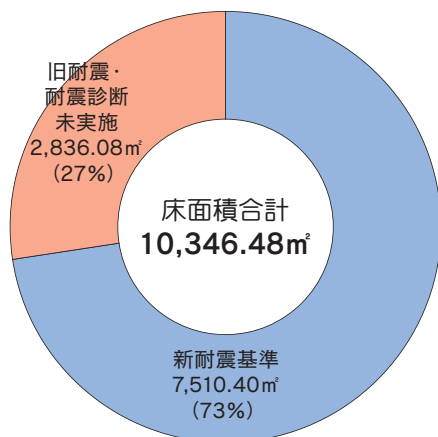
### 耐震診断の実施状況

#### 9. 観光・温泉

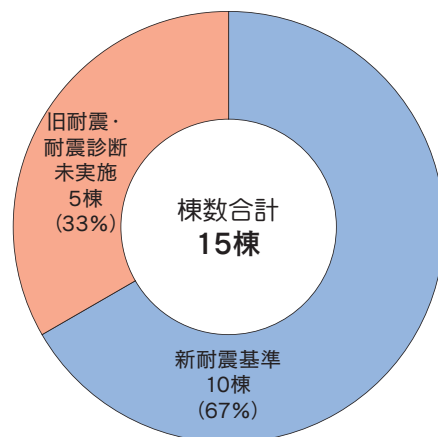
施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準					
				耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
① 竹瓦温泉	S13							1	711.31
② 不老泉	S32							1	1,149.87
③ 田の湯温泉	H11	1	100.60						
④ 海門寺温泉	H22	1	247.01						
⑤ 永石温泉	S16							1	101.55
⑥ 鉄輪むし湯	H18	1	285.30						
⑦ 柴石温泉	H 8	1	435.15						
⑧ 堀田温泉	H15	1	454.26						
⑨ 別府海浜砂湯	H14	1	146.58						
⑩ 北浜温泉	H 7	1	953.18						
⑪ 浜田温泉	H14	1	147.00						
⑫ 亀陽泉会館	S40							1	563.68
⑬ 湯都ピア浜脇 (注)	H 3	1	4,425.46						
⑭ 地獄蒸し工房鉄輪	H22	1	315.86						
⑮ 別府市営阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場	S53							1	309.67
		10	7,510.40	0	0.00	0	0.00	5	2,836.08

(注) 南部地区公民館及び体育館との複合施設のため、棟数は「観光・温泉」の湯都ピア浜脇で計上し、面積は各施設ごとで計上しています。

床面積に対する割合



棟数に対する割合



施設配置図 9. 観光・温泉





## 学 校

- 10-1 幼稚園（15園）
- 10-2 小学校（15校）
- 10-3 中学校（8校）
- 10-4 別府市立別府商業高等学校



# 10. 学校

## 10-1 幼稚園（15園）

所在地	—
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造など
延床面積	8,257.85㎡
建築年	昭和25年～平成16年
構成施設	園舎・ホール棟
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会教育総務課

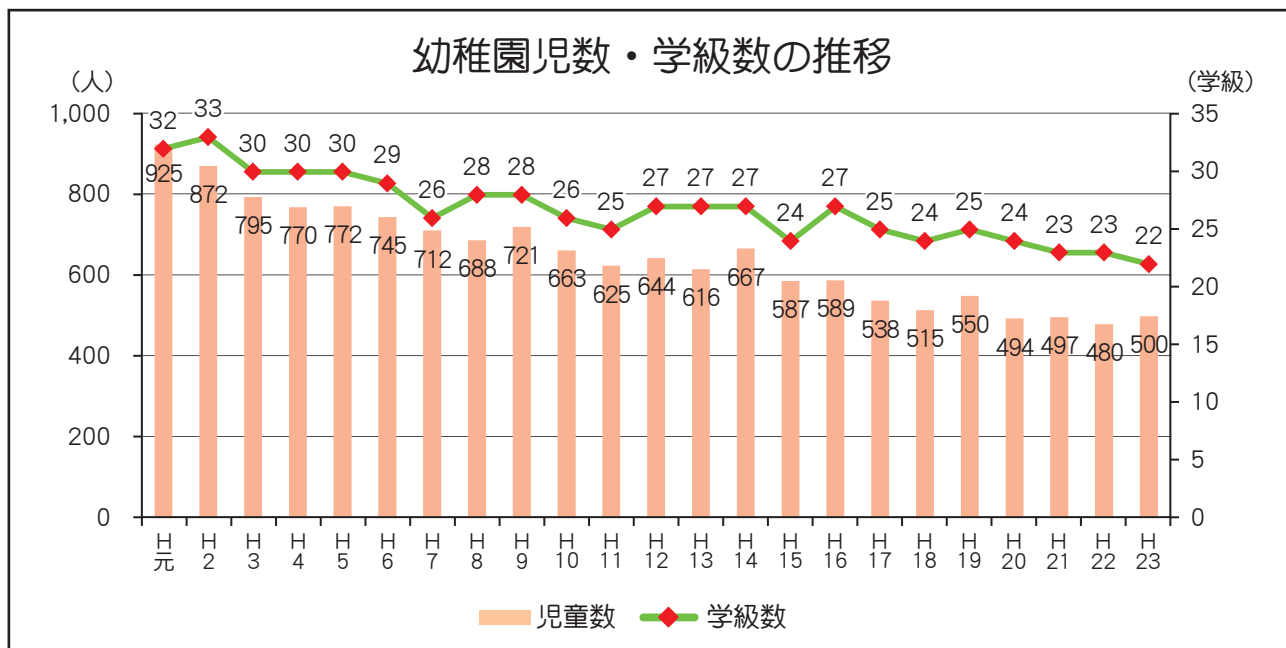


幼稚園は、幼稚園教育の目標（学校教育法第23条）を達成するために、別府市では現在15園（施設）が設置されています。また、幼児期の教育に関する各般の問題につき保護者及び地域住民等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うなどの支援も求められています。施設の状況としては、耐震化推進計画に沿って整備を進めているため、耐震化率は平成23年度末で81.8%となっています。

建築年数も35年以上経過しているものが8施設あり、老朽化が進んでいるため、計画的に整備を行う必要があります。

園児数は、昭和54年度は1,935人でしたが、平成23年度では約4分の1の500人まで減少しています。なお、園児数が減少する一方で、男女共同参画社会の基盤整備に伴う子育て支援の一環として行っている「放課後児童クラブ」が、保育室等を活用して平成23年度では15施設中8施設に設置されています。

収 入	
使用料等	1,086 千円
施設にかかる経費	
人件費	5,867 千円 正職員（1.0人）
光熱水費	2,868 千円
修繕料	1,721 千円
役務費	4,077 千円
委託料	7,316 千円
指定管理料	—
工事請負費	39,770 千円
その他の支出	7,404 千円
合 計	69,023 千円
減価償却費	25,204 千円（参考値）

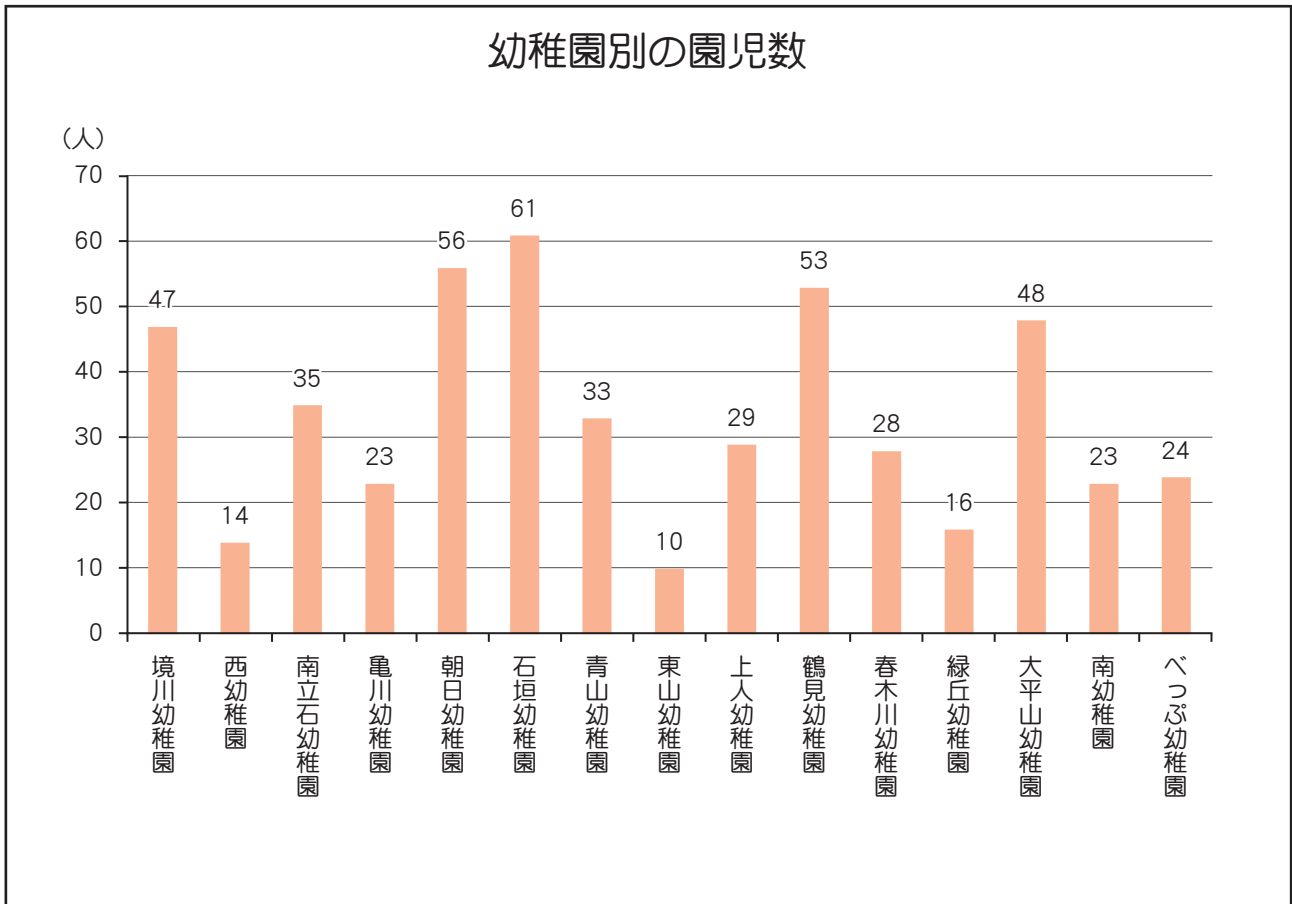


※各年5月1日現在



# 10. 学校

## 10-1 幼稚園（15園）



※平成23年5月1日 現在

### 【幼稚園一覧】

施設名	所在地	建築年	構造	延床面積	避難所指定
境川幼稚園	石垣西一丁目2番43号	平成8年	鉄筋コンクリート造	806.72㎡	—
西幼稚園	中島町2番32号	昭和25年	木造	477.53㎡	—
南立石幼稚園	大字南立石1907番地の1	昭和27年	木造・鉄骨造	522.80㎡	—
亀川幼稚園	大字亀川24番地の1	昭和29年	木造	642.09㎡	—
朝日幼稚園	大字鶴見347番地	昭和37年	軽量鉄骨造	621.00㎡	—
石垣幼稚園	石垣西七丁目6番7号	昭和59年	鉄筋コンクリート造	756.10㎡	—
青山幼稚園	青山町7番15号	昭和35年	鉄筋コンクリート造	509.86㎡	—
東山幼稚園	大字別府4380番地の1	平成10年	木造	181.39㎡	—
上人幼稚園	大字北石垣171番地	昭和38年	鉄骨造	606.45㎡	—
鶴見幼稚園	大字鶴見4028番地の2	昭和49年	鉄筋コンクリート造	583.81㎡	—
春木川幼稚園	大字北石垣1230番地の1	昭和50年	鉄骨造	427.95㎡	—
緑丘幼稚園	大字鶴見4310番地の1	昭和53年	鉄骨造	389.88㎡	—
大平山幼稚園	大字鶴見1991番地	昭和54年	鉄骨造	501.66㎡	—
南幼稚園	浜脇三丁目7番13号	平成16年	鉄筋コンクリート造	425.50㎡	—
べっぶ幼稚園	京町11番9号	昭和59年	鉄筋コンクリート造	805.11㎡	—
			合計	8,257.85㎡	

# 10. 学校

## 10-2 小学校（15校）

所在地	—
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造など
延床面積	71,280.70㎡
建築年	昭和31年～平成16年
構成施設	教室棟・屋内運動場など
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会教育総務課



小学校は、小学校教育の目標（学校教育法第30条）を達成するために、別府市では小学校設置基準に基づき15校（施設）が設置されています。施設の状況としては、耐震化推進計画に沿って整備を進めているため、平成23年度末の耐震化率は77.3%となっています。

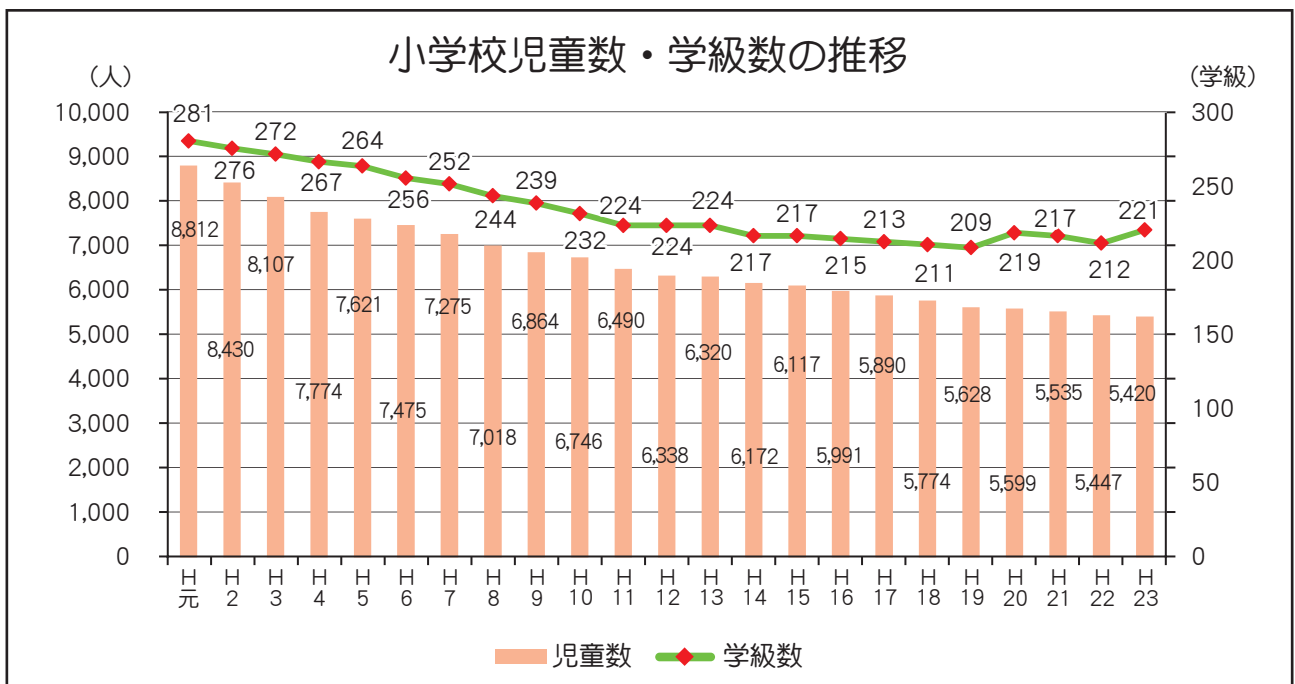
建築から35年以上経過しているものが10施設あり、老朽化が進んでいるため計画的な整備と小学校の統合に伴う教育環境づくりの検討も必要となっています。また、施設のバリアフリー化も求められています。

児童数は、昭和54年度は12,055人でしたが、平成23年度では約2分の1の5,420人まで減少しています。

学校によっては、2教室続きの学校図書館を設置したり、障がいの状態に応じて特別支援学級を設置するなど、さまざまな教育的ニーズに対応しています。

また、確かな学力の定着のため、学習内容の習熟度別の学習指導や、きめ細やかな指導のために小人数による学習が行われています。

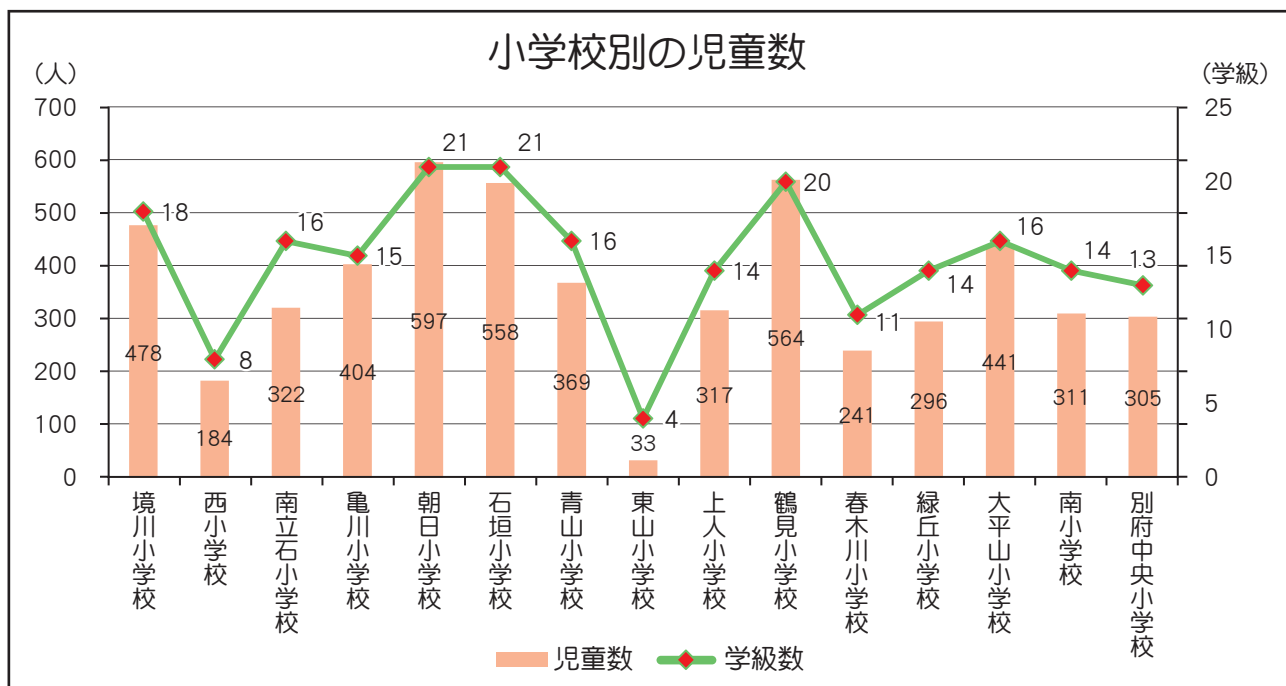
収 入	
使用料等	94 千円
施設にかかる経費	
人件費	90,365 千円 正職員（6.1人） 非常勤職員（34.0人） 臨時職員（1.0人）
光熱水費	71,741 千円
修繕料	4,679 千円
役務費	11,093 千円
委託料	51,293 千円
指定管理料	—
工事請負費	210,047 千円
その他の支出	88,268 千円
合 計	527,486 千円
減価償却費	161,689 千円（参考値）



※各年5月1日 現在

# 10. 学 校

## 10-2 小学校（15校）



※平成23年5月1日 現在

### 【小学校一覧】

施設名	所在地	建築年	構造	延床面積	避難所指定
境川小学校	石垣西一丁目2番24号	昭和35年	鉄筋コンクリート造	4,613.58㎡	収容
西小学校	中島町7番49号	昭和47年	鉄筋コンクリート造	4,657.70㎡	収容
南立石小学校	大字南立石1907番地の1	昭和44年	鉄筋コンクリート造	4,086.23㎡	収容
亀川小学校	大字内電1179番地	昭和40年	鉄筋コンクリート造	5,430.36㎡	収容
朝日小学校	大字鶴見347番地	昭和45年	鉄筋コンクリート造	6,039.99㎡	収容
石垣小学校	石垣西七丁目6番27号	昭和39年	鉄筋コンクリート造	4,512.48㎡	収容
青山小学校	青山町5番68号	昭和31年	鉄筋コンクリート造	4,384.80㎡	収容
東山小学校	大字別府4380番地の1	平成10年	木造	2,003.89㎡	収容
上人小学校	大字北石垣171番地	昭和35年	鉄骨造	4,536.87㎡	収容
鶴見小学校	大字鶴見4034番地	昭和48年	鉄筋コンクリート造	5,764.22㎡	収容
春木川小学校	大字北石垣1218番地の5	昭和50年	鉄筋コンクリート造	4,542.38㎡	収容
緑丘小学校	大字鶴見3789番地1	昭和53年	鉄筋コンクリート造	4,089.42㎡	収容
大平山小学校	大字鶴見1991番地	昭和54年	鉄筋コンクリート造	4,924.08㎡	収容
南小学校	浜脇三丁目7番13号	平成16年	鉄筋コンクリート造	6,013.05㎡	収容
別府中央小学校	京町818番地の26	昭和59年	鉄筋コンクリート造	5,681.65㎡	収容
			合計	71,280.70㎡	

# 10. 学校

## 10-3 中学校（8校）

所在地	—
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造など
延床面積	41,067.21㎡
建築年	昭和27年～平成10年
構成施設	教室棟・屋内運動場・技術室・調理室など
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会教育総務課



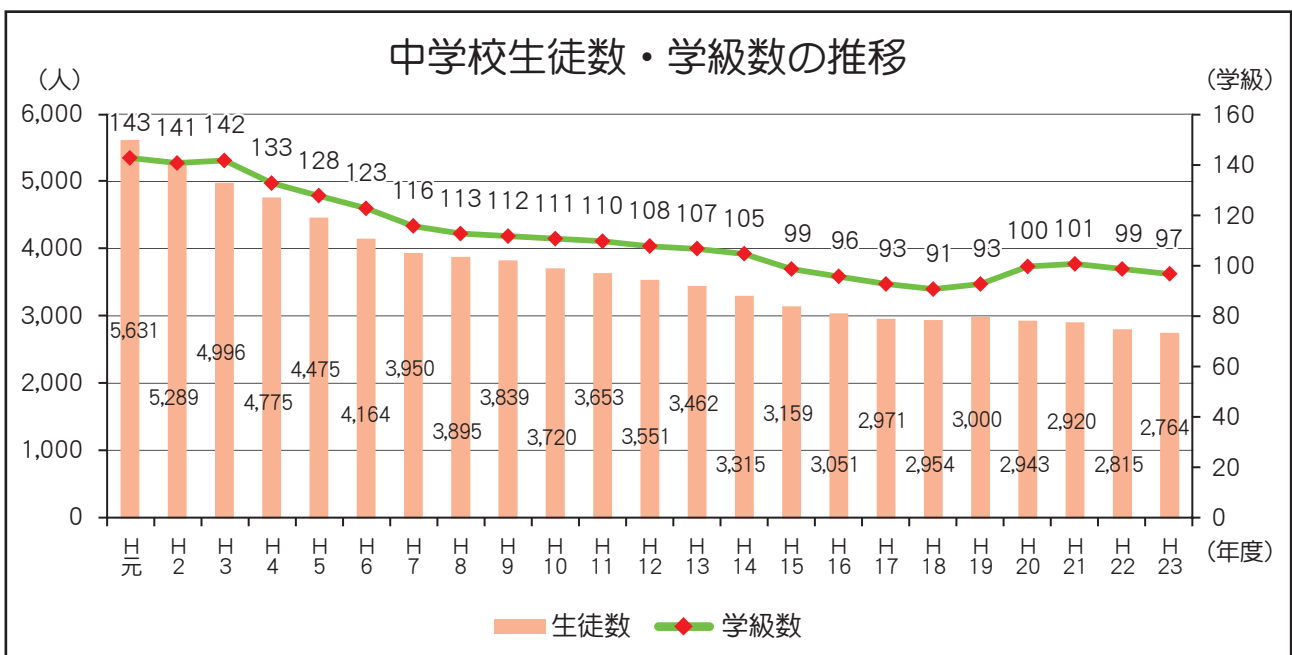
中学校は、中学校教育の目標（学校教育法第46条）を達成するために、別府市では中学校設置基準に基づき8校（施設）が設置されています。施設の状況としては、耐震化推進計画に沿って整備を進めているため、平成23年度末では耐震化率は79.3%となっています。

建築から45年を経過しているものが5校あり、そのうち、すでに耐用年数を経過しているものが3校あります。中学校も小学校と同様にバリアフリー化を求められています。

生徒数は、昭和54年度は5,384人でしたが、平成23年度では約2分の1の2,764人まで減少しています。

普通学級が減少する一方、教科学習の定着を図る目的で外国語教室や国語、数学等の学習室や少人数学習のための教室を設置するなど教育的ニーズに対応しています。

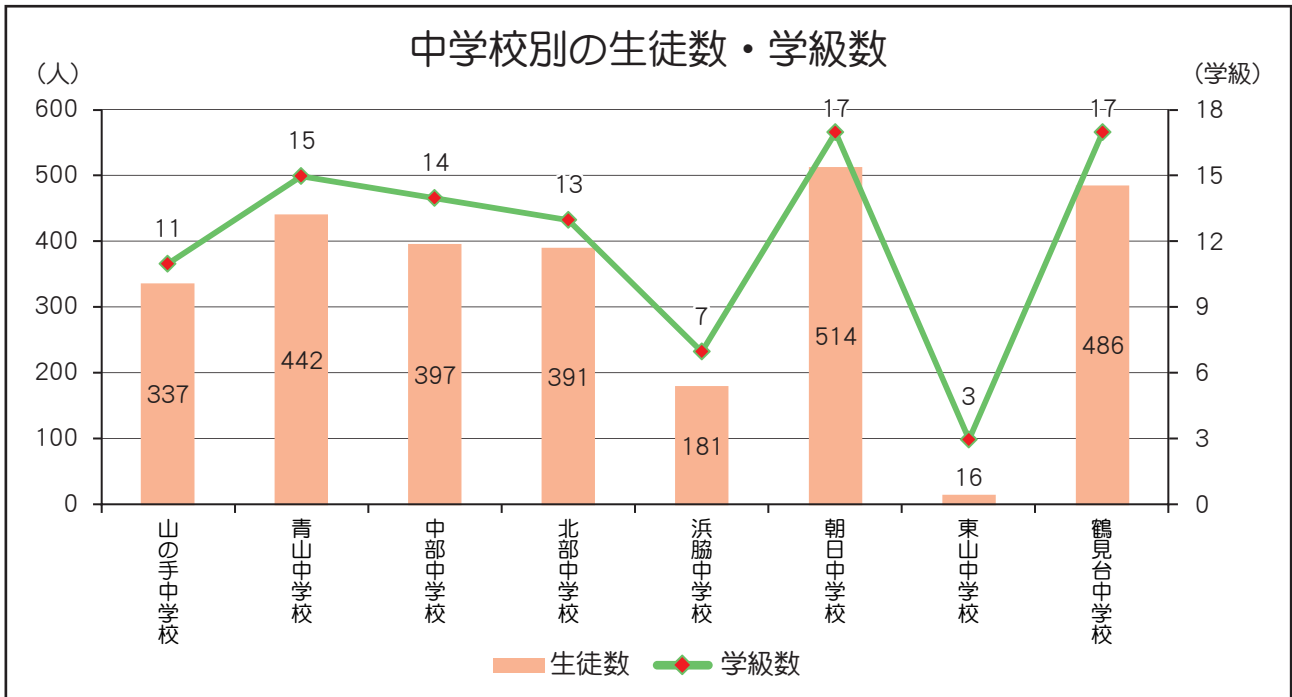
収 入	
使用料等	53千円
施設にかかる経費	
人件費	41,174千円 正職員（1.7人） 非常勤職員（20.0人）
光熱水費	20,099千円
修繕料	3,358千円
役務費	6,230千円
委託料	12,756千円
指定管理料	—
工事請負費	42,941千円
その他の支出	78,186千円
合 計	204,744千円
減価償却費	73,980千円（参考値）



※各年5月1日現在

# 10. 学校

## 10-3 中学校（8校）



※平成23年5月1日現在

### 【中学校一覧】

施設名	所在地	建築年	構造	延床面積	避難所指定
山の手中学校	山の手町1番53号	昭和36年	鉄筋コンクリート造	4,992.94㎡	収容
青山中学校	大字別府3088番地の1	昭和27年	鉄筋コンクリート造	6,885.67㎡	収容
中部中学校	大字鶴見4530番地の1	昭和36年	鉄筋コンクリート造	6,710.47㎡	収容
北部中学校	大字亀川231番地	昭和44年	鉄筋コンクリート造	6,011.42㎡	収容
浜脇中学校	大字浜脇1208番地	昭和35年	鉄筋コンクリート造	4,991.35㎡	収容
朝日中学校	大字鶴見950番地の5	昭和39年	鉄筋コンクリート造	5,083.41㎡	収容
東山中学校	大字別府4380番地の1	平成10年	木造	245.43㎡	—
鶴見台中学校	大字鶴見3682番地の3	昭和58年	鉄筋コンクリート造	6,146.52㎡	収容
			合計	41,067.21㎡	

# 10. 学校

## 10-4 別府市立別府商業高等学校

所在地	大字別府3088番地の44
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	10,499.45㎡
建築年	昭和34年
構成施設	窓口・事務室・職員室・会議室・教室・体育館
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会教育総務課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：未



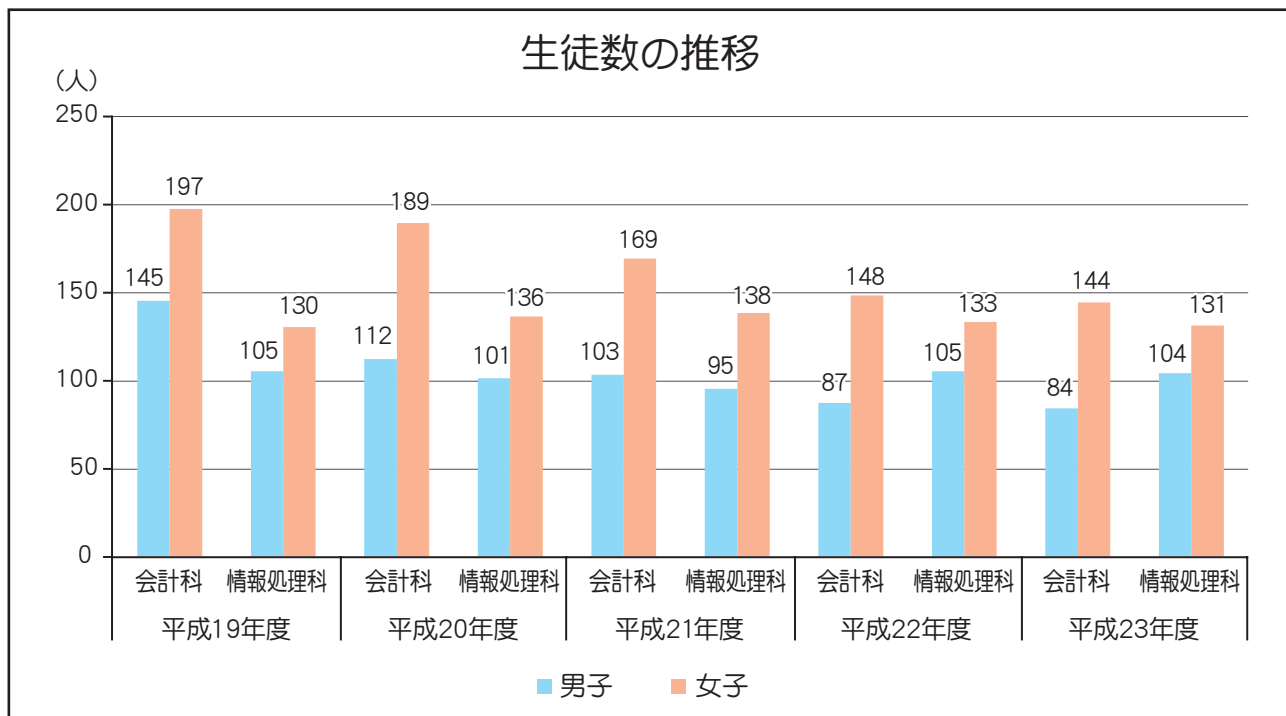
別府商業高等学校は、高等学校教育の目標（学校教育法第51条）を達成するために設置されています。施設の状況としては、教室棟や屋内運動場は、昭和30年代から40年代前半に建築されたものが多く、すでに建築後40年以上経過しており外壁や空調設備などに不具合が多く見られます。

また、耐震対策が必要であること、耐用年数が迫っていることなどから、平成29年度には県立高校との統合を予定しています。

別府商業高等学校の定員は、会計科80人、情報処理科80人の160人です。(注)

男女別の生徒割合では、各年度とも男子生徒約40%、女子生徒約60%となっています。

収 入	
使用料等	34 千円
施設にかかる経費	
人件費	25,377 千円 正職員 (3.0人) 非常勤職員 (4.0人) 臨時職員 (1.0人)
光熱水費	9,452 千円
修繕料	918 千円
役務費	467 千円
委託料	2,877 千円
指定管理料	—
工事請負費	1,304 千円
その他の支出	26,556 千円
合 計	66,951 千円
減価償却費	20,658 千円 (参考値)



※各年5月1日現在

(注) 定員については、平成25年度より会計科80人、情報処理科40人、合計120人となります。



# 10. 学校

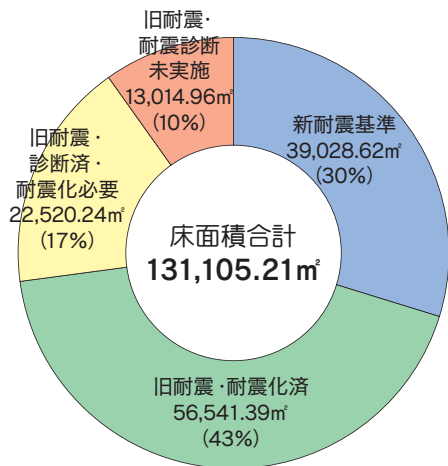
## 耐震診断の実施状況

### 10. 学校

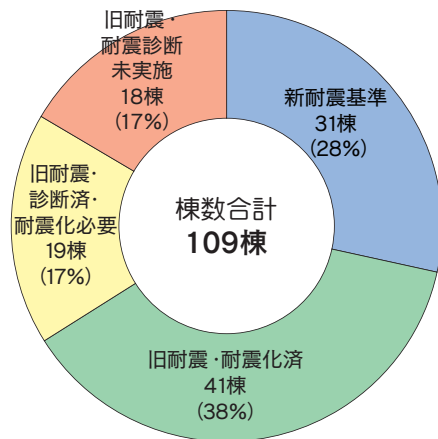
	施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準					
					耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施	
			棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
①	幼稚園（15園・18棟）		5	2,974.82	6	2,532.50	3	1,108.11	4	1,642.42
②	小学校（15校・48棟） <small>（注）</small>		15	22,494.32	21	32,159.28	10	15,745.33	2	881.77
③	中学校（8校・33棟）		9	12,740.98	14	21,849.61	6	5,666.80	4	809.82
④	別府市立別府商業高等学校		2	818.50					8	9,680.95
			31	39,028.62	41	56,541.39	19	22,520.24	18	13,014.96

（注） 各学校にある単独調理場の面積は含まず、「くらし・その他」の学校給食共同調理場に計上しています。

床面積に対する割合



棟数に対する割合









**11**

## 公営住宅

11-1 公営住宅（35施設）



# 1.1. 公営住宅

## 1.1-1 公営住宅 (35施設)

所在地	—
構造	鉄筋コンクリート造、木造など
延床面積	152,684.72㎡
建築年	昭和26年～平成23年
構成施設	市営住宅
管理形態	直営
施設所管課	建設部建築住宅課

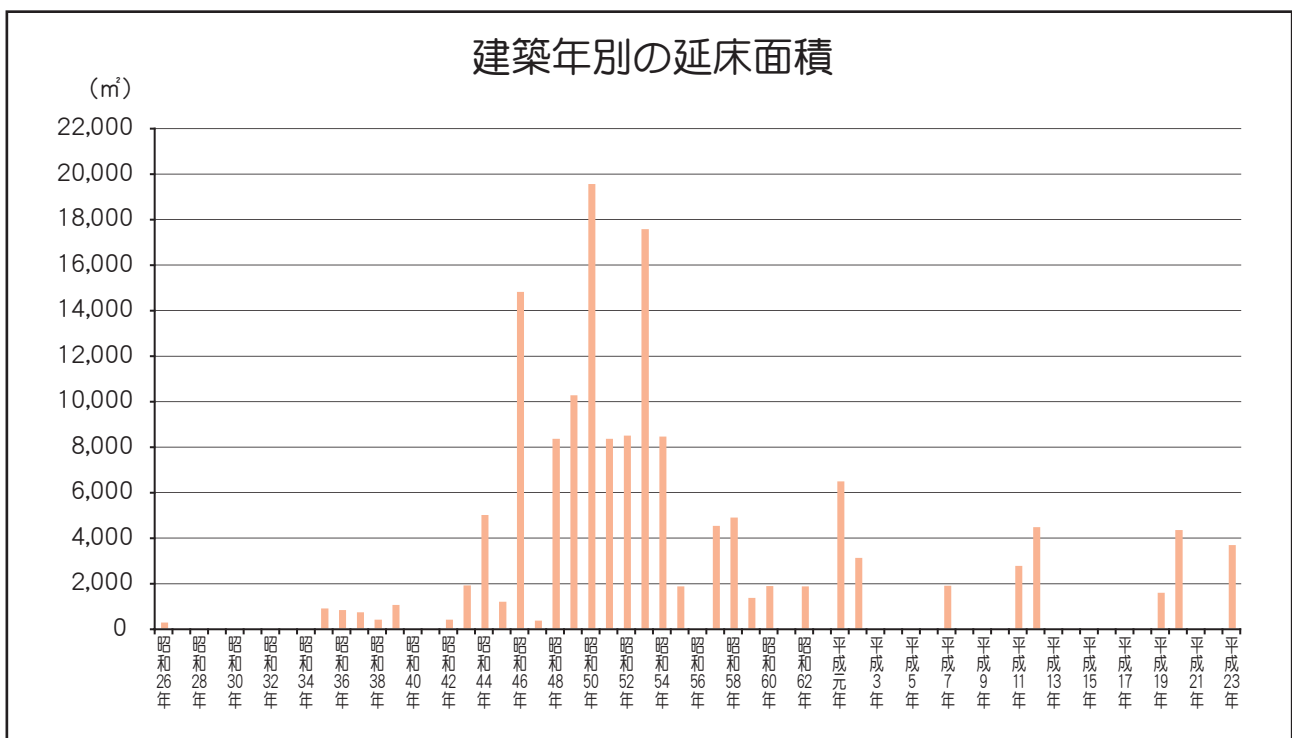


公営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、市民生活の安定を図ることを目的に設置されています。別府市では、平成23年度末現在で178棟、2,661戸の住宅を管理していますが、その大半が昭和40年代から50年代までに建築され、全体の約43%（77棟）を占めています。

施設の状況は、施設の老朽化等により募集を止めている住宅を含めても、入居率は約87%と依然として高くなっています。住宅困窮者への住宅供給という行政の基礎的な役割を担っていることから、施設の老朽化対策や入居者の高齢化等の居住ニーズに対応した改善も必要となっています。

また、建替え（更新）時には、福祉施設や地区施設との一体的な整備を行い、まちづくりへの貢献を考慮することも必要であると考えられます。

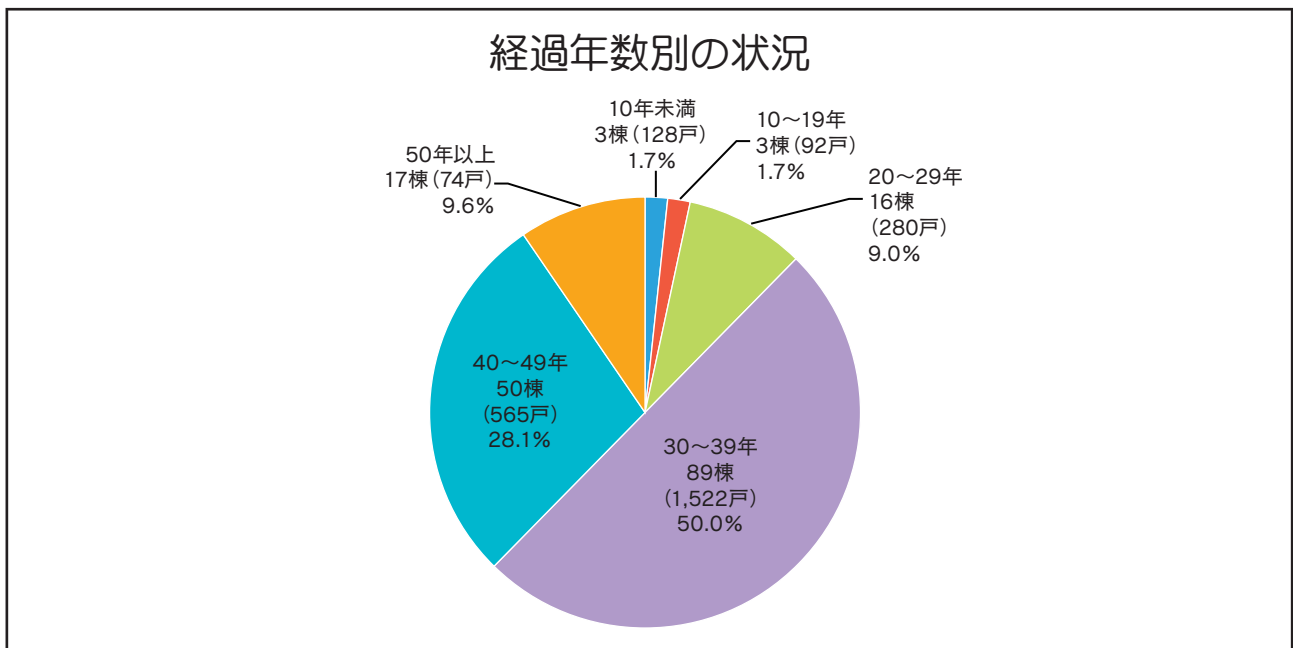
収 入	
使用料等	373,568 千円
施設にかかる経費	
人件費	93,459 千円 正職員 (14.6人) 非常勤職員 (5.0人)
光熱水費	1,646 千円
修繕料	8,874 千円
役務費	3,714 千円
委託料	29,390 千円
指定管理料	—
工事請負費	148,093 千円
その他の支出	24,153 千円
合計	309,329 千円
減価償却費	475,831 千円 (参考値)





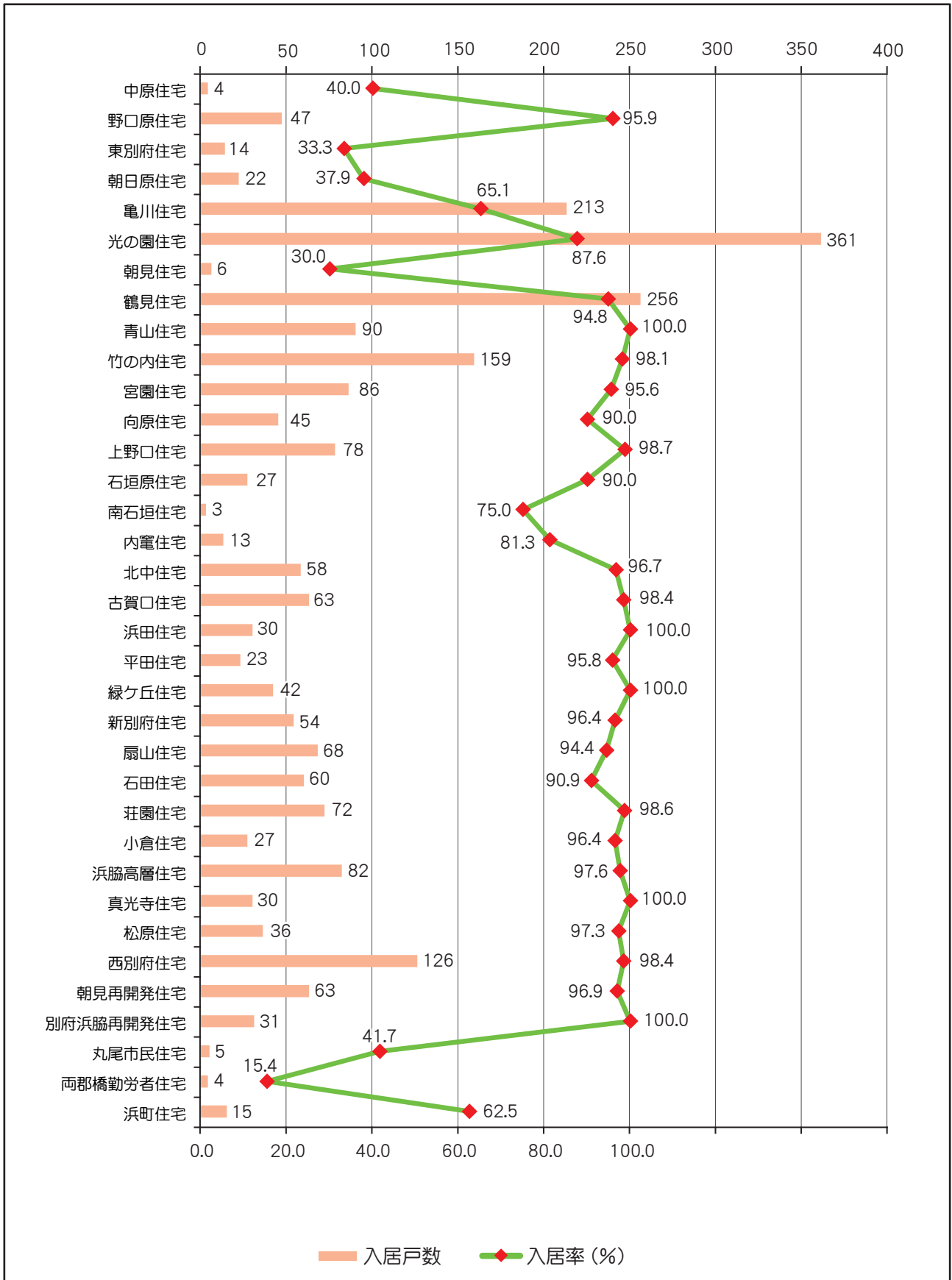
## 1.1. 公営住宅

### 1.1-1 公営住宅 (35施設)



# 1.1. 公営住宅

## 1.1-1 公営住宅 (35施設)



※平成24年3月31日現在

## 1.1. 公営住宅

## 1.1-1 公営住宅 (35施設)

## 【公営住宅一覧】

No.	公営住宅名称	所在地	建築年(棟数)	延床面積	管理戸数	
					棟数	戸数
1	中原住宅	原町9番	S26(6)	247.90㎡	6	10
2	野口原住宅	上野口町31番、32番	S55(1)、H7(1)	3,392.86㎡	2	49
3	東別府住宅	大字浜脇29番地	S35(4)、S36(3)	1,668.42㎡	7	42
4	朝日原住宅	大字鶴見3920番地	S37(4)、S38(2)、S39(5)	2,103.93㎡	11	58
5	亀川住宅	大字内竈1226番地	S43(4)、S44(12)、S46(12)、S48(2)	14,747.84㎡	30	327
6	光の園住宅	大字鶴見4218番地	S46(12)、S48(8)、S49(3)	19,538.76㎡	23	412
7	朝見住宅	朝見二丁目23番	S49(6)	854.96㎡	6	20
8	鶴見住宅	大字鶴見2600番地	S49(3)、S50(6)	15,547.92㎡	9	270
9	青山住宅	青山町10番、12番	S50(1)、S51(2)	4,917.25㎡	3	90
10	竹の内住宅	大字鶴見2214番地	S51(11)	9,193.79㎡	11	162
11	宮園住宅	大字鶴見971番地	S52(4)	5,288.68㎡	4	90
12	向原住宅	大字南立石1857番地、1858番地	S51(2)	2,904.84㎡	2	50
13	上野口住宅	上野口町2番、5番、6番、8番	S52(7)、S55(1)	4,686.18㎡	8	79
14	石垣原住宅	大字鶴見4044番地	S52(2)、S53(1)	1,844.93㎡	3	30
15	南石垣住宅	石垣東一丁目1番	S52(2)	256.68㎡	2	4
16	内竈住宅	大字内竈1507番地	S53(1)	995.16㎡	1	16
17	北中住宅	大字鶴見274番地	S53(3)	3,693.10㎡	3	60
18	古賀口住宅	大字鶴見1970番地	S53(5)、S54(3)	3,885.18㎡	8	64
19	浜田住宅	亀川浜田町7番	S53(1)	1,893.00㎡	1	30
20	平田住宅	平田町3番	S53(1)	1,539.18㎡	1	24
21	緑ヶ丘住宅	大字南立石2171番地	S53(1)、S54(1)	2,615.28㎡	2	42
22	新別府住宅	大字鶴見3189番地	S53(1)、S54(1)	3,604.34㎡	2	56
23	扇山住宅	大字鶴見1951番地	S54(5)	4,470.66㎡	5	72
24	石田住宅	大字鶴見74番地	S57(1)、S58(7)、S60(1)	4,326.62㎡	9	66
25	荘園住宅	大字鶴見4107番地	S57(2)、S58(2)	4,904.42㎡	4	73
26	小倉住宅	大字鶴見1382番地	S62(2)	1,832.60㎡	2	28
27	浜脇高層住宅	浜脇一丁目8番	H1(1)	6,447.98㎡	1	84
28	真光寺住宅	中島町8番	H11(1)	2,735.56㎡	1	30
29	松原住宅	松原町63番1	H12(1)	4,440.15㎡	1	37
30	西別府住宅	大字南立石1082番地	H19(1)、H20(1)、H23(1)	9,530.44㎡	3	128
31	朝見再開発住宅	朝見一丁目7番	S58(1)、S59(1)	3,304.12㎡	2	65
32	別府浜脇再開発住宅	浜脇二丁目2番	H2(1)	3,093.91㎡	1	31
33	丸尾市民住宅	大字南立石2238番地	S42(1)	378.38㎡	1	12
34	両郡橋勤労者住宅	大字浜脇251番地	S47(1)、S48(1)	631.80㎡	2	26
35	浜町住宅	浜町23番	S45(1)	1,167.90㎡	1	24
合 計				152,684.72㎡	178	2,661

注：東別府住宅(2棟)、上人ヶ浜住宅(1棟)、大仏住宅(1棟)は平成23年度中に解体のため掲載していません。

施設配置図 11. 公営住宅





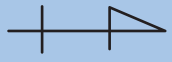
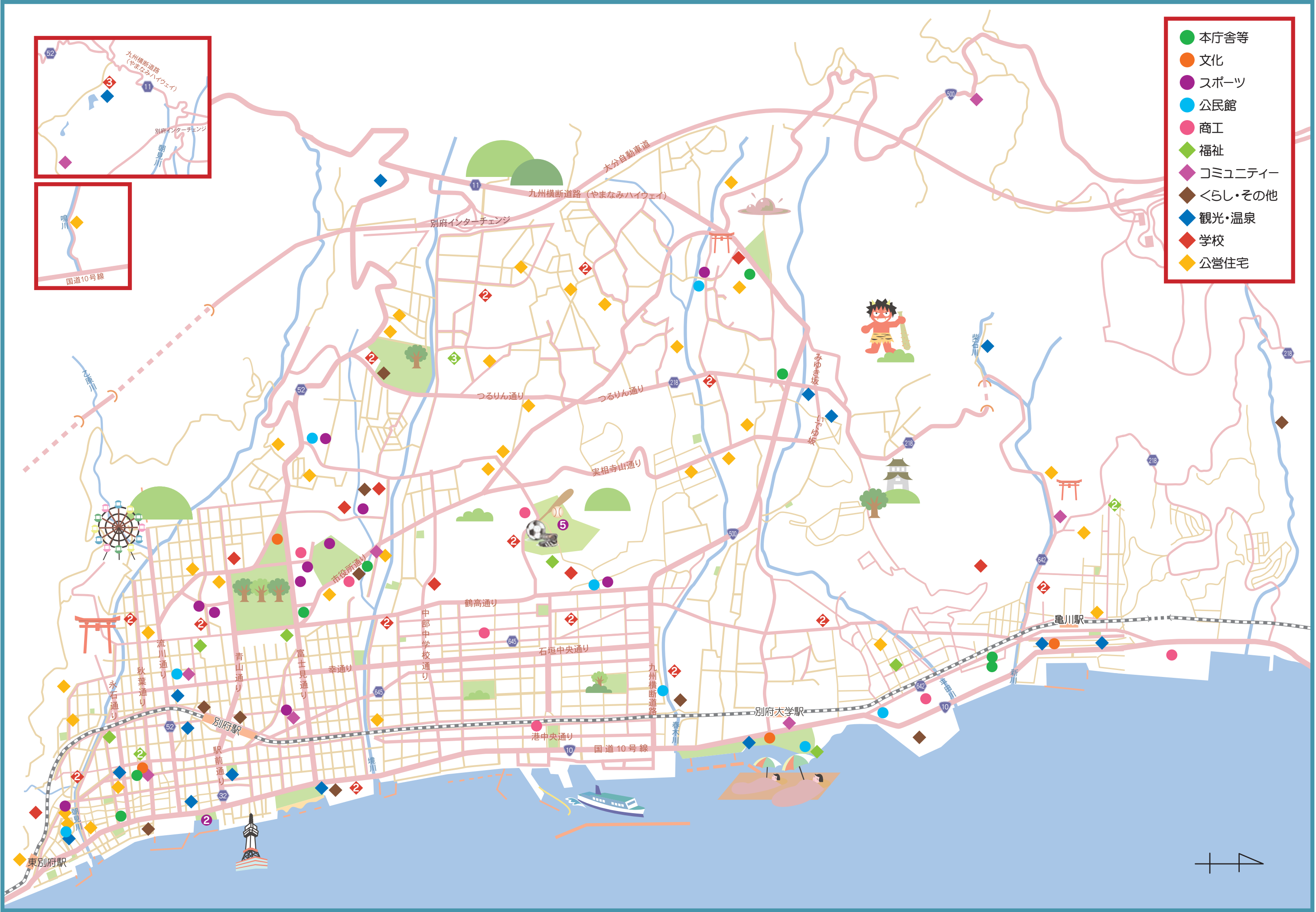
# 参考資料

主な施設の  
分布図





- 本庁舎等
- 文化
- スポーツ
- 公民館
- 商工
- ◆ 福祉
- ◆ コミュニティ
- ◆ 暮らし・その他
- ◆ 観光・温泉
- ◆ 学校
- ◆ 公営住宅







## 別府市公共施設白書

平成25年5月発行

別府市総務部財産活用課公共施設マネジメント室

〒874-8511 別府市上野口町1番15号

電話 0977-21-1118（直通）

E-mail [pro-ga@city.beppu.oita.jp](mailto:pro-ga@city.beppu.oita.jp)

編集協力 ㈱地域科学研究所

印刷 株式会社プリメディア





